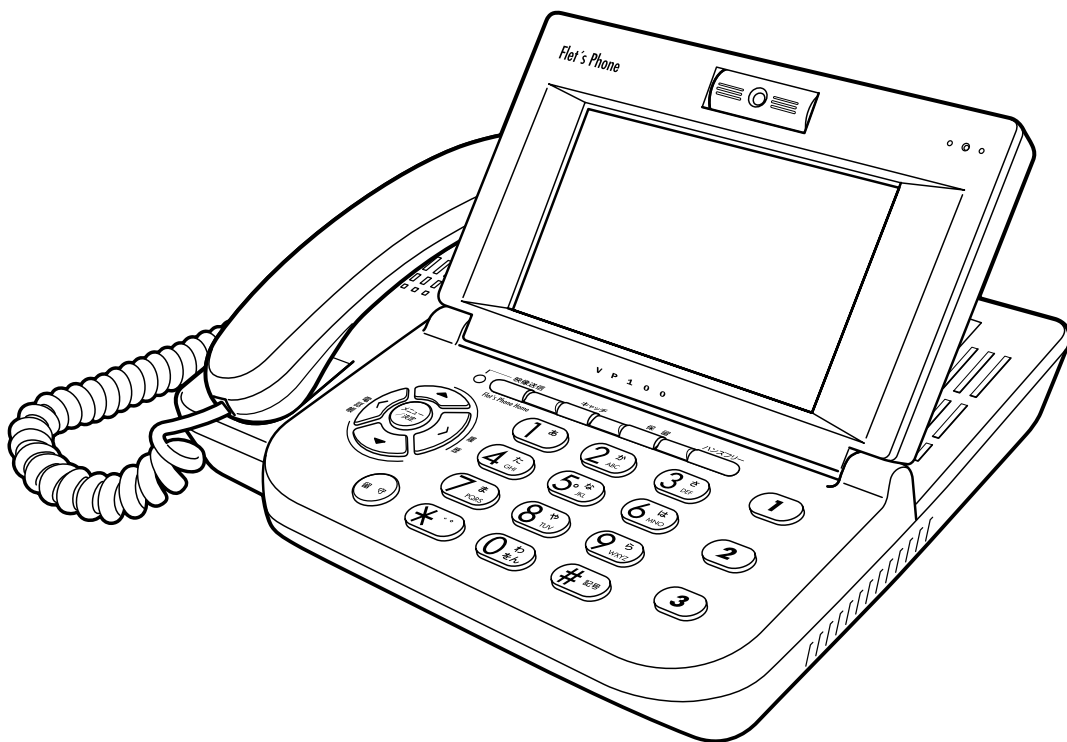


フレッツフォン VP100

このたびは、フレッツフォン VP100をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

- ご使用の前に、この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、内容を理解してからお使いください。
- お読みになったあとも、本商品のそばなどいつも手もとに置いてお使いください。



安全にお使いいただくために必ずお読みください

この取扱説明書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

本書中のマーク説明

 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
 お願い	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止を招く内容を示しています。
 お知らせ	この表示は、本商品を取り扱ううえでの注意事項を示しています。
 ワンポイント	この表示は、本商品を取り扱ううえで知っておくと便利な内容を示しています。

ご使用にあたってのお願い

本商品をお使いになるにあたって、当社のレンタル電話機が不要となる場合は、当社へご連絡ください。ご連絡をいただいた日をもって「機器使用料金」は不要となります。

本商品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。本商品は家庭環境で使用することを目的としていますが、本商品がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

- 本商品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様であり、海外の規格等には準拠しておりません。本商品を日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。また、当社は本商品に関し海外での保守サービスおよび技術サポート等は行っておりません。
This telephone is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.
- 本商品は、接続される通信機器によっては、正常に動作しないことがあります。
- 本商品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電等の外部要因によって、通信などの機会を逸脱したために生じた損害や、万一、本商品に登録された情報内容が消失してしまうこと等の純粋経済損失につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。本商品に登録された情報内容は、別にメモをとるなどして保管くださるようお願いいたします。
- 本商品は、お客様固有のデータを登録または保持可能な商品です。データの流出による不測の損害などを回避するために、本商品を廃棄、譲渡、返却される際には、本商品の設定をお買い求めのときの状態に戻し、本商品内に登録または保持されたデータを消去していただきますようお願いいたします。お買い求めのときの状態に戻す方法は、「本商品をお買い求めのときの状態に戻すには（初期化）」（→P4-5）をご覧ください。
- 操作早見表をご使用の際は、必ず取扱説明書をよくお読みになり、ご理解いただいたうえでお使いください。
- 本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、当社のお問い合わせ先窓口へお申しつけください。
- 取扱説明書、ハードウェア、ソフトウェアおよび外観の内容について予告なしに変更することがあります。
- 記載している画面やイラストはイメージを説明したものです。実際と多少相違している場合がありますので、詳細は本商品にてご確認ください。また、機能向上のため画面は予告なしに変更される場合があります。
- 本商品底面のゴムとの接触面が、まれに変色するおそれがありますのでご注意ください。
- 本書を紛失または損傷したときは、当社のお問い合わせ先窓口にご連絡ください。

本商品は、株式会社ACCESSのNetFrontを搭載しています。
NetFrontは、株式会社ACCESSの日本およびその他の国における商標または登録商標です。
その他、本文中に記載の各会社名、各製品名は各社の商標または登録商標です。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

⚠ 警告

● 次のような場合にはご使用をやめ、当社のお問い合わせ先窓口へご連絡ください。

火災、感電、故障の原因となることがあります。当社のお問い合わせ先窓口にて修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

- ・ 異臭、異音、煙が発生した場合
- ・ 本商品を落したり、破損した場合
- ・ 本商品やACアダプタが熱くなっている場合

● 次のような場合には、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

- ・ 移動させる場合は電源プラグを電源コンセントから抜き、LANケーブルなどを差込口から抜いて、外部の接続線をすべて外したことを確認のうえ、行ってください。
- ・ 長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

● 水にぬらさないでください。

火災、感電、故障の原因となることがあります。水や海水につけたり、ぬらさないでください。万一、水が入ったり、ぬらした場合は、電源プラグを電源コンセントから抜いて、当社のお問い合わせ先窓口にご連絡ください。

● 異物を入れたり、落したりしないでください。

火災、感電、故障の原因となることがあります。本商品の内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落したりしないでください。

万一、異物が入った場合は、すぐに電源プラグを電源コンセントから抜いて、当社のお問い合わせ先窓口にご連絡ください。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

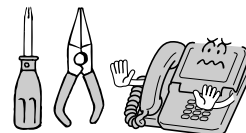
● ディスプレイを完全に倒した状態で使用しないでください。

収納部との隙間が高温になり、長時間人体に触れた場合、低温やけどをするおそれがあります。

● 分解や改造をしないでください。

火災、感電の原因となることがあります。

本商品の分解や改造はしないでください。法律で罰せられることがあります。



● 内部には触らないでください。

感電の原因となることがあります。内部の点検、調整、清掃、修理は当社のお問い合わせ先窓口にご連絡ください。

● 次のようなものをそばに置かないでください。

中身がこぼれたり、中に入った場合、火災、感電、故障の原因となることがあります。

- ・ 花瓶、コップ、化粧品、薬品など液体の入った容器や植木鉢
- ・ 小さな金属類



警告

● 次のような場所には置かないでください。

火災、感電、誤動作、故障の原因となることがあります。

- ・ 風呂場や加湿器のそばなど、湿度の高いところ
- ・ 調理台のそばなど油飛びや湯気があたるような場所
- ・ ちりやほこりの多い場所
- ・ 鉄粉、腐食性ガス、有毒ガスが発生する場所
- ・ 化学反応を起こすような場所（実験室など）
- ・ 暖房設備、ボイラーなどの近くや屋外などの温度が上がる場所

● 熱がこもらないようにしてください。

火災、感電、故障の原因となります。熱器具に近づけたり、燃えやすいものの近くに置かないでください。また通風孔をふさぐような使いかたをしないでください。以下のような使いかたをすると熱がこもり、火災、感電、故障の原因となります。

- ・ じゅうたんや布団の上に置く。
- ・ テーブルクロスなどを掛ける。
- ・ 本棚、タンスの中、押し入れの中など風通しの悪い場所に置く。
- ・ 紙、本などをのせたり立て掛けたりする。
- ・ 本商品を横倒しやさかさまにする。

● 誤った電源の使いかたをしないでください。

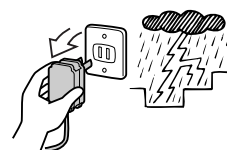
火災、感電の原因となることがあります。

- ・ AC100 Vの商用電源以外では、絶対に使用しないでください。
- ・ 差込口が2つ以上ある壁の電源コンセントに他の電気製品の電源プラグを差し込む場合は、合計の電流値が電源コンセントの最大値を超えないように注意してください。



● 雷のときは使用を控えてください。

火災、感電、故障の原因となることがあります。
電源プラグを電源コンセントから抜いてください。



● ACアダプタやコードを傷つけないでください。

火災、感電、故障の原因となることがあります。ACアダプタやコードが痛んだ場合は、すぐに電源プラグを電源コンセントから抜いて、当社のお問い合わせ先窓口へ修理をご依頼ください。

ACアダプタやコードに傷をつけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしないでください。また重いものをのせたり、加熱したりしないでください。

● ぬれた手で操作しないでください。

感電の原因となることがあります。ぬれた手で本商品进行操作しないでください。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

警告

●付属のもの以外のACアダプタを使用しないでください。

火災、感電、故障の原因となることがあります。

- ・ ACアダプタは、必ず付属のものを使用し、それ以外のものは絶対にお使いにならないでください。
- ・ 付属のACアダプタは、本商品専用です。他の商品に接続したり、使用したりしないでください。

●本商品を屋外で使用しないでください。

火災、感電、故障の原因となることがあります。

本商品は、屋内使用専用です。屋外では使用しないでください。

●電源は確実に差し込んでください。

火災、感電、故障の原因となることがあります。

- ・ 必ず本商品側のコネクタを接続してから電源コンセントに差し込んでください。
- ・ 電源プラグは確実に差し込み、電源プラグの刃に金属などが触れないようにしてください。

●ほこりは定期的に取りってください。

火災、感電、故障の原因となることがあります。電源プラグはほこりが付着していないことを確認してから、電源コンセントに差し込んでください。半年に1回程度、電源プラグと電源コンセントの間のほこりを取り除いてください。

また、通風孔にほこりが付着していないかを、定期的に点検してください。

ほこりを取り除くときは、安全のため必ず電源プラグを電源コンセントから抜いて行ってください。

●誤った接続をしないでください。

誤った接続をすると、火災、感電、故障の原因となることがあります。

- ・ LANポートに接続したLANケーブルを商用電源、電話回線などには接続しないでください。
- ・ 電源プラグをショートしないでください。

●使用が禁止された場所では使わないでください。

電波が影響を及ぼす場合があり、誤動作による事故の原因となることがあります。

- ・ 医療用電気機器の近くに設置したり、近づけないでください。
- ・ 自動ドア、火災報知器等の自動制御機器の近くで使用しないでください。
- ・ 心臓ペースメーカーの装着部位から30 cm以上離してください。

●ディスプレイの背面部分に手をはさまないようにしてください。

ディスプレイ部分の背面に手をはさんだ状態でディスプレイ部分を倒し、上から負荷をかけると、けがの原因となることがあります。

⚠ 警告

●故障状態のまま使用しないでください。

本商品の画面が映らない、音が出ないなどの故障状態で使用すると、火災、感電の原因となることがあります。すぐに電源プラグを電源コンセントから抜いて、当社のお問い合わせ先窓口にて修理をご依頼ください。

●ACアダプタに物をのせないでください。

過熱し、ケースや電源コードの被覆が溶けて、火災、感電の原因となることがあります。

●通電中の本商品やACアダプタに長時間触れないでください。

長時間皮膚が触れたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。

●破損した液晶画面には触れないでください。

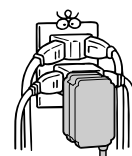
けがの原因となることがあります。液晶画面が破損し、液晶が溢れ出した場合は、液晶を吸い込んだり飲んだりしないでください。万一、口に入った場合は、すぐに吐き出し、うがいをしてすみやかに医師に相談してください。また、皮膚に付着したり目に入った場合はただちに水でよく洗浄して、すみやかに医師に相談してください。

●直射日光の当たるところや、温度の高いところには置かないでください。

内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。

●タコ足配線をしないでください。

テーブルタップや分岐コンセント、分岐ソケットを使用したタコ足配線をすると、火災、過熱、感電の原因となることがあります。



お使いになる前に（設置環境）

⚠ 注意

●不適切な場所に設置しないでください。

バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。誤動作、故障の原因となることもあります。

- ・ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。
- ・振動、衝撃の多い場所に置かないでください。



●不適切な置きかたをしないでください。

横置き、逆さまの状態での設置、重ね置きはしないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

●本商品やACアダプタのコードを熱器具に近づけないでください。

本商品やACアダプタのコードの被覆が溶けて、火災、感電の原因となることがあります。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

お使いのとき

⚠ 注意

●ご利用になる機器を確認してください。

お客様がご用意された機器を接続してお使いになる場合は、あらかじめ当社のお問い合わせ先窓口を確認してください。確認できない場合は、絶対に接続して使用しないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。

●お手入れのときには、以下のことを守ってください。

- ・内部には触らないでください。感電の原因となることがあります。内部の点検、調整、清掃、修理は当社のお問い合わせ先窓口にご連絡ください。
- ・安全のため必ず電源プラグを電源コンセントから抜いてください。火災、感電、故障の原因となることがあります。
- ・水または中性洗剤以外は絶対に使用しないでください。火災、故障の原因となることがあります。

●本商品には乗らないでください。

壊れてけがの原因となることがあります。特に小さなお子様がいるご家庭ではご注意ください。

●液晶画面を強く押したり、ひっかいたりしないでください。

画面にムラが出たり、破損したり、液晶画面の故障の原因となることがあります。

●電源プラグを電源コンセントから抜くときは必ず電源プラグを持って抜いてください。

電源プラグを引っ張るとコードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。

●ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。

感電の原因となることがあります。

取り扱いについて

STOP お願い

●ベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください。

変色、変形の原因となることがあります。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤を付けた布をよくしぼって汚れをふき取り、やわらかい布でからぶきしてください。本商品やLANポートに液体が入らないよう注意してください。



●乱暴に取り扱わないでください。

誤動作や故障の原因となることがあります。落としたり、重い物をのせたり、強い衝撃を与えないでください。

●結露にご注意ください。

故障の原因となることがあります。周囲温度の急激な変化によって内部が結露した場合、周囲の温度になじむまで1時間程度放置してから電源を入れてください。

STOP お願い

- ナンバー・ディスプレイのご利用に際しては、総務省の定める「発信者情報通知サービスの利用における発信者個人情報の保護に関するガイドライン」を尊重してご利用願います。

置き場所について

STOP お願い

- 強い磁界や電磁波の発生源から離してください。

コンピュータ、電子レンジ、スピーカー、テレビ、ラジオ、ファクス、蛍光灯、ワープロ、電気こたつ、インバータエアコン、電磁調理器など。

- ・誤動作、故障の原因となることがあります。離れた場所に設置してください。
- ・磁気や電気雑音の影響を受けると雑音等が大きくなったり、通信ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
- ・テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
- ・放送局や無線局などが近く、雑音等が大きいときは、設置場所を移動してみてください。



- 特に温度が下がるところには置かないでください。

正常に動作しないことがあります。製氷倉庫などに置かないでください。

- 硫化水素が発生する場所（温泉地）などには置かないでください。

誤動作、故障の原因となることがあります。

- 表面が熱に弱い場所には置かないでください。

変色、変形する場合があります。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

お使用のとき



お願い

●電源の再投入は1秒以上たってから行ってください。

電源を切ったあとすぐに再投入すると、故障の原因となることがあります。電源を切った状態から1秒以上たったあとに行ってください。

●電源を切るときは正しい手順で行ってください。

電源を切るときは、「本商品の電源を切るには」(→P4-7)の記載内容にしたがってください。設定変更中やアップデート中、再起動中は、絶対に電源を切らないでください。回復不能な故障の原因になることがあります。

■アップデートのお願い

- ソフトウェアのアップデートを行うことができます。アップデートを行うことで機能の改善などができます。アップデートを行い、本商品を常に最新の状態にしてお使いください。
- アップデートの方法は、「ソフトウェアを最新の状態にするには」(→P2-84)をご覧ください。

■本商品を廃棄（または譲渡、返却）される場合の留意事項

- 本商品は、お客様固有のデータを登録または保持可能な商品です。データの流出による不測の損害などを回避するために、本商品を廃棄、譲渡、返却される際には、本商品の設定をお買い求めのときの状態に戻し、本商品内に登録または保持されたデータを消去していただきますようお願いいたします。お買い求めのときの状態に戻す方法は、「本商品をお買い求めのときの状態に戻すには（初期化）」(→P4-5)をご覧ください。
- 本商品を破棄するときは、地方自治体の条例に従って処理してください。詳しくは、最寄りの自治体にお問い合わせください。

■テレビ電話に関する注意事項

本商品のご利用に際して、下記のような制限事項があります。

- 次のような場合には、テレビ電話の映像品質および通話品質が劣化したり、通信が切断されたりする場合があります。
 - ・ADSL回線の接続状況によって十分な通信速度が確保できない場合。
 - ・本商品と接続しているルータにパソコンを接続して、ファイル転送やストリーミングサービスのような大容量のデータ通信を必要とするサービスをご利用中の場合。
- 停電時および、本商品の電源を切っている場合には、テレビ電話をご利用になれません。また、テレビ電話中に停電になったときや本商品の電源を切ったときは、通話が切断されます。
- 次のような発信先電話番号へは、ご契約されたIPテレビ電話サービスによって、発信できない場合があります。「電話をかけられる相手先について」(→P1-10、1-16)をご確認になるか、ご利用の各プロバイダへお問い合わせください。
 - ・緊急通話（110番、118番、119番など）
 - ・0120などの番号

■無線に関するご注意（無線LANカード取り付け時にお読みください）

本商品*の使用周波数帯では、電子レンジや産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。

※ここではフレッツフォン VP100に無線LANカードを取り付けた状態を「本商品」といいます。

1. 無線LANカードをご利用になる場合は、本商品を使用する前に、近くで医療用機器、移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本商品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに使用周波数を変更するかまたは電波の発射を停止したうえで、当社のお問い合わせ先窓口にご連絡いただき、混信回避のための処置などについてご相談ください。
3. その他、本商品から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、当社のお問い合わせ先窓口へご連絡ください。

●本商品は、日本国内でのみ使用できます。

●次のような場所では、電波が反射して通信できない場合があります。

- ・強い磁界、静電気、電波障害が発生するところ（電子レンジ付近など）
- ・金属製の壁（金属補強材が中に埋め込まれているコンクリートの壁も含む）の部屋
- ・異なる階の部屋どうし

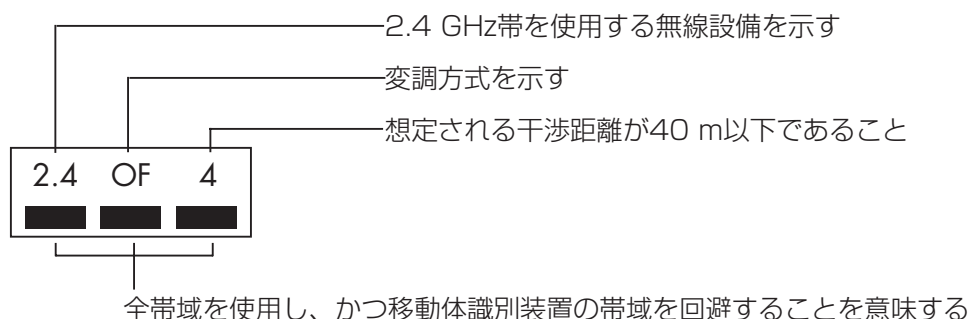
●本商品と同じ無線周波数帯の無線機器が本商品の通信可能エリアに存在する場合、転送速度の低下や通信エラーが生じ、正常に通信できない可能性があります。

●本商品をコードレス電話やテレビ、ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると影響を与える場合があります。

IEEE802.11g	●本商品はIEEE 802.11aに準拠（W52）しています。5.2 GHz帯で使用可能な周波数はCh36（5180 MHz）、Ch40（5200 MHz）、Ch44（5220 MHz）、Ch48（5240 MHz）です。
IEEE802.11a	
JIS W52 W53	

●本商品を5.2 GHz帯で使用する場合、屋外で使わないでください。法令により5.2 GHz無線機器を屋外で使用することは禁止されているため、屋外で使用する場合は、あらかじめ5.2 GHz帯の電波を無効にしてください。

●本商品は2.4 GHz全帯域を使用する無線設備であり、移動体識別装置の帯域が回避可能です。変調方式としてOFDM方式を採用しており、与干渉距離は40 mです。



●本商品は、技術基準適合証明を受けていますので、以下の事項を行うと法律で罰せられることがあります。

- ・本商品の分解や改造

安全にお使いいただくために必ずお読みください

■無線LAN製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意 (無線LANカード取り付け時にお読みください)

無線LANでは、LANケーブルを使用する代わりに、電波を利用して本商品と無線アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続が可能であるという利点があります。その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁など）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

●通信内容を見られる

悪意ある第三者が電波を故意に傍受し、IDやパスワード等の通信内容を盗み見られる可能性があります。

●不正に侵入される

悪意ある第三者が無断で個人や会社内のネットワークへアクセスした場合、次のような危険にさらされる可能性があります。

- ・ 個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）
- ・ 特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流したり不正に電話を利用する（なりすまし）
- ・ 傍受した通信内容を書き替えて発信する（改ざん）
- ・ コンピュータウィルスなどを流し、データやシステムを破壊する（破壊）

本来、無線LANカードや無線アクセスポイントは、これらの問題に対応するためセキュリティの仕組みを持っているので、無線LAN製品のセキュリティに関する設定を行ってから製品を使用することで、その問題が発生する可能性は低くなります。

セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を十分理解したうえで、お客様ご自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、本商品を使用することをお勧めします。

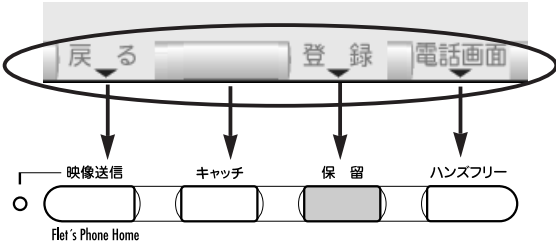
本書の読みかた

本書の構成

- 1 お使いになる前に** 箱を開けたら、最初に「セットを確認してください」(→P1-3) で足りないものがないか確認してください。
この章では、ご使用前に確認していただきたいことや、どの章にも共通の基本操作などを記載しています。
- 2 操作編** 電話関連の操作手順や、いろいろな機能を設定する方法について説明しています。
- 3 準備・設定編** セットの確認が終わったら、必要なサービスの確認をしたうえで、ご使用になるための設定について説明しています。
- 4 付録** 再起動や初期化の方法、故障かな？と思ったときに確認すべきこと、設定データ一覧など、本商品をお使いになるうえで役に立つ資料をまとめています。

本書の表記

本書で使われている表記には、次のようなルールがあります。

表 記	説 明	記載例
本商品	ご使用のフレッツフォン VP100のことです。	本商品でテレビ電話を使用するには、次の手順で接続、設定を行います。
① あ	本商品のボタンはこのイラストで表します。	① あ を押す。
《 》 	一部のボタンについては、ボタン名とイラストで表します。	《メニュー／決定》  を押す。
「 」	画面上の項目を表します。	「ワンタッチダイヤル登録」を選ぶ。
	メニュー画面の項目名を表します。	【電話帳・ワンタッチ】  を選ぶ。
	他のページに説明がある場合に参照先を示します。	 「無線LANを設定する」(P3-33)
()	画面下のソフトキーを表します。ソフトキーを使うには、連動したボタンを押します。  たとえば上の例で「登録」キーを使うときは、保留ボタンを押します。	保留ボタン（登録）を押す。
	音声通話のみで利用できる機能です。	
	テレビ電話のみで利用できる機能です。	

目次

安全にお使いいただくために必ずお読みください	2
本書の読みかた	13
フレッツフォン VP100でできること	16

1 お使いになる前に

お使いいただくための準備	1-2
セットを確認してください	1-3
各部の名称	1-4
フレッツフォン VP100を使うには	
(NTT東日本エリアでご利用のお客様)	1-8
IPテレビ電話サービスのご契約について	1-8
電話をかけられる相手先について	1-10
必要なものを準備します	
(NTT東日本エリアでご利用のお客様)	1-12
IPテレビ電話サービスのご確認・ご契約はお済みですか	1-12
設定に必要な情報は準備されていますか	1-13
接続に必要な機器はそろっていますか	1-13
フレッツフォン VP100を使うには	
(NTT西日本エリアでご利用のお客様)	1-14
IPテレビ電話サービスのご契約について	1-14
電話をかけられる相手先について	1-16
必要なものを準備します	
(NTT西日本エリアでご利用のお客様)	1-18
IPテレビ電話サービスのご確認・ご契約はお済みですか	1-18
設定に必要な情報は準備されていますか	1-20
接続に必要な機器はそろっていますか	1-20
基本操作について	1-21
画面について	1-21
ヘルプの使いかた	1-23
エラーメッセージ画面	1-24
文字入力のしかた	1-25
文字入力画面について	1-25
入力文字の種別を切り替える	1-25
文字を入力する	1-26

2 操作編

電話をかけるには	2-2
----------	-----

ハンドセットを取りあげてかける	2-2
ハンドセットを置いたままかける	
(ハンズフリー通話)	2-4
電話を受けるには	2-6
ハンドセットを取りあげて受ける	2-6
ハンドセットを置いたまま受ける	
(ハンズフリー通話)	2-7
テレビ電話を使うには	2-8
お互いの映像を見ながらお話しする	2-8
常に自分側の映像を送るようにする	
(映像送信設定)	2-10
常に自分側の映像を確認する	
(子画面表示設定)	2-11
キャッチホンを利用するには	2-13
他の電話機とお話しするには (内線通話)	2-14
電話を取りつぐには (転送)	2-16
相手の方に待っていただくには (保留)	2-18
ワンタッチダイヤルを使うには	2-19
ワンタッチダイヤルに登録する	2-19
ワンタッチダイヤルでかける	2-22
ワンタッチダイヤルを1件削除する	2-23
ワンタッチダイヤルを全件削除する	2-24
電話帳を使うには	2-25
電話帳に登録する	2-26
グループ名を変更する	2-30
電話帳を使って電話をかける (全リスト表示)	2-32
電話帳を行で表示する (行表示)	2-33
電話帳をグループで表示する (グループ表示)	2-35
電話帳を編集する	2-37
発信履歴／着信履歴を使うには	2-39
発信履歴を表示する	2-39
着信履歴を表示する	2-40
履歴から電話をかける	2-42
履歴から電話帳に登録する	2-43
履歴から自動応答リストに登録する	2-44
履歴から着信拒否リストに登録する	2-45
履歴を1件削除する	2-46
履歴を全件削除する	2-47
留守番電話として使うには	2-48
留守番電話を設定する	2-49
留守番電話を解除する	2-50
メニューから用件を再生する	2-52
応答までの時間を設定する	2-54

USBメモリを接続する	2-55
電話番号を通知するには（発信番号通知設定）	2-56
ナンバー・ディスプレイを利用するには	2-58
迷惑電話を受けないようにするには	
（着信拒否）	2-60
電話番号を登録する	2-60
着信拒否を設定する	2-63
番号通知のない着信を拒否する	2-64
テレビ電話で家の様子を見るには（自動応答）	2-65
電話番号を登録する	2-65
自動応答を設定する	2-68
電話がかかってくると	2-69
音と画面の機能を設定するには	2-70
呼出音量を調節する	2-70
受話音量を調節する	2-71
スピーカー音量を調節する	2-73
呼出音を選ぶ	2-74
外線、内線の呼出音を別々に選ぶ	2-76
画面の色合いを調節する	2-77
画面の明るさを調節する	2-79
画面が消えるまでの時間を設定する	2-80
ボタンを押したときに音が鳴らないようにする	
（キータッチトーン設定）	2-82
ソフトウェアを最新の状態にするには	2-84
自動でアップデートする	2-84
手動でアップデートする	2-89
本商品の情報を見るには	2-91

3 準備・設定編

設置場所を確認します	3-2
接続形態を確認します	3-3
接続します	3-4
ルータを使用する場合	3-4
加入者網終端装置（CTU）とひかり電話対応アダプタを 使用する場合	3-6
加入者網終端装置（CTU）を使用する場合	3-8
無線で使用する場合	3-10
単独で使用する場合（ルータなし）	3-12
初期設定をします	3-14
設定ガイドを開始する	3-15
ご利用回線を選択する	3-18
FLET'S.Netを設定する	3-19

フレッツ・光プレミアム	
テレビ電話機能を設定する	3-27
プロバイダのテレビ電話サービスを設定する	3-29
初期ソフトウェアアップデートを実行する	3-32
無線LANを設定する	3-33
ネットワークの設定をするには	3-35
設定ガイドからネットワーク情報を設定する	3-35
メニューからネットワーク情報を設定する	3-36
自動で設定する	3-39
IPアドレスを設定する（PPPoE接続）	3-40
IPアドレスを設定する（手動設定）	3-41
無線LANのかんたん設定を行う	3-42

4 付録

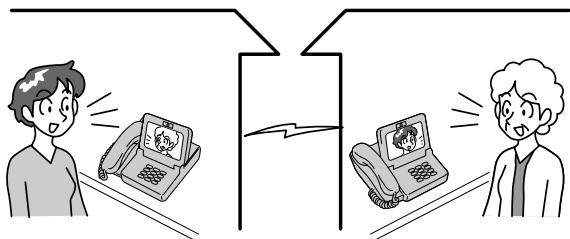
本商品を再起動するには	4-2
メニュー画面から再起動を行う	4-2
リセットボタンを押して再起動を行う	4-4
本商品をお買い求めのときの状態に戻すには	
（初期化）	4-5
本商品の電源を切るには	4-7
時刻を設定するには	4-9
映像のサイズを設定するには（映像帯域設定）	4-12
ご利用サービスを廃止／変更するには	4-14
FdNナンバーのみ廃止する	4-15
FLET'S.Netを廃止する	4-19
FdNナンバーを設定する	4-22
ネットワーク診断機能を利用するには	4-24
本商品に設定している情報を確認する	4-24
ネットワークに接続しているか確認する	4-26
フレッツ網への接続状態を確認する	4-29
ログを表示する	4-30
Q&A	4-31
故障かな？と思ったら	4-32
エラーメッセージ一覧	4-35
設定データ一覧	4-38
索引	4-40
仕様	4-42
操作早見表	4-43
保守サービスのご案内	4-45

フレッツフォン VP100でできること

本商品は、NTT東日本、NTT西日本が提供するブロードバンド回線とIPテレビ電話*サービスを利用して、音声・映像の双方向通信でテレビ電話を実現するIPテレビ電話機です。

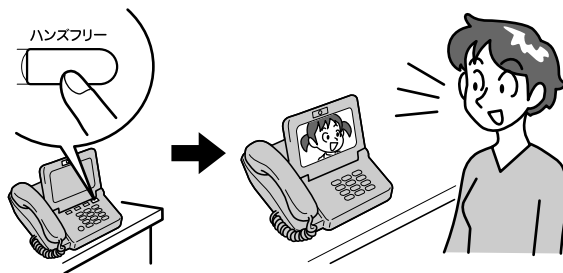
ひかり電話対応

NTT東日本、NTT西日本が提供するひかり電話サービスを利用して電話をご利用いただけます。また、テレビ電話も簡単にお楽しみいただけます。



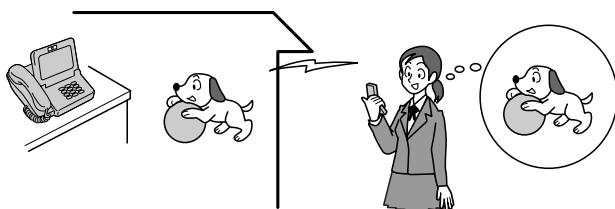
ハンズフリーでお話する

電話がかかってきたときにハンズフリーボタンを押すと、ハンドセットを持たずにお話しをすることができます。



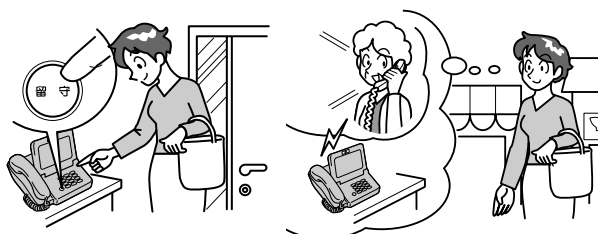
外出先から自宅の様子を見る（自動応答）

自動応答機能を利用すると、あらかじめ登録しておいた電話番号から電話がかかってきたとき、着信操作を行わなくても自動的に通話状態になります。外出先から自宅の様子を見ることができます。



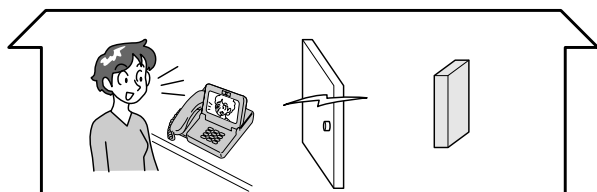
留守番電話

留守番電話機能を利用すると、留守中に電話がかかってきたとき、相手の方が用件を録音することができます。USBメモリを別途で用意いただくと、さらに多くの用件を録音することができます。



無線LANに対応

本商品の無線対応ルータと無線LANカードを利用して無線通信ができます。本商品と無線LANアクセスポイントの間のLANケーブルが不要になるので、一時的な移動も簡単です。



※IPテレビ電話とは

インターネットなどのIPネットワークを使って、お互いの映像を見ながらお話しできる電話のことです。

1

お使いになる前に

本商品をお使いになる前に、必ず本章をお読みください。

お使いいただくための準備	1-2
セットを確認してください	1-3
各部の名称	1-4
フレッツフォン VP100を使うには	
（NTT東日本エリアでご利用のお客様）	1-8
必要なものを準備します	
（NTT東日本エリアでご利用のお客様）	1-12
フレッツフォン VP100を使うには	
（NTT西日本エリアでご利用のお客様）	1-14
必要なものを準備します	
（NTT西日本エリアでご利用のお客様）	1-18
基本操作について	1-21
文字入力のしかた	1-25

本商品でIPテレビ電話を使用するには、次のような準備が必要となります。

セットを確認します (→P1-3)

箱の内容を調べ、足りないものがないか確認します。



必要なものを準備します (→P1-12、1-18)

接続・設定に必要な機器と情報を準備します。



設置場所を確認します (→P3-2)

適切な設置場所を確認します。



接続形態を確認します (→P3-3)

フローチャートを使って、適切な接続形態を確認します。



接続します (→P3-4～3-13)

回線に接続します。



初期設定をします (→P3-14)

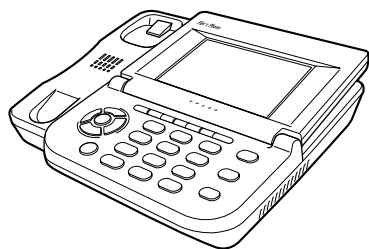
初めて使用するとき設定します。電源を入れると「設定ガイド」が開始されます。



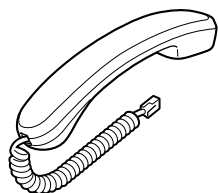
これで準備は完了です。

以下のものがすべてそろっていることを確認してください。

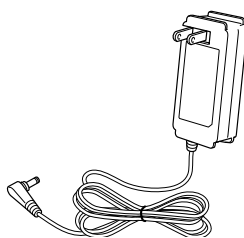
■本体



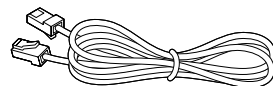
■付属品



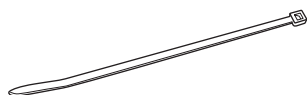
ハンドセット (1台)
(カールコードを含む)



ACアダプタ (1個)



LANケーブル (1本)



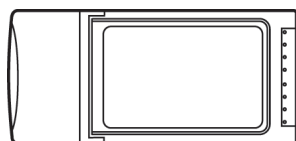
タイラップ (2本)
※ 1本は予備になります。



取扱説明書 (本書)

保証書 (1枚)

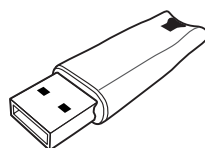
■別途で用意ください



無線LANカード

無線LAN通信をするには、無線LANカードが必要です。

無線LANカードは、本商品とアクセスポイントにそれぞれ1枚ずつ使用します。



USBメモリ

留守番電話の用件を多く保存するには、USBメモリが必要です。

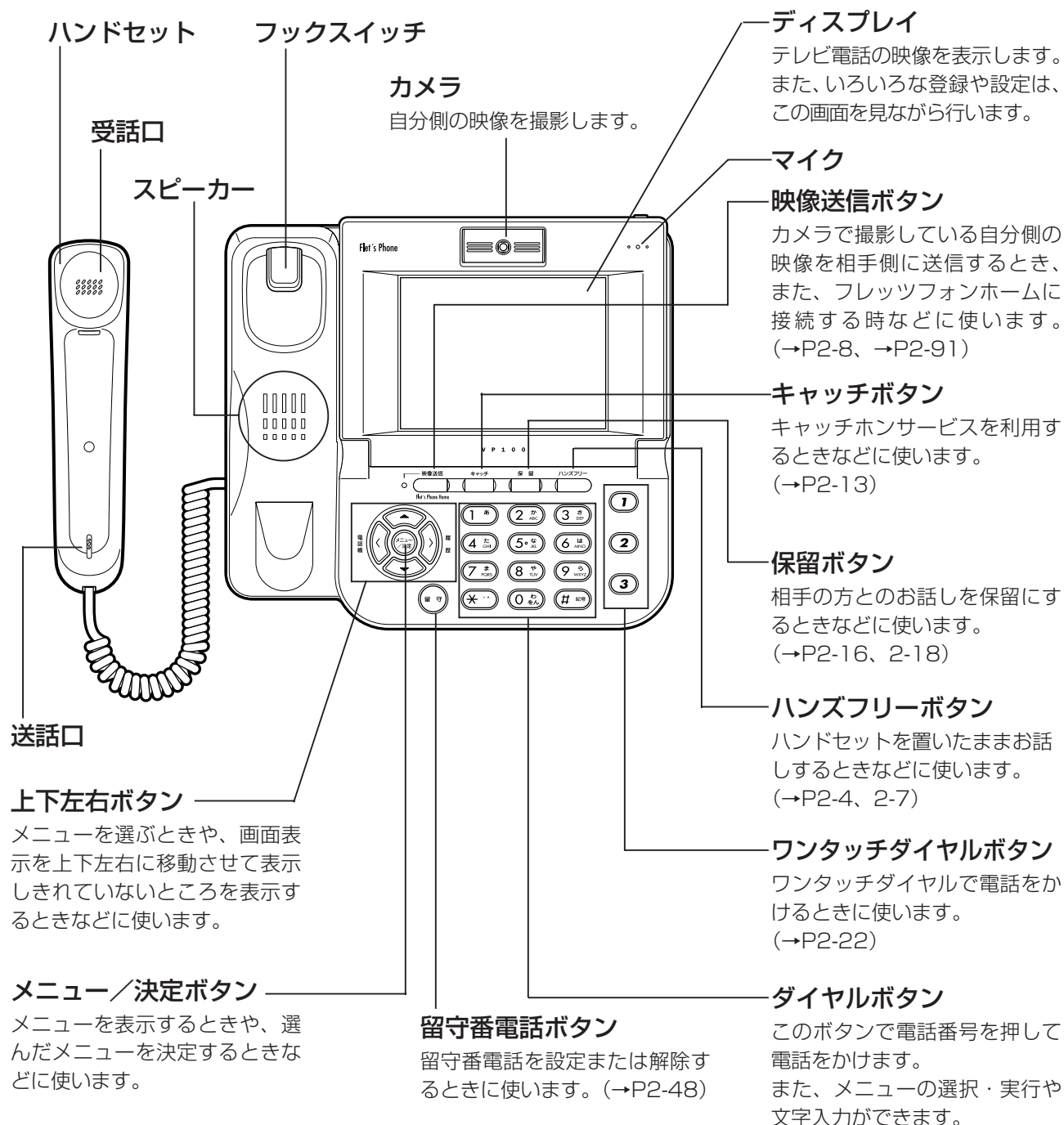


お知らせ

- 足りないものがあったり、取扱説明書に乱丁、落丁があった場合などは、当社のお問い合わせ先窓口またはお買い求めになった販売店へご連絡ください。
- 接続可能なルータや無線LANカードについては以下のURLでご確認ください。
〈NTT東日本〉 <http://www.ntt-east.co.jp/ced/>
〈NTT西日本〉 <http://www.ntt-west.co.jp/kiki/>

- すべてのUSBメモリとの接続を保証するものではありません。USBメモリの推奨品は、フレッツフォンホームでご確認ください。(→P2-91)
- USBポートにUSBメモリ以外は取り付けないでください。

[正面から見た図]



【ランプ表示（正面）】



映像送信ランプ

点灯（赤）	自分側の映像を相手側に送っているとき（→P2-8）
消えているとき	自分側の映像を相手側に送っていないとき

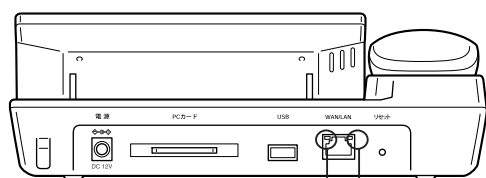
留守番電話ランプ

点灯（赤）	留守番電話を設定しているとき（有効になっているとき）（→P2-48）
点滅（赤）	留守番電話を設定しているとき（未確認メッセージあり）（→P2-49）
消えているとき	留守番電話を解除しているとき

状態ランプ

点灯（橙）	本商品が故障しているとき（→P4-34）、再起動中、電源が切れているとき
早い点滅（橙／緑交互）	本商品が故障しているとき（→P4-34）
遅い点滅（橙／緑交互）	ソフトウェアの更新中（→P2-84）
点灯（緑）	電源が入っているとき
消えているとき	ACアダプタが接続されていないか、ACアダプタが電源コンセントに接続されていないとき

【ランプ表示（背面）】



10BASE-T/100BASE-TXランプ

点灯（緑）	100BASE-TXで通信中
消えているとき	10BASE-Tで通信中

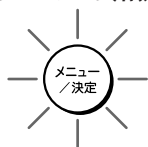
LINK/DATAランプ

点灯（緑）	LANで通信できる状態
点滅（緑）	LANで通信中の状態
消えているとき	LANで通信できない状態

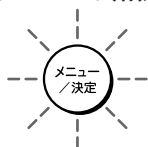
■ランプの表記について

この取扱説明書では、ランプについて下記のように表します。

ランプの点灯



ランプの点滅



ご利用になるIPテレビ電話サービスを確認してください。

IPテレビ電話サービスのご契約について

ひかり電話のテレビ電話をご利用になりたい方は

ひかり電話

今お使いの電話番号がそのまま使える！

ひかり電話の
「テレビ電話接続」



ブロードバンド回線

光ファイバーの超高速通信



ひかり電話の
「テレビ電話接続」

従量制の通信料で利用

今お使いの電話番号や電話機がそのまま使えるIP電話サービスです。「ひかり電話」ユーザとFOMAユーザとの間で、テレビ電話ができます。「ひかり電話」ユーザどうしのテレビ電話もできます。なお、テレビ電話を行うためには、別途、「ひかり電話」の付加サービス「テレビ電話接続」のお申し込みが必要です。

※NTT西日本エリアの方とのテレビ電話はできません。

音声パケットを優先的に扱うので、固定電話と同様の音声品質でご利用いただけます。

緊急通報（110番、118番、119番）、災害伝言ダイヤル「171」もご利用いただけます。

ひかり電話の詳細な内容は、以下のURLでご確認ください。

<http://www.ntt-east.co.jp/t/index.html>

ご利用上の注意

- ひかり電話でご利用いただけるブロードバンド回線は、「Bフレッツ」のみです。
- ひかり電話の付加サービス「テレビ電話接続」は、他のテレビ電話サービスと併用した利用はできません。

ひかり電話の動作およびサービス利用条件

- 本商品からの発信は、すべてテレビ電話での発信となり、お客様が音声通信を選択することはできません。ただし、相手先の電話機がテレビ電話機能を持たない場合には、音声通信での接続となります。なお、音声通信として接続された場合には、テレビ電話通話料ではなく音声通話料が適用されます。
- 本商品には、通話開始時の映像送信設定機能がありますが、通話開始時OFFを選択しても、テレビ電話通話時にはテレビ電話通話料が適用されます。なお、お買い求め時は、通話開始時OFFの設定となっています。
- ひかり電話の付加サービスとして「テレビ電話接続」を契約した場合は、以下の機能はご利用になれません。
 - ・ キャッチホン機能
 - ・ 内線転送機能（映像あり通話からの転送はできません。）

その他のIPテレビ電話サービスをご利用になりたい方は

IPテレビ電話サービス 定額でテレビ電話が使い放題 FLET'S .Net または 全国でテレビ電話が通話可能 プロバイダの IPテレビ電話サービス	+	ブロードバンド回線 光ファイバーの超高速通信 B FLET'S または 電話回線を利用して手軽にスタート FLET'S ADSL
--	---	---

●利用できるIPテレビ電話サービス

FLET'S .Net	月額利用料のみの定額制（NTT東日本エリア限定） FdNナンバーは、高品質なIPテレビ電話を月額利用料のみでご利用いただけるサービスです。 NTT東日本エリア内の「FdNナンバー」サービスをご利用の方と通話ができます。 http://flets.com/dotnet/index.html
または	
プロバイダの IPテレビ電話サービス	従量制の通話料で利用（全国で利用可能） プロバイダが提供するIPテレビ電話サービスは、「050」から始まる番号を利用するサービスです。また、ご利用いただくには、本商品対応各プロバイダとのインターネット接続サービスのご契約が必要となります。本商品対応プロバイダの最新情報は以下のURLでご確認ください。 http://www.fletsphone.com/start/service_isp03.html

ご利用上の注意

- IPテレビ電話サービスでご利用いただけるブロードバンド回線は、「Bフレッツ」または「フレッツ・ADSL」のみです。
- FdNナンバーとプロバイダのIPテレビ電話サービス間の通話はできません。
- プロバイダのIPテレビ電話サービスを利用するには、事前に本商品対応プロバイダのインターネット接続サービスにお申し込みいただく必要があります。
- プロバイダのIPテレビ電話サービスを利用する際の通信料は、各プロバイダにより異なります。ご利用前に必ずプロバイダにご確認ください。
- 本商品対応プロバイダであっても、異なるプロバイダ間では通信できないことがあります。詳しくは各プロバイダにお問い合わせください。

電話をかけられる相手先について

ご契約されているIPテレビ電話サービスによりテレビ電話ができる相手先が異なります。

発信元	発信先	ひかり電話の「テレビ電話接続」	FdNナンバー	プロバイダのIPテレビ電話サービス
ひかり電話の「テレビ電話接続」		○*	×	△
FdNナンバー		×	○	×
プロバイダのIPテレビ電話サービス		△	×	○

○：テレビ電話ができます。 △：音声による通話ができます。 ×：通話できません。

※NTT西日本エリアの方とのテレビ電話はできません。

ひかり電話の「テレビ電話接続」

	発信先の電話番号	発信できるサービス
一般の電話番号	例：03-XXXX-XXXX 3XXX-XXXX	ひかり電話で発信できます（映像ありの通話もできます）。市内局番からのダイヤルでも発信できます。
050番号（IP電話）	例：050-XXXX-XXXX	ひかり電話で発信できます（音声のみの通話になります）。 ※ただし、異なるひかり電話サービスのご利用者とは通話できない場合があります。
0X0（050以外）	例：携帯電話（090） PHS（070） 国際電話（010）など	ご契約されたひかり電話サービスのサービス内容により異なります。 【ダイヤルした番号がひかり電話サービス対象の場合】 ひかり電話で発信できます。 【ダイヤルした番号がひかり電話サービス対象外の場合】 一般の加入電話でおかけください。
00XY	例：0036などで始まる番号	
0XY0（市外局番以外）	例：0120、0570などで始まる番号	
1XY	110番、118番、119番の緊急電話番号	ひかり電話で発信できます（音声のみの通話になります）。
	184/186番＋一般の電話番号 ※一般の電話番号には市外局番を付けて発信してください。	ひかり電話で発信できます（音声のみの通話になります）。
	その他の「1」で始まる番号 例：106番や177番 ※契約されたひかり電話のサービス内容により異なります。	【ダイヤルした番号がひかり電話サービス対象の場合】 (例：177番など) ひかり電話で発信できます。 【ダイヤルした番号がひかり電話サービス対象外の場合】 (例：106番など) 一般の加入電話でおかけください。
#で始まる4桁のダイヤル		一般の加入電話でおかけください。

FdNナンバー

	発信先の電話番号	発信できるサービス
FdNナンバー	例：XXXXXX	NTT東日本のFdNナンバーで発信できます。 ※同じサービスを利用している相手のみ発信できます。
1XY	110番、118番、119番の緊急電話番号	一般の加入電話でおかけください。
	184/186番＋FdNナンバー	NTT東日本のFdNナンバーで発信できます。 ※同じサービスを利用している相手のみ発信できます。
上記以外で始まるダイヤル		一般の加入電話でおかけください。

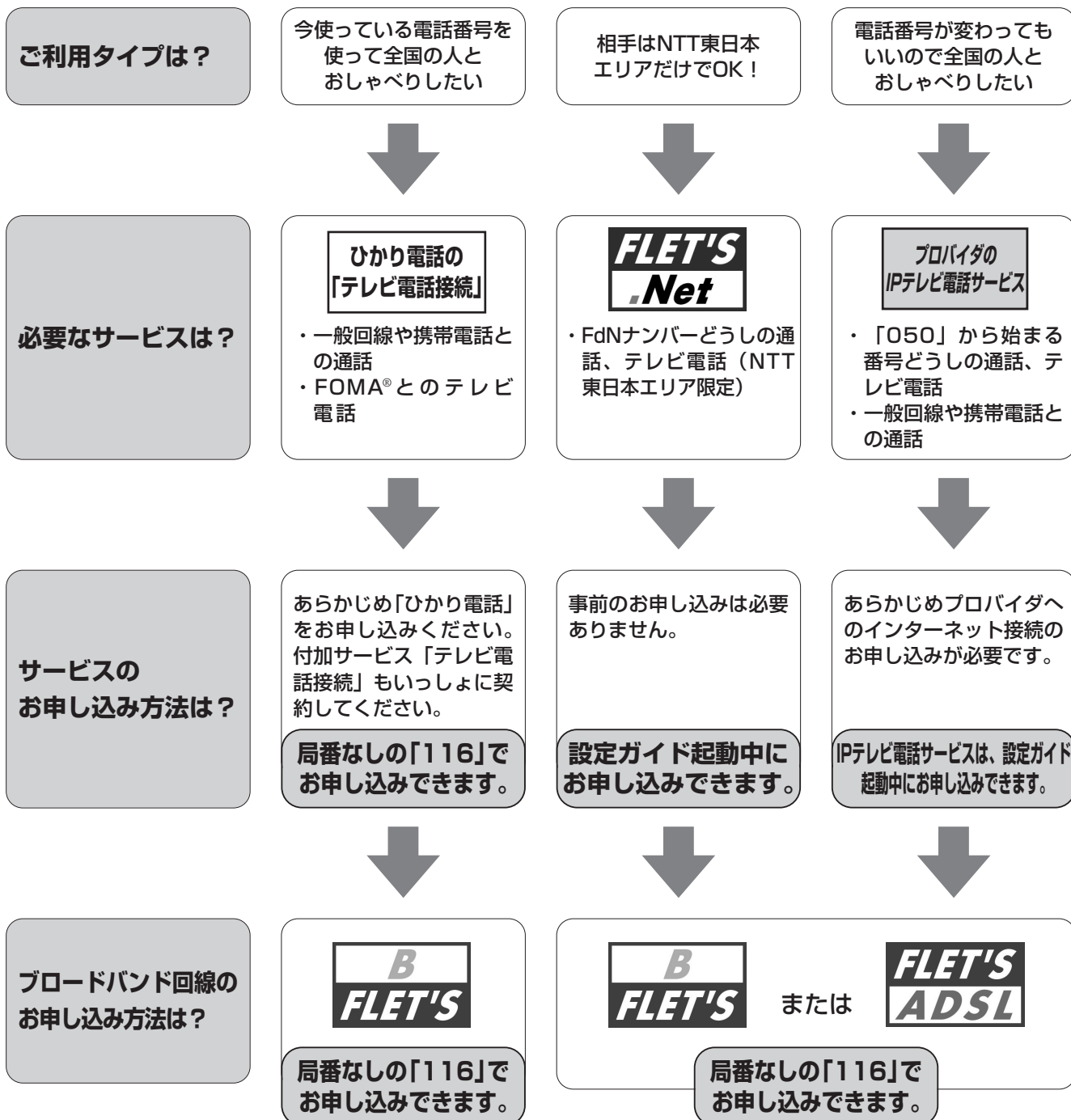
プロバイダのIPテレビ電話サービス

	発信先の電話番号	発信できるサービス
一般の電話番号	例：03-XXXX-XXXX 06-XXXX-XXXX	IPテレビ電話サービスで発信できます（音声のみの通話になります）。 市外局番からダイヤルしてください。
050番号（IP電話）	例：050-XXXX-XXXX	IPテレビ電話サービスで発信できます（映像ありの通話もできます）。 ※ただし、異なるプロバイダのIPテレビ電話サービスのご利用者とは通話できない場合があります。
0X0	例：携帯電話（090） PHS（070） 国際電話（010）など	ご契約されたIPテレビ電話サービスのサービス内容により異なります。 【ダイヤルした番号がIPテレビ電話サービス対象の場合】 IPテレビ電話サービスで発信できます。
00XY	例：0036などで始まる番号	【ダイヤルした番号がIPテレビ電話サービス対象外の場合】 一般の加入電話でおかけください。
0XY0（市外局番以外）	例：0120、0570などで始まる番号	一般の加入電話でおかけください。
1XY	110番、118番、119番の緊急電話番号	一般の加入電話でおかけください（音声のみの通話になります）。
	184/186番＋一般の電話番号 ※一般の電話番号には市外局番を付けて発信してください。	IPテレビ電話サービスで発信できます（音声のみの通話になります）。
	その他の「1」で始まる番号 例：177番など ※市外局番を付けて発信してください。	一般の加入電話でおかけください。 ※ただし、番号によっては市外局番を付けることでIPテレビ電話サービスで発信できる場合があります。
#で始まるダイヤル		一般の加入電話でおかけください。

必要なものを準備します (NTT東日本エリアでご利用のお客様)

IPテレビ電話サービスのご確認・ご契約はお済みですか

ご利用タイプを選び、必要なサービスを確認します。確認ができたならサービス、ブロードバンド回線のお申し込みをしてください。



💡 ワンポイント

●NTT東日本エリアとは

北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、山梨県および長野県の計17都道府県エリアです。



お知らせ

- FdNナンバーは、一般の加入電話、携帯電話、PHS、IP電話など、FdNナンバーご契約以外の方との通話はできません。
- ご利用中またはご利用予定のプロバイダが、NTT東日本が提供する「IPテレビ電話対応機器」に対応したIPテレビ電話サービスを提供しているかを、事前にご確認ください。

- IPテレビ電話サービスのサービス内容は、プロバイダによって異なります。サービス提供条件、料金体系、お申込み方法、サービス対象電話（かけることのできる電話番号）などについて、ご契約されるプロバイダに事前にご確認ください。
- プロバイダとご契約されても、プロバイダ側の工事が完了するまではご利用になれません。

1 お使いになる前に

必要なものを準備します（NTT東日本エリアでご利用のお客様）

設定に必要な情報は準備されていますか

本商品の初期設定を始める前に、お手もとにご用意ください。

ご利用のサービス

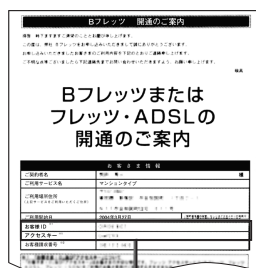
ひかり電話の「テレビ電話接続」



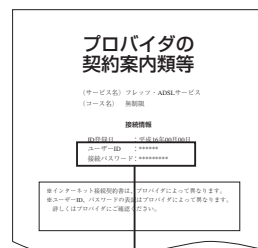
プロバイダのIPテレビ電話サービス

用意する書類

用意する書類はありません。



このお客様IDとアクセスキーを使用します。



このユーザ名またはIDとパスワードを使用します（プロバイダによって異なります）。

接続に必要な機器はそろっていますか

ご利用になるIPテレビ電話サービスや接続する環境により、必要な機器が異なります。

ご利用のサービス

ブロードバンド回線

必要な機器

ひかり電話の「テレビ電話接続」



回線終端装置（ONU）または VDSLモデム + ルータ



回線終端装置（ONU）または VDSLモデム + ルータ

回線終端装置（ONU）または VDSLモデム

プロバイダのIPテレビ電話サービス



ADSLモデム + ルータ

ADSLモデム

ご利用になるIPテレビ電話サービスを確認してください。

IPテレビ電話サービスのご契約について

ひかり電話のテレビ電話をご利用になりたい方は

ひかり電話

今お使いの電話番号がそのまま使える！

ひかり電話の
「テレビ電話」



ブロードバンド回線

超高速光ブロードバンドサービス



または

光ファイバーの超高速通信



ひかり電話の
「テレビ電話」

従量制の通信料で利用

今お使いの電話番号や電話機がそのまま使えるIPテレビ電話サービスです。音声パケットを優先的に扱うので、固定電話と同様の音声品質でご利用いただけます。

「ひかり電話」ユーザとFOMAユーザとの間で、テレビ電話ができます。

「ひかり電話」ユーザどうしのテレビ電話もできます。なお、テレビ電話を行うためには、別途、「ひかり電話」の付加サービス「テレビ電話」のお申し込みが必要です。

※NTT東日本エリアの方とのテレビ電話はできません。

緊急通報（110番、118番、119番）、災害伝言ダイヤル「171」もご利用いただけます。

ひかり電話の詳細な内容は、以下のURLでご確認ください。

<http://flets-w.com/hikaridenwa/index.html>

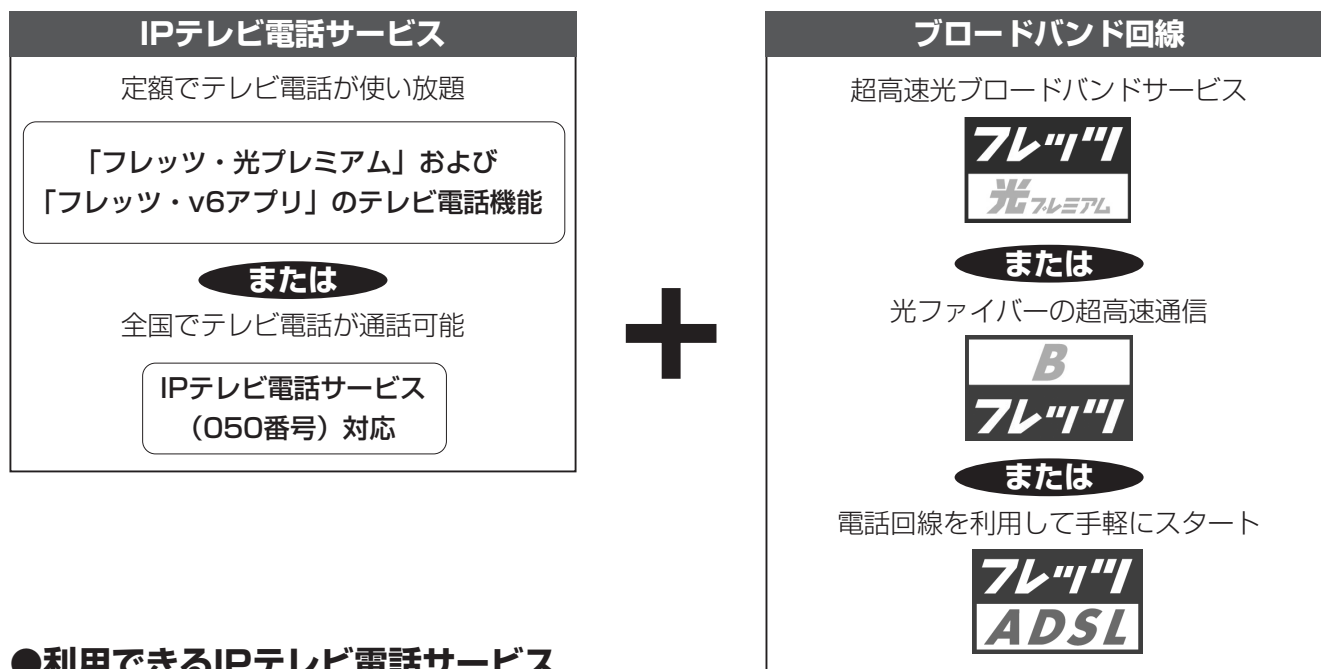
ご利用上の注意

- ひかり電話でご利用いただけるブロードバンド回線は、「フレッツ・光プレミアム」または「Bフレッツ」のみです。
- ひかり電話の付加サービス「テレビ電話」は、他のテレビ電話サービスと併用した利用はできません。

ひかり電話の動作およびサービス利用条件

- 本商品からの発信は、すべてテレビ電話での発信となり、お客様が音声通信を選択することはできません。ただし、相手先の電話機がテレビ電話機能を持たない場合には、音声通信での接続となります。なお、音声通信として接続された場合には、テレビ電話通話料ではなく音声通話料が適用されます。
- 本商品には、通話開始時の映像送信設定機能がありますが、通話開始時OFFを選択しても、テレビ電話通話時にはテレビ電話通話料が適用されます。なお、お買い求め時は、通話開始時OFFの設定となっています。
- ひかり電話の付加サービスとして「テレビ電話」を契約した場合は、以下の機能はご利用になれません。
 - ・キャッチホン機能
 - ・内線転送機能（映像あり通話からの転送はできません。）

その他のIPテレビ電話サービスをご利用になりたい方は



●利用できるIPテレビ電話サービス

「フレッツ・光プレミアム」 および 「フレッツ・v6アプリ」 テレビ電話機能	月額利用料のみの定額制（NTT西日本エリア限定） 「フレッツ・光プレミアム」および「フレッツ・v6アプリ」のテレビ電話機能は、高品質なIPテレビ電話を月額利用料のみでご利用いただけるサービスです。NTT西日本エリア内の「フレッツ・光プレミアム」および「フレッツ・v6アプリ」のテレビ電話機能をご利用の方と通話ができます。サービスの詳細な内容は、以下のURLでご確認ください。 フレッツ・光プレミアム http://flets-w.com/hikari-p/index.html フレッツ・v6アプリ http://flets-w.com/v6ap/index.html
または IPテレビ電話サービス (050番号) 対応	従量制の通話料で利用（全国で利用可能） プロバイダが提供するIPテレビ電話サービスは、「050」から始まる番号を利用するサービスです。また、ご利用いただくには、本商品対応各プロバイダとのインターネット接続サービスのご契約が必要となります。本商品対応プロバイダの最新情報は、局番なしの116番へお問い合わせください。

ご利用上の注意

- IPテレビ電話サービスでご利用いただけるブロードバンド回線は、「フレッツ・光プレミアム」、「Bフレッツ」または「フレッツ・ADSL」のみです。
- 「フレッツ・光プレミアム」および「フレッツ・v6アプリ」のテレビ電話機能とプロバイダのIPテレビ電話サービス間の通話はできません。
- プロバイダのIPテレビ電話サービスを利用するには、事前に本商品対応プロバイダのインターネット接続サービスにお申し込みいただく必要があります。
- プロバイダのIPテレビ電話サービスを利用する際の通信料は、各プロバイダにより異なります。ご利用前に必ずプロバイダにご確認ください。
- 本商品対応プロバイダであっても、異なるプロバイダ間では通信できないことがあります。くわしくは各プロバイダにお問い合わせください。

電話をかけられる相手先について

ご契約されているIPテレビ電話サービスにより、テレビ電話ができる相手先が異なります。

発信元	発信先	ひかり電話の「テレビ電話」	「フレッツ・光プレミアム」および「フレッツ・v6アプリ」のテレビ電話機能	IPテレビ電話サービス(050番号)対応
ひかり電話の「テレビ電話」		○*	×	△
「フレッツ・光プレミアム」および「フレッツ・v6アプリ」のテレビ電話機能		×	○	×
IPテレビ電話サービス(050番号)対応		△	×	○

○：テレビ電話ができます。 △：音声による通話ができます。 ×：通話できません。

※NTT東日本エリアの方とのテレビ電話はできません。

ひかり電話の「テレビ電話」

	発信先の電話番号	発信できるサービス
一般の電話番号	例：06-XXXX-XXXX 6XXX-XXXX	ひかり電話で発信できます（映像ありの通話もできます）。市内局番からのダイヤルでも発信できます。
050番号（IP電話）	例：050-XXXX-XXXX	ひかり電話で発信できます（音声のみの通話になります）。 ※ただし、異なるひかり電話サービスのご利用者とは通話できない場合があります。
0X0（050以外）	例：携帯電話（090） PHS（070） 国際電話（010）など	ご契約されたひかり電話サービスのサービス内容により異なります。 【ダイヤルした番号がひかり電話サービス対象の場合】 ひかり電話で発信できます。
00XY	例：0036などで始まる番号	【ダイヤルした番号がひかり電話サービス対象外の場合】 一般の加入電話でおかけください。
0XY0（市外局番以外）	例：0120、0570などで始まる番号	
1XY	110番、118番、119番の緊急電話番号	ひかり電話で発信できます（音声のみの通話になります）。
	184/186番＋一般の電話番号 ※一般の電話番号には市外局番を付けて発信してください。	ひかり電話で発信できます（音声のみの通話になります）。
	その他の「1」で始まる番号 例：106番や177番 ※契約されたひかり電話のサービス内容により異なります。	【ダイヤルした番号がひかり電話サービス対象の場合】 (例：177番など) ひかり電話で発信できます。 【ダイヤルした番号がひかり電話サービス対象外の場合】 (例：106番など) 一般の加入電話でおかけください。
#で始まる4桁のダイヤル		一般の加入電話でおかけください。

「フレッツ・光プレミアム」および「フレッツ・v6アプリ」のテレビ電話機能

	発信先の電話番号	発信できるサービス
ダイヤルナンバー	例：XXXXXXX	NTT西日本のダイヤルナンバーで発信できます。 ※同じサービスを利用している相手のみ発信できます。
1XY	110番、118番、119番の緊急電話番号	一般の加入電話でおかけください。
	184/186番+ダイヤルナンバー	NTT西日本のダイヤルナンバーで発信できます。 ※同じサービスを利用している相手のみ発信できます。
上記以外で始まるダイヤル		一般の加入電話でおかけください。

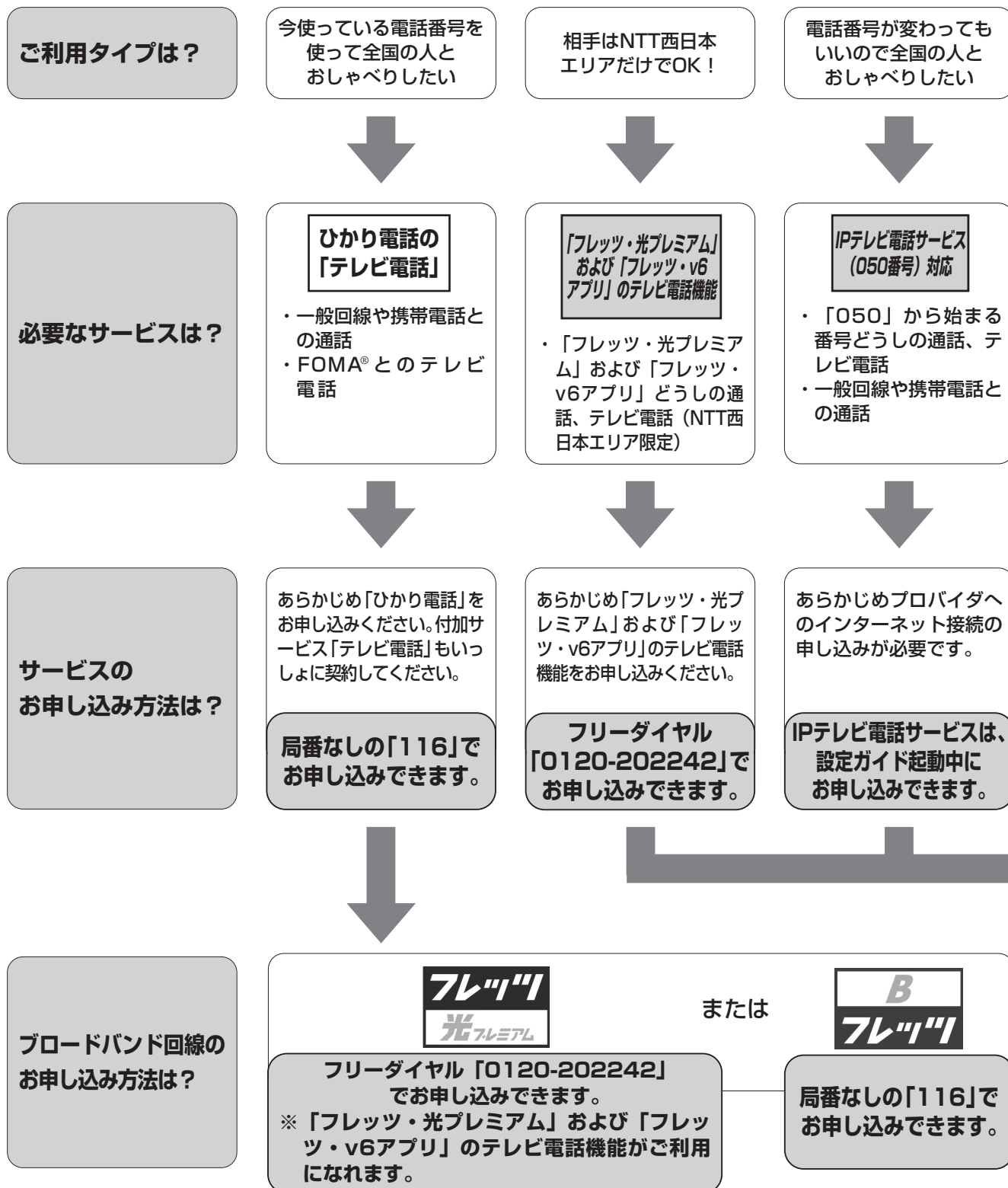
IPテレビ電話サービス（050番号）対応

	発信先の電話番号	発信できるサービス
一般の電話番号	例：03-XXXX-XXXX 06-XXXX-XXXX	IPテレビ電話サービスで発信できます（音声のみの通話になります）。 市外局番からダイヤルしてください。
050番号（IP電話）	例：050-XXXX-XXXX	IPテレビ電話サービスで発信できます（映像ありの通話もできます）。 ※ただし、異なるプロバイダのIPテレビ電話サービスのご利用とは通話できない場合があります。
0X0	例：携帯電話（090） PHS（070） 国際電話（010）など	ご契約されたIPテレビ電話サービスのサービス内容により異なります。 【ダイヤルした番号がIPテレビ電話サービス対象の場合】 IPテレビ電話サービスで発信できます。
00XY	例：0036などで始まる番号	【ダイヤルした番号がIPテレビ電話サービス対象外の場合】 一般の加入電話でおかけください。
0XY0（市外局番以外）	例：0120、0570などで始まる番号	一般の加入電話でおかけください。
1XY	110番、118番、119番の緊急電話番号	一般の加入電話でおかけください（音声のみの通話になります）。
	184/186番+一般の電話番号 ※一般の電話番号には市外局番を付けて発信してください。	IPテレビ電話サービスで発信できます（音声のみの通話になります）。
	その他の「1」で始まる番号 例：177番など ※市外局番を付けて発信してください。	一般の加入電話でおかけください。 ※ただし、番号によっては市外局番を付けることでIPテレビ電話サービスで発信できる場合があります。
#で始まるダイヤル		一般の加入電話でおかけください。

必要なものを準備します (NTT西日本エリアでご利用のお客様)

IPテレビ電話サービスのご確認・ご契約はお済みですか

ご利用タイプを選び、必要なサービスを確認します。確認ができたならサービス、ブロードバンド回線のお申し込みをしてください。





富山県、石川県、福井県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県および沖縄県の計30府県エリアです。



- 「フレッツ・光プレミアム」および「フレッツ・v6アプリ」のテレビ電話機能は、ご契約以外の方と通話できません。
- ご利用中または利用予定のプロバイダが、NTT西日本が提供する「IPテレビ電話対応機器」に対応したIPテレビ電話サービスを提供しているかを、事前にご確認ください。
- IPテレビ電話サービスのサービス内容は、プロバイダによって異なります。サービス提供条件、料金体系、お申込み方法、サービス対象電話（かけることのできる電話番号）などについて、ご契約されるプロバイダに事前にご確認ください。
- プロバイダとご契約されても、プロバイダ側の工事が完了するまではご利用になれません。

必要なものを準備します（NTT西日本エリアでご利用のお客様）



※「フレッツ・光プレミアム」および「フレッツ・v6アプリ」のテレビ電話機能がご利用になれます。

局番なしの「116」でお申し込みできます。

局番なしの「116」でお申し込みできます。

必要なものを準備します (NTT西日本エリアでご利用のお客様)

設定に必要な情報は準備されていますか

本商品の初期設定を始める前に、お手もとにご用意ください。

ご利用のサービス

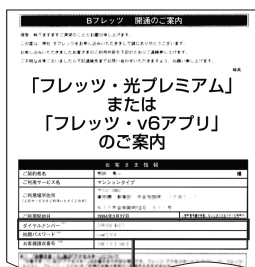
ひかり電話の「テレビ電話」

「フレッツ・光プレミアム」および「フレッツ・v6アプリ」のテレビ電話機能

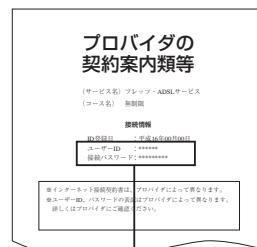
IPテレビ電話サービス (050番号) 対応

用意する書類

用意する書類はありません。



このダイヤルナンバーと初期パスワードを使用します。



このユーザ名またはIDとパスワードを使用します（プロバイダによって異なります）。

接続に必要な機器はそろっていますか

ご利用になるIPテレビ電話サービスや接続する環境により、必要な機器が異なります。

ご利用のサービス

ブロードバンド回線

必要な機器

ひかり電話の「テレビ電話」



回線終端装置 (ONU)

または VDSLモデム

+

加入者網終端装置 (CTU)

+

ひかり電話対応アダプタ



回線終端装置 (ONU)

または VDSLモデム

+

ルータ

「フレッツ・光プレミアム」および「フレッツ・v6アプリ」のテレビ電話機能



回線終端装置 (ONU)

または VDSLモデム

+

加入者網終端装置 (CTU)



回線終端装置 (ONU)

または VDSLモデム

+

VDSLモデム

+

ルータ

IPテレビ電話サービス (050番号) 対応



ADSLモデム

ADSLモデム

+

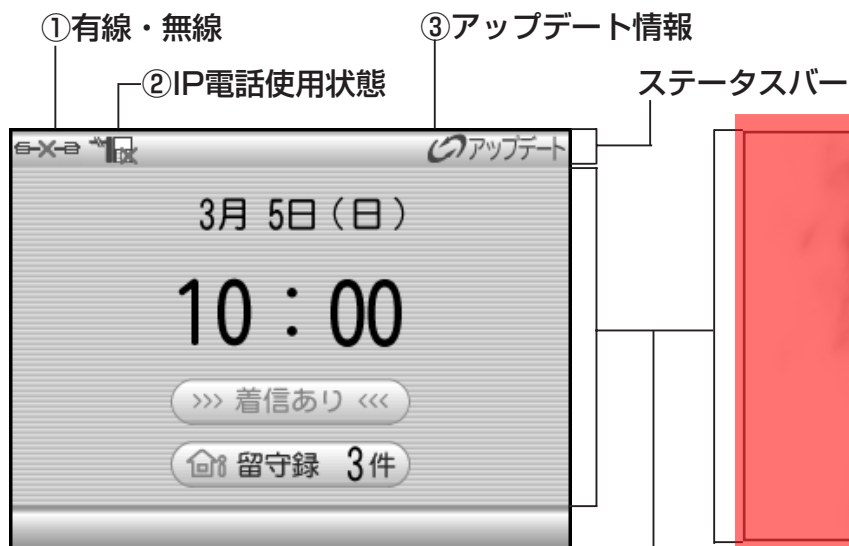
ルータ

画面について

何も操作をしていないときやお話し中、機能を設定しているときは、次の各画面が表示されます。

●電話画面

操作をしていないときの画面です。



●通話中画面

お話し中に表示される画面です。

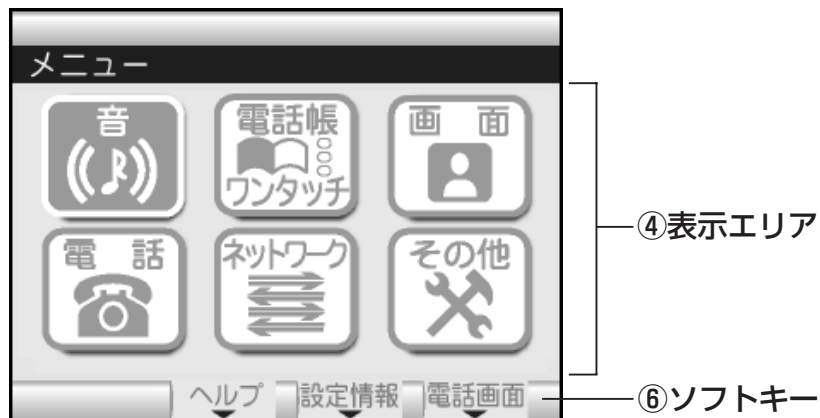


④表示エリア

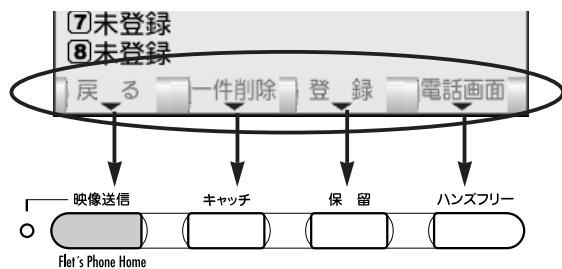
⑤子画面

●機能設定画面

機能設定中に表示される画面です。



項 目	説 明
①有線・無線	有線または無線LANが接続されていない場合に表示されます。 また、本商品で有線または無線LAN通信のどちらを使用しているかを確認することができます。  (有線)：加入者網終端装置 (CTU) やルータと接続しているLANケーブルが外れています。(→P4-35)  (無線)：アクセスポイントと通信できない状態です。(→P4-35)

項 目	説 明	
②IP電話使用状態	IP電話が使用できない場合に表示されます。  (電話設定中) : IP電話ができるかを現在確認中です。しばらくお待ちください。  (電話設定失敗) : IP電話が利用できません。 エラーメッセージが表示されます。「エラーメッセージ一覧」を参照してください。(→P4-36)	
③アップデート情報	 本商品を最新の状態にするための更新情報があることをお知らせします。(→P2-84)	
④表示エリア	電話画面	日付(月・日・曜日)、時刻(時・分)、不在着信表示、留守録件数が表示されます。
	通話中画面	テレビ電話通話中は、相手の映像が表示されます。 音声のみの通話時は、相手の電話番号や名前(電話帳登録時のみ)が表示されます。
	機能設定画面	設定画面、ヘルプが表示されます。
⑤子画面	相手側に送っている映像(自分の映像や、保留中または映像を送っていない状態であることを示す画像)が表示されます。表示可能な場所は画面左上、画面右上です。また、表示させないこともできます。	
⑥ソフトキー	画面下の対応するボタンを押すことにより、機能を実行することができます。画面により操作できる内容が異なります。 たとえば、下の例で「戻る」を実行するときは映像送信ボタンを押します。  <ソフトキーの表示例>  「戻る」 : 1つ前の状態に戻ります。  「ヘルプ」 : 選んでいる機能項目の説明を表示します。  「電話画面」 : 何も操作をしていない画面(電話画面)に戻ります。	



ワンポイント

●一定時間、何も操作をしないと

設定した時間内に何も操作しないと、画面が消えます。お買い求め時は、3分間操作しないと、画面が消えるように設定されています。(→P2-80)

●ステータスバーとは

本商品の各種状態をアイコン(上記の①～③)で表示する部分です。

ヘルプの使いかた

わからないことがあったときは、キャッチボタン（ヘルプ）を押してヘルプを参照することができます。参照できるときは、ソフトキーに「ヘルプ」が表示されます。

<例>メニュー画面でヘルプを参照する場合

1

電話画面から、《メニュー／決定》を押す。



メニュー画面が表示されます。

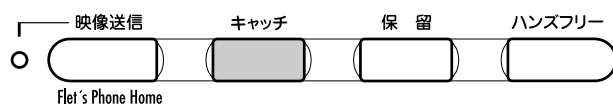
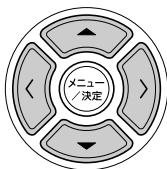


2

上下左右ボタンで【電話帳・ワンタッチ】

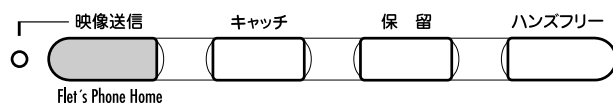


を選び、キャッチボタン（ヘルプ）を押す。

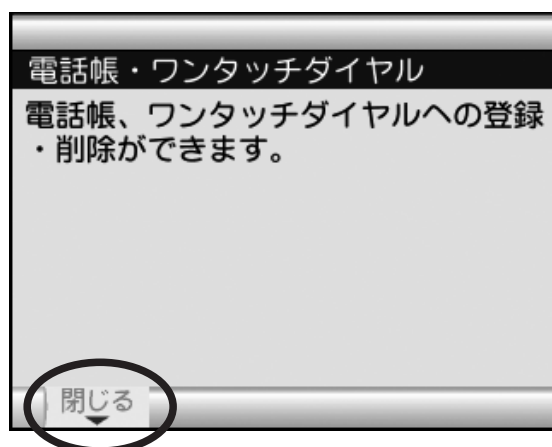


3

ヘルプを読み終わったら、映像送信ボタン（閉じる）を押す。



メニュー画面に戻ります。



エラーメッセージ画面

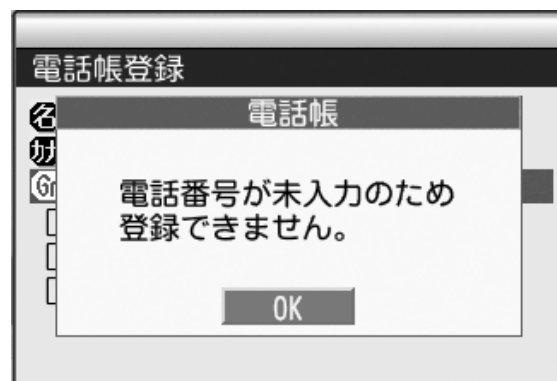
操作を間違えたときなど、エラーメッセージ画面が表示されます。

<例> 電話番号を入力しないで電話帳登録した場合

- 1 エラーメッセージ画面を閉じるには、《メニュー／決定》を押す。



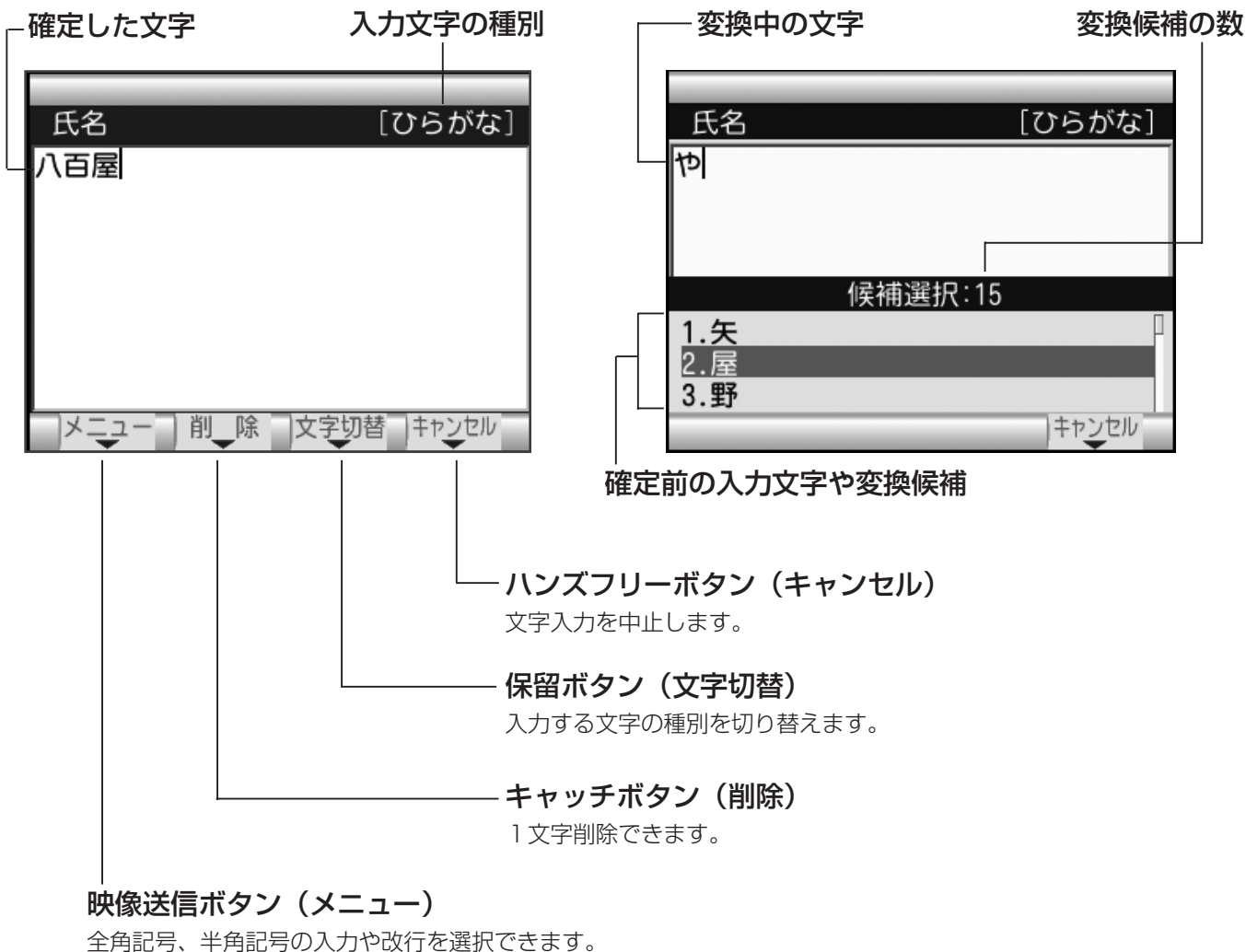
参照 → 「エラーメッセージ一覧」(P4-35)



ワンタッチダイヤルや電話帳の登録などで、文字を入力することがあります。文字の入力が必要になったときは、このページを参照してください。

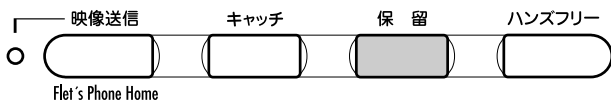
文字入力画面について

文字入力時は、次の画面が表示されます。



入力文字の種別を切り替える

文字入力画面では、保留ボタン（文字切替）を押すたびに文字の種別が切り替わります。



→ ひらがな → 半角カナ → 全角カナ → 半角英字 → 全角英字 → 半角数字 → 全角数字

1 お使いになる前に 文字入力のしかた

1 お使いになる前に

文字入力のしかた

文字を入力する

下の表のように、1つのボタンに複数の文字が割り当てられています。文字を入力するときは、適切な入力文字の種類別に切り替え、目的の文字が割り当てられたボタンを押します。詳しくは「文字の入力例」(→ P1-28)を参照してください。

■ダイヤルボタンの文字割り当て一覧

文字の種類 ダイヤルボタン	ひらがな	半角カナ	全角カナ	半角英字	全角英字	半角数字	全角数字	IPアド※
1 あ	あいうえお あいうえお	アイウエオ アイウエオ	アイウエオ アイウエオ	@./:-_	@./:~ - _	1	1	1
2 か	かきくけこ	カキクケコ	カキクケコ	abc ABC	abc ABC	2	2	2
3 さ	さしすせそ	サシスセソ	サシスセソ	def DEF	def DEF	3	3	3
4 た	たちつてと っ	タチツテト ッ	タチツテト ッ	ghi GHI	ghi GHI	4	4	4
5 な	なにぬねの	ナニヌネノ	ナニヌネノ	jkl JKL	jkl JKL	5	5	5
6 は	はひふへほ	ハヒフヘホ	ハヒフヘホ	mno MNO	mno MNO	6	6	6
7 ま	まみむめも	マミムメモ	マミムメモ	pqr PQRS	pqr PQRS	7	7	7
8 や	やゆよ やゆよ	ヤユヨ ヤユヨ	ヤユヨ ヤユヨ	tuv TUV	tuv TUV	8	8	8
9 ら	らりるれろ	ラリルレロ	ラリルレロ	wxyz WXYZ	wxyz WXYZ	9	9	9
0 わん	わをんわ	ワヲン	ワヲン	' ; () , " & ¥ 半角空白	' ; () , " & ¥ 全角空白	0	0	0
* ..	" °	" °	" °			*	*	
# 記号	全角空白 - , . ! ?	半角空白 -, . ! ?	全角空白 - , . ! ?	半角空白 -, . ! ?	全角空白 - , . ! ?	#	#	. (ドット)

※入力文字の種類「IPアド」は、IPアドレスを入力するときに選べます。

ひらがな、全角カナが未確定状態のとき、(*) 押下によって、その直の文字に濁点・半濁点の付与もしくは大文字小文字への変換ができます。

💡 ワンポイント

●IPアドレスとは

インターネット上で機器を特定するための番号です。
たとえば、「192.168.1.1」のようにピリオドを挟んだ4つの数字(0~255)で表します。

文字の入力例

■ひらがなを入力する

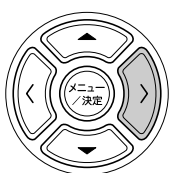
<例> 「あかか」

1

入力文字の種別が「ひらがな」の状態で、「あか」を入力し、右ボタンを押す。

あ：(1 あ) を1回押す。

か：(2 か ABC) を1回押す。



カーソルが右に移動します。

氏名	[ひらがな]
あか	

2

「か」を入力する。

か：(2 か ABC) を1回押す。

氏名	[ひらがな]
あかか	

3

《メニュー/決定》(メニュー/決定) を押す。



入力した文字が確定されます。

氏名	[ひらがな]
あかか	

(次ページへ続く)

■漢字に変換する

<例>秋

1

入力文字の種別が「ひらがな」の状態で、「あき」を入力する。

あ：(1 あ) を1回押す。

き：(2 か ABC) を2回押す。

一度に変換できる文字数は12文字までです。

氏名	[ひらがな]
あき	

2

下ボタンを押す。



第一変換候補が表示されます。

希望の漢字が表示された場合は、手順5へ進みます。

氏名	[ひらがな]
安芸	

3

下ボタンを押す。



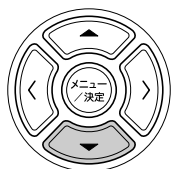
候補の一覧が表示されます。

氏名	[ひらがな]
安芸	
候補選択:14	
1. 安芸	
2. 亜紀	
3. 安岐	

(次へ)

4

希望の漢字が表示されるまで下ボタンを押す。



候補の一覧が表示されます。

氏名	[ひらがな]
安芸	
候補選択: 14	
2.	亜紀
3.	安岐
4.	秋

5

《メニュー／決定》を押す。



入力した文字が確定されます。

氏名	[ひらがな]
秋	

(ページへ続く)



ワンポイント

●希望の漢字に変換できないときは

カタカナ、英字、数字から漢字に変換することはできません。

濁点～や半濁点をはずす、読みを変える（音読み／訓読み）、1文字ずつ変換するなどして入力し直してください。

■カタカナ（全角）を入力する

<例>アキ

1

入力文字の種別を「全角カナ」にする。

入力文字の種別が「全角カナ」になるまで、保留ボタン（文字切替）を繰り返し押します。

2

文字を入力する。

ア：  を1回押す。

キ：  を2回押す。

(次ページへ続く)

3

《メニュー／決定》を押す。



入力した文字が確定されます。

氏名	[全角カナ]
アキ	

■英字（全角）を入力する

<例> H E L L O

1

入力文字の種別を「全角英字」にする。

入力文字の種別が「全角英字」になるまで、保留ボタン（文字切替）を繰り返し押します。

2

文字を入力する。

H :  を5回押す。

E :  を5回押す。

L :  を6回押す。

カーソル移動：右ボタンを1回押す。

L :  を6回押す。

O :  を6回押す。

3

《メニュー／決定》を押す。



入力した文字が確定されます。

氏名	[全角英字]
HELLO	

■数字（全角）を入力する

<例> 1 2 3 4 5

1

入力文字の種別を「全角数字」にする。

入力文字の種別が「全角数字」になるまで、保留ボタン（文字切替）を繰り返し押します。

2

文字を入力する。

1：(1 あ) を1回押す。

2：(2 か ABC) を1回押す。

3：(3 き DEF) を1回押す。

4：(4 た GHI) を1回押す。

5：(5 な JKL) を1回押す。

氏名	[全角数字]
1 2 3 4 5	

1 お使いになる前に

文字入力のしかた

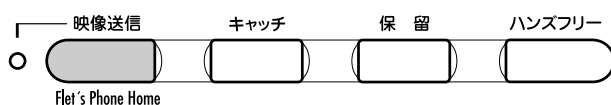
メニューから操作する

文字入力中にメニューを表示して、一覧から全角記号または半角記号を選んで入力したり、改行することができます。

<例> 一覧から全角記号を入力する

1

映像送信ボタン（メニュー）を押す。

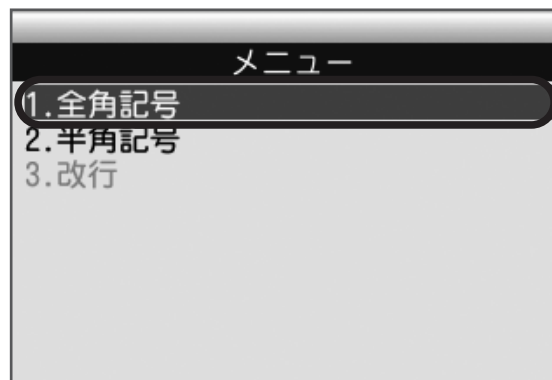


氏名	[ひらがな]

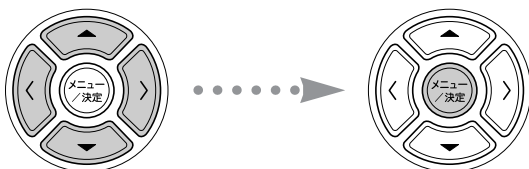
メニュー 削除 文字切替 キャンセル

(次ページへ続く)

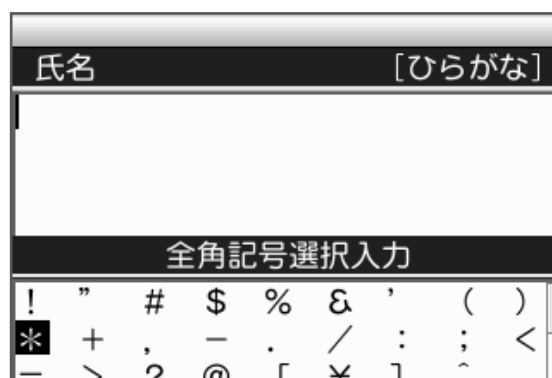
- 2 「全角記号」が選ばれていることを確認し、
《メニュー／決定》を押す。



- 3 上下左右ボタンで入力したい記号を選び、
《メニュー／決定》を押す。



記号が入力されます。



💡 ワンポイント

●同じボタンで入力する文字が続くときは

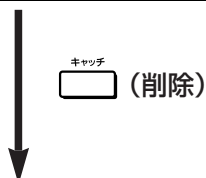
最初の文字を入力後、右ボタンを押してカーソルを移動してから次の文字を入力します。

●文字を消去するには

左右ボタンで消去したい文字の右側にカーソルを移動し、キャッチボタン（削除）を押します。

<例>「おじいさん」を「おじさん」にする

氏名	[ひらがな]
おじいさん	



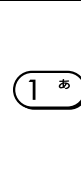
氏名	[ひらがな]
おじさん	

●文字を挿入するには

左右ボタンで、文字を挿入したい位置にカーソルを移動し、ダイヤルボタンを押して文字を入力して《メニュー／決定》を押します。続けて入力するには、カーソルを末尾に移動して通常の文字入力を行います。

<例>「オジサン」を「オジイサン」にする

氏名	[半角カナ]
オジサン	



氏名	[半角カナ]
オジイサン	



氏名	[半角カナ]
オジイサン	

1 お使いに
なる前に

文字入力のしかた

2

操作編

電話をお使いになるときの操作手順を記載しています。

電話をかけるには	2-2
電話を受けるには	2-6
テレビ電話を使うには	2-8
キャッチホンを利用するには	2-13
他の電話機とお話しするには（内線通話）	2-14
電話を取りつぐには（転送）	2-16
相手の方に待っていただくには（保留）	2-18
ワンタッチダイヤルを使うには	2-19
電話帳を使うには	2-25
発信履歴／着信履歴を使うには	2-39
留守番電話として使うには	2-48
電話番号を通知するには（発信番号通知設定）	2-56
ナンバー・ディスプレイを利用するには	2-58
迷惑電話を受けないようにするには（着信拒否）	2-60
テレビ電話で家の様子を見るには（自動応答）	2-65
音と画面の機能を設定するには	2-70
ソフトウェアを最新の状態にするには	2-84
本商品の情報を見るには	2-91

電話のかけかたには、ハンドセットを取りあげてからかける方法と、置いたままかける方法の2通りがあります。

テレビ電話が利用できる相手どうしなら、カメラ映像を見ながらお話しできます。(→P2-8)

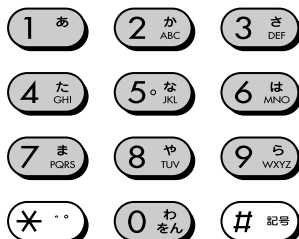
ハンドセットを取りあげてかける

1 ハンドセットを取りあげる。



「ツー」という発信音を確認してください。

2 相手の方の電話番号を押す。



最後のダイヤルを押してから少したつと発信します。



※電話帳に登録している相手への発信時には、相手の名前が表示されます。



ワンポイント

●すぐに発信するには

電話番号のあとに **(# 記号)** を押すと、すぐに発信することができます。



お知らせ

●本商品には、通話開始時の映像送信設定機能がありますが、通話開始時OFFを選択しても、テレビ電話通信時にはテレビ電話通話料が適用されます。なお、お買い求め時は、通話開始時OFFの設定となっています。

3

相手の方が出たらお話しする。



お話し中に相手の方の声が聞き取りにくいときは、上下ボタンで受話音量を調節することができます。

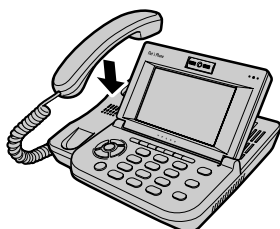


2 操作編

電話をかけるには

4

お話しが終わったら、ハンドセットを戻す。



電話画面に戻ります。

相手の方が先に電話を切ったときは、「通信切断中」という画面が表示されます。



ワンポイント

●電話番号を押してからかけるには

電話番号を押してからハンドセットを取りあげて、電話をかけることもできます。

●番号を押し間違えたときは

ハンドセットを取りあげたあとにダイヤルした場合は、ハンドセットを置いて、もう一度最初からやり直してください。

ハンドセットを取り上げる前にダイヤルした場合は、キャッチボタンを押して1文字ずつ削除します。

●ハンドセットを取り上げる前のダイヤル中は

かかってきた電話を受けることができます。この場合、ダイヤルしていた番号は取り消されます。

●ハンズフリーでの通話に切り替えるには

お話し中にハンズフリーボタンを押します。ハンズフリー通話中にハンドセットを置いて、通話は継続されます。

●プッシュホン・サービスを利用するには

各種サービスに電話をかけて案内メッセージが流れたら、アナウンスに従って操作してください。ダイヤルボタンを押すと、プッシュ信号（ピポパ）が送信されます。

●接続可能なIPテレビ電話端末

本商品で接続可能なIPテレビ電話端末は次のとおりです。すべてのIPテレビ電話端末との接続を保証するものではありません。

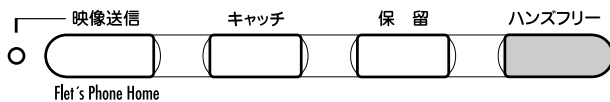
- ・本商品
- ・フレッツフォン VP1000/1500
- ・FdNナンバーソフトフォン (FdNナンバー)
- ・VPソフト (ISP 050) (NTT東日本のみ)
- ・コミュニケーションツール (テレビ電話ツール) [フレッツ・光プレミアム、フレッツ・v6アプリ]
- ・FOMA端末

(2006年7月現在)

ハンセットを置いたままかける（ハンズフリー通話）

1

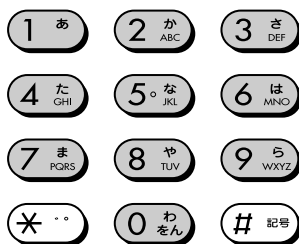
ハンズフリーボタンを押す。



「ツー」という発信音を確認してください。

2

相手の方の電話番号を押す。



最後のダイヤルを押してから少したつと発信します。



ワンポイント

●すぐに発信するには

電話番号のあとに **# 記号** を押すと、すぐに発信することができます。



お知らせ

- ハンズフリー通話中に「ピー」、「キー」などの異常音（ハウリング音）が聞こえたり、受話音量が不安定になったときは、受話音量を小さくしてください。また、次のようなときは異常音（ハウリング音）が起きやすいので、ご注意ください。
 - ・受話音量を大きくしすぎたとき
 - ・スピーカーやマイクに手を近づけたとき
 - ・反響音が大きい場所に設置したとき
 - ・相手側から音声以外の信号（保留音、トーン信号など）が入ってきたとき
- 相手の方に自分側の声が聞こえにくいときは、マイクに近づいてお話しください。

3

相手の方が声がスピーカーから聞こえたら、
マイクに向かってお話しする。



お話し中に相手の方が声が聞き取りにくいときは、
上下ボタンでスピーカー音量を調節することができます。

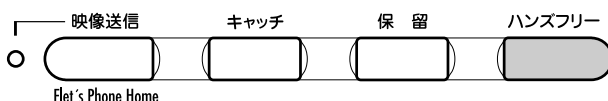


2 操作編

電話をかけるには

4

お話しが終わったら、ハンズフリーボタンを
押す。



電話画面に戻ります。
相手の方が先に電話を切ったときは、「通信切断中」
という画面が表示されます。



ワンポイント

●電話番号を押してからかけるには

電話番号を押してからハンズフリーボタンまたは **# 記号** を押して、電話をかけることもできます。

●番号を押し間違えたときは

ハンズフリーボタンを押したあとにダイヤルした場合は、ハンズフリーボタンをもう一度押してください。ハンズフリーボタンを押す前にダイヤルした場合は、キャッチボタンを押して1文字ずつ削除します。

●ハンズフリーボタンを押す前のダイヤル中は

かかってきた電話を受けることができます。この場合、ダイヤルしていた番号は取り消されます。

●ハンドセットでの通話に切り替えるには

お話し中にハンドセットを取りあげます。

●プッシュホン・サービスを利用するには

各種サービスに電話をかけて案内メッセージが流れたら、アナウンスに従って操作してください。ダイヤルボタンを押すと、プッシュ信号（ピポパ）が送信されます。

ハンドセットを取り上げるか、ハンズフリーボタンを押して電話を受けます。

ハンドセットを取りあげて受ける

1

呼出音が鳴ったら、ハンドセットを取りあげる。



※電話帳に登録している相手からの着信時には、相手の名前が表示されます。

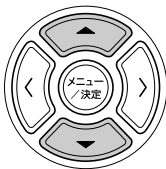


2

相手の方とお話する。



お話し中に相手の方の声が聞き取りにくいときは、上下ボタンで受話音量を調節することができます。



3

お話しが終わったら、ハンドセットを戻す。



電話画面に戻ります。
相手の方が先に電話を切ったときは、「通信切断中」
という画面が表示されます。



ワンポイント

●電話を受けられなかったときは

電話画面に「着信あり」と表示されます。(着信履歴を表示すると「着信あり」の表示は消えます。)

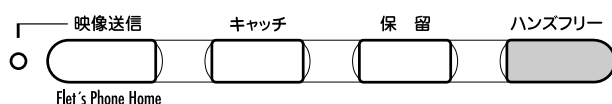
●ハンズフリーでの通話に切り替えるには

お話し中にハンズフリーボタンを押します。ハンズフリー通話中にハンドセットを置いて、通話は継続されます。

ハンドセットを置いたまま受ける（ハンズフリー通話）

1

呼出音が鳴ったら、ハンズフリーボタンを押す。



2

マイクに向かってお話しする。

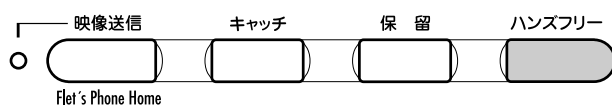


お話し中に相手の方の声が聞き取りにくいときは、上下ボタンでスピーカー音量を調節できます。



3

お話しが終わったら、ハンズフリーボタンを押す。



電話画面に戻ります。

相手の方が先に電話を切ったときは、「通信切断中」という画面が表示されます。



2
操作編

電話を受けるには



お知らせ

●ハンズフリー通話中に「ピー」、「キー」などの異常音（ハウリング音）が聞こえたり、受話音量が不安定になったときは、受話音量を小さくしてください。また、次のようなときは異常音（ハウリング音）が起きやすいので、ご注意ください。

- ・受話音量を大きくしすぎたとき
- ・スピーカーやマイクに手を近づけたとき
- ・反響音が大きい場所に設置したとき
- ・相手側から音声以外の信号（保留音、トーン信号など）が入ってきたとき

●相手の方に自分側の声が聞こえにくいときは、マイクに近づいてお話しください。

お互いの映像を見ながらテレビ電話でお話することができます。相手側に送信している自分側の映像を、小さい画面（子画面）に表示させて確認することもできます。

お互いの映像を見ながらお話しする

<例>VP100をお使いの方どうしの場合

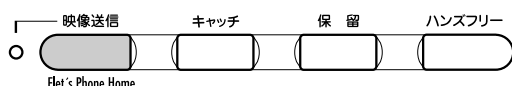
電話をかける方

1 「電話をかけるには」の手順で電話をかける。

参照 「ハンドセットを取りあげてかける」(P2-2)

参照 「ハンドセットを置いたままかける（ハンズフリー通話）」(P2-4)

2 お話し中に映像送信ボタンを押す。



自分側の映像が送信され、映像送信ランプが赤く点灯します。

映像保留中

3 相手の方の映像を見ながら、お話しする。



4 自分側の映像を確認するときは、左ボタンまたは右ボタンを押す。



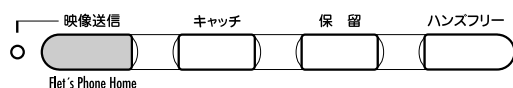
画面左または画面右に、相手に送信している映像が表示されます。



電話を受ける方

1

相手の方の映像が表示されたら、映像送信ボタンを押す。



自分側の映像が送信され、映像送信ランプが赤く点灯します。



2

相手の方の映像を見ながら、お話しする。



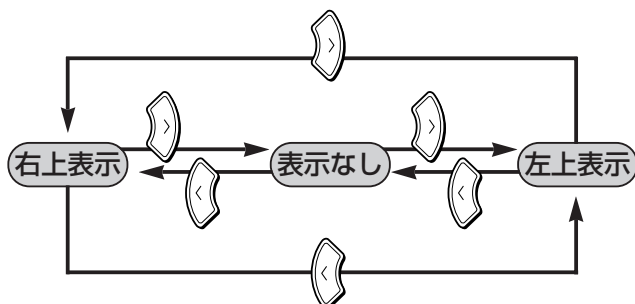
ワンポイント

●保留中に映像送信ボタンを押すと

映像送信ランプが赤く点灯しているときは、保留解除後に映像が送信されます。

●子画面の表示位置を切り替えるには

自分側の映像が子画面に表示されているときは、左右ボタンを押すごとに、表示位置を切り替えることができます。



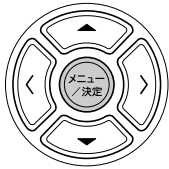
お知らせ

- 相手側が音声のみに対応した電話機の場合、映像は送信されません。子画面も表示されません。
- 本商品から電話をかけると、すべてテレビ電話での発信となり、お客様が音声通信を選択することはできません。ただし、相手側の電話機がテレビ電話機能を持たない場合には、音声通信での接続となります。なお、音声通信として接続された場合には、テレビ電話通話料ではなく音声通話料が適用されます。

常に自分側の映像を送るようにする（映像送信設定）

お話し中に映像送信ボタンを押さなくても、電話がつながると自分の映像が相手の電話に送信されるように設定できます。

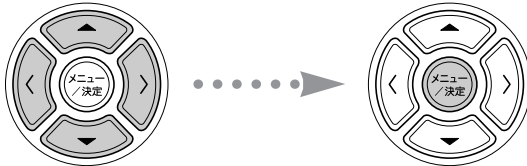
1 電話画面から、《メニュー／決定》を押す。



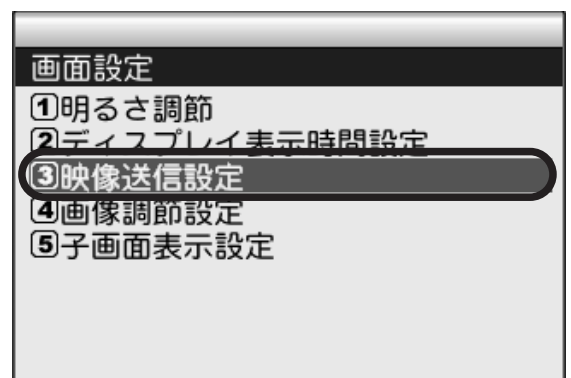
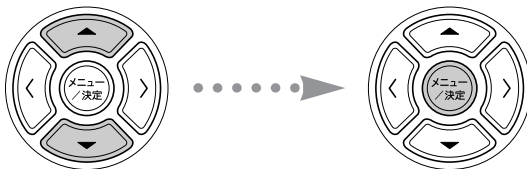
メニュー画面が表示されます。



2 上下左右ボタンで【画面】を選び、《メニュー／決定》を押す。

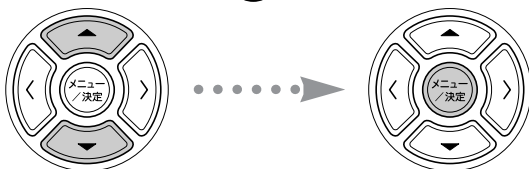


3 上下ボタンで「映像送信設定」を選び、《メニュー／決定》を押す。



4

上下ボタンで「通話開始時ON」を選び、

《メニュー／決定》を押す。

常に自分側の映像を確認する（子画面表示設定）

お話し中にボタン操作をしなくても、自分側の映像が小さい画面（子画面）に表示されるように設定できます。相手側で表示される映像を、いつも確認できます。

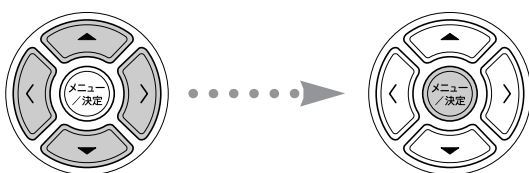
1

電話画面から、《メニュー／決定》を押す。

メニュー画面が表示されます。



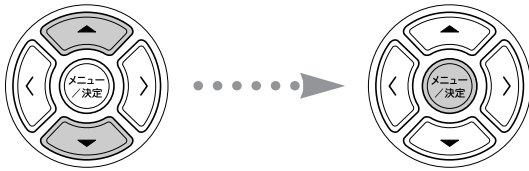
2

上下左右ボタンで【画面】を選び、《メニュー／決定》を押す。

(次ページへ続く)

3

上下ボタンで「子画面表示設定」を選び、
《メニュー／決定》を押す。

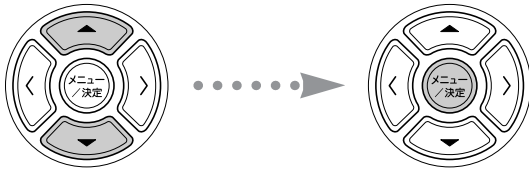


画面設定

- ①明るさ調節
- ②ディスプレイ表示時間設定
- ③映像送信設定
- ④画像調節設定
- ⑤子画面表示設定

4

上下ボタンで「通話開始時ON」を選び、
《メニュー／決定》を押す。



子画面表示設定

- ①通話開始時ON
- ②通話開始時OFF

外線の相手の方とお話し中に、別の相手の方から電話がかかってきたとき、お話し中の方を保留にして、電話に出ることができます。

※「ひかり電話」をご利用で音声通話の場合のみ有効です。

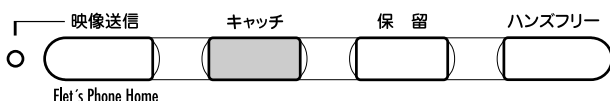
1

お話し中にキャッチホン音「プップ」が聞こえたら、相手の方に待っていただくように伝える。



2

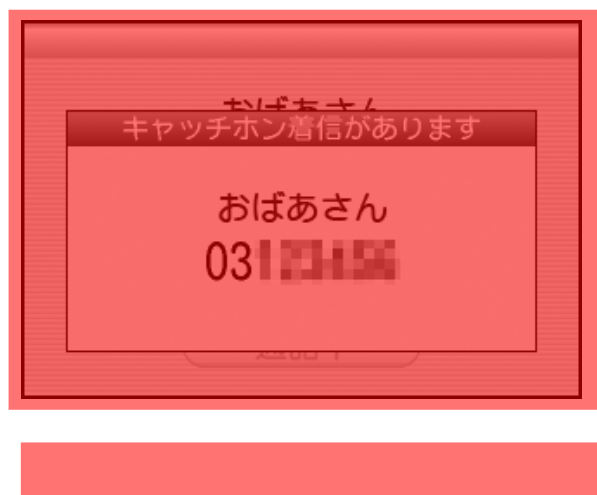
キャッチボタン（キャッチ）を押す。



お話し中だった相手の方は、保留状態になります。

※電話帳に登録している相手からの着信時には、相手の名前が表示されます。

※ナンバー・ディスプレイ契約をしていない方にキャッチホン着信があった場合は、「着信中」の画面が表示されます。



3

かけてきた相手の方とお話する。

キャッチボタンを押すごとに、通話相手を切り替わられます。

お話し中に相手の声が聞き取りにくいときは、上下ボタンで受話音量、スピーカー音量を調節することができます。



4

お話しが終わったら、ハンドセットを戻す。

保留されている相手の方からの呼出音が鳴ります。ハンドセットを取りあげるとお話しできます。



お知らせ

●内線通話中に外線からキャッチホン着信があった場合、キャッチホン操作を行うと外線との通話状態になりますが、内線との通話は切れてしまいます。

●留守番電話応答中はキャッチホンを受けられません。

他の電話機を内線番号で呼び出してお話しすることができます。

※「ひかり電話」をご利用の場合のみ有効です。

<例>内線番号「3」の電話機から「4」を呼び出す

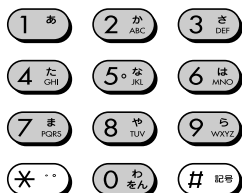
電話をかける方

1 ハンドセットを取りあげる。



「ツー」という音を確認してください。

2 内線番号を押す。



3 呼び出された方が応答したら、お話しする。



4 お話が終わったら、ハンドセットを戻す。



電話を受ける方

1

呼出音が鳴ったら、ハンドセットを取りあげて、相手の方とお話する。



2

お話しが終わったら、ハンドセットを戻す。



2 操作編

他の電話機とお話するには（内線通話）



ワンポイント

●すぐに発信するには

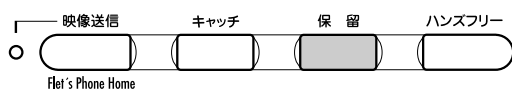
電話番号のあとに (# 記号) を押すと、すぐに発信することができます。

外線との通話を他の電話機に転送することができます。
※「ひかり電話」をご利用で音声通話の場合のみ有効です。

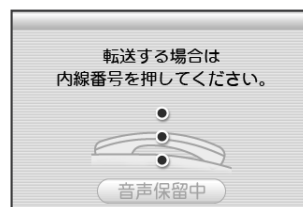
<例>内線番号「3」の電話機から「4」に外線を転送する

電話をかける方

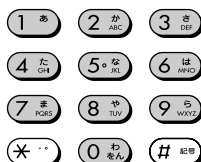
1 ひかり電話で外線とお話し中に、相手の方に待っていただくように伝え、保留ボタンを押す。



相手の方に保留音が聞こえます。



2 内線番号を押す。



3 呼び出された方が応答したら、転送することを伝える。

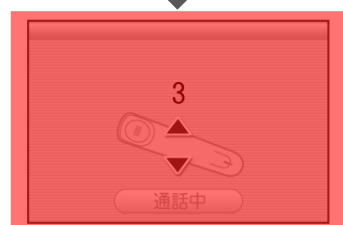


4 ハンドセットを戻す。

電話を受ける方

1

呼出音が鳴ったら、ハンドセットを取り上げて、内線でお話します。



2

外線の相手の方とお話します。



2 操作編

電話を取りつぐには (転送)



ワンポイント

●内線番号を押し間違えたときは

ハンドセットを置きます。外線からの呼出音が鳴るので、ハンドセットを取り上げて外線との通話状態に戻り、最初からやり直してください。

●内線の相手が電話を切ったときは

ハンドセットを置きます。外線からの呼出音が鳴るので、ハンドセットを取り上げて外線との通話状態に戻ります。

●すぐに発信するには

電話番号のあとに **#** (記号) を押すと、すぐに発信することができます。

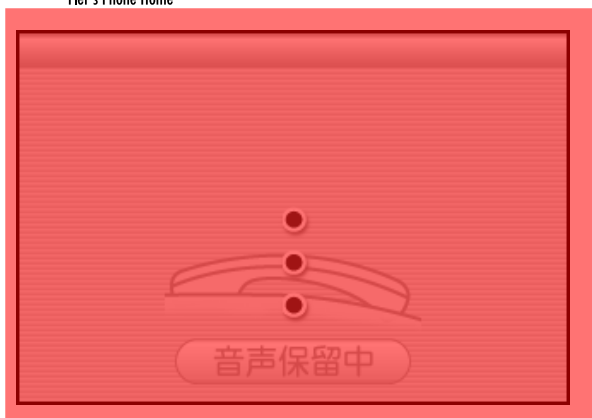
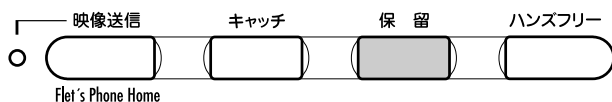


お知らせ

- 呼び出す方の手順1では「内線番号を押してください」と表示されていますが、この状態でキャッチホン着信があると転送することはできません。

外線とのお話しを一時中断して、相手の方に待っていただくときは保留にします。

1 お話し中に、相手の方に待っていただくよう伝えて、保留ボタンを押す。

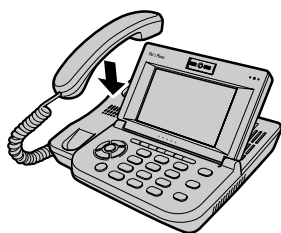


音声通話のときは、相手の方に保留音が聞こえます。「ひかり電話」をご利用の場合は、「転送する場合は内線番号を押してください」というメッセージが表示されます。(→P2-16)

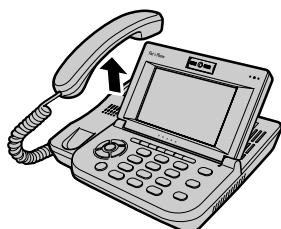


テレビ電話のときは、相手の方に保留音が聞こえ、保留画面が表示されます。

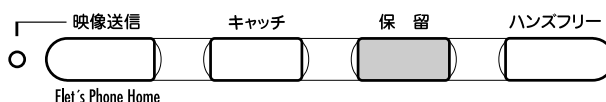
2 ハンドセットでお話ししているときは、ハンドセットを戻す。



3 保留を解除するときは、ハンドセットを取りあげる。または保留ボタンを押す。



または



保留音の音量は、スピーカー音量を調節することで変更できます。(→P2-73)

通話中に上下ボタンでスピーカー音量を消音にした場合、保留音は聞こえなくなります。

よく利用する電話番号は、あらかじめワンタッチダイヤルに登録しておく、ワンタッチダイヤルボタンを押すだけで電話をかけることができます。最大3件まで登録できます。

ワンタッチダイヤルに登録する

1

電話画面から、《メニュー／決定》を押す。



メニュー画面が表示されます。



2

上下左右ボタンで【電話帳・ワンタッチ】



を選び、《メニュー／決定》を押す。

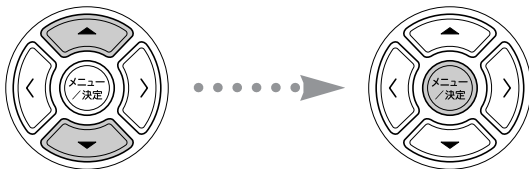


電話帳・ワンタッチダイヤル画面が表示されます。

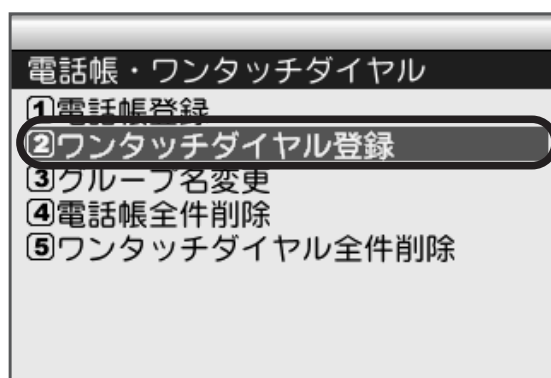


3

上下ボタンで「ワンタッチダイヤル登録」を選び、《メニュー／決定》を押す。

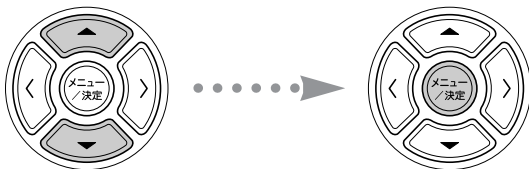


ワンタッチダイヤル登録画面が表示されます。

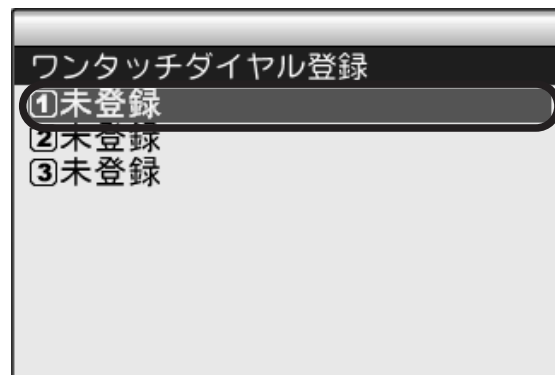


4

上下ボタンで登録する番号を選び、《メニュー／決定》を押す。

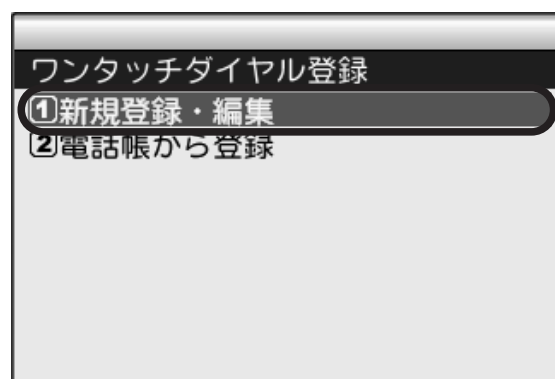


1、2、3がワンタッチダイヤルボタンの①、②、③に対応します。



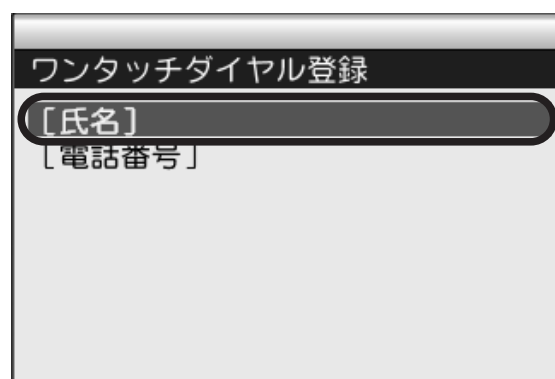
5

「新規登録・編集」が選ばれていることを確認し、《メニュー／決定》を押す。



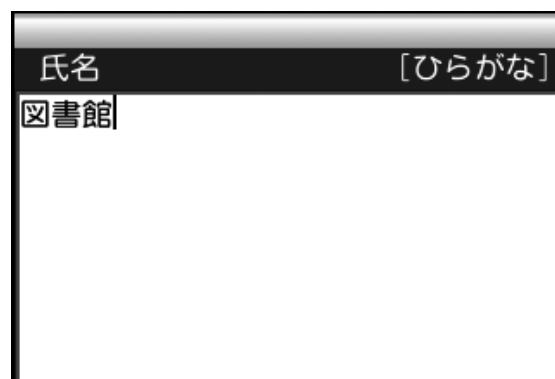
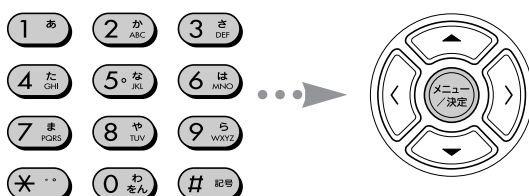
6

「氏名」が選ばれていることを確認し、《メニュー／決定》を押す。



7

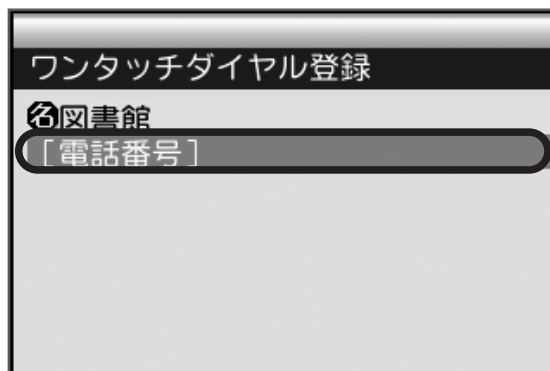
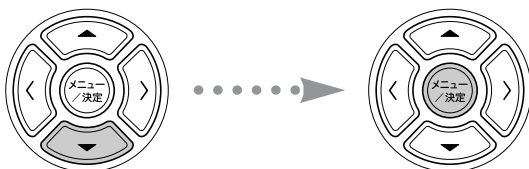
登録する名前を入力し、《メニュー／決定》を押す。



参照 → 「文字入力のしかた」(P1-25)

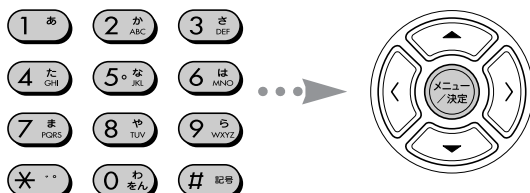
8

下ボタンで【電話番号】を選び、《メニュー／決定》を押す。



9

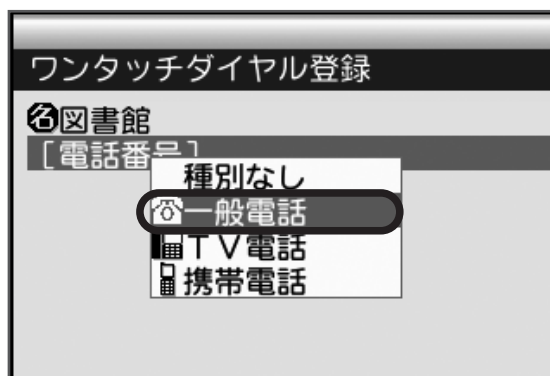
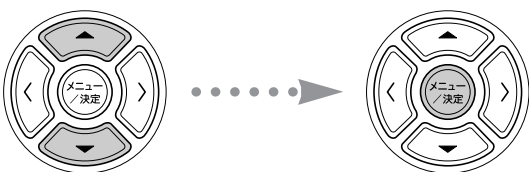
登録する電話番号を入力し、《メニュー／決定》を押す。



「184」 / 「186」を電話番号の前に入れて登録することもできます。(→P2-57)

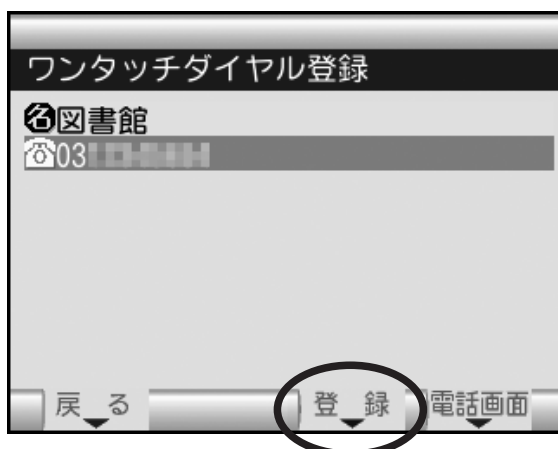
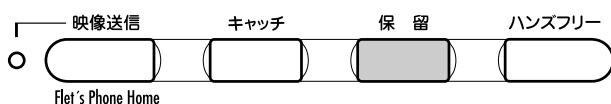
10

上下ボタンで電話番号の種類を選び、《メニュー／決定》を押す。



11

保留ボタン（登録）を押す。





ワンポイント

●電話帳からワンタッチダイヤルを登録するには

- ①「ワンタッチダイヤルに登録する」の手順1～4の操作を行う。
- ②上下ボタンで「電話帳から登録」を選び、《メニュー／決定》を押す。
- ③上下ボタンで登録する相手を選び、《メニュー／決定》を押す。
- ④上下ボタンで登録する番号を選び、保留ボタン（登録）を押す。



お知らせ

- すでに登録されているワンタッチダイヤルボタンに、別の氏名・電話番号を登録する場合は、上書き登録になります。
- ワンタッチダイヤルボタンに氏名と電話番号が登録されていても、電話帳に登録していない氏名は、発信／着信履歴には表示されません。
- 電話帳に登録していない電話番号から着信があったときは、着信中画面に電話番号が表示されます。
- 電話番号の最後に#を登録すると発信できません。

ワンタッチダイヤルでかける

1

ハンドセットを取りあげる。

「ツー」という発信音を確認してください。



2

ワンタッチダイヤルボタンを押す。

- ①
- ②
- ③

登録されていないワンタッチダイヤルボタンを押すと、「ピピピ」というエラー音が鳴り、「未登録です。」のエラー画面が表示されます。



3

相手の方が出たらお話しする。



4

お話しが終わったら、ハンドセットを戻す。



ワンポイント

●ハンドセットを置いたまま、ワンタッチダイヤルでかけるには

ハンドセットを置いたまま、ワンタッチダイヤルボタンを押します。お話しが終わったら、ハンズフリーボタンを押します。
ハンズフリーボタン、ワンタッチボタンの順に押して、電話をかけることもできます。



お知らせ

- すでにダイヤルを入力している場合、ワンタッチダイヤルボタンを押しても、ワンタッチダイヤルボタンに登録されている電話番号に電話をかけることはできません。
- 「184」/「186」をダイヤル後に、ワンタッチダイヤルボタンを押しても無効になります。

2 操作編

ワンタッチダイヤルを使うには

ワンタッチダイヤルを1件削除する

1

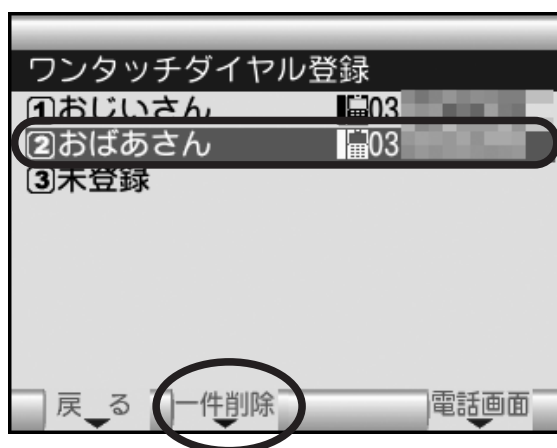
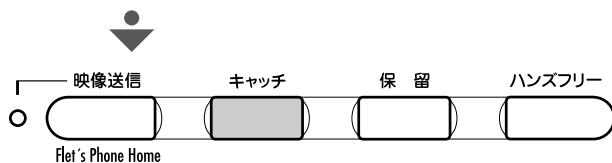
「ワンタッチダイヤルに登録する」

(→P2-19) の手順1～3を行う。

ワンタッチダイヤル登録画面が表示されます。

2

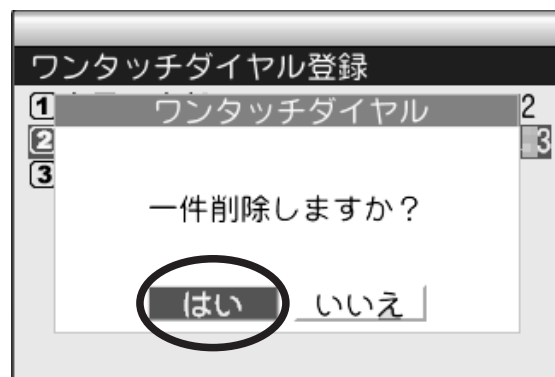
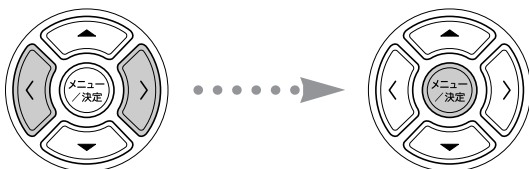
上下ボタンで削除する相手を選び、キャッチボタン（一件削除）を押す。



(次ページへ続く)

3

左右ボタンで「はい」を選び、《メニュー／決定》を押す。



ワンタッチダイヤルを全件削除する

1

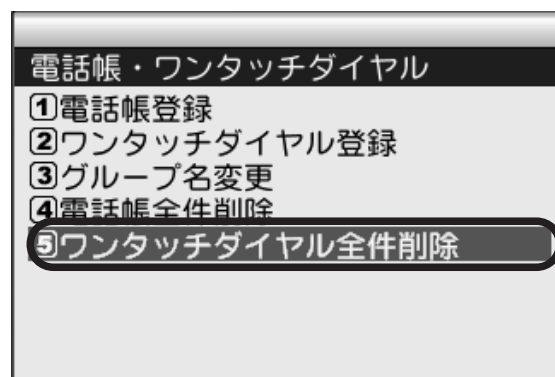
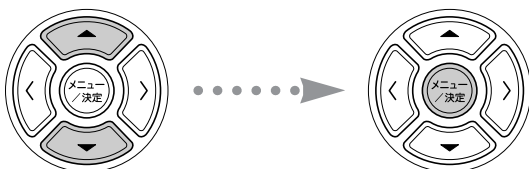
「ワンタッチダイヤルに登録する」

(→P2-19) の手順1～2を行う。

電話帳・ワンタッチダイヤル画面が表示されます。

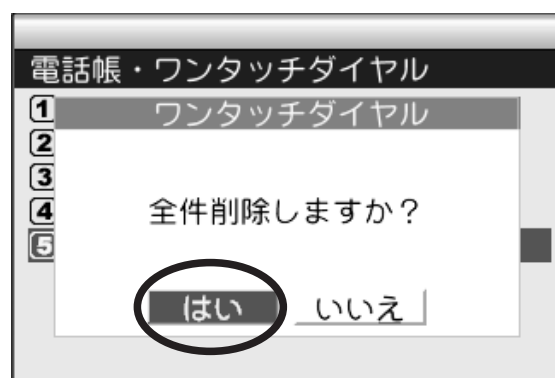
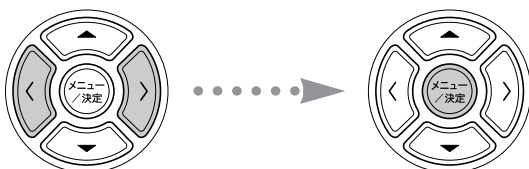
2

上下ボタンで「ワンタッチダイヤル全件削除」を選び、《メニュー／決定》を押す。

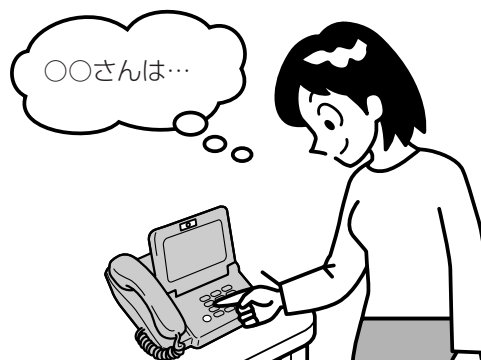


3

左右ボタンで「はい」を選び、《メニュー／決定》を押す。



電話帳を最大250人分登録できます。登録した電話帳は、全リスト表示、行表示またはグループ表示ですばやく呼び出せます。また、電話帳に氏名を登録すると、電話をかけたり受けたりしたときに氏名と電話番号が画面に表示されます。



■電話帳に登録できる内容

項 目	内 容
氏名	漢字、ひらがな、カタカナ、英字、数字、記号で入力します。 全角32文字、半角64文字まで入力できます。
フリガナ	氏名を入力することにより、自動的に入力されます。 カタカナ、英字、数字、記号で入力します。 半角64文字まで入力できます。
電話番号	1つの氏名につき、3件まで登録できます。 数字、  、  で入力します。 半角32文字まで入力できます。
グループ	「指定なし」または10グループに分けることができます。
アイコン（相手先の種別）	「種別なし」、「一般電話」、「TV電話」、「携帯電話」の4種類から選びます。

 ワンポイント

●電話番号だけを登録するには

氏名を入力せずに、電話番号のみ登録することもできます。

●同じ電話番号を登録するには

異なる氏名で同じ電話番号を登録することができます。

●フリガナを登録すると

フリガナ順に表示されます。それ以外の場合は、初めに登録した内容から登録順に表示されます。

 お知らせ ■■■■■■

- 電話画面が表示されていない状態から、電話帳は表示できません。
- 名前なしで登録している番号の発信／着信履歴では、名前は空欄となり、番号のみ表示されます。
- 電話番号の最後に#を登録すると発信できません。

電話帳を登録する

電話帳に相手の氏名、電話番号などを登録します。

1

電話画面から、《メニュー／決定》を押す。



メニュー画面が表示されます。

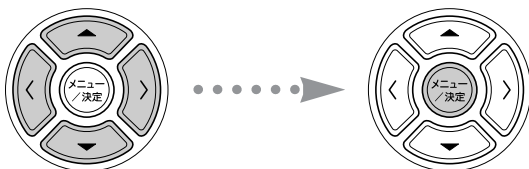


2

上下左右ボタンで【電話帳・ワンタッチ】



を選び、《メニュー／決定》を押す。



電話帳・ワンタッチダイヤル画面が表示されます。



3

「電話帳登録」が選ばれていることを確認し、

《メニュー／決定》を押す。



電話帳・ワンタッチダイヤル

- ①電話帳登録
- ②ワンタッチダイヤル登録
- ③グループ名変更
- ④電話帳全件削除
- ⑤ワンタッチダイヤル全件削除

4

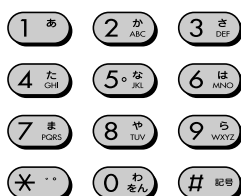
「氏名」が選ばれていることを確認し、《メニュー／決定》を押す。



電話帳登録	
[氏名]	
[フリガナ]	
[グループ]	
[電話番号①]	
[電話番号②]	
[電話番号③]	

5

氏名を入力し、《メニュー／決定》を押す。



参照 → 「文字入力のしかた」(P1-25)

氏名	[ひらがな]
おばさん	

6

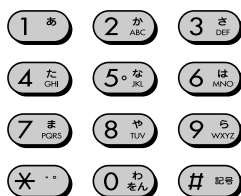
氏名を入力することにより、自動的に入力される。修正したい場合は、上下ボタンで「フリガナ」を選び、《メニュー／決定》を押す。



電話帳登録	
 おばさん	
[フリガナ]	
[グループ]	
[電話番号①]	
[電話番号②]	
[電話番号③]	

7

フリガナを入力し、《メニュー／決定》を押す。



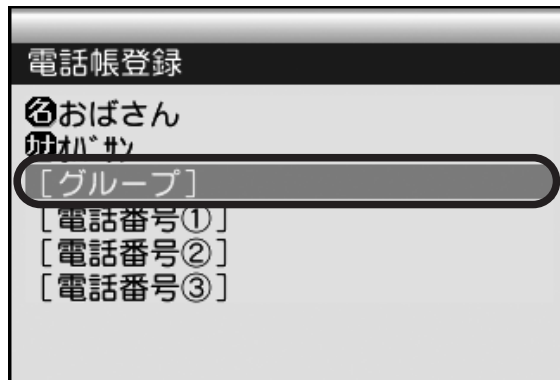
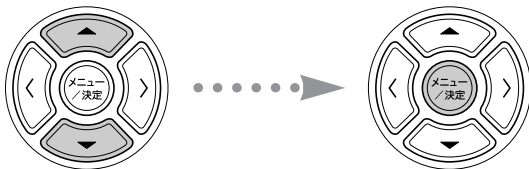
参照 → 「文字入力のしかた」(P1-25)

フリガナ	[半角カナ]
おバカ	

(次ページへ続く)

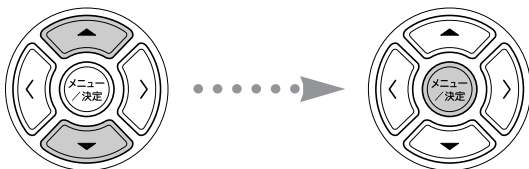
8

上下ボタンで【グループ】を選び、《メニュー／決定》を押す。



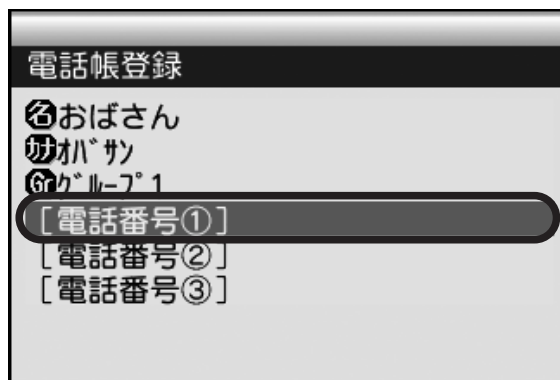
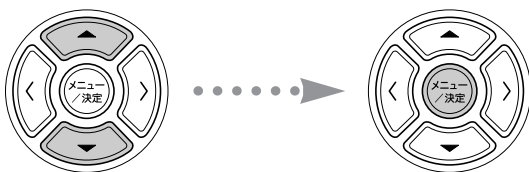
9

上下ボタンで設定するグループを選び、《メニュー／決定》を押す。



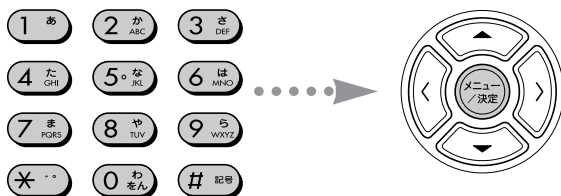
10

上下ボタンで【電話番号①】～【電話番号③】のいずれかを選び、《メニュー／決定》を押す。

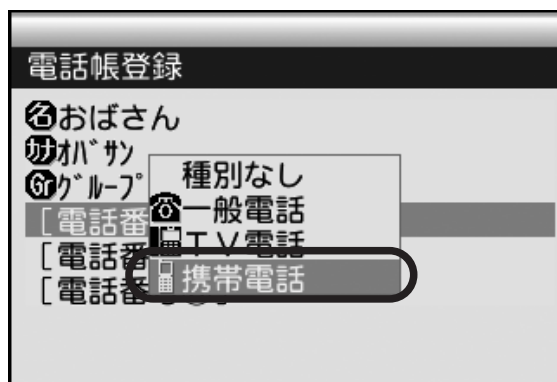


11

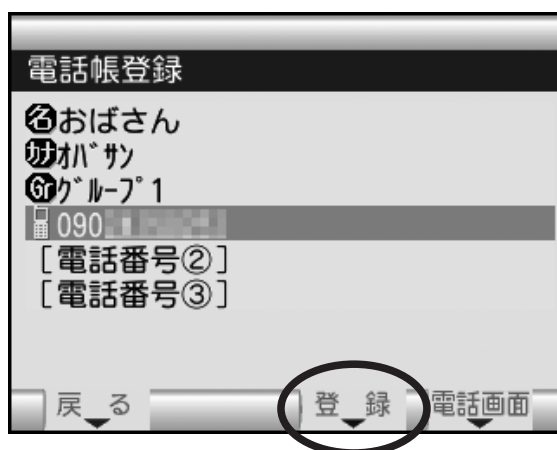
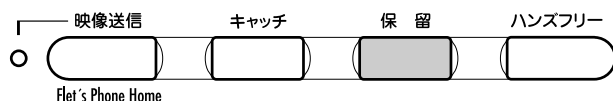
電話番号を入力し、《メニュー／決定》を押す。



12 上下ボタンで電話番号の種類を選び、《メニュー／決定》を押す。



13 保留ボタン（登録）を押す。



ワンポイント

●項目を省略するには

登録しない項目は省略することができます。たとえば、名前を入力しないで電話番号のみ登録するには、手順1～3、10～13を実施します。

グループ名を変更する

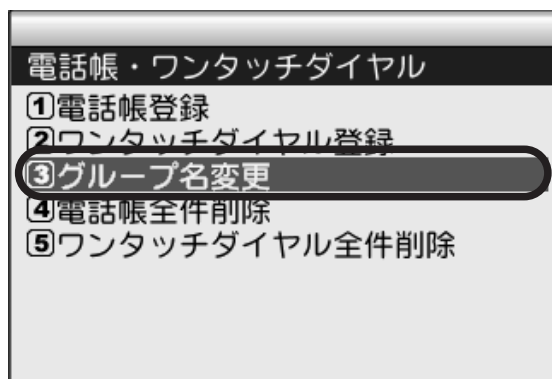
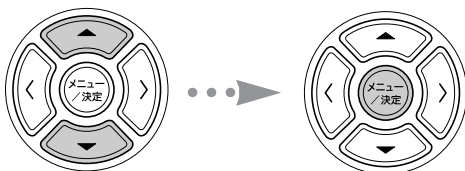
電話帳登録で使用するグループ名を変更することができます。
グループ名を変更できるのはグループ1～グループ10です。

1 「電話帳を登録する」(→P2-26) の手順1

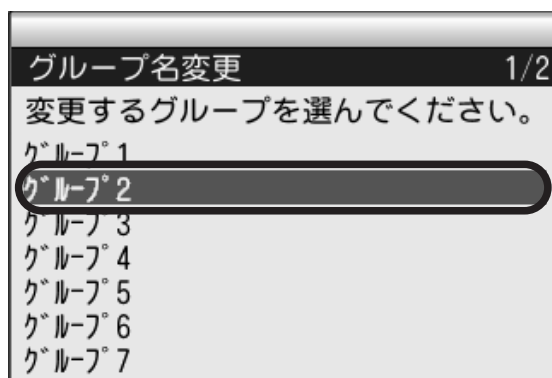
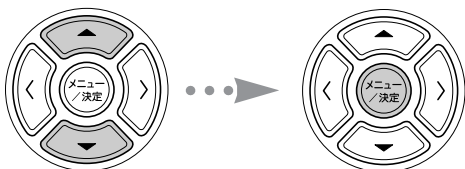
～2を行う。

電話帳・ワンタッチダイヤル画面が表示されます。

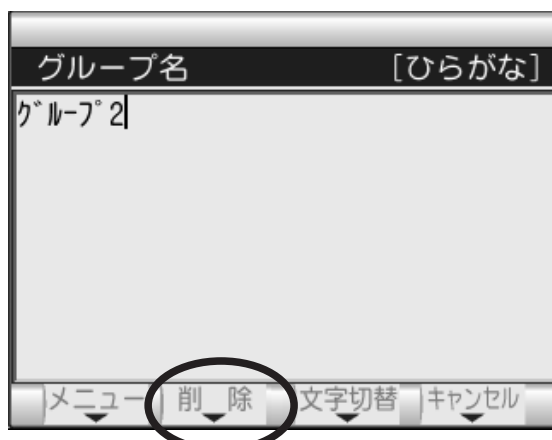
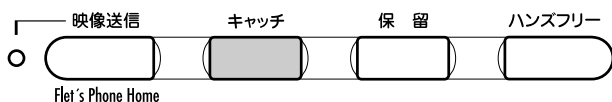
2 上下ボタンで「グループ名変更」を選び、 《メニュー／決定》を押す。



3 上下ボタンで変更するグループを選び、《メニュー／決定》を押す。

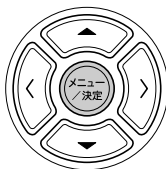
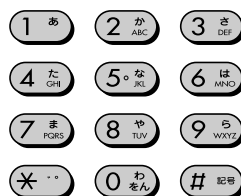


4 キャッチボタン（削除）を押して、文字を削除する。



5

グループ名を入力し、《メニュー／決定》

 を押す。

 参照 「文字入力のしかた」(P1-25)

グループ名	[ひらがな]
会社	

2 操作編

電話帳を使うには

電話帳を使って電話をかける（全リスト表示）

電話帳に登録されている全リストから、相手を選んで電話をかけることができます。

1

電話画面から、電話帳ボタンを押す。

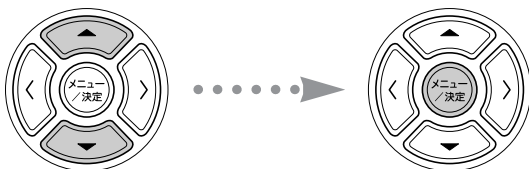


電話帳の全リストが表示されます。



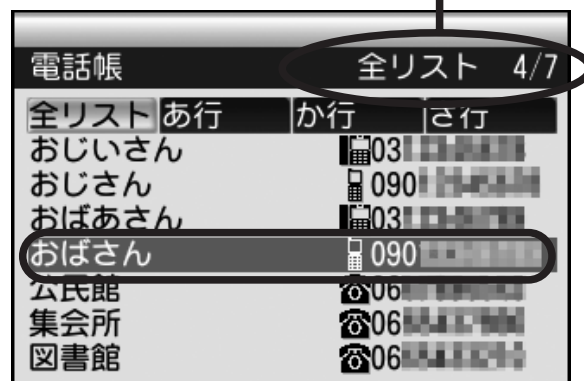
2

上下ボタンで相手を選び、《メニュー/決定》を押す。



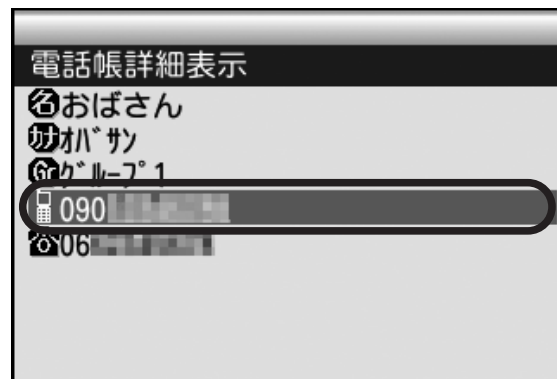
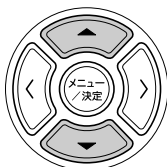
電話帳詳細表示画面が表示されます。

7件目中4件目を表示していることを表します。



3

上下ボタンで電話番号を選ぶ。



4

ハンドセットを取りあげる。



ハンズフリーボタンを押すと、ハンズフリーで通話することができます。



ワンポイント

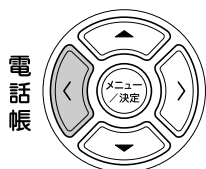
- 異なる名前で同じ電話番号を登録しているとき
フリガナ順に表示されます。フリガナを登録していない場合は、登録順に表示されます。
- リストの表示を切り替えるには
リストの先頭で上ボタンを押すと、リストの最後が表示されます。また、リストの最後で下ボタンを押すと、リストの先頭が表示されます。
- グループ表示へ切り替えるには
キャッチボタン（グループ表示）を押します。

電話帳を使って電話をかける（行表示）

電話帳のリストは、全リスト、あ行、か行……わ行、アルファベット、数字、記号、その他（スペース、電話番号のみの登録など）の順に各行ごとに一覧表示できます。各行で電話帳を表示し、電話をかけることができます。

1

電話画面から、電話帳ボタンを押す。



電話帳の全リストが表示されます。



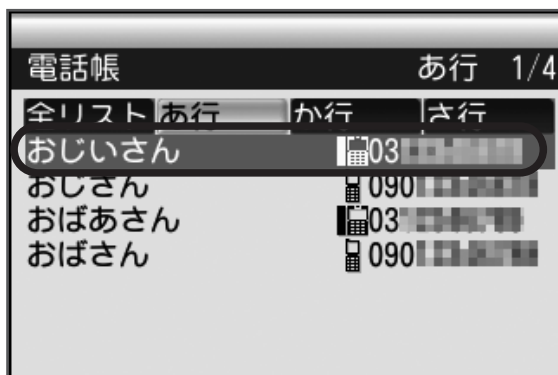
2

左右ボタンで行を選ぶ。



右ボタンを押すと、あ行→か行→さ行…の順に表示されます。

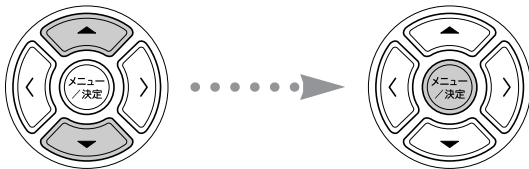
左ボタンを押すと、その他→記号→数字…の順に表示されます。



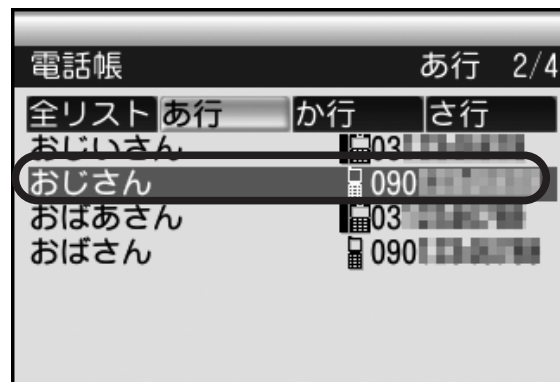
（次ページへ続く）

3

上下ボタンで相手を選び、《メニュー／決定》を押す。

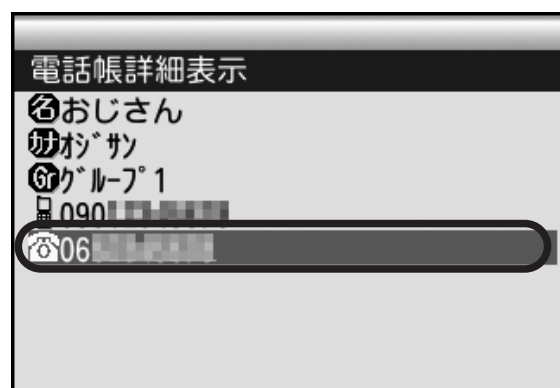
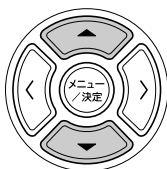


電話帳詳細表示画面が表示されます。



4

上下ボタンで電話番号を選ぶ。



5

ハンドセットを取りあげる。



ハンズフリーボタンを押すと、ハンズフリーで通話することができます。



ワンポイント

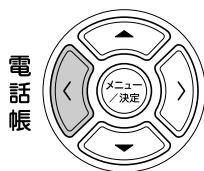
- 異なる名前で同じ電話番号を登録しているとき
フリガナ順に表示されます。フリガナを登録していない場合は、登録順に表示されます。
- リストの表示を切り替えるには
リストの先頭で上ボタンを押すと、リストの最後が表示されます。また、リストの最後で下ボタンを押すと、リストの先頭が表示されます。
- グループ表示へ切り替えるには
キャッチボタン（グループ表示）を押します。

電話帳を使って電話をかける（グループ表示）

同じグループに登録されている電話番号を一覧表示できます。
グループで電話帳を表示し、電話をかけることができます。

1

電話画面から、電話帳ボタンを押す。

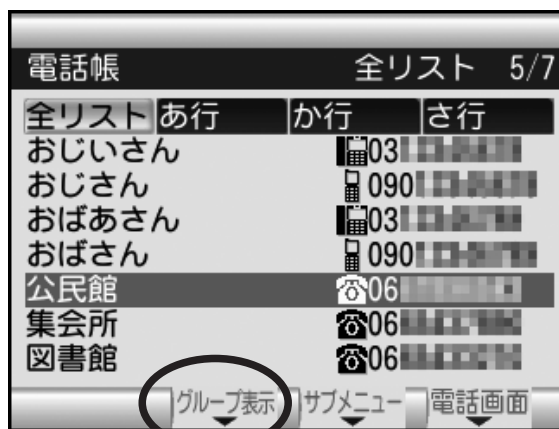
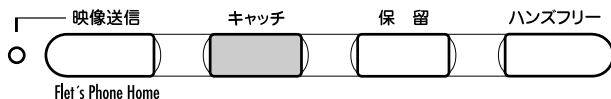


電話帳の全リストが表示されます。



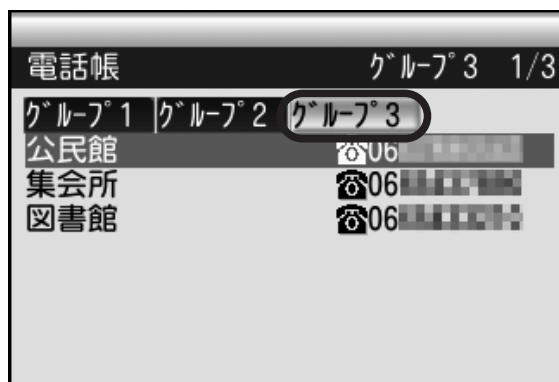
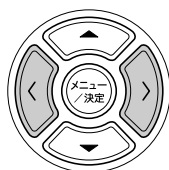
2

キャッチボタン（グループ表示）を押す。



3

左右ボタンでグループを選ぶ。



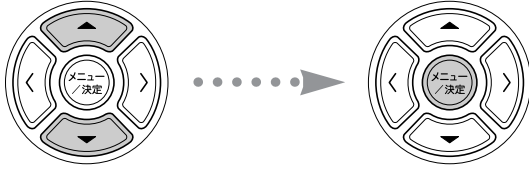
2
操作編

電話帳を使うには

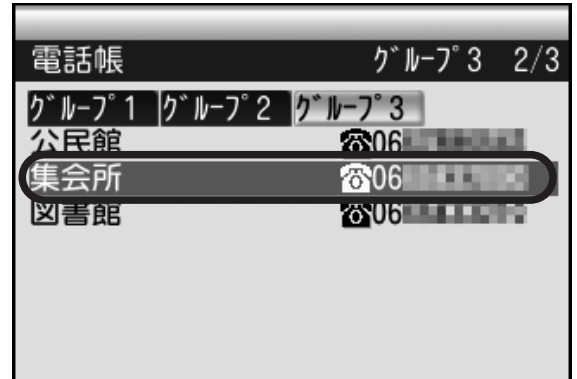
(次ページへ続く)

4

上下ボタンで相手を選び、《メニュー／決定》を押す。

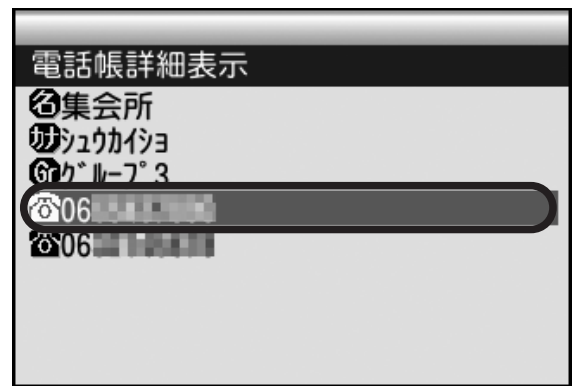
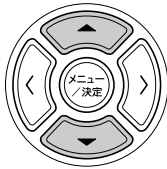


電話帳詳細表示画面が表示されます。



5

上下ボタンで電話番号を選ぶ。



6

ハンドセットを取りあげる。



ハンズフリーボタンを押すと、ハンズフリーで通話することができます。



ワンポイント

- 異なる名前で同じ電話番号を登録しているとき
フリガナ順に表示されます。フリガナを登録していない場合は、登録順に表示されます。
- リストの表示を切り替えるには
リストの先頭で上ボタンを押すと、リストの最後が表示されます。また、リストの最後で下ボタンを押すと、リストの先頭が表示されます。
- 全リスト表示へ切り替えるには
キャッチボタン（一覧表示）を押します。

電話帳を編集する

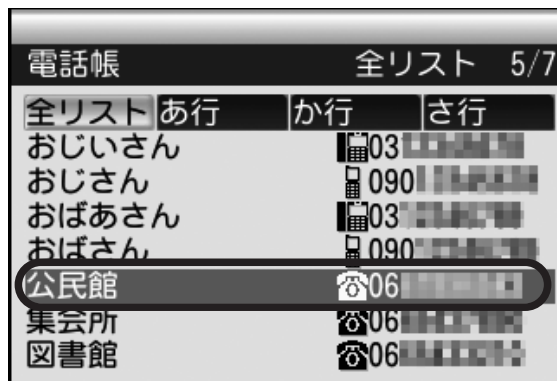
電話帳に登録した内容を編集することができます。

1 全リスト表示、行表示、グループ表示のいずれかの操作を行い、編集する相手を選ぶ。

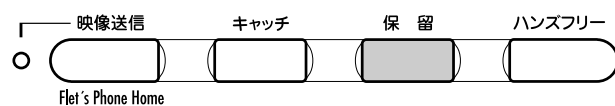
参照 「電話帳を使って電話をかける（全リスト表示）」（P2-32）

参照 「電話帳を行で表示する（行表示）」（P2-33）

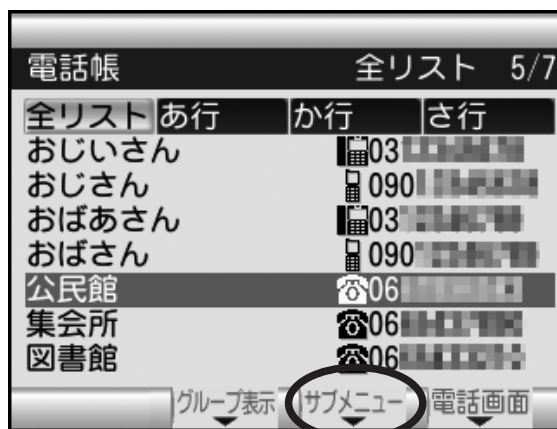
参照 「電話帳をグループで表示する（グループ表示）」（P2-35）



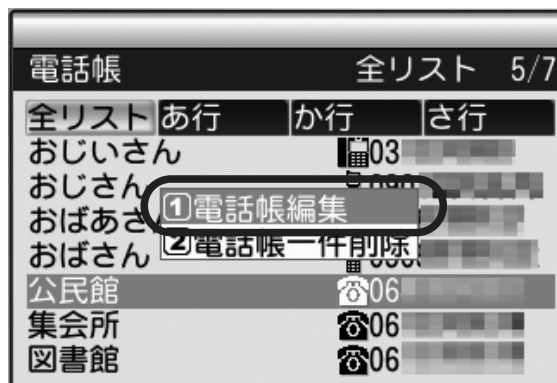
2 保留ボタン（サブメニュー）を押す。



サブメニューが表示されます。



3 「電話帳編集」が選ばれていることを確認し、《メニュー／決定》を押す。



4 登録されている内容を編集する。

参照 「電話帳を登録する」（P2-26）



ワンポイント

●電話帳を1件削除するには

- ①手順3のサブメニューから、上下ボタンで「電話帳一件削除」を選び、《メニュー／決定》を押す。
- ②左右ボタンで「はい」を選び、《メニュー／決定》を押す。

●電話帳を全件削除するには

- ①電話画面から、《メニュー／決定》を押す。
- ②上下左右ボタンで「電話帳・ワンタッチ」を選び、《メニュー／決定》を押す。
- ③上下ボタンで「電話帳全件削除」を選び、《メニュー／決定》を押す。
- ④左右ボタンで「はい」を選び、《メニュー／決定》を押す。

●電話帳から自動応答リストに登録するには

- ①電話帳から登録したい相手を選択し、《メニュー／決定》を押す。
- ②上下ボタンで登録する電話番号を選び、保留ボタン（サブメニュー）を押す。
- ③上下ボタンで「自動応答登録」を選び、《メニュー／決定》を押す。
- ④保留ボタン（設定）を押す。

●電話帳からワンタッチダイヤルに登録するには

- ①電話帳から登録したい相手を選択し、《メニュー／決定》を押す。
- ②上下ボタンで登録する電話番号を選び、保留ボタン（サブメニュー）を押す。
- ③上下ボタンで「ワンタッチダイヤル登録」を選び、《メニュー／決定》を押す。
- ④上下ボタンで登録する番号を選び、保留ボタン（登録）を押す。

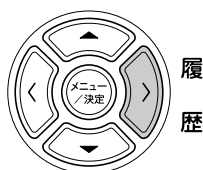
電話をかけた相手の記録（発信履歴）、電話がかかってきた相手の記録（着信履歴）を使って、簡単に電話をかけ直すことができます。

発信履歴を表示する

発信履歴には、電話をかけた相手の電話番号と日時を記録します。20件まで記録できます。発信履歴が20件を超えると、古いものから順に削除され、新しい履歴が記録されます。

1

電話画面から、履歴ボタンを押す。



履歴

発信履歴が表示されます。



2 操作編

発信履歴／着信履歴を使うには

■発信履歴の表示内容

アイコン

（電話帳に登録していない場合は、表示されません。）

電話をかけた時刻

電話番号または

（電話帳に登録している場合は氏名を表示します。）

電話をかけた日付

発信履歴			1/11
03/15	19:09	03	
03/14	19:10	☎ タクシー	
03/13	19:11	090	
03/12	19:12	03	
03/11	19:13	03	
03/10	19:14	03	
03/09	19:15	03	
03/08	19:16	03	

※新しい順に履歴が表示されます。



- ・ 電話帳を利用して電話をかけた場合
日時、電話帳に登録した氏名
- ・ 電話帳に氏名なしで登録している場合
日時、電話番号
- ・ 電話帳を利用せずに電話をかけた場合
日時、電話番号
- ・ 「184」 / 「186」 をダイヤルして電話をかけた場合
「184」 / 「186」 + 電話番号



- 通話中は発信履歴を表示できません。
- 相手が電話に出なかった場合も履歴として記録されます。
- ワンタッチダイヤルボタンに氏名と電話番号が登録されている相手への発信でも、電話帳に登録していない場合は氏名は記録されません。電話番号が記録されます。

着信履歴を表示する

着信履歴には、電話をかけてきた相手の電話番号と日時を記録します。20件まで記録できます。着信履歴が20件を超えると、古いものから順に削除され、新しい履歴が記録されます。

電話画面から、履歴ボタンを2回押す。



着信履歴が表示されます。



■着信履歴の表示内容

電話がかかってきた時刻		アイコン (電話帳に登録していない場合は、表示されません。)
着信履歴		6/7
電話が かかってきた日付	03/15 20:09	070 [アイコン]
	03/14 19:06	
	03/13 18:23	非通知
	03/12 17:52	公衆電話
	03/11 16:08	表示圏外
	03/10 10:01	[電話機アイコン] 集会所
	03/09 12:00	03 [アイコン]

※新しい順に履歴が表示されます。

電話番号
(電話帳に登録している場合は氏名を表示します。番号が表示されない場合はその理由が表示されます。)

💡 ワンポイント

●着信履歴に記録する内容

- ・電話帳に登録している番号からの着信
着信日時、電話帳に登録した名前
- ・電話帳に登録していない番号からの着信
着信日時、電話番号
- ・相手の電話番号が通知されない着信
着信日時、非通知理由

●電話に出られなかったときは

電話画面に「着信あり」と表示されます。着信履歴を表示すると「着信あり」の表示は消えます。

📶 お知らせ

- 非通知の着信は、「非通知着信拒否設定」(→P2-64)に関わらず、非通知理由と着信日時を記録します。非通知理由は「電話番号が表示されない場合」(→P2-59)を参照してください。
- 発信操作中などで着信を受け付けなかった場合や、着信拒否番号からの着信でも着信履歴に記録します。
- キャッチホン着信があった場合も、着信履歴として記録します。
- 電話画面が表示されていない状態からは、着信履歴を表示できません。
- ナンバー・ディスプレイ契約していない場合は、外線からの着信は日時しか記録しません。

履歴から電話をかける

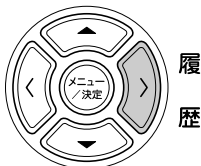
前に電話をかけた相手や、電話がかかってきた相手に、簡単な操作で電話をかけることができます。

1

発信履歴または着信履歴を表示する。

発信履歴：履歴ボタンを1回押します。

着信履歴：履歴ボタンを2回押します。



発信履歴			1/10
03/14	19:17	03	
03/14	19:16	06	
03/13	19:15	06	
03/12	19:14	06	
03/11	19:13	03	
03/10	19:12	03	
03/09	19:11	090	
03/08	19:18	070	

2

上下ボタンで電話番号を選ぶ。



発信履歴			2/10
03/14	19:17	03	
03/14	19:16	06	
03/13	19:15	06	
03/12	19:14	06	
03/11	19:13	03	
03/10	19:12	03	
03/09	19:11	090	
03/08	19:18	070	

3

ハンドセットを取りあげて、相手の方とお話
します。



ワンポイント

●ハンズフリー通話するには

電話番号を選んだあと、《メニュー／決定》 または  を押すと、自動的に電話がかかり、ハンズフリー通話することができます。



お知らせ

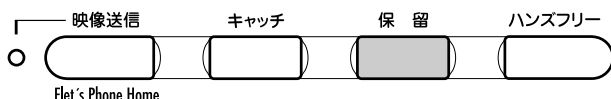
- 非通知や公衆電話など番号が記録されない履歴には、電話をかけることはできません。
- 履歴から「184」／「186」を付けて電話をかけることはできません。

履歴から電話帳に登録する

発信履歴や着信履歴に記録している電話番号を電話帳に登録することができます。

1 「履歴から電話をかける」(→P2-42)の手順1～2を行う。

2 キャッチボタン(サブメニュー)を押す。



3 「電話帳登録」が選ばれていることを確認し、《メニュー/決定》を押す。



4 電話帳に登録する。

参照 「電話帳に登録する」(P2-26)

電話帳に登録すると、発信履歴または着信履歴に氏名が表示されます。

電話帳に氏名を入力しないで、電話番号だけ登録することもできます。

2 操作編

発信履歴／着信履歴を使うには



お知らせ

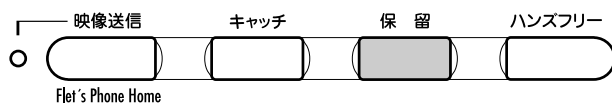
- 非通知や公衆電話など番号が記録されない履歴を、電話帳に登録することはできません。

履歴から自動応答リストに登録する

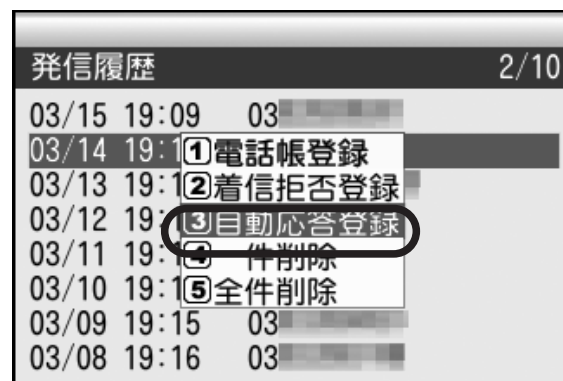
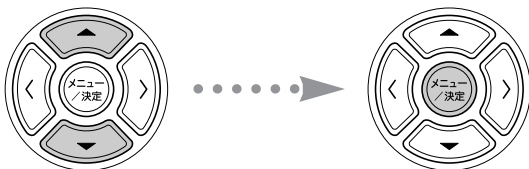
発信履歴や着信履歴に記録している電話番号を自動応答リストに登録することができます。自動応答するには自動応答を設定する必要があります。参照▶「自動応答を設定する」(P2-68)

1 「履歴から電話をかける」(→P2-42)の手順1～2を行う。

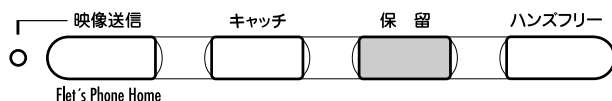
2 キャッチボタン(サブメニュー)を押す。



3 上下ボタンで「自動応答登録」を選び、《メニュー／決定》を押す。



4 保留ボタン(設定)を押す。



お知らせ

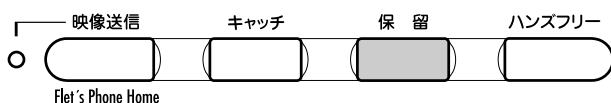
- 非通知や公衆電話など番号が記録されない履歴を、自動応答リストに登録することはできません。

履歴から着信拒否リストに登録する

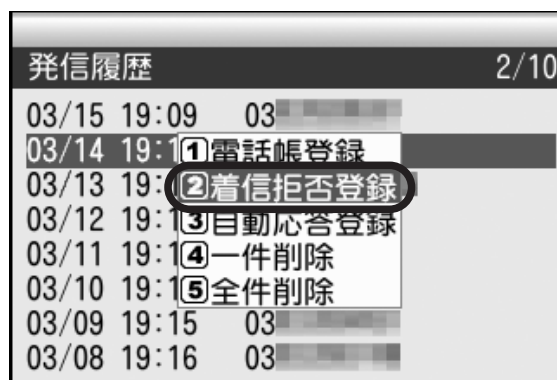
発信履歴や着信履歴に記録している電話番号を着信拒否リストに登録することができます。着信拒否するには着信拒否を設定する必要があります。参照「着信拒否を設定する」(P2-63)

1 「履歴から電話をかける」(→P2-42)の手順1～2を行う。

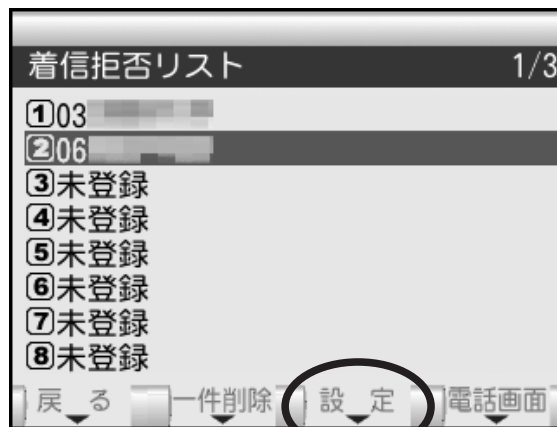
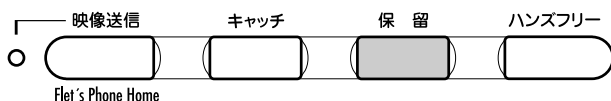
2 キャッチボタン(サブメニュー)を押す。



3 上下ボタンで「着信拒否登録」を選び、《メニュー/決定》を押す。



4 保留ボタン(設定)を押す。



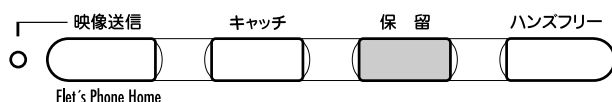
お知らせ

- 非通知や公衆電話など番号が記録されない履歴を、着信拒否リストに登録することはできません。

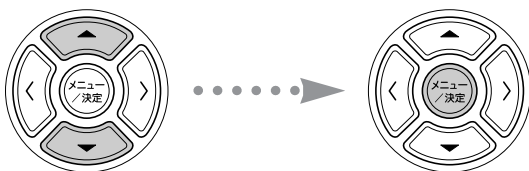
履歴を1件削除する

1 「履歴から電話をかける」(→P2-42)の手順1～2を行う。

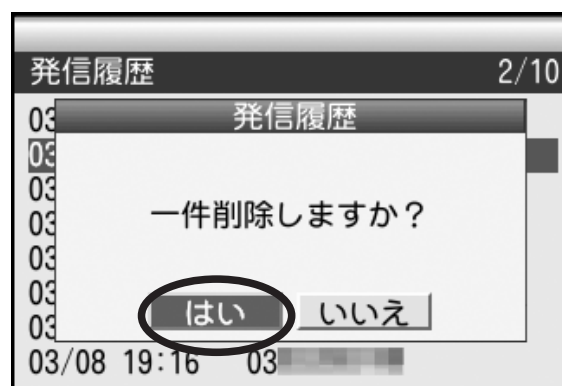
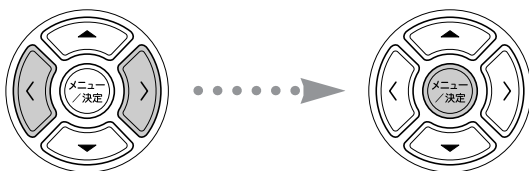
2 キャッチボタン(サブメニュー)を押す。



3 上下ボタンで「一件削除」を選び、《メニュー／決定》を押す。

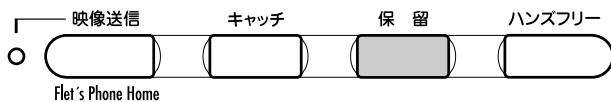


4 左右ボタンで「はい」を選び、《メニュー／決定》を押す。

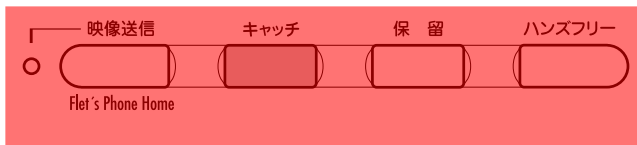


履歴を全件削除する

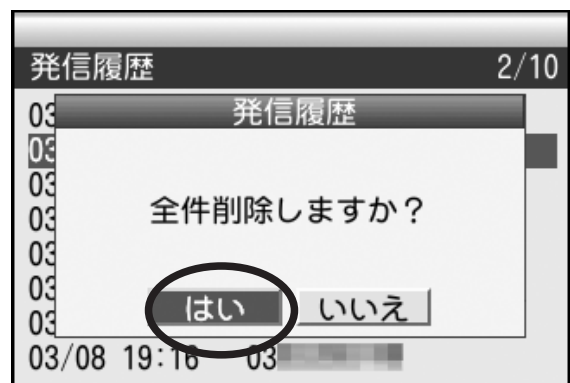
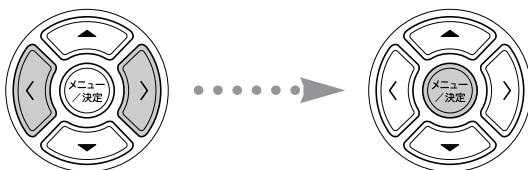
- 1 発信履歴または着信履歴画面で、保留ボタン（サブメニュー）を押す。



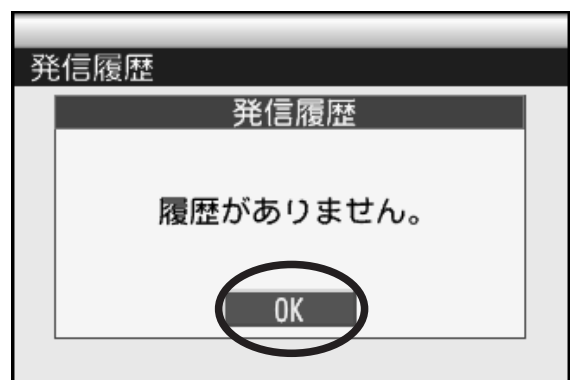
- 2 上下ボタンで「全件削除」を選び、《メニュー／決定》を押す。



- 3 左右ボタンで「はい」を選び、《メニュー／決定》を押す。



- 4 《メニュー／決定》を押す。



留守番電話を設定しておく、外出中や電話に出られないときに、応答メッセージが流れ、相手の方に用件を録音していただくことができます。用件は、本商品またはUSBメモリに録音されます。

外出するとき

留守番電話を設定する



《留守》を押して、留守番電話を設定します。

(→P2-49)

留守番電話ランプが赤く点灯し、画面が表示され
応答メッセージが流れます。



■留守番電話設定中に使用される応答メッセージ

保存件数に空きがあるときは、応答メッセージが流れ、そのあと相手の方にメッセージを残していただくことができます。

保存件数がいっぱいときは、その旨を伝える応答メッセージが流れ、自動的に電話が切れます。

※応答メッセージの変更はできません。

■用件の最大件数と録音時間

	音声留守録	映像留守録	1件当たりの録音時間
本商品に保存できる件数	5件	0件	約30秒
USBメモリに保存できる件数	7件	12件	

※映像留守録やUSBメモリに用件を保存したい場合は、別途USBメモリをご用意ください。

参照  「USBメモリを接続する」(P2-55)

※最大保存件数以上は用件を保存できません。

※USBメモリの空き容量によっては、最大保存件数まで保存できない場合があります。

外出中

用件が録音される



留守中でも自動的に電話がつながり、用件が録音されます。

■留守番電話設定中に電話がかかってくると

一定時間呼出音が鳴り、応答メッセージが流れます。



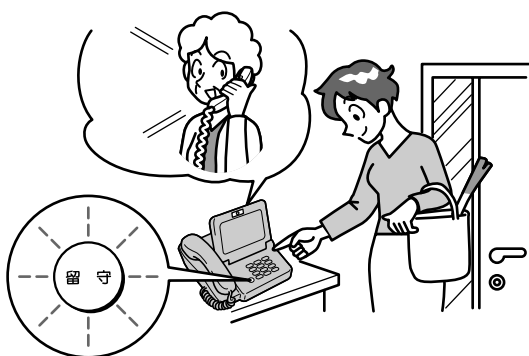
参照  「応答までの時間を設定する」(P2-54)

相手の方が「ピー」という音のあとにお話すると、相手の方の声がスピーカーから聞こえます。約30秒の録音時間が経過すると、自動的に電話が切れます。

用件は本商品またはUSBメモリに録音されます。

帰宅したら

用件を聞く



用件が録音されると、留守番電話ランプが赤く点滅し、画面が表示されます。留守番電話の総件数が電話画面に表示されます。



留守番電話を解除して録音された用件を聞きます。

(→P2-50)

または、メニューから用件を再生します。

(→P2-52)

留守番電話を設定する

1

電話画面から、《留守》を押す。

留守番電話ランプが赤く点灯し、画面が表示され留守番電話が設定されます。



- 用件の再生、録音中にUSBメモリの抜き差しは行わないでください。データやUSBメモリが壊れる可能性があります。また録音、再生中に本商品の電源を切ると、データが壊れる、または本商品が起動しなくなるおそれがありますので行わないでください。
- 用件の再生中や録音中以外であれば、USBメモリのLEDが点滅していても抜くことができます。

STOP お願い



お知らせ

- 機能設定中や、フレッツフォンホームを利用中の場合も留守番電話を設定できます。留守番電話設定後は電話画面が表示されます。
- 内線番号から着信があった場合、留守番電話機能は動作しません。
- 自動応答リストに登録している電話番号から電話がかかってきた場合、または「すべての番号に自動応答する」に設定している場合は、自動応答が優先されます。
- 留守番電話設定中に電源を切るなどして再起動した場合、留守番電話は自動的に解除されます。
- 応答メッセージによる応答前に電話に出た場合は、音声通話になります。
- 応答メッセージによる応答中は、相手の音声は聞こえません。画面には「留守電応答中」と表示されます。
- 録音中に電源を切ったり、USBメモリを抜いた場合、用件は録音されません。
- 録音中に通話状態に切り替えた場合、途中まで録音した内容は保存されません。
- 留守番電話を設定している状態で未確認の用件がある場合、留守番電話ランプは赤く点滅します。
- 留守番電話応答中はキャッチホンは受けられません。

留守番電話を解除する

1

電話画面から、《留守》を押す。

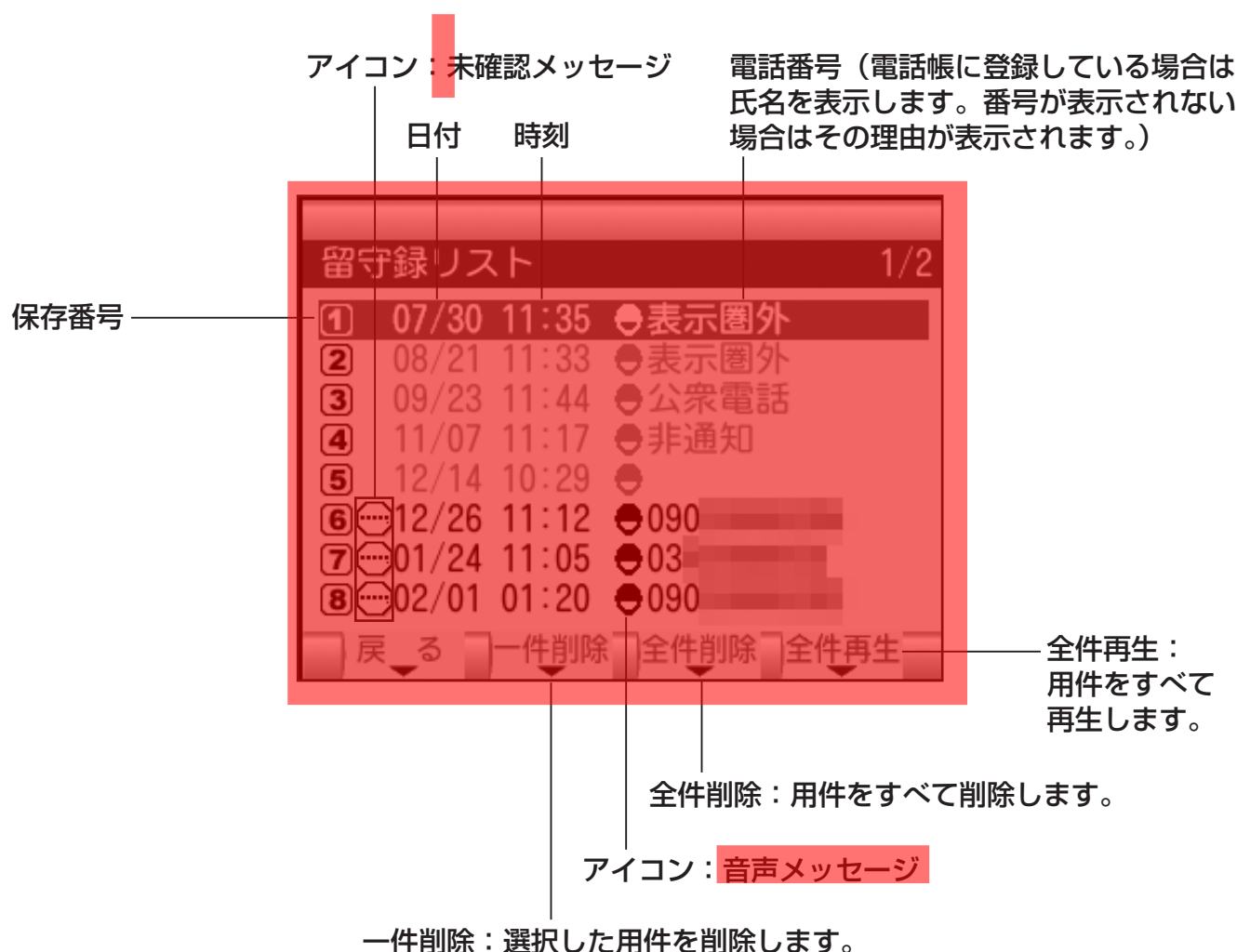
留守番電話ランプが消え、画面が表示されます。
未確認の用件のみ、日時の古い順に再生されます。



用件の再生が終了すると、留守録リストが表示されます。



■留守録リスト画面について



※古い順にリストが表示されます。



ワンポイント

●用件を最初から聞き直すには

用件の再生中に保留ボタン（リピート）を押します。

●用件を1件削除するには

①留守録リスト画面で削除する用件を選び、キャッチボタン（一件削除）を押す。

②左右ボタンで「はい」を選び、《メニュー／決定》を押す。

●用件を全件削除するには

①留守録リスト画面で保留ボタン（全件削除）を押す。

②左右ボタンで「はい」を選び、《メニュー／決定》を押す。

③《メニュー／決定》を押す。



お知らせ

●未確認の用件がない場合は、留守番電話を解除しても再生は始まりません。

●録音日時に関するガイダンスはありません。

●用件の再生中にハンドセットを取りあげた場合、発信状態に切り替わります。途中まで再生していた用件は確認済み扱いとなります。

●着信中に留守番電話を解除した場合は、未確認の用件も手動で再生する必要があります。「メニューから用件を再生する」(→P2-52)の操作を行ってください。

●USBメモリを接続しているときに全件削除した場合は、USBメモリと本商品に保存している用件すべてが削除されます。

メニューから用件を再生する

本商品またはUSBメモリに保存されている用件を、メニュー画面から1件ずつ再生することができます。

1

電話画面から、《メニュー／決定》を押す。

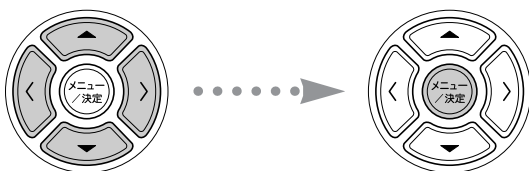


メニュー画面が表示されます。



2

上下左右ボタンで【電話】を選び、
《メニュー／決定》を押す。

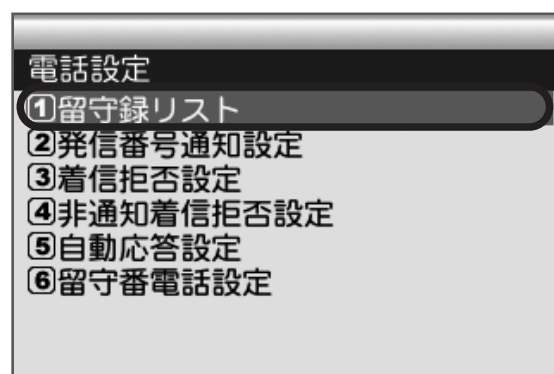


電話設定画面が表示されます。



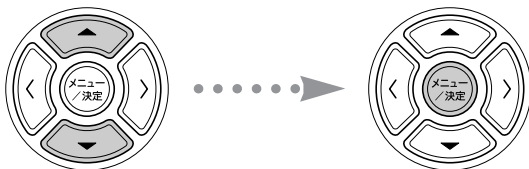
3

「留守録リスト」が選ばれていることを確認し、《メニュー／決定》を押す。



4

上下ボタンで再生する用件を選び、《メニュー／決定》を押す。



用件が再生されます。未確認の用件を再生すると、未確認のアイコンが消えます。

留守録リスト

1/2

①	07/30 11:35	●表示圏外
②	08/21 11:33	●表示圏外
③	09/23 11:44	●公衆電話
④	11/07 11:17	●非通知
⑤	12/14 10:29	●
⑥	12/26 11:12	●090
⑦	01/24 11:05	●03
⑧	02/01 01:20	●090

2 操作編

留守番電話として使うには



お知らせ

- 録音日時に関するガイダンスはありません。
- 用件の再生中にハンドセットを取りあげた場合、発信状態に切り替わります。途中まで再生していた用件は確認済み扱いとなります。

応答までの時間を設定する

電話がかかってきてから応答メッセージが流れ始めるまでの時間を変更することができます。

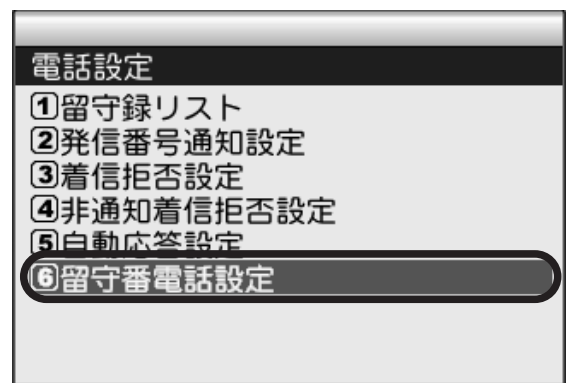
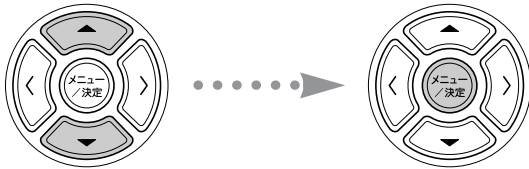
＜例＞留守応答時間を10秒に設定する場合

1 「メニューから用件を再生する」(→P2-52)

の手順1～2を行う。

電話設定画面が表示されます。

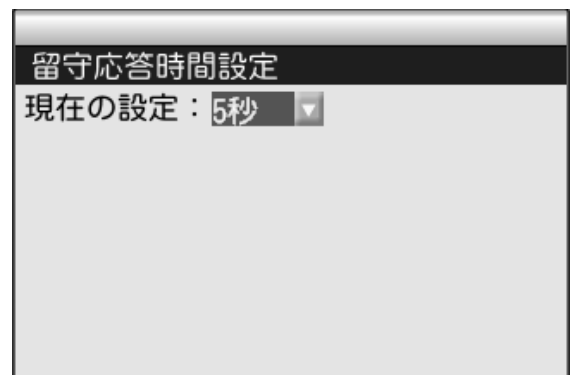
2 上下ボタンで「留守番電話設定」を選び、 《メニュー／決定》を押す。



3 「留守応答時間設定」が選ばれていることを 確認し、《メニュー／決定》を押す。

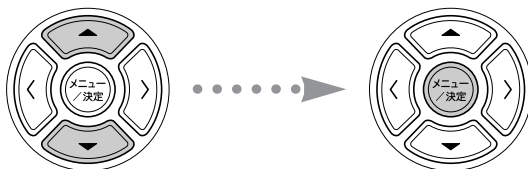


4 《メニュー／決定》を押す。



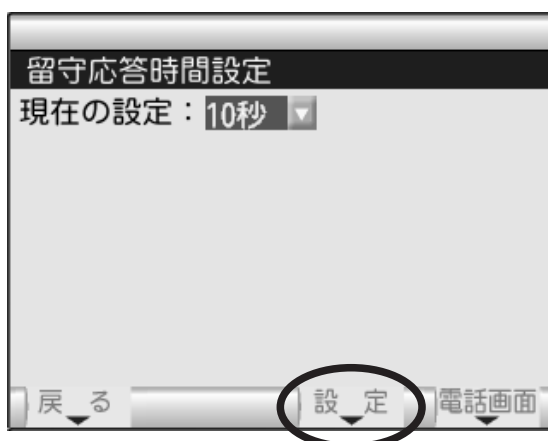
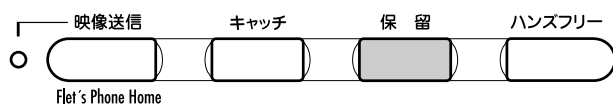
5

上下ボタンで秒数を選び、《メニュー／決定》を押す。



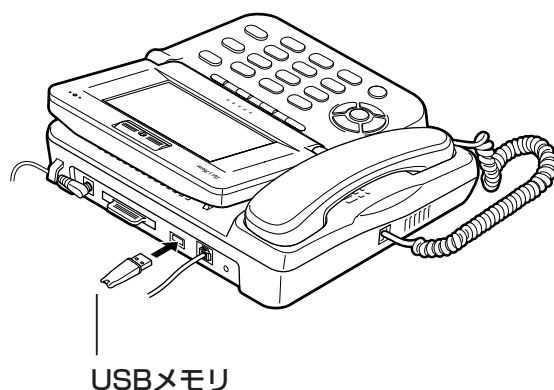
6

保留ボタン（設定）を押す。



USBメモリを接続する

本商品のUSBポートに別途ご用意いただくUSBメモリを接続して、留守番電話の用件を保存することができます。



お知らせ

- すべてのUSBメモリとの接続を保証するものではありません。USBメモリの推奨品は、フレッツフォンホームでご確認ください。(→P2-91) またUSBポートにUSBメモリ以外は取り付けないでください。

電話番号を通知するには (発信番号通知設定)

電話をかけるときに、自分の電話番号を相手の方に通知するかどうかを設定します。

<例>通知しないようにする場合

1

電話画面から、《メニュー／決定》を押す。

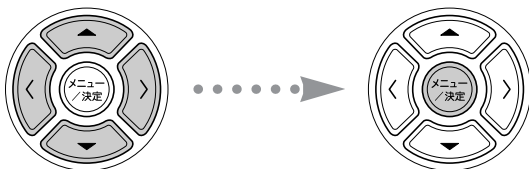


メニュー画面が表示されます。



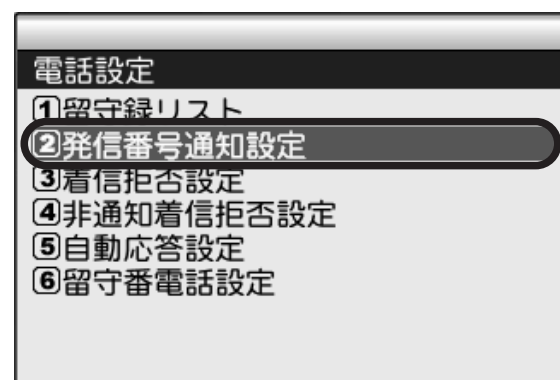
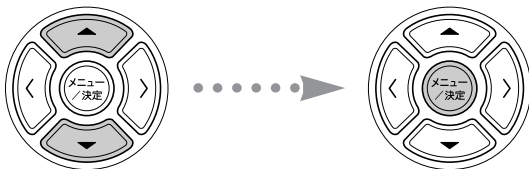
2

上下左右ボタンで【電話】を選び、
《メニュー／決定》を押す。



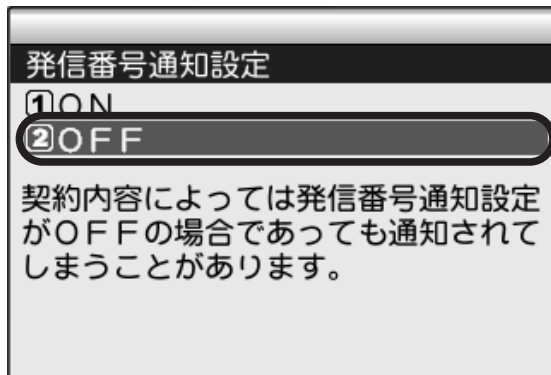
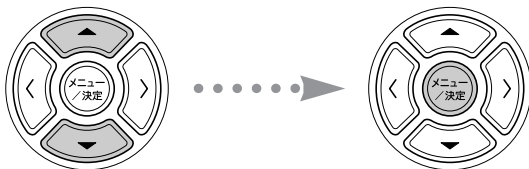
3

上下ボタンで「発信番号通知設定」を選び、
《メニュー／決定》を押す。



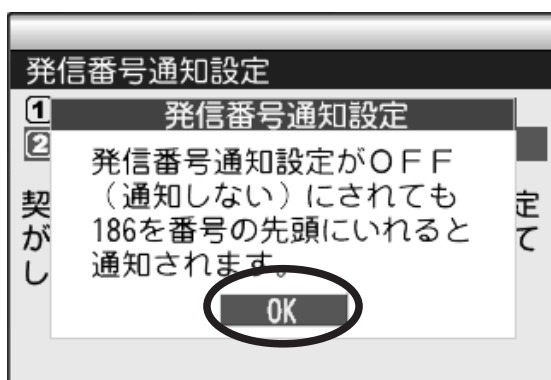
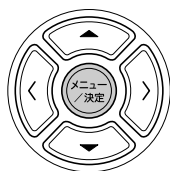
4

上下ボタンで「OFF」を選び、《メニュー／決定》を押す。



5

《メニュー／決定》を押す。



ワンポイント

●電話をかけるとき、電話番号を通知しないようにするには

相手の電話番号の前に「184」をダイヤルします。発信番号通知設定が「ON」の場合でも、自分の電話番号が通知されません。

●電話をかけるとき、電話番号を通知するには

相手の電話番号の前に「186」をダイヤルします。発信番号通知設定が「OFF」の場合でも、自分の電話番号が通知されます。



お知らせ

- サービスによっては、対応しない場合があります。詳しくは当社のお問い合わせ先窓口へお問い合わせください。

■電話番号が表示される場合

	音声着信	テレビ電話着信
電話帳に登録がない相手からの着信		
電話帳に登録している相手からの着信		

 お知らせ

- 2-58

■電話番号が表示されない場合

	音声着信	テレビ電話着信
電話番号を通知しない操作や、通知しない契約をしている相手からの着信		
公衆電話からの着信		なし
国際電話などのサービス対象外からの着信		なし
1台の電話機に、複数の電話番号が割り付けられている電話からの着信（ダイヤルイン契約）など		なし
ひかり電話サービスをご利用のお客様でナンバー・ディスプレイ契約をしていないお客様への着信		

迷惑電話を受けないようにするには (着信拒否)

電話を受けたくない相手からかかってきたときに、「プープー…」というお話し中の音を流して着信を拒否することができます。呼出音も鳴らないので、迷惑電話にわずらわされません。



次の登録や設定をしてください。2つの設定を同時に「ON」にすることもできます。

受けたくない相手からの電話を 拒否するには

受けたくない相手の電話番号を、着信拒否リストに登録します。(→P2-60)

かかってきた迷惑電話の電話番号を登録するときは、着信履歴を利用します。(→P2-45)



着信拒否設定を「ON」にします。(→P2-63)

電話番号を通知してこない(「非通知」と表示される)着信を拒否するには

非通知着信拒否設定を「ON」にします。(→P2-64)

電話番号を登録する

電話番号を着信拒否リストに登録します。20件まで登録できます。
発信履歴や着信履歴から着信拒否リストに登録することもできます。(→P2-45)

1

電話画面から、《メニュー／決定》を押す。

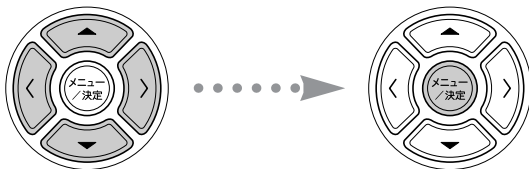


メニュー画面が表示されます。



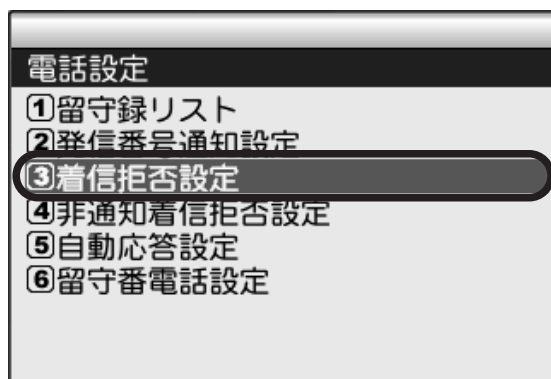
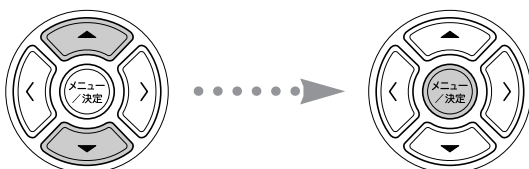
2

上下左右ボタンで【電話】を選び、
《メニュー／決定》を押す。



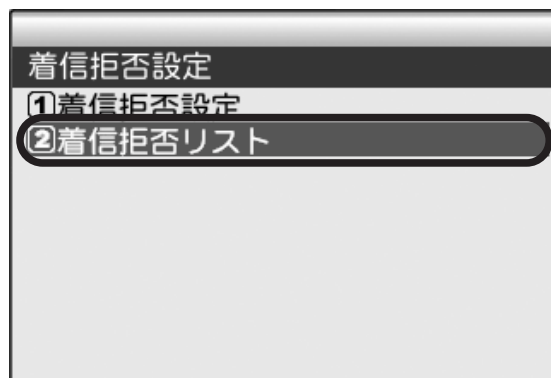
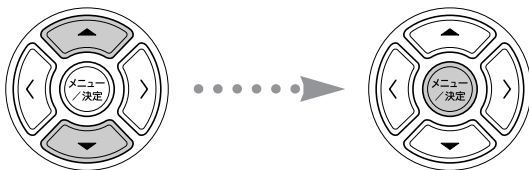
3

上下ボタンで「着信拒否設定」を選び、《メニュー／決定》を押す。



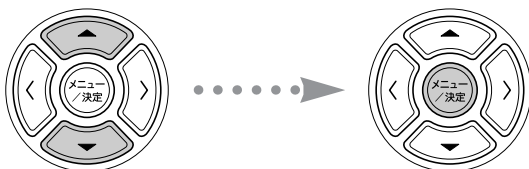
4

上下ボタンで「着信拒否リスト」を選び、
《メニュー／決定》を押す。



5

上下ボタンで登録する番号を選び、《メニュー／決定》を押す。



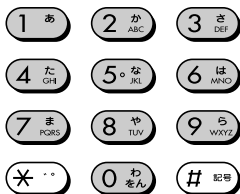
左右ボタンを押してページを切り替えることができます。

（次ページへ続く）

迷惑電話を受けないようにするには (着信拒否)

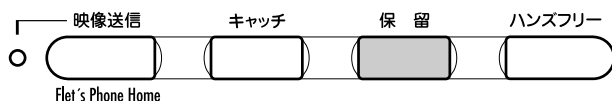
6

電話番号を入力し、《メニュー／決定》を押す。



7

保留ボタン（設定）を押す。



ワンポイント

●着信拒否リストから1件削除するには

- ①手順1～4を行う。
- ②上下ボタンで削除する番号を選び、キャッチボタン（一件削除）を押す。
- ③左右ボタンで「はい」を選び、《メニュー／決定》を押す。



お知らせ

- 着信拒否リストに自動応答リストと同じ番号が登録されていた場合、着信拒否となります。
- 着信拒否リストの全件を一括で削除することはできません。
- ひかり電話サービスの内線番号（2桁以下）は登録できません。他のサービスを使用している場合も2桁以下の電話番号は登録できません。

着信拒否を設定する

着信拒否リストを登録後、着信拒否を「ON」に設定します。着信拒否リストに電話番号を登録していても、本設定を「ON」に設定していないと、着信拒否しません。

「電話番号を登録する」(→2-60)の手順1

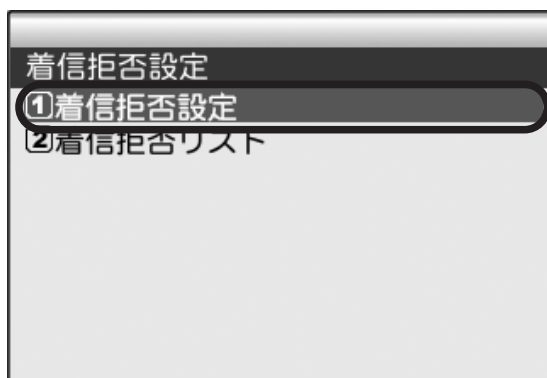
～3を行う。

着信拒否設定画面が表示されます。

2

「着信拒否設定」が選ばれていることを確認

し、《メニュー／決定》を押す。



「ON」が選ばれていることを確認し、《メ

ニュー／決定》  **を押す。**



2 操作編

迷惑電話を受けないようにするには（着信拒否）

[illegible]

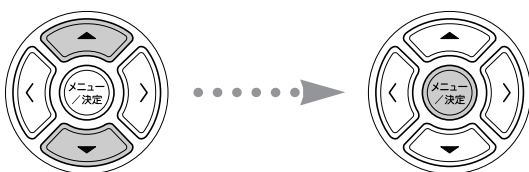
- 着信拒否を有効にするためには、ナンバー・ディスプレイのご契約が必要です。

番号通知のない着信を拒否する

- 1** 「電話番号を登録する」(→2-60)の手順1
～2を行う。

電話設定画面が表示されます。

- 2** 上下ボタンで「非通知着信拒否設定」を選び、
《メニュー／決定》を押す。



電話設定

- ①留守録リスト
- ②発信番号通知設定
- ③着信拒否設定
- ④非通知着信拒否設定
- ⑤自動応答設定
- ⑥留守番電話設定

- 3** 「ON」が選ばれていることを確認し、《メ
ニュー／決定》を押す。



非通知着信拒否設定

- ①ON
- ②OFF

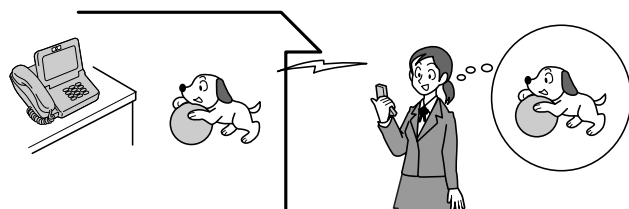


- 非通知着信拒否を有効にするためには、ナンバー・ディスプレイのご契約が必要です。

テレビ電話で家の様子を見るには (自動応答)

あらかじめ登録した電話番号からかかってきたときには、呼出音を鳴らさずに、すぐに電話がつながるようにすることができます。電話を受ける側でハンドセットを取りあげたり、ハンズフリーボタンを押したりする必要がないので、次のような使いかたができます。

テレビ電話対応機器から本商品に電話をかけて、家の中の様子を見る



特定の相手からの電話のときは、何も操作しなくても、すぐお話しできるようにする



テレビ電話に対応していない機器と、音声のみの通話をすることもできます。



次の登録や設定をしてください。

すぐにつなげたい電話番号を、自動応答リストに登録します。(→P2-65)

自動応答設定を「ON」にします。(→P2-68)

電話番号を登録する

電話番号を自動応答リストに登録します。20件まで登録できます。
電話帳や発信履歴、着信履歴から自動応答リストに登録することもできます。(→P2-44)

1

電話画面から、《メニュー／決定》を押す。



メニュー画面が表示されます。

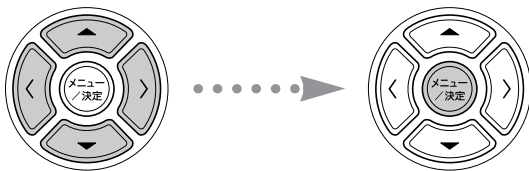


(次ページへ続く)

テレビ電話で家の様子を見るには (自動応答)

2

上下左右ボタンで【電話】を選び、
《メニュー／決定》を押す。



電話設定画面が表示されます。

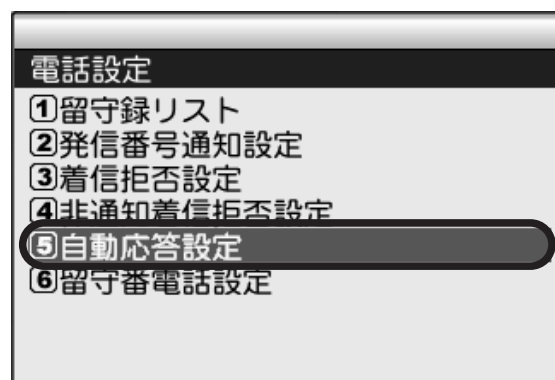


3

上下ボタンで「自動応答設定」を選び、《メニュー／決定》を押す。

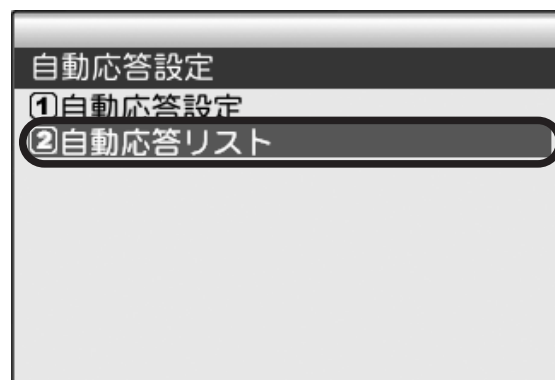
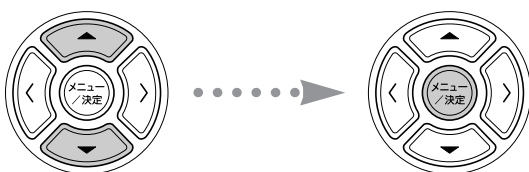


自動応答設定画面が表示されます。



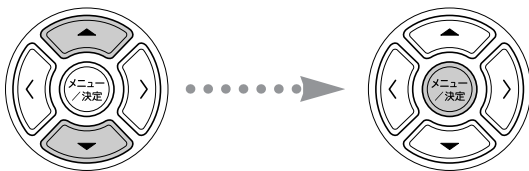
4

上下ボタンで「自動応答リスト」を選び、
《メニュー／決定》を押す。

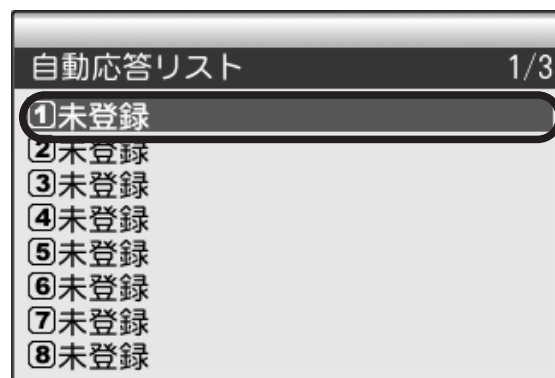


5

上下ボタンで登録する番号を選び、《メニュー／決定》を押す。



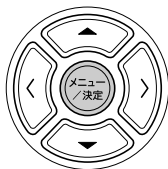
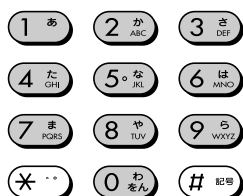
左右ボタンを押してページを切り替えることができます。



6

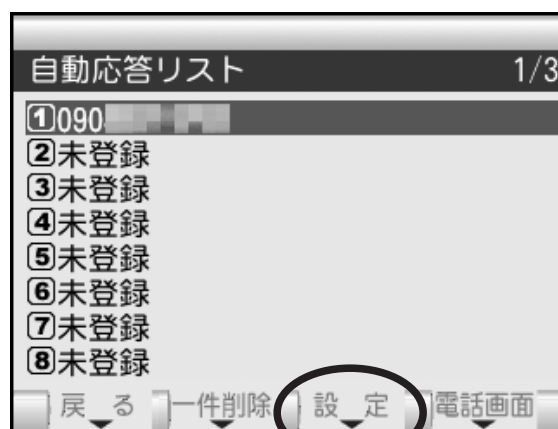
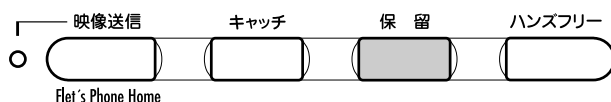
電話番号を入力し、《メニュー／決定》

を押す。



7

保留ボタン（設定）を押す。

2
操作編

テレビ電話で家の様子を見るには（自動応答）



ワンポイント

●自動応答リストから1件削除するには

- ①手順1～4を行う。
- ②上下ボタンで削除する番号を選び、キャッチボタン（一件削除）を押す。
- ③左右ボタンで「はい」を選び、《メニュー／決定》を押す。



お知らせ

- 自動応答リストの全件を一括削除することはできません。
- 留守番電話を設定時に、自動応答リストに登録している電話番号から着信があった場合、自動応答が優先されます。
- 自動応答機能を利用するためにはナンバー・ディスプレイ契約が必要です。

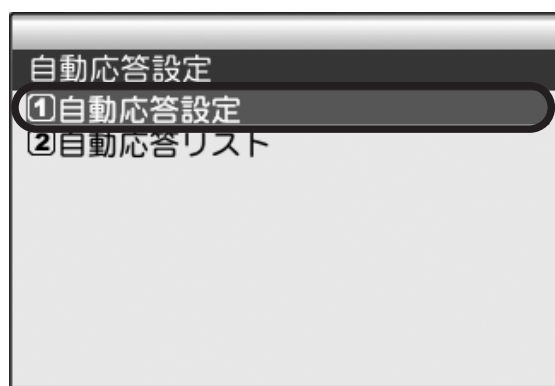
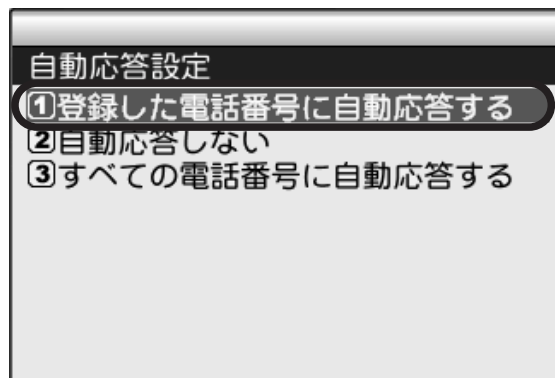
自動応答を設定する

自動応答リストを登録後、自動応答を「登録した電話番号に自動応答する」に設定します。自動応答リストに電話番号を登録していても、本設定を「登録した電話番号に自動応答する」に設定していないと、自動応答しません。

1 「電話番号を登録する」(→P2-65)の手順

1～3を行う。

自動応答設定画面が表示されます。

2 「自動応答設定」が選ばれていることを確認し、《メニュー／決定》を押す。3 「登録した電話番号に自動応答する」が選ばれていることを確認し、《メニュー／決定》を押す。

「すべての電話番号に自動応答する」を選ぶと、かかってきた電話にすべて自動応答します。

電話がかかってくると

自動応答を設定していると、呼出音は鳴らず、即座にハンズフリー通話状態になります。

1

電話がかかってきてハンズフリー通話状態になったら、相手の方とお話する。



相手の方が電話を切ると、「通信切断中」という画面が表示されたあと、電話画面に戻ります。

2 操作編

テレビ電話で家の様子を見るには（自動応答）



ワンポイント

●自分で電話を切るには

ハンズフリーボタンを押します。

●外出先から自宅の様子を見るには

テレビ電話対応機器の電話番号を、あらかじめ自動応答リストに登録しておきます。この機器から自宅にテレビ電話をかけると、呼出音を鳴らさずにつながり、自宅内の様子を見ることができます。



お知らせ



- 留守番電話をセットしているとき、自動応答リストに登録している電話番号から電話がかかってきた場合は、自動応答が優先されます。ただし、非通知着信拒否設定および着信拒否リストに登録してある電話番号からの電話は着信拒否が優先されます。

音量を調節したり、呼出音や画面の色合いと明るさなどを設定することができます。

呼出音量を調節する

電話がかかってきたときの呼出音量を調節することができます。

1

電話画面から、《メニュー／決定》を押す。



メニュー画面が表示されます。



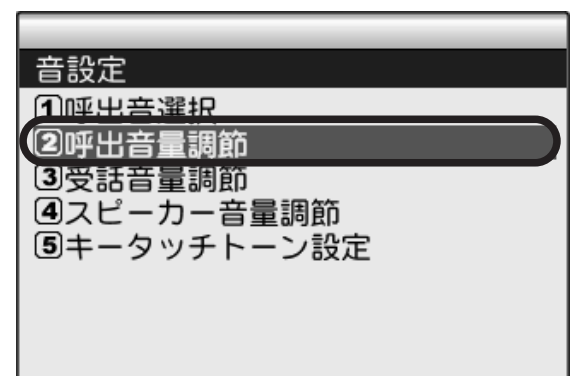
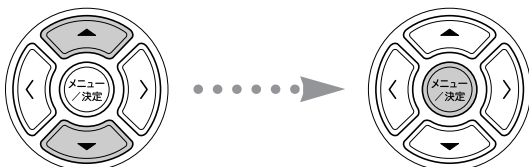
2

【音】が選ばれていることを確認し、
《メニュー／決定》を押す。



3

上下ボタンで「呼出音量調節」を選択し、
《メニュー／決定》を押す。



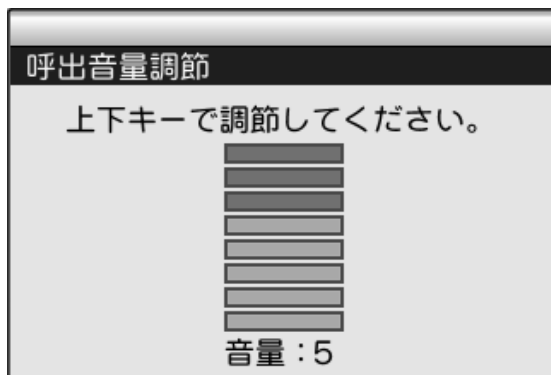
4

上下ボタンで呼出音量を調節する。



確認音が鳴ります。

音量：0に設定すると、呼出音が鳴らなくなります。



5

《メニュー／決定》を押す。

ワンポイント

●着信中に呼出音量を調節するには

着信中に上下ボタンを押して呼出音量を調節することができます。通話終了後も変更した音量が有効になります。

●呼出音量を調節したときの確認音は

設定されている呼出音にかかわらず、手順4では確認音として「ベル音1」が鳴ります。

受話音量を調節する

ハンドセットから聞こえる相手の方の声の大きさを調節します。

1

電話画面から、《メニュー／決定》を押す。

メニュー画面が表示されます。



(次ページへ続く)

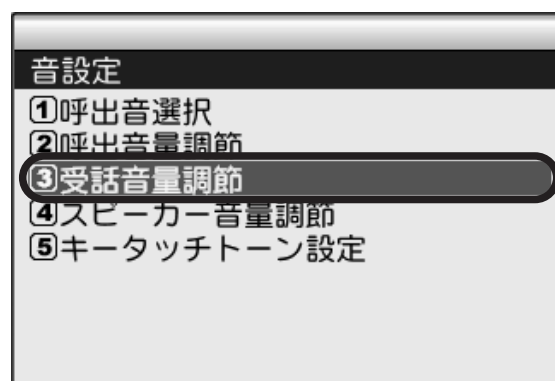
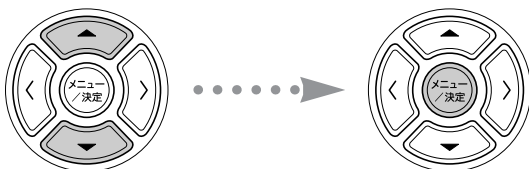
2

【音】  が選ばれていることを確認し、
《メニュー／決定》  を押す。



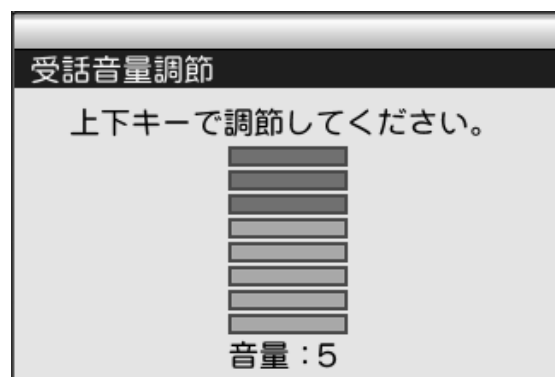
3

上下ボタンで「受話音量調節」を選択し、
《メニュー／決定》  を押す。



4

上下ボタンで受話音量を調節する。



5

《メニュー／決定》  を押す。



●受話音量の調節時は、確認音は鳴りません。

スピーカー音量を調節する

スピーカーから聞こえる相手の方の声の大きさを調節します。

1

電話画面から、《メニュー／決定》を押す。



メニュー画面が表示されます。



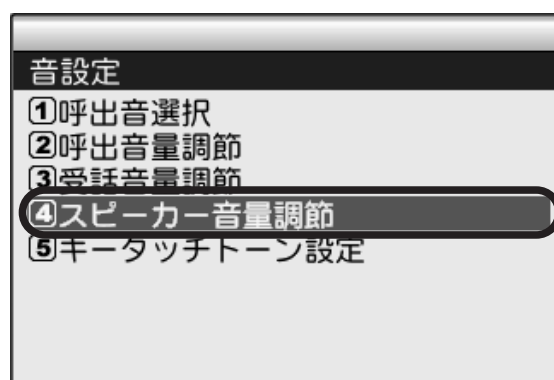
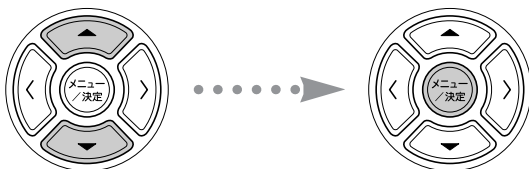
2

【音】が選ばれていることを確認し、
《メニュー／決定》を押す。



3

上下ボタンで「スピーカー音量調節」を選択し、《メニュー／決定》を押す。

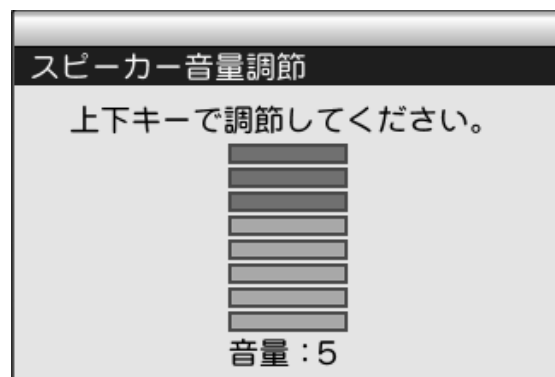


2 操作編

音と画面の機能を設定するには

(次ページへ続く)

上下ボタンでスピーカー音量を調節する。



《メニュー／決定》を押す。



- スピーカー音量の調節時は、確認音は鳴りません。

呼出音を選ぶ

電話がかかってきたときに本商品から鳴る呼出音を、4種類から選ぶことができます。

電話画面から、《メニュー／決定》を押す。



メニュー画面が表示されます。

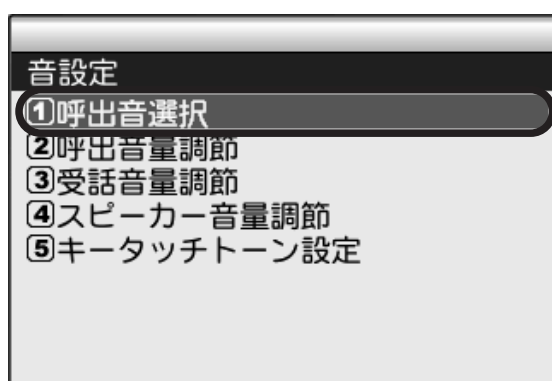
2

【音】 が選ばれていることを確認し、
《メニュー／決定》 を押す。



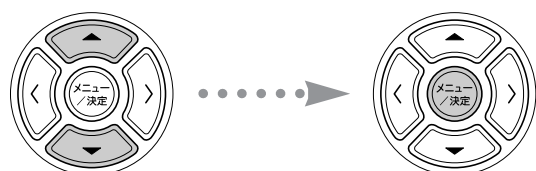
3

「呼出音選択」が選ばれていることを確認し、
《メニュー／決定》 を押す。

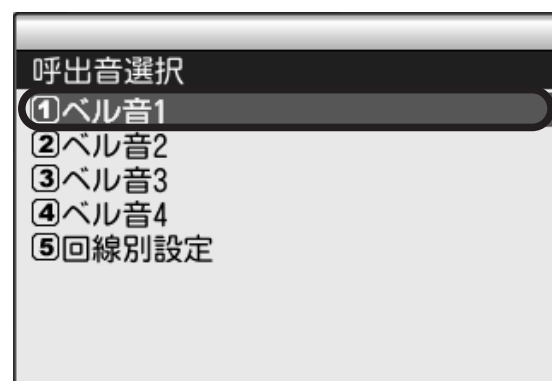


4

上下ボタンで呼出音を選び、《メニュー／決定》 を押す。



選んだ呼出音を確認できます。



外線、内線の呼出音を別々に選ぶ

ひかり電話にご契約されている場合は、外線、内線の呼出音を別々に設定することができます。

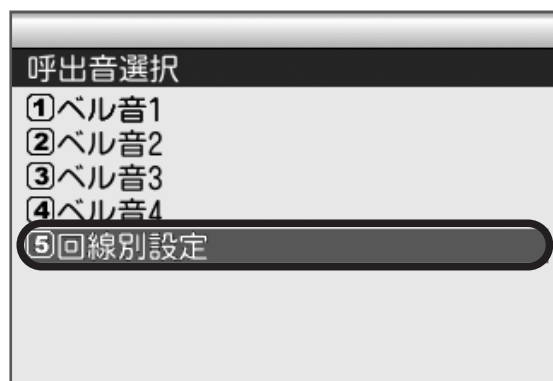
1

「呼出音を選ぶ」の手順1～3を行う。

呼出音選択画面が表示されます。

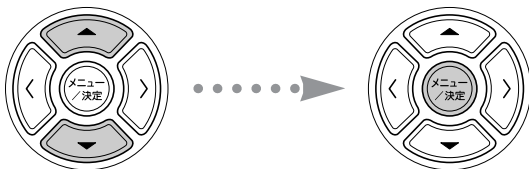
2

上下ボタンで「回線別設定」を選び、《メニュー／決定》を押す。



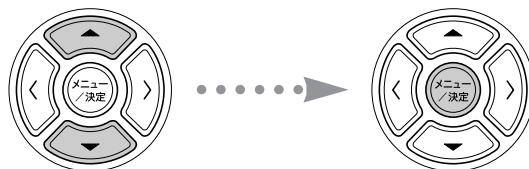
3

上下ボタンで「外線」または「内線」を選び、《メニュー／決定》を押す。

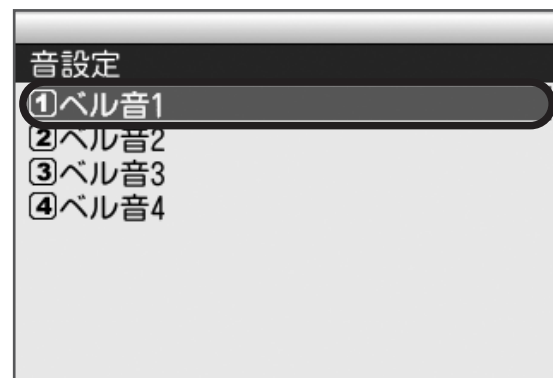


4

上下ボタンで呼出音を選び、《メニュー／決定》を押す。



選んだ呼出音を確認できます。



お知らせ

●呼出音のダウンロードはできません。また、メロディを作成し、登録することはできません。

●発信元番号によって呼出音を使い分けることはできません。

画面の色合いを調節する

画面の色合いを調節することができます。調節時には自分の映像が表示されますので、自画像を見ながら調節してください。

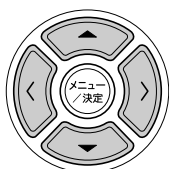
1 電話画面から、《メニュー／決定》を押す。



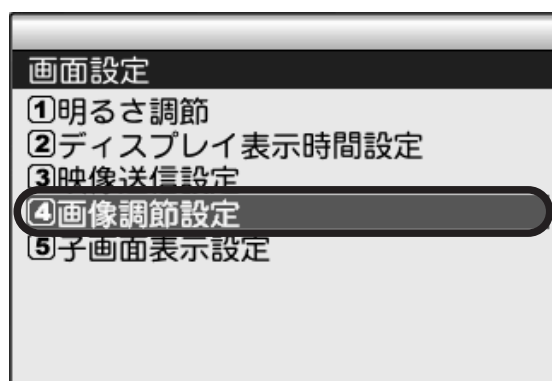
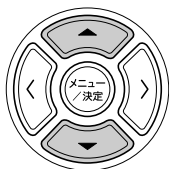
メニュー画面が表示されます。



2 上下左右ボタンで【画面】を選び、《メニュー／決定》を押す。



3 上下ボタンで「画像調節設定」を選び、《メニュー／決定》を押す。

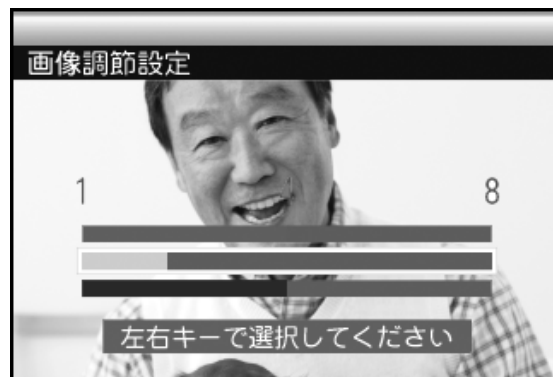
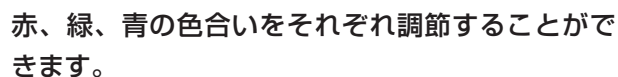


2 操作編

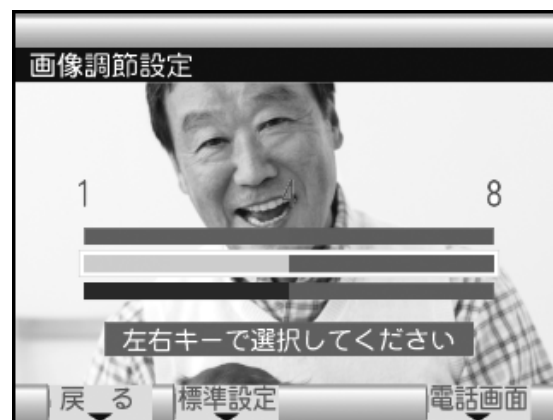
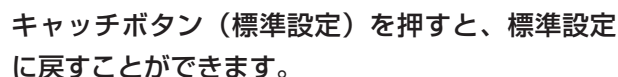
音と画面の機能を設定するには

(次ページへ続く)

上下ボタンで調節する色を選ぶ。



左右ボタンで色を調節する。



《メニュー／決定》を押す。



- 周囲の環境や背景により、自動的に色合いの調整を行っております。そのため、実物とカメラ映像とでは色合いが多少異なって見える場合があります。

画面の明るさを調節する

画面の明るさを調節することができます。調節時には自分の映像が表示されますので、自画像を見ながら調節してください。

1

電話画面から、《メニュー／決定》を押す。

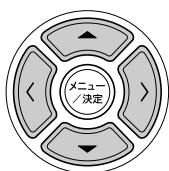


メニュー画面が表示されます。



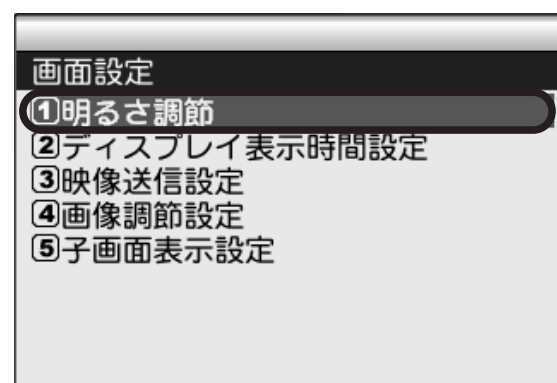
2

上下左右ボタンで【画面】を選び、
《メニュー／決定》を押す。



3

「明るさ調節」が選ばれていることを確認し、
《メニュー／決定》を押す。



2
操作編

音と画面の機能を設定するには

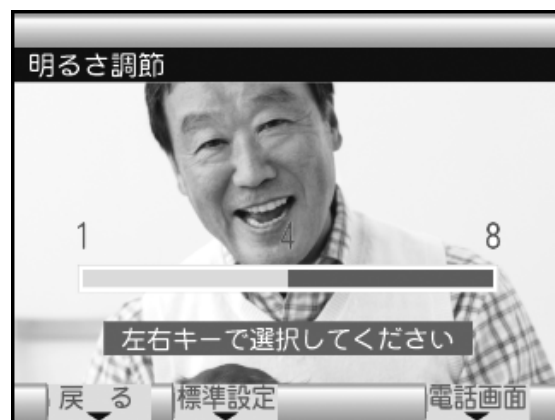
(次ページへ続く)

4

左右ボタンで明るさを調節する。



キャッチボタン（標準設定）を押すと、標準設定に戻ることができます。



5

《メニュー／決定》を押す。

画面が消えるまでの時間を設定する

一定時間操作が行われないときは、画面が消えます。操作が行われなくなってから画面が消えるまでの時間を設定することができます。

1

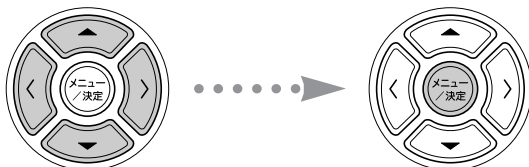
電話画面から、《メニュー／決定》を押す。

メニュー画面が表示されます。



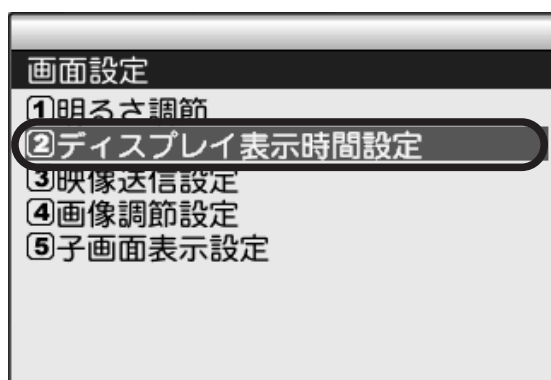
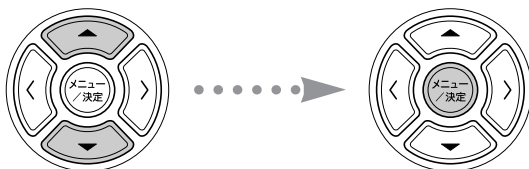
2

上下左右ボタンで【画面】を選び、
《メニュー／決定》を押す。



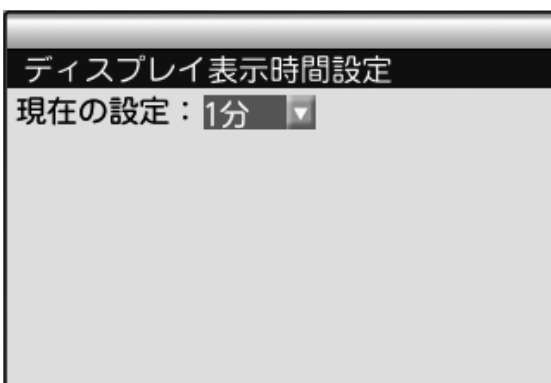
3

上下ボタンで「ディスプレイ表示時間設定」
を選び、《メニュー／決定》を押す。



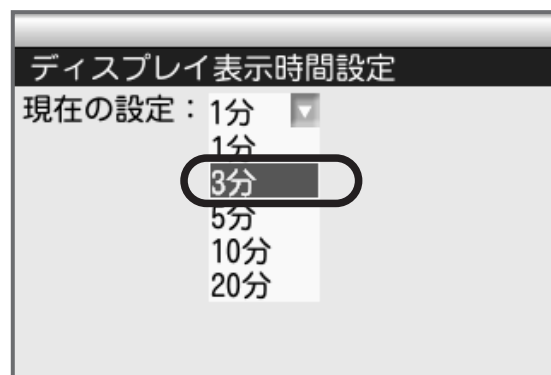
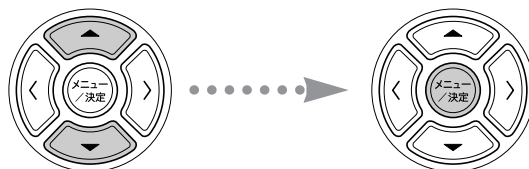
4

《メニュー／決定》を押す。



5

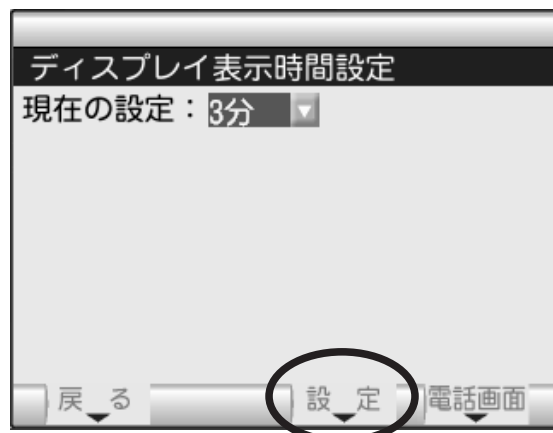
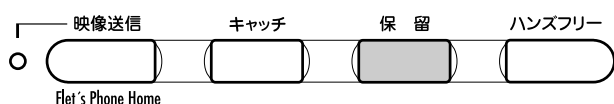
上下ボタンで表示時間を選び、《メニュー／決定》を押す。



(次ページへ続く)

6

保留ボタン（設定）を押す。



ワンポイント

●画面が消えているときは

- ・ボタンを押すと、電話画面が表示されます。
- ・ハンドセットを取りあげると、ダイヤル入力画面が表示されます。
- ・電話がかかってくると、着信画面が表示されます。
(→ P2-6、P2-7)



お知らせ

- 設定ガイド中に画面が消えた場合は、消える前に表示されていた画面に戻ります。
- 本機能は、通話中、アップデート中、留守メッセージ再生中には働きません。

ボタンを押したときに音が鳴らないようにする（キータッチトーン設定）

ボタンを押したときの音（キータッチトーン）が鳴らないように設定することができます。

1

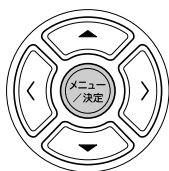
電話画面から、《メニュー／決定》を押す。

メニュー画面が表示されます。



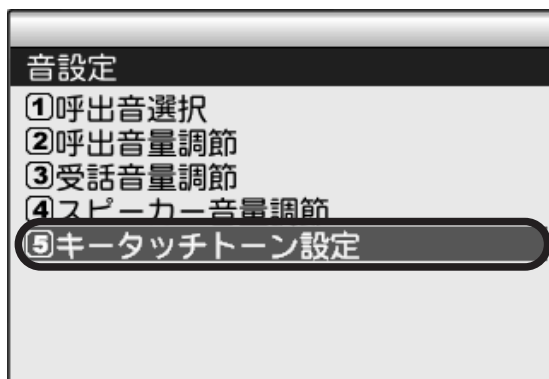
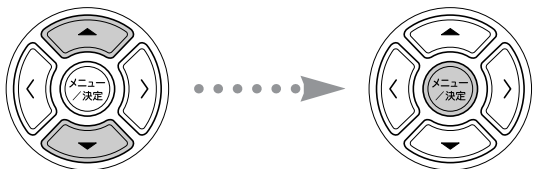
2

【音】 が選ばれていることを確認し、
《メニュー／決定》を押す。



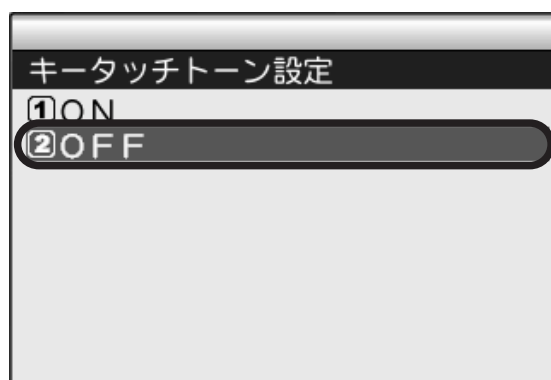
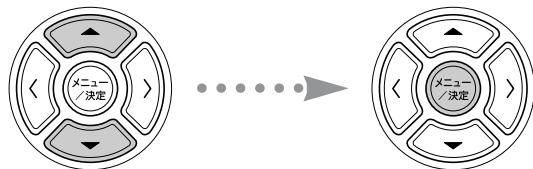
3

上下ボタンで「キータッチトーン設定」を選び、《メニュー／決定》を押す。



4

上下ボタンで「OFF」を選び、《メニュー／決定》を押す。



●キータッチトーンの音量は調節できません。

本商品のソフトウェアを最新の状態にアップデート（バージョンアップ）することができます。以下の3通りの方法でアップデートできます。

- ・本商品を初めてお使いいただくときにアップデートする（→P3-32）
- ・本商品を自動でアップデートする（→P2-84）
- ・本商品を手動でアップデートする（→P2-89）



ワンポイント

●ソフトウェアについて

本商品に内蔵された、動作を制御するソフトウェアは、アップデート（バージョンアップ）を行うことにより、最新の状態にすることができます。



お知らせ

- お客様のご契約内容によっては、ネットワークを介したソフトウェアのアップデートができない場合がありますので、詳しくは当社のお問い合わせ先窓口へお問い合わせください。

自動でアップデートする

自動アップデートを「ON」に設定すると、緊急度の高いソフトウェアが公開されている場合、自動アップデート開始時刻になると自動的にソフトウェアをアップデートすることができます。

自動アップデートを「OFF」に設定すると、緊急度の高いソフトウェアが公開されている場合、アップデート開始時刻になってもアップデートを行いません。また、緊急度の低いソフトウェアが公開されている場合も、アップデート開始時刻になってもアップデートを行いません。手動で行ってください。（→P2-89）



新しいソフトウェアを確認した場合は、電話画面のステータスバーにアイコンを表示して、お客様にお知らせします。

自動アップデートを「OFF」に設定している場合は、再起動などを行わずに本商品を使用している間はアイコンを表示しません。

参照 「画面について」(P1-21)

本商品は1日1回、当社のソフトウェア更新用のサーバーに最新のソフトウェアが公開されているかどうかの問い合わせを行います。問い合わせ時間は商品によって異なります。



お願い

- アップデート中や再起動中は、絶対に電源を切らないでください。回復不能な故障の原因になることがあります。



お知らせ

- アップデート中や再起動中は、電話機能はご利用になれません。
- ソフトウェア更新にかかる時間はおよそ10分です。ご利用の回線の通信速度、ネットワークの状況、サーバーの混雑状況によってはそれ以上の時間がかかる場合もあります。
- お客様のご契約内容によっては、ネットワークを介したソフトウェアのアップデートができない場合があります。詳しくは当社のお問い合わせ先窓口へお問い合わせください。

自動的に更新するかどうかを設定する（自動アップデート設定）

緊急度の高いソフトウェアが公開されている場合、自動アップデート開始時刻になると自動的にソフトウェアをアップデート（バージョンアップ）することができます。

自動アップデート設定を「OFF」にすると、アップデート開始時刻になっても自動的にアップデートを行わないようになります。この場合は、手動でアップデートを行ってください。

1 電話画面から、《メニュー／決定》を押す。



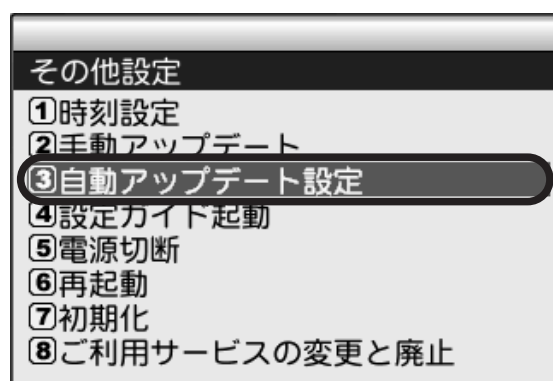
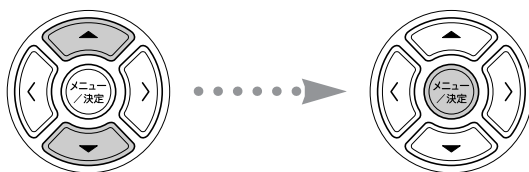
メニュー画面が表示されます。



2 上下左右ボタンで【その他】を選び、
《メニュー／決定》を押す。



3 上下ボタンで「自動アップデート設定」を選び、
《メニュー／決定》を押す。



2 操作編

ソフトウェアを最新の状態にするには

（次ページへ続く）

4

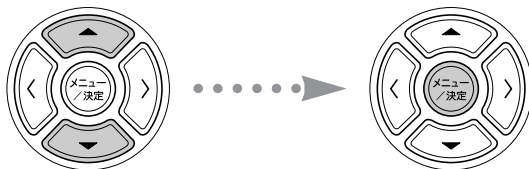
「自動アップデート設定」が選ばれていることを確認し、《メニュー／決定》を押す。



自動アップデート設定
①自動アップデート設定
②自動アップデート時刻設定

5

上下ボタンで「ON」または「OFF」を選び、《メニュー／決定》を押す。



自動アップデート設定
①ON
②OFF

指定時刻に緊急度の高いソフトウェアを更新する（自動アップデート時刻設定）

自動アップデートを行う時間を設定することができます。

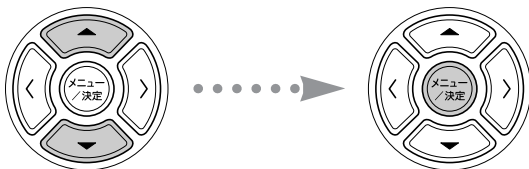
アップデート中はテレビ電話機能は使用できません。電話をご利用にならない時間帯を設定してください。

1

「自動的に更新するかどうかを設定する（自動アップデート設定）」（→P2-85）の手順1～3を行う。

2

上下ボタンで「自動アップデート時刻設定」を選び、《メニュー／決定》を押す。

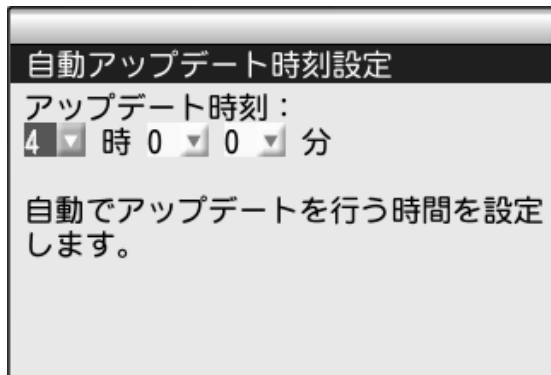


自動アップデート設定
①自動アップデート設定
②自動アップデート時刻設定

3

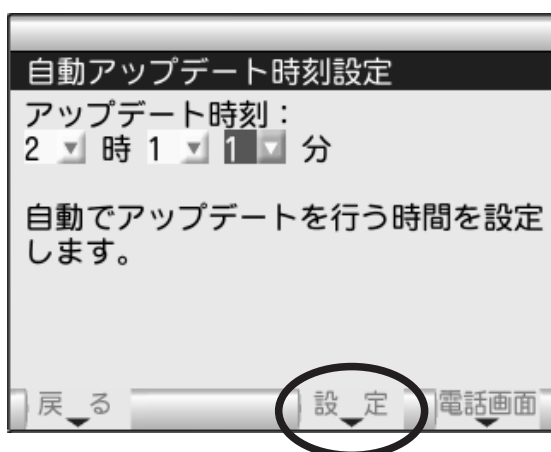
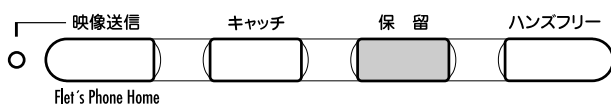
時刻を設定する。

「時刻を設定するには」(→P4-10)の手順4～9を参照してください。



4

保留ボタン（設定）を押す。



ワンポイント

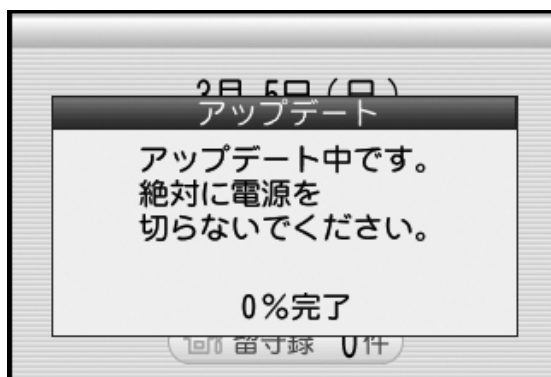
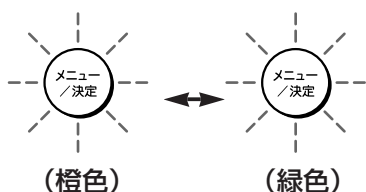
●アップデート時刻を設定しない場合は

4時01分～5時00分の範囲で自動的に設定されます。

自動アップデート中の画面について

自動アップデート中は以下の画面が表示されます。

状態ランプが橙色と緑色の交互に点滅します。



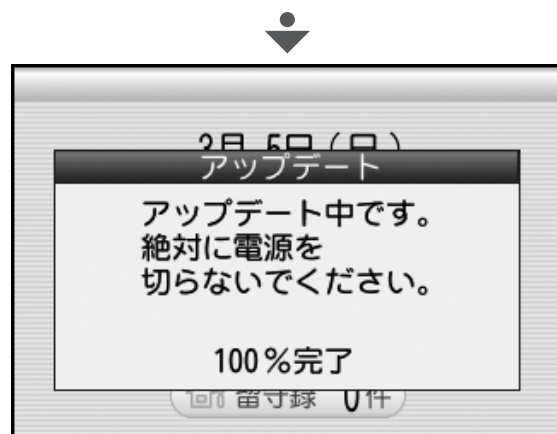
(次ページへ続く)

100%完了になるまでお待ちください。

ソフトウェア更新後、再起動します。再起動中は、状態ランプが橙色に点灯します。



再起動後、電話画面が表示され、状態ランプが緑色に点灯します。



お知らせ

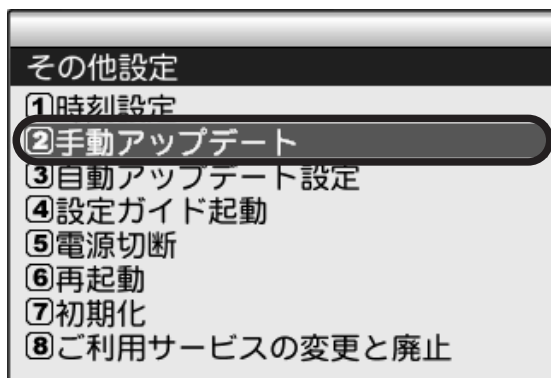
- アップデート中や再起動中は、電話機能はご利用になれません。
- ソフトウェア更新にかかる時間はおよそ10分です。ご利用の回線の通信速度、ネットワークの状況、サーバーの混雑状況によっては、それ以上の時間がかかる場合があります。
- お客様のご契約内容によっては、ネットワークを介したソフトウェアのアップデートができない場合があります。詳しくは当社のお問い合わせ先窓口へお問い合わせください。
- 通話中、設定中、手動ソフトウェア更新中、留守番電話再生中の場合は、通話または設定処理が終わるまで、ソフトウェアの更新を待ち合わせます。

手動でアップデートする

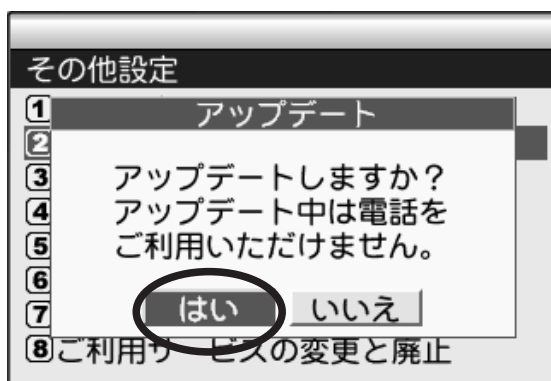
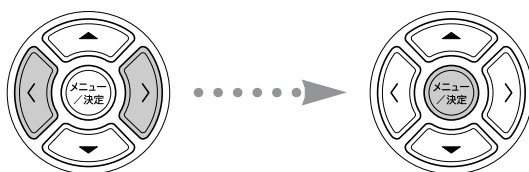
自動アップデート設定を「ON」に設定していても、緊急度の低いソフトウェアが公開されている場合は、アップデート開始時刻になってもアップデートを行いません。手動で行ってください。また、ステータスバーにアイコンが表示されていない場合でも、当社のソフトウェア更新用のサーバーに最新のソフトウェアが公開されているかどうかを問い合わせ、即時にアップデートすることもできます。

- 1 「自動的に更新するかどうかを設定する（自動アップデート設定）」（→P2-85）の手順1～2を行う。

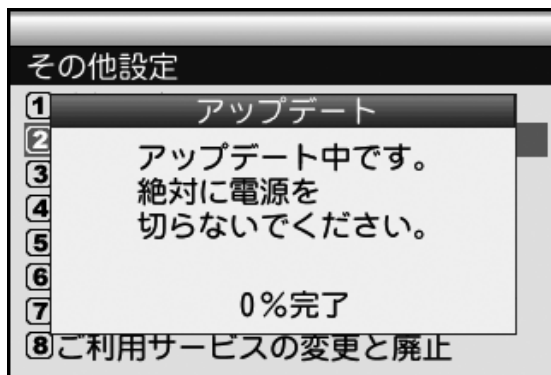
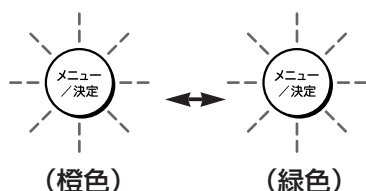
- 2 上下ボタンで「手動アップデート」を選び、《メニュー／決定》を押す。



- 3 左右ボタンで「はい」を選び、《メニュー／決定》を押す。



状態ランプが橙色と緑色の交互に点滅します。



（次ページへ続く）

100%完了になるまでお待ちください。

ソフトウェア更新後、再起動します。再起動中は、状態ランプが橙色に点灯します。



再起動後、電話画面が表示され、状態ランプが緑色に点灯します。

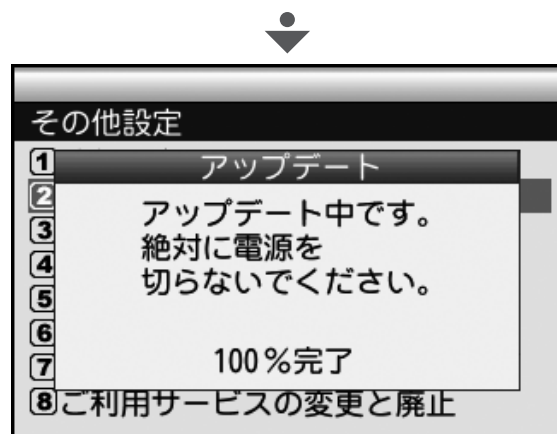


- アップデート中や再起動中は、絶対に電源を切らないでください。回復不能な故障の原因になることがあります。



お知らせ

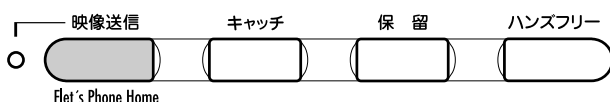
- アップデート中や再起動中は、電話機能はご利用になれません。
- ソフトウェア更新にかかる時間はおよそ10分です。ご利用の回線の通信速度、ネットワークの状況、サーバーの混雑状況によっては、それ以上の時間がかかる場合もあります。
- お客様のご契約内容によっては、ネットワークを介したソフトウェアのアップデートができない場合があります。詳しくは当社のお問い合わせ先窓口へお問い合わせください。



フレッツフォンホームの案内ページを表示できます。本商品の情報のほか各種情報を確認することができます。

1

電話画面から、映像送信ボタンを押す。



2 操作編

本商品の情報を見るには

フレッツフォンホーム利用中は、ソフトキーで以下の操作ができます。

- 戻 　　る：前画面に戻ります。
- リロード：ページを再度読み込みます。
- 中 　断：ページの読み込みを中断します。
- 電話画面：電話画面を表示します。



お知らせ

- インターネットで利用中に電話がかかってきた場合、着信画面が表示され、電話を受けることができます。
- 通話中にインターネットはご利用になれません。
- インターネットで利用中にハンドセットを取りあげた場合は、ダイヤル入力画面が表示されます。(→P2-2)
- ダイヤル入力画面を表示したまま、発信操作を途中でやめた場合や電話を切ったあとは、直前にインターネットで表示していたページは表示されず、電話画面を表示します。
- 本商品はWebページを表示する機能が限定されています。そのためパソコンと同じようには表示されないことがあります。
- サービスによっては対応しない場合があります。詳しくは当社のお問い合わせ先窓口へお問い合わせください。

3

準備・設定編

本商品をご使用になるための準備と設定を行います。

設置場所を確認します	3-2
接続形態を確認します	3-3
接続します	3-4
初期設定をします	3-14
ネットワークの設定をするには	3-35

必要な環境や機器について確認したら、「安全にお使いいただくために必ずお読みください」(→P2) をご覧になり、本商品の設置場所を確認してください。

設置に適さない場所

- ・直射日光が当たる場所
- ・暖房器具の近く
- ・高温多湿の場所
- ・ほこりの多い場所
- ・水や液体がかかるおそれのある場所
- ・発熱する機器の上
- ・明るすぎたり暗すぎたりする場所
- ・騒がしい場所
- ・落下のおそれがある場所
- ・風通しの悪い場所



ワンポイント

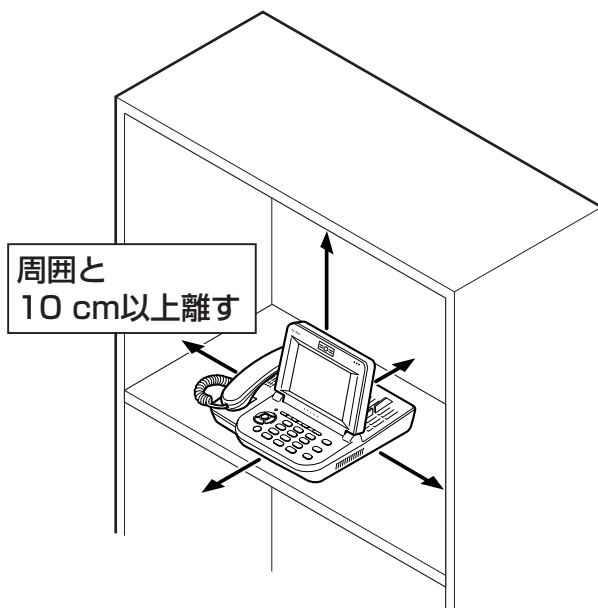
- **LAN (Local Area Network) とは**
企業や学校の建物の中など、小規模なコンピュータネットワークのことです。



お知らせ

- 本商品は、室内での使用を前提としています。
- 適度に明るい室内に設置してください。明るすぎる場所では、カメラの映像が白っぽくなり画面が見にくくなる場合があります。
- 夜間や昼間でも薄暗い部屋の中では、カメラ映像が不鮮明になる場合があります。なるべく明るい部屋でご使用ください。
- LANケーブルやACアダプタの電源コードに足を引っかけたりしないような場所に設置してください。

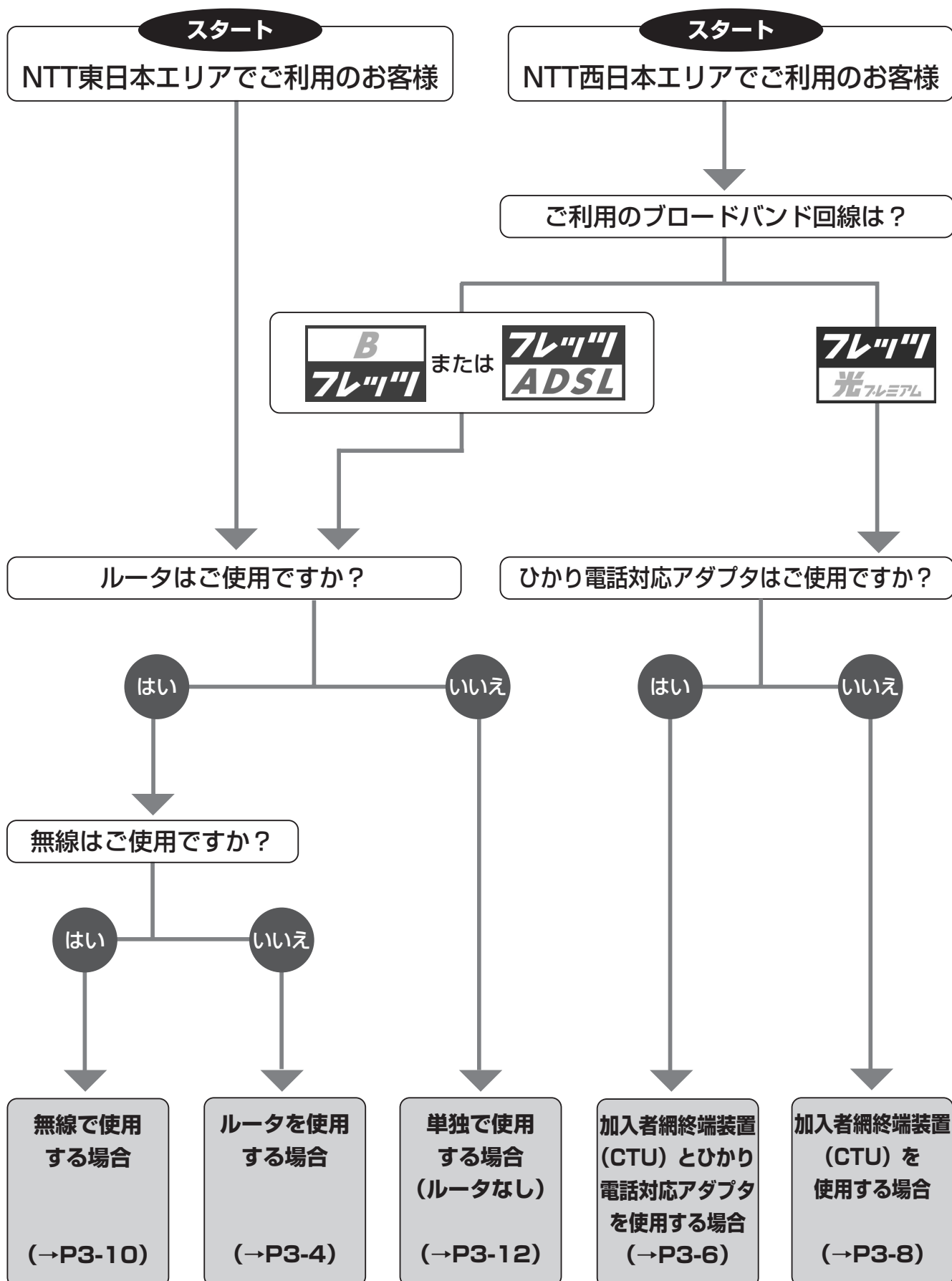
設置のしかた



- 本商品と周囲の壁などとの前後左右の距離は、10 cm以上確保してください。
- 本商品の上にものを置かないでください。
- 本商品は高温になることがありますので、起動中に持ち運ぶときは、通風孔部を持たずに側面部を持ってください。

接続形態を確認します

ご利用のサービスや機器をご確認のうえ、該当する接続手順のページを参照してください。



※回線終端装置（ONU）以外の機器（VDSLモデムまたはADSLモデム）をご利用の場合は、「回線終端装置（ONU）」の部分をご利用になる機器に読み替えて実施してください。

- 本商品の電源が入ります。「初期設定をします」に進んで各種設定を行ってください。
(→P3-14)



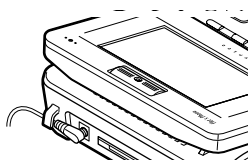


ワンポイント

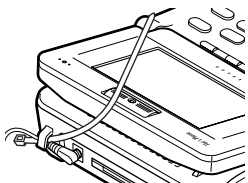
●ACアダプタのコネクタの固定

ACアダプタのコネクタが抜けないように下記の手順に従ってタイラップで固定して下さい。

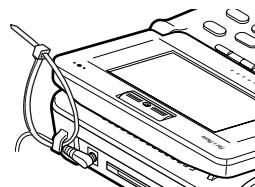
- ①** ACアダプタのコネクタ取り付け後、電源プラグ抜け防止フックの下に、コードを図のように通します。



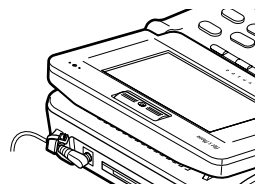
- ②** タイラップの差込口部分を下にして、図のように差し込みます。



- ③** タイラップを丸めながら、先端部分を図のように差し込みます。



- ④** 先端部分を引っ張りながら、図のようにしっかりと固定し、余った部分をはさみなどで切り取ります。



3 準備・
設定編

接続します



お知らせ

- 回線終端装置（ONU）、ルータの回線接続が正しく設定されていることを確認してください。回線終端装置（ONU）の設定方法は、各回線終端装置（ONU）に付属の取扱説明書をご覧ください。
- ルータの機能については、ルータの取扱説明書をご確認ください。
- 本商品には電源スイッチがありません。ACアダプタのプラグを電源コンセントに接続すると電源が入ります。
- 以下の設定を完了してから、本商品以外の機器の電源を入れてください。
 - ・ルータの電源を入れる前にインターネット接続の設定を完了させておいてください。
 - ・「FLET'S.Net」、「フレッツ・光プレミアム」および「フレッツ・v6アプリ」のテレビ電話機能をご利用の場合は、ルータの「IPv6ブリッジ」機能を有効にしてください。
 - ・プロバイダのIPテレビ電話サービスをご利用の場合は、お客様の本商品接続構成により、ルータの「UPnP」機能または「PPPoEブリッジ」機能を有効にしてください。

- ACアダプタを接続したあと、しばらく待っても画面に何も表示されないときは、本商品のACアダプタを抜いて、電源を入れ直してみてください。
- 本商品の電源を切るときは、必ず電源を切る操作を行ってください。電源を切る操作を行わないでACアダプタを抜くと、本商品が起動しなくなる場合があります。

参照 → 「本商品の電源を切るには」(P4-7)

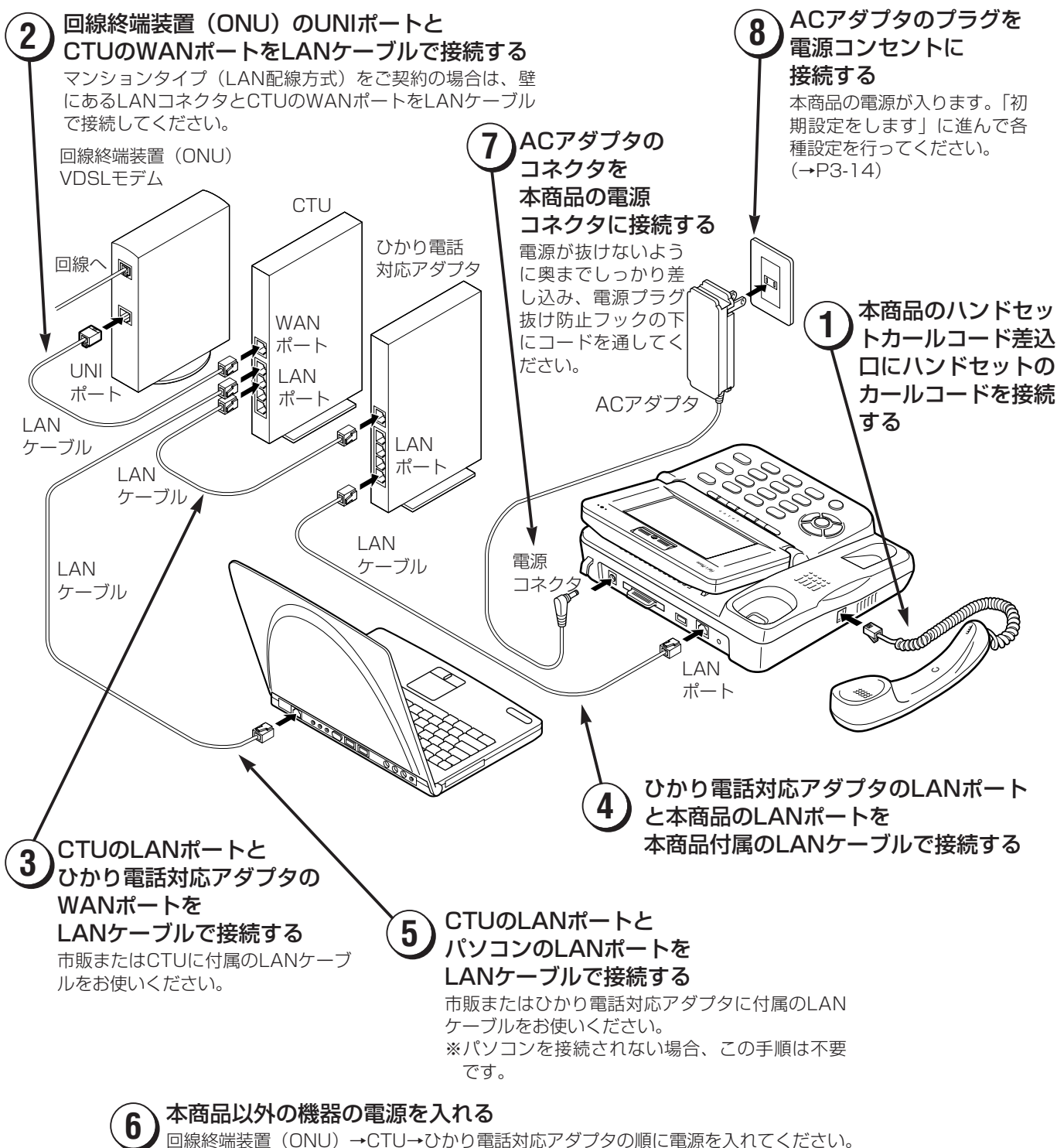
- ルータなどの設定を変更した場合は、本商品を再起動してください。

参照 → 「本商品を再起動するには」(P4-2)

- ルータが接続したプロバイダによるインターネットはパソコンでご利用ください。本商品ではご利用いただけません。
- 電源の再投入は1秒以上たってから行ってください。電源を切ったあと、すぐに電源を再投入すると起動しない場合があります。
- マンションタイプ（LAN配線方式）をご契約の場合は、回線終端装置（ONU）が不要なので、手順5ではルータのみ電源を入れてください。

加入者網終端装置（CTU）とひかり電話対応アダプタを使用する場合

※回線終端装置（ONU）以外の機器（VDSLモデム）をご利用の場合は、「回線終端装置（ONU）」の部分をご利用になる機器に読み替えて実施してください。

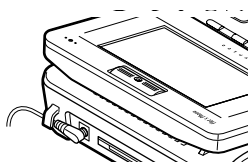


💡 ワンポイント

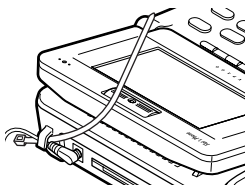
●ACアダプタのコネクタの固定

ACアダプタのコネクタが抜けないように下記の手順に従ってタイラップで固定して下さい。

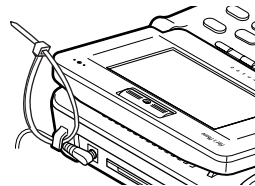
- ① ACアダプタのコネクタ取り付け後、電源プラグ抜け防止フックの下に、コードを図のように通します。



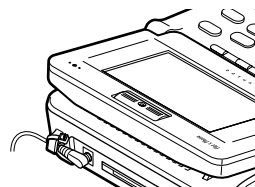
- ② タイラップの差込口部分を下にして、図のように差し込みます。



- ③ タイラップを丸めながら、先端部分を図のように差し込みます。



- ④ 先端部分を引っ張りながら、図のようにしっかりと固定し、余った部分をはさみなどで切り取ります。



3 準備・
設定編

接続します

📶 お知らせ

- 回線終端装置 (ONU)、加入者網終端装置 (CTU)、ひかり電話対応アダプタの回線接続が正しく設定されていることを確認してください。回線終端装置 (ONU) の設定方法は、各回線終端装置 (ONU) に付属の取扱説明書をご覧ください。
- ひかり電話対応アダプタの機能については、ひかり電話対応アダプタの取扱説明書をご確認ください。
- 本商品には電源スイッチがありません。ACアダプタのプラグを電源コンセントに接続すると電源が入ります。
- 以下の設定を完了してから、本商品以外の機器の電源を入れてください。
 - ・ ひかり電話対応アダプタの電源を入れる前にインターネット接続の設定を完了させておいてください。
 - ・ 「フレッツ・光プレミアム」および「フレッツ・v6アプリ」のテレビ電話機能をご利用の場合は、ひかり電話対応アダプタの「IPv6ブリッジ」機能を有効にしてください。
 - ・ プロバイダのIPテレビ電話サービスをご利用の場合は、お客様の本商品接続構成により、ひかり電話対応アダプタおよびCTUの「UPnP」機能を有効にしてください。

- ACアダプタを接続したあと、しばらく待っても画面に何も表示されないときは、本商品のACアダプタを抜いて、電源を入れ直してみてください。

- 本商品の電源を切るときは、必ず電源を切る操作を行ってください。電源を切る操作を行わないでACアダプタを抜くと、本商品が起動しなくなる場合があります。

参照 → 「本商品の電源を切るには」(P4-7)

- ひかり電話対応アダプタやCTUの設定を変更した場合は、本商品を再起動してください。

参照 → 「本商品を再起動するには」(P4-2)

- ひかり電話対応アダプタが接続したプロバイダによるインターネットはパソコンでご利用ください。本商品ではご利用いただけません。
- 電源の再投入は1秒以上たってから行ってください。電源を切ったあと、すぐに電源を再投入すると起動しない場合があります。
- マンションタイプ(LAN配線方式)をご契約のお客様は、回線終端装置 (ONU) が不要なので、手順6ではCTUとひかり電話対応アダプタの電源を入れてください。

加入者網終端装置（CTU）を使用する場合

※回線終端装置（ONU）以外の機器（VDSLモデム）をご利用の場合は、「回線終端装置（ONU）」の部分をご利用になる機器に読み替えて実施してください。

2 回線終端装置（ONU）のUNIポートとCTUのWANポートをLANケーブルで接続する

マンションタイプ（LAN配線方式）をご契約の場合は、壁にあるLANコネクタとCTUのWANポートをLANケーブルで接続してください。

7 ACアダプタのプラグを電源コンセントに接続する

本商品の電源が入ります。「初期設定をします」に進んで各種設定を行ってください。（→P3-14）

1 本商品のハンドセットカーンコード差込口にハンドセットのカーンコードを接続する

3 CTUのLANポートと本商品のLANポートを本商品付属のLANケーブルで接続する

6 ACアダプタのコネクタを本商品の電源コネクタに接続する

電源が抜けないように奥までしっかり差し込み、電源プラグ抜け防止フックの下にコードを通してください。

5 本商品以外の機器の電源を入れる

回線終端装置（ONU）→CTUの順に電源を入れてください。

回線終端装置（ONU）
VDSLモデム

回線へ

LAN
ケーブル

CTU

WAN
ポート

LAN
ポート

LAN
ケーブル

LAN
ケーブル

4 CTUのLANポートとパソコンのLANポートをLANケーブルで接続する

市販またはCTUに付属のLANケーブルをお使いください。

※パソコンを接続されない場合、この手順は不要です。

電源
コネクタ

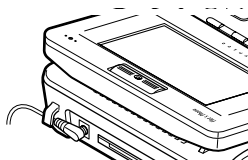
LAN
ポート

💡 ワンポイント

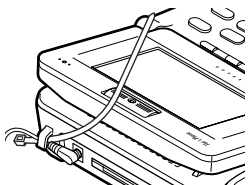
●ACアダプタのコネクタの固定

ACアダプタのコネクタが抜けないように下記の手順に従ってタイラップで固定して下さい。

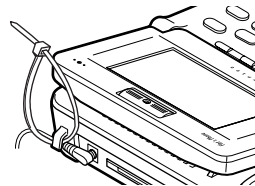
- ① ACアダプタのコネクタ取り付け後、電源プラグ抜け防止フックの下に、コードを図のように通します。



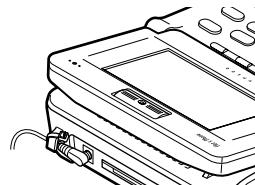
- ② タイラップの差込口部分を下にして、図のように差し込みます。



- ③ タイラップを丸めながら、先端部分を図のように差し込みます。



- ④ 先端部分を引っ張りながら、図のようにしっかりと固定し、余った部分をはさみなどで切り取ります。



3 準備・
設定編

接続します

📶 お知らせ

- 回線終端装置（ONU）、加入者網終端装置（CTU）の回線接続が正しく設定されていることを確認してください。回線終端装置（ONU）の設定方法は、各回線終端装置（ONU）に付属の取扱説明書をご覧ください。
- 本商品には電源スイッチがありません。ACアダプタのプラグを電源コンセントに接続すると電源が入ります。
- プロバイダのIPテレビ電話サービスでご利用の場合は、CTUの「UPnP」機能を有効にしてから、本商品以外の機器の電源を入れてください。
- ACアダプタを接続したあと、しばらく待っても画面に何も表示されないときは、本商品のACアダプタを抜いて、電源を入れ直してみてください。

- 本商品の電源を切るときは、必ず電源を切る操作を行ってください。電源を切る操作を行わないでACアダプタを抜くと、本商品が起動しなくなる場合があります。

参照▶「本商品の電源を切るには」（P4-7）

- 加入者網終端装置（CTU）などの設定を変更した場合は、本商品を再起動してください。

参照▶「本商品を再起動するには」（P4-2）

- 加入者網終端装置（CTU）が接続したプロバイダによるインターネットはパソコンでご利用ください。本商品ではご利用いただけません。
- 電源の再投入は1秒以上たってから行ってください。電源を切ったあと、すぐに電源を再投入すると起動しない場合があります。
- マンションタイプ（LAN配線方式）をご契約の場合、回線終端装置（ONU）が不要なので、手順5ではCTUのみ電源を入れてください。

無線で使用する場合

無線で使用するには、無線LANカードが必要です。

参照 「セットを確認してください」(P1-3)

※回線終端装置(ONU)以外の機器(VDSLモデムまたはADSLモデム)をご利用の場合は、「回線終端装置(ONU)」の部分をご利用になる機器に読み替えて実施してください。

<例>RT-200KIを使用する場合

- 2 回線終端装置(ONU)のUNIポートとルータのWANポートをLANケーブルで接続する
マンションタイプ(LAN配線方式)をご契約の場合は、壁にあるLANコネクタとルータのWANポートをLANケーブルで接続してください。
- 3 ルータに無線LAN機能が搭載されている(無線LANカードが取り付けられている)ことを確認する
無線LANカードの取付方法は、ルータの取扱説明書を参照してください。
- 8 ACアダプタのプラグを電源コンセントに接続する
本商品の電源が入ります。「初期設定をします」に進んで各種設定を行ってください。(→P3-14)
- 1 本商品のハンドセットカールコード差込口にハンドセットのカールコードを接続する
- 5 ルータのLANポートとパソコンのLANポートをLANケーブルで接続する
市販またはルータに付属のLANケーブルをお使いください。
※パソコンを接続されない場合、この手順は不要です。
- 4 無線LANカードカバーを取り外し、無線LANカード挿入口に無線LANカードを挿入する
- 7 ACアダプタのコネクタを本商品の電源コネクタに接続する
電源が抜けないように奥までしっかり差し込み、電源プラグ抜け防止フックの下にコードを通してください。



ワンポイント

●無線LANかんたん設定

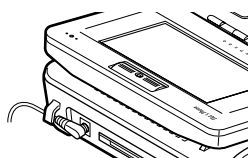
無線LANの設定をかんたんに行うために「無線LANかんたん設定」のご利用を推奨します。本商品とルータを1次的にLANケーブルで接続する必要がありますので、「ルータを使用する場合」(P3-4)にしたがい接続手順をおこなってください。

💡 ワンポイント

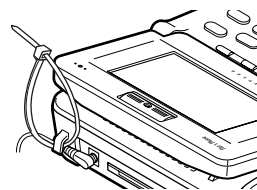
●ACアダプタのコネクタの固定

ACアダプタのコネクタが抜けないように下記の手順に従ってタイラップで固定して下さい。

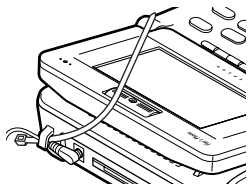
- ① ACアダプタのコネクタ取り付け後、電源プラグ抜け防止フックの下に、コードを図のように通します。



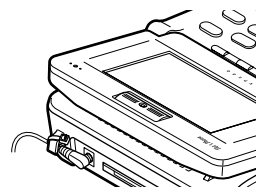
- ③ タイラップを丸めながら、先端部分を図のように差し込みます。



- ② タイラップの差込口部分を下にして、図のように差し込みます。



- ④ 先端部分を引っ張りながら、図のようにしっかりと固定し、余った部分をはさみなどで切り取ります。



- 本商品から無線LANカードを外すときには、必ず本商品の電源を切ってから外してください。

参照 「本商品の電源を切るには」(P4-7)

- 接続可能なルータや無線LANカードについては以下のURLでご確認ください。
〈NTT東日本〉 <http://www.ntt-east.co.jp/ced/>
〈NTT西日本〉 <http://www.ntt-west.co.jp/kiki/>

📶 お知らせ

- 回線終端装置（ONU）、ルータの回線接続が正しく設定されていることを確認してください。回線終端装置（ONU）の設定方法は各回線終端装置（ONU）に付属の取扱説明書をご覧ください。
- ルータの機能については、ルータの取扱説明書をご確認ください。
- 本商品には、電源スイッチがありません。ACアダプタのプラグを電源コンセントに接続すると電源が入ります。
- 以下の設定を完了してから、本商品以外の機器の電源を入れてください。
 - ・ルータの電源を入れる前に、無線の設定を事前に完了させておいてください。また、インターネット接続の設定も完了させておいてください。
 - ・「FLET'S Net」、「フレッツ・光プレミアム」および「フレッツ・v6アプリ」のテレビ電話機能をご利用の場合は、お客様の本商品接続構成により、ルータの「IPv6ブリッジ」機能を有効にしてください。
 - ・プロバイダのIPテレビ電話サービスをご利用の場合は、CTUの「UPnP」機能を有効にしてください。

- ACアダプタを接続したあと、しばらく待っても画面に何も表示されないときは、本商品のACアダプタを抜いて、電源を入れ直してみてください。
- 本商品の電源を切るときは、必ず電源を切る操作を行ってください。電源を切る操作を行わないでACアダプタを抜くと、本商品が起動しなくなる場合があります。

参照 「本商品の電源を切るには」(P4-7)

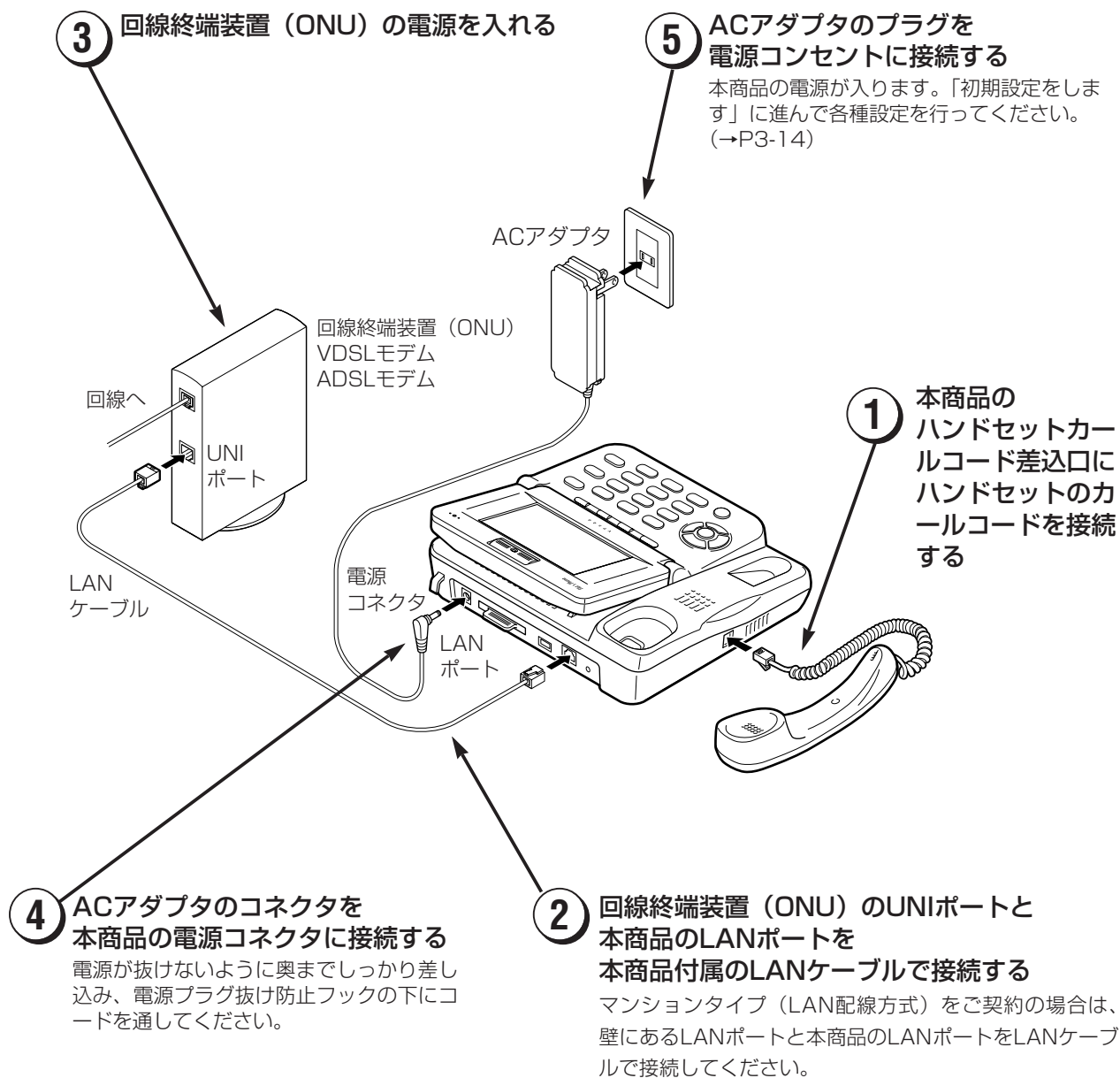
- ルータなどの設定を変更した場合は、本商品を再起動してください。

参照 「本商品を再起動するには」(P4-2)

- ルータが接続したプロバイダによるインターネットはパソコンでご利用ください。本商品ではご利用いただけません。
- 電源の再投入は1秒以上たってから行ってください。電源を切ったあと、すぐに電源を再投入すると起動しない場合があります。
- マンションタイプ（LAN配線方式）をご契約の場合、回線終端装置（ONU）が不要なので、手順6ではルータのみ電源を入れてください。

単独で使用する場合（ルータなし）

※回線終端装置（ONU）以外の機器（VDSLモデムまたはADSLモデム）をご利用の場合は、「回線終端装置（ONU）」の部分をご利用になる機器に読み替えて実施してください。

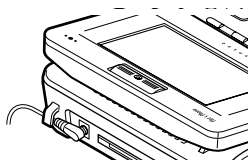


💡 ワンポイント

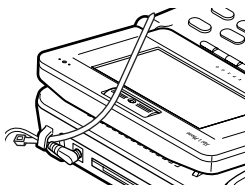
●ACアダプタのコネクタの固定

ACアダプタのコネクタが抜けないように下記の手順に従ってタイラップで固定して下さい。

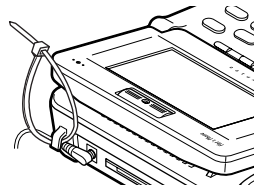
- ① ACアダプタのコネクタ取り付け後、電源プラグ抜け防止フックの下に、コードを図のように通します。



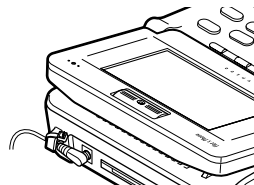
- ② タイラップの差込口部分を下にして、図のように差し込みます。



- ③ タイラップを丸めながら、先端部分を図のように差し込みます。



- ④ 先端部分を引っ張りながら、図のようにしっかりと固定し、余った部分をはさみなどで切り取ります。



3 準備・
設定編

接続します



お知らせ

- 回線終端装置（ONU）、VDSLモデム、ADSLモデムの回線接続が正しく設定されていることを確認してください。設定方法は、各装置に付属の取扱説明書をご覧ください。
- 本商品には電源スイッチがありません。ACアダプタのプラグを電源コンセントに接続すると電源が入ります。
- ACアダプタを接続したあと、しばらく待っても画面に何も表示されないときは、本商品のACアダプタを抜いて、電源を入れ直してみてください。
- 本商品の電源を切るときは、必ず電源を切る操作を行ってください。電源を切る操作を行わないでACアダプタを抜くと、本商品が起動しなくなる場合があります。

参照 ➡ 「本商品の電源を切るには」(P4-7)

- 回線終端装置（ONU）などの設定を変更した場合は、本商品を再起動してください。

参照 ➡ 「本商品を再起動するには」(P4-2)

- 電源の再投入は1秒以上たってから行ってください。電源を切ったあと、すぐに電源を再投入すると起動しない場合があります。
- マンションタイプ（LAN配線方式）をご契約の場合、回線終端装置（ONU）が不要なので、手順2のあとは手順4へお進みください。

本商品を初めてお使いになるときは、設定ガイドが自動的に開始されます。設定ガイドでは、本商品をご利用するための、ネットワークの設定やテレビ電話サービスのお申し込みなどを、簡単に行うことができます。

ご利用になる接続形態やサービスに応じて、必要なページをご参照ください。

- ・各種サービスの設定には30分～1時間ぐらいかかります。
- ・設定ガイドを操作中に、ユーザー名（ID）やパスワードなどの個人情報の入力が必要となる場合があります。

必要な書類をお手もとにご用意ください。（→P1-13、1-20）



- 各種のユーザー名（ID）、パスワードはお客様の大切な個人情報です。入力は必ずお客様自身で行ってください。

設定ガイドを開始する

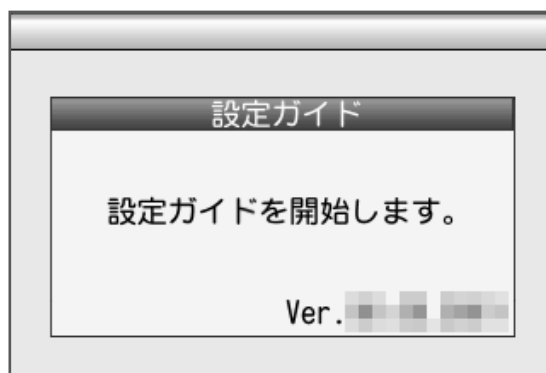
本商品を初めてお使いになるときは、電源を入れると設定ガイドが自動的に開始し、接続状態を確認します。

1

●本商品の電源を入れる。

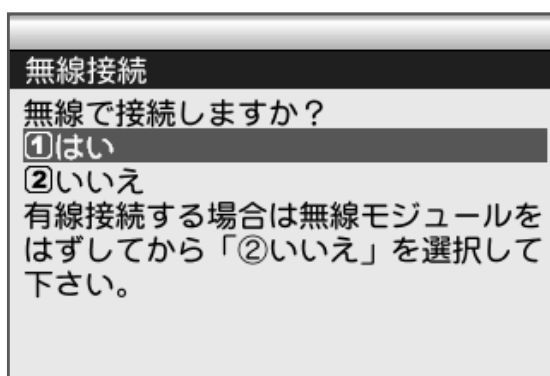
右の画面が表示されたあとに、下にある2画面のどちらかが表示されます。

次のいずれかの画面が表示されるまで、しばらくお待ちください。



●無線LANで接続する場合

(無線LANカードが無線LANカード挿入口に差し込まれている場合)



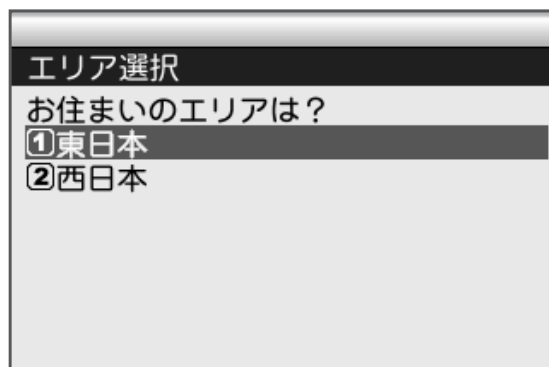
「無線LANを設定する」へ進みます。

参照 → 「無線LANを設定する」(P3-33)

●有線LANで接続する場合

(無線LANカードが、無線LANカード挿入口に差し込まれていない場合)

●無線LANが設定できた場合



手順2へ進みます。

3 準備・設定編

初期設定をします



ワンポイント

●無線モジュールとは

無線LANカードのことです。

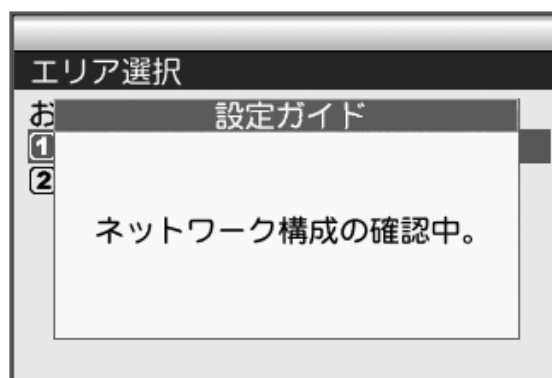
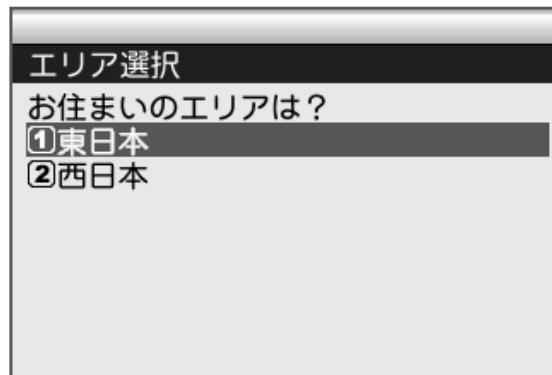
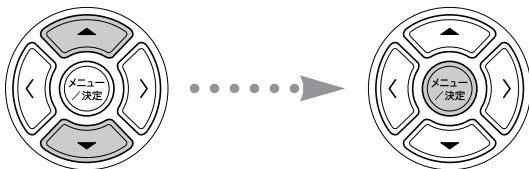
●メニュー画面から設定ガイドを開始するには

- ①電話画面から、《メニュー／決定》(F2/F3)を押す。
- ②上下左右ボタンで「その他」を選び、《メニュー／決定》(F2/F3)を押す。
- ③上下ボタンで「設定ガイド起動」を選び、《メニュー／決定》(F2/F3)を押す。

(次ページへ続く)

2

上下ボタンでお住まいのエリアを選び、《メニュー／決定》を押す。



3

準備・設定編

初期設定をします



ワンポイント

●NTT東日本エリアとは

北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、山梨県および長野県の計17都道府県エリアです。

●NTT西日本エリアとは

富山県、石川県、福井県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県および沖縄県の計30府県エリアです。

3

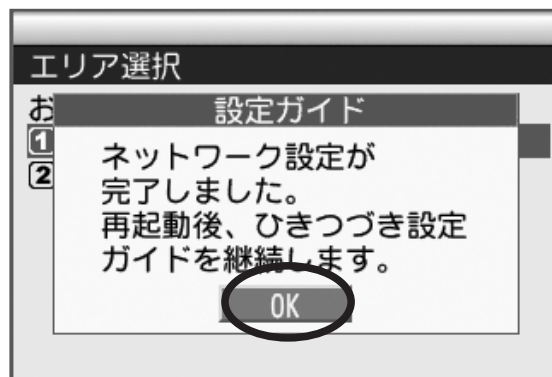
《メニュー／決定》を押す。



本商品が再起動しますので、しばらくそのままお待ちください。

再起動中は、状態ランプが橙色に点灯します。

再起動後、「設定ガイドを開始します。」と表示されます。



ワンポイント

●ネットワーク情報が自動設定できなかった場合は手動でネットワークの設定をしてください。

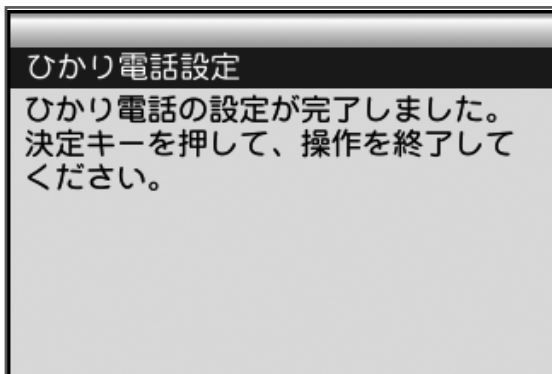
参照 「ネットワークの設定をするには」(P3-35)

4

画面を確認する。

以下のいずれかの画面が表示されます。

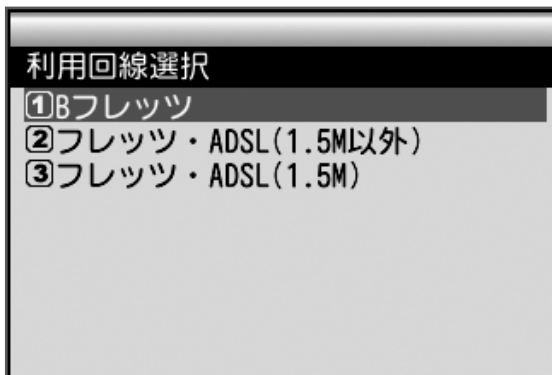
●ひかり電話がご利用できる場合



《メニュー／決定》を押して、「初期ソフトウェアアップデートを実行する」へ進みます。

参照 → 「初期ソフトウェアアップデートを実行する」(P3-32)

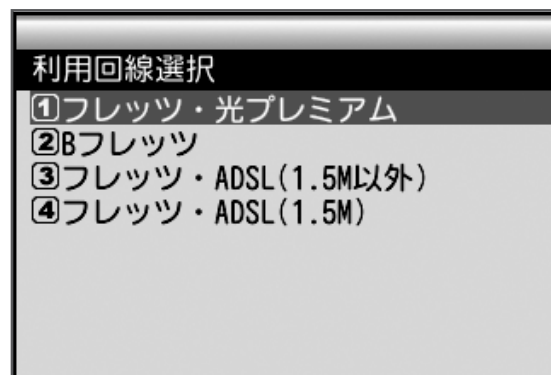
●ひかり電話がご利用できない場合 (NTT東日本エリアでご利用のお客様)



「ご利用回線を選択する」へ進みます。

参照 → 「ご利用回線を選択する」(P3-18)

●ひかり電話がご利用できない場合 (NTT西日本エリアでご利用のお客様)



「ご利用回線を選択する」へ進みます。

参照 → 「ご利用回線を選択する」(P3-18)

3 準備・設定編

初期設定をします



お願い

本商品が使用できる状態で設定ガイドによる再設定を行っているときに、設定を中断した場合は、設定情報が削除され使用できなくなりますのでご注意ください。
その場合は、再度設定ガイドによる設定を初めから行ってください。(→P3-15)

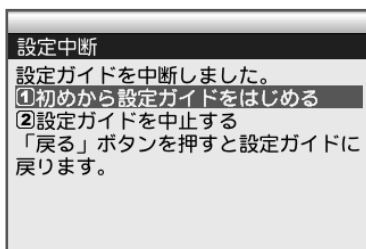


ワンポイント

●設定ガイドを中断するには

①ハンズフリーボタン（設定中断）を押す。

②上下ボタンで「初めから設定ガイドをはじめめる」、「設定ガイドを中止する」のどちらかを選び、《メニュー／決定》を押す。



・「初めから設定ガイドをはじめめる」

本商品が再起動し、再起動後に再び設定ガイドが開始します。最初からやり直してください。

・「設定ガイドを中止する」

本商品が再起動し、再起動後は電話画面が表示されます。更新するソフトウェアがある場合は、アップデートを行います。

●1つ前の画面に戻るには

映像送信ボタン（戻る）を押します。



お知らせ

●設定ガイドによる初期設定中は、電話をご利用になれません。

ご利用回線を選択する

お客様がご契約されているブロードバンド回線とテレビ電話サービスの種類を選択します。

- 1** 上下ボタンでご利用回線を選び、《メニュー／決定》を押す。



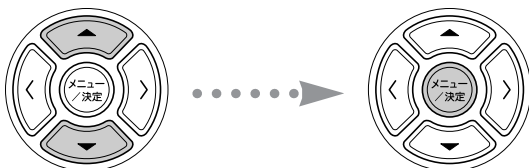
●NTT東日本エリアでご利用のお客様

利用回線選択
①Bフレッツ
②フレッツ・ADSL(1.5M以外)
③フレッツ・ADSL(1.5M)

●NTT西日本エリアでご利用のお客様

利用回線選択
①フレッツ・光プレミアム
②Bフレッツ
③フレッツ・ADSL(1.5M以外)
④フレッツ・ADSL(1.5M)

- 2** 上下ボタンでご利用になるテレビ電話サービスを選び、《メニュー／決定》を押す。



●NTT東日本エリアでご利用のお客様

テレビ電話サービス選択
①FdNナンバー
②プロバイダが提供する「050」番号 を利用したテレビ電話サービス

●NTT西日本エリアでご利用のお客様

テレビ電話サービス選択
①「フレッツ・光プレミアム」および 「フレッツ・v6アプリ」の テレビ電話機能
②プロバイダが提供する「050」番号 を利用したテレビ電話サービス

選択した項目のページへ進みます。

・FdNナンバー

参照 → 「FLET'S.Netを設定する」(P3-19)

- ・「フレッツ・光プレミアム」および「フレッツ・v6アプリ」

参照 → 「フレッツ・光プレミアム テレビ電話機能を設定する」(P3-27)

- ・プロバイダが提供する「050」番号を利用したテレビ電話サービス

参照 → 「プロバイダのテレビ電話サービスを設定する」(P3-29)

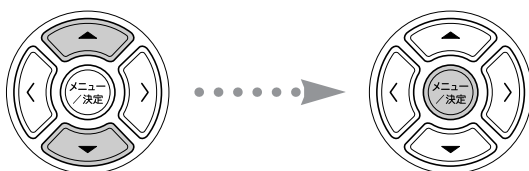
FLET'S.Netを設定する

FLET'S.NetやFdNナンバーの申し込み、およびFdNナンバーの設定を行います。

FLET'S.NetとFdNナンバーを同時に申込み

1

上下ボタンで「FLET'S.NetとFdNナンバーを同時に申込み」を選び、《メニュー／決定》を押す。



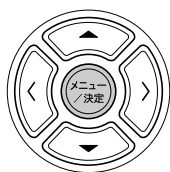
しばらくお待ちください。

申込み種別の選択

- ① FLET'S.NetとFdNナンバーを同時に申込み
- ② FdNナンバーのみ申込み
- ③ FdNナンバーを設定する

2

《メニュー／決定》を押す。



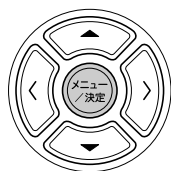
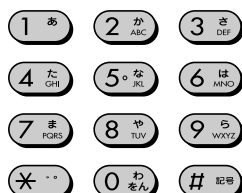
お客さまID設定

Bフレッツおよびフレッツ・ADSLご契約時にNTT東日本より送付されている「開通のご案内」等に記載されている「お客さまID」（英字3＋数字8）を入力してください。

お客さまID:

3

お客さまIDを入力し《メニュー／決定》を押す。



お客さまID

[半角英字]

参照 → 「文字入力のしかた」(P1-25)

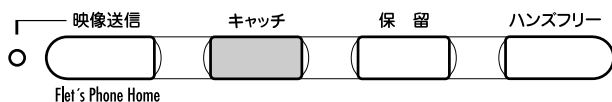
(次ページへ続く)

3 準備・
設定編

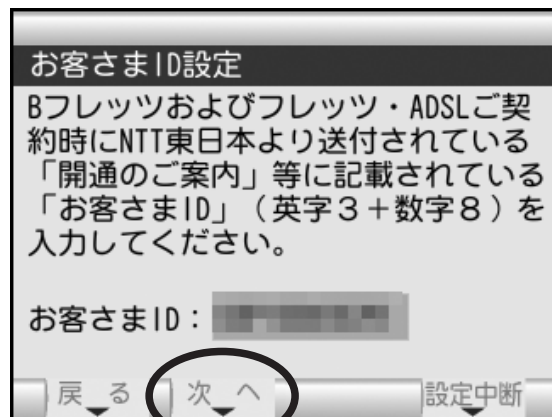
初期設定をします

4

キャッチボタン（次へ）を押す。

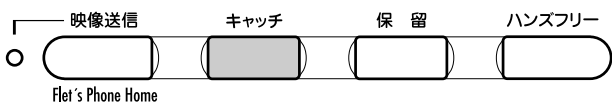


しばらくお待ちください。



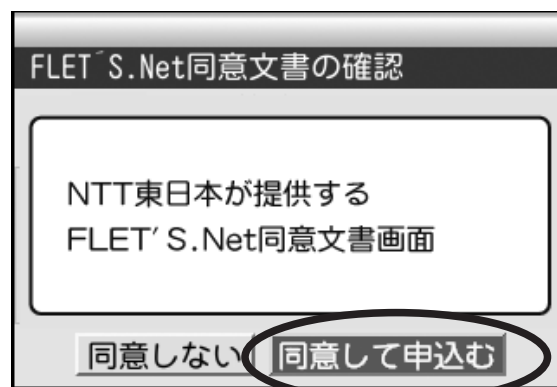
5

上下左右ボタンで料金情報を確認して、キャッチボタン（次へ）を押す。



6

同意文書を確認し終わったら、上下左右ボタンで「同意して申込む」を選び、《メニュー／決定》を押す。



※同意文書を確認するには、上下ボタンで同意文書の枠を選び《メニュー／決定》を押してください。

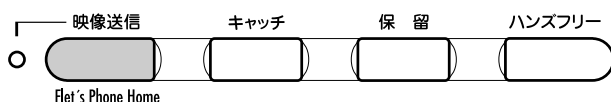
続けて上下左右ボタンを押して、同意文書を確認してください。

同意文書の確認が終わりましたら《メニュー／決定》を押して、上下左右ボタンで「同意しない」または「同意して申込む」をお選びください。

しばらくお待ちください。

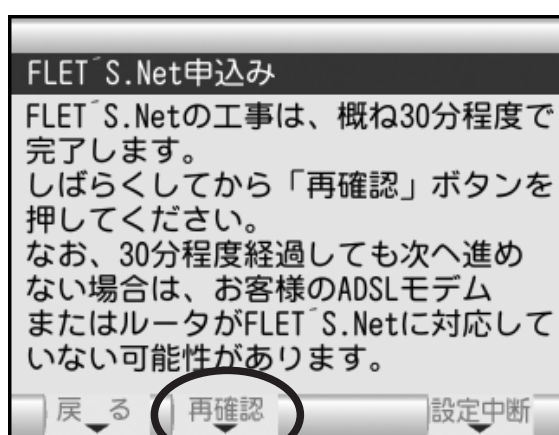
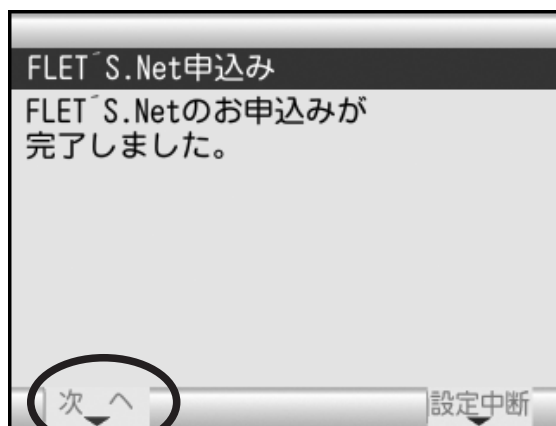
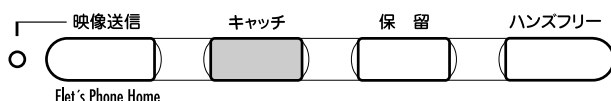
7

内容を確認して、FLET'S.Netの工事が完了するのを待つ。約30分経過したら映像送信ボタン（次へ）を押す。



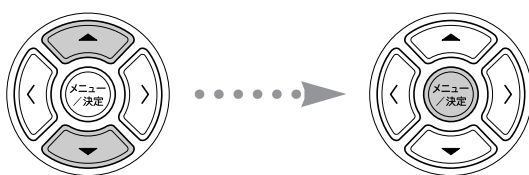
お申込みから約30分程度でFLET'S.Netの工事が完了します。

※30分以内にボタンを押すと右の画面が表示されます。しばらくしてからキャッチボタン（再確認）を押してください。

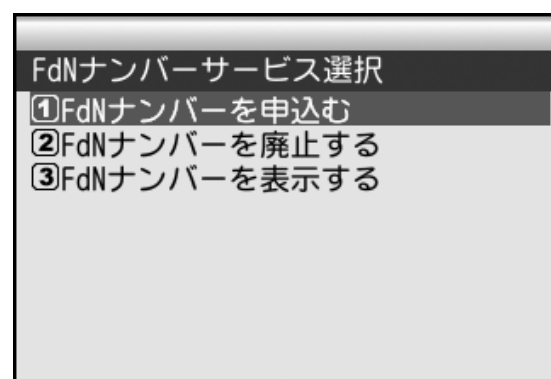


8

上下ボタンで「FdNナンバーを申込む」を選び、《メニュー／決定》を押す。

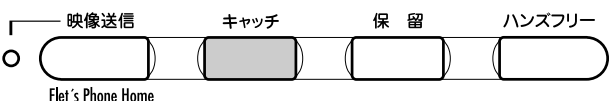


しばらくお待ちください。

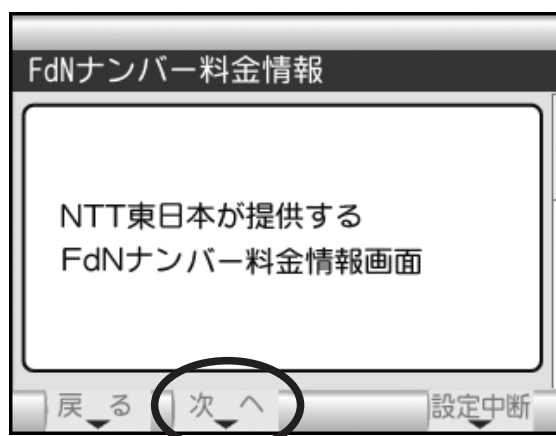


9

料金情報を確認し終わったら、キャッチボタン（次へ）を押す。

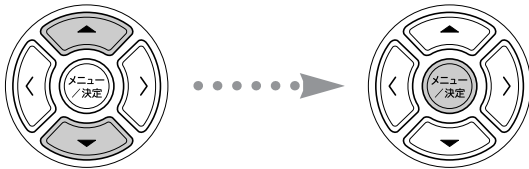


しばらくお待ちください。



（次ページへ続く）

- 10** 上下ボタンでFdNナンバーを選び、《メニュー／決定》を押す。



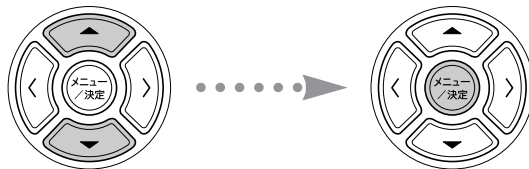
しばらくお待ちください。

FdNナンバー申込み

ご利用を希望されるFdNナンバーを選択してください。

①	
②	
③	

- 11** 上下ボタンで「はい」を選び、《メニュー／決定》を押す。



しばらくお待ちください。

FdNナンバー申込み

FdNナンバー： 

で申込みます。よろしいですか？

①	はい
②	いいえ

- 12** 申込みが完了したので《メニュー／決定》を押す。



FdNナンバー申込み

ご利用回線：Bフレッツ

FdNナンバー： 

申込みは完了しました。
決定キーを押して、操作を終了してください。

「初期ソフトウェアアップデートを実行する」へ進みます

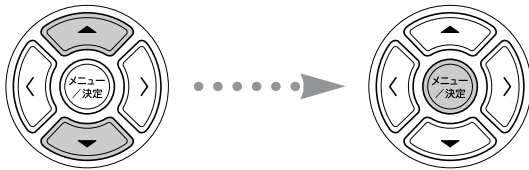
 参照 「初期ソフトウェアアップデートを実行する」(P3-32)

FdNナンバーのみ申込み

FLET'S.Netをお申込済みの方はこちらを選んでください。

1

上下ボタンで「FdNナンバーのみ申込み」を選び《メニュー／決定》を押す。



しばらくお待ちください。

申込み種別の選択

- ① FLET'S.NetとFdNナンバーを同時に申込み
- ② FdNナンバーのみ申込み
- ③ FdNナンバーを設定する

2

《メニュー／決定》を押す。



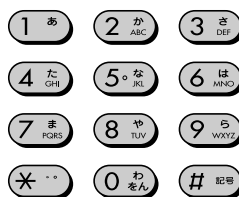
お客さまID設定

Bフレッツおよびフレッツ・ADSLご契約時にNTT東日本より送付されている「開通のご案内」等に記載されている「お客さまID」（英字3＋数字8）を入力してください。

お客さまID:

3

お客さまIDを入力し《メニュー／決定》を押す。



参照 「文字入力のしかた」(P1-25)

お客さまID

[半角英字]

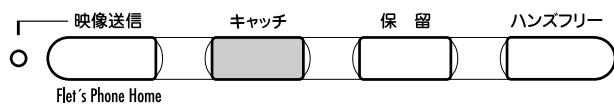
3 準備・
設定編

初期設定をします

(次ページへ続く)

4

キャッチボタン（次へ）を押す。



しばらくお待ちください。

お客さまID設定

Bフレッツおよびフレッツ・ADSLご契約時にNTT東日本より送付されている「開通のご案内」等に記載されている「お客さまID」（英字3＋数字8）を入力してください。

お客さまID：

戻る

次へ

設定中断

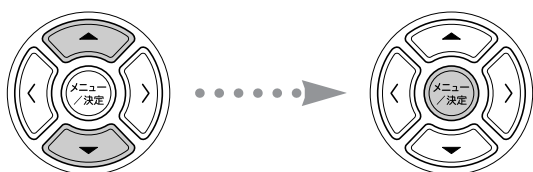
5

「FLET'S.Netを設定する」（→P3-19）の手順8～12を行う。

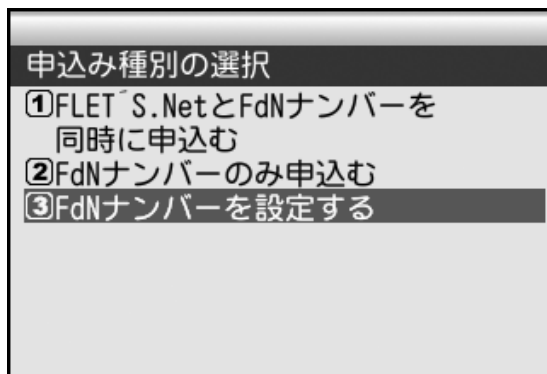
FdNナンバーを設定する

他のIPテレビ電話機から本商品に交換する場合など、FdNナンバーはお申込済みで、交換した電話機で「FdNナンバー」を使用できるようにするための設定です。

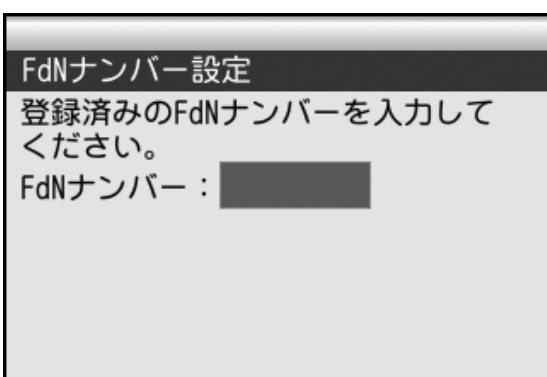
- 1** 上下ボタンで「FdNナンバーを設定する」を選び《メニュー／決定》を押す。



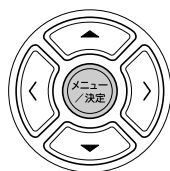
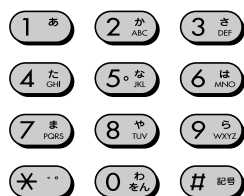
しばらくお待ちください。



- 2** 《メニュー／決定》を押す。



- 3** FdNナンバーを入力し《メニュー／決定》を押す。



参照 → 「文字入力のしかた」(P1-25)

3 準備・
設定編

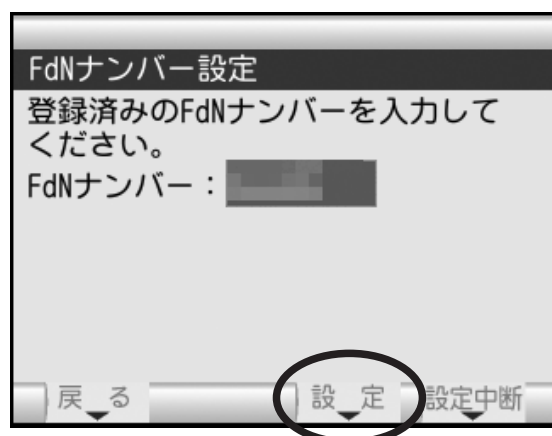
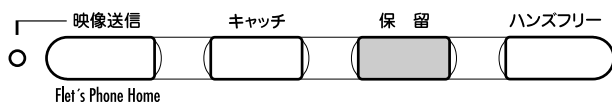
初期設定をします

(次ページへ続く)

初期設定をします

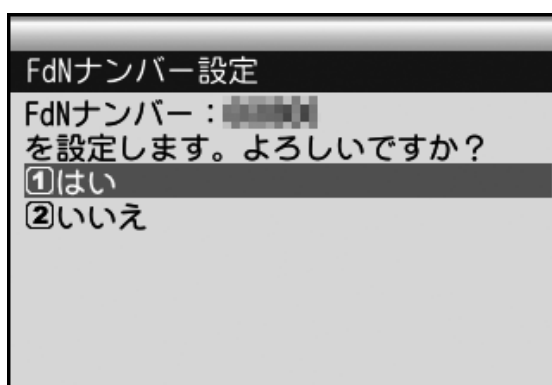
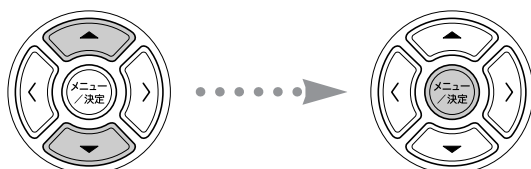
4

保留ボタン（設定）を押す。



5

上下ボタンで「はい」を選び《メニュー／決定》を押す。

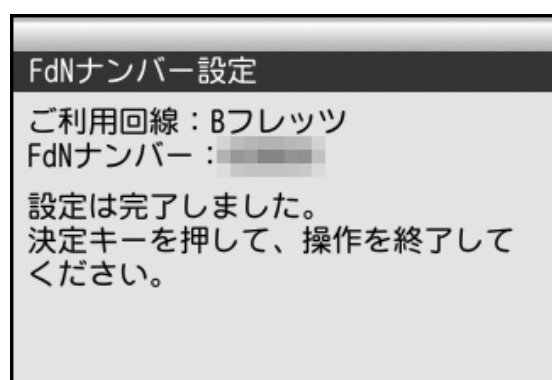


6

《メニュー／決定》を押す。



再起動しますので、しばらくお待ちください。
再起動中は状態ランプが橙色に点灯し、再起動後、
電話画面が表示されます。



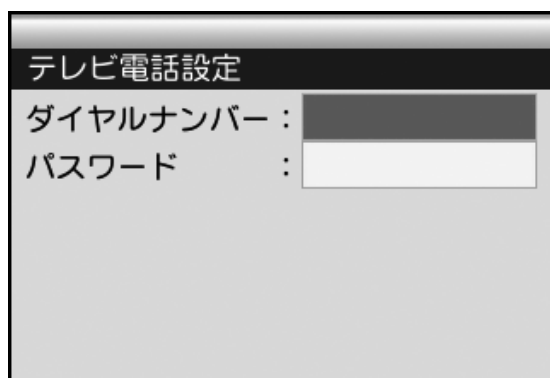
フレッツ・光プレミアム テレビ電話機能を設定する

フレッツ・光プレミアムの設定をします。

フレッツ・光プレミアムのご契約時にNTT西日本から送付された「フレッツ・光プレミアムのご案内」をご用意ください。紛失された場合は「0120-202242」へお問い合わせください。

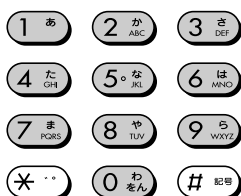
1

《メニュー／決定》を押す。



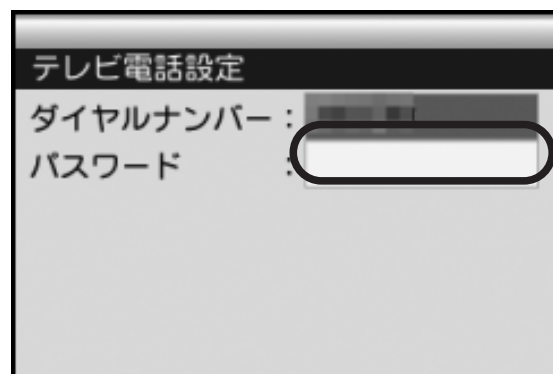
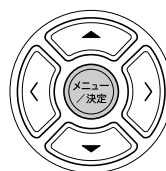
2

ダイアルナンバーを入力し、《メニュー／決定》を押す。



3

上下ボタンで「パスワード」を選び、《メニュー／決定》を押す。



3
準備・
設定編

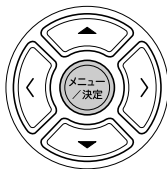
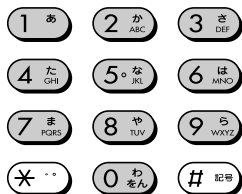
初期設定をします

(次ページへ続く)

4

パスワードを入力し、《メニュー／決定》

を押す。

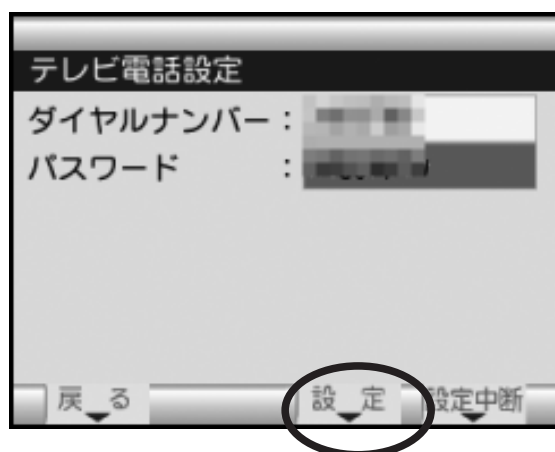
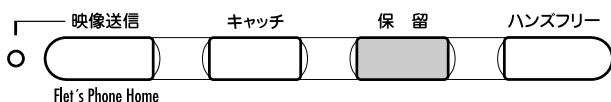


参照 「文字入力のしかた」 (P1-25)



5

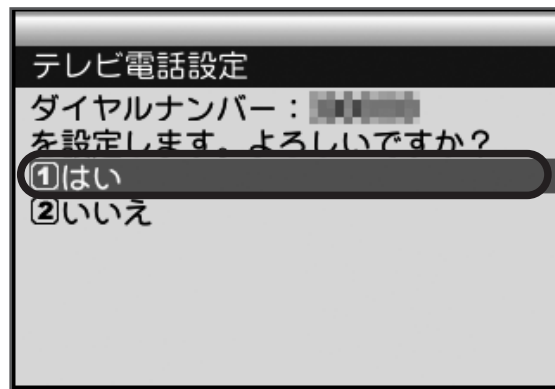
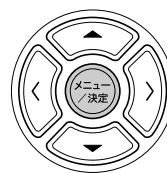
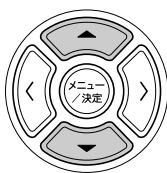
保留ボタン（設定）を押す。



6

上下ボタンで「はい」を選び、《メニュー／決定》

を押す。



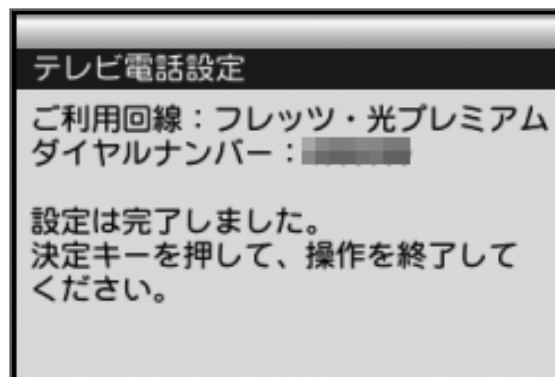
7

《メニュー／決定》を押す。



「初期ソフトウェアアップデートを実行する」へ進みます。

参照 「初期ソフトウェアアップデートを実行する」 (P3-32)



プロバイダのテレビ電話サービスを設定する

プロバイダが提供するテレビ電話サービスを設定します。

インターネット接続のご契約時にプロバイダから送付された契約の案内書をご用意ください。名称はプロバイダにより異なります。紛失された場合は各プロバイダへお問い合わせください。

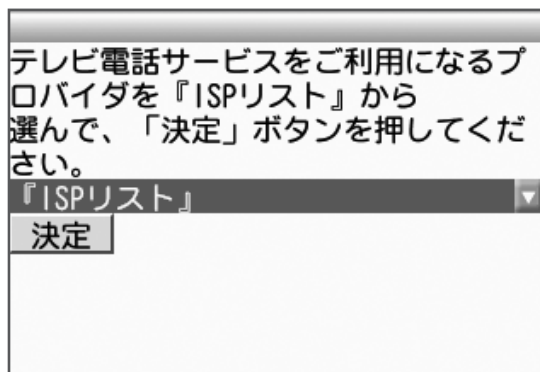
※プロバイダが提供するテレビ電話サービスの設定、廃止方法は同様の手順になります。

1

《メニュー／決定》を押す。

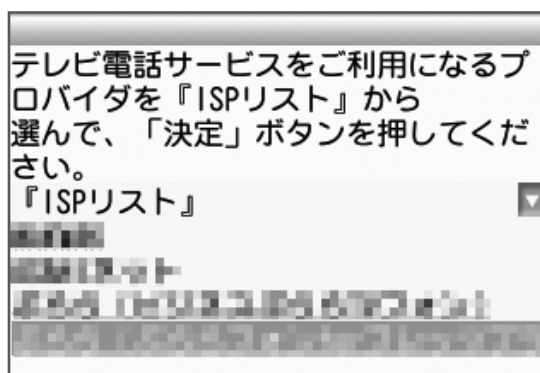
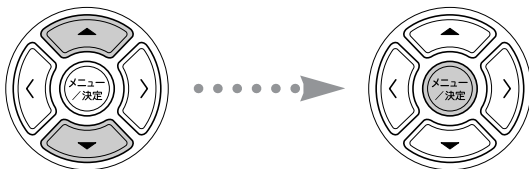


お客様のご利用環境によっては、手順1の画面が表示されない場合があります。この場合は、手順4へ進みます。



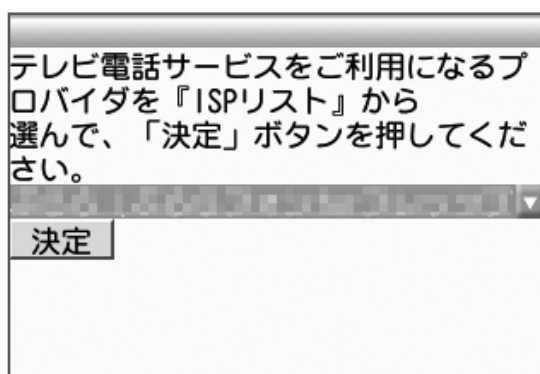
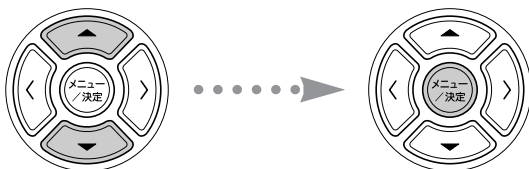
2

上下ボタンでプロバイダを選び、《メニュー／決定》を押す。



3

上下ボタンで「決定」を選び、《メニュー／決定》を押す。



ワンポイント

●ISP (Internet Services Provider) とはインターネット接続業者のことです。電話回線やISDN回線、データ通信専用回線などを通じて、顧客である企業や家庭のコンピュータをインターネットに接続するのが主な業務です。

(次ページへ続く)

3 準備・
設定編

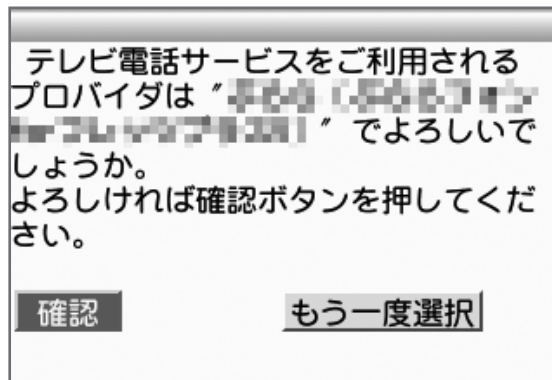
初期設定をします

4

プロバイダを確認し、《メニュー／決定》を押す。



プロバイダを誤って選択した場合は、左右ボタンで「もう一度選択」を選び、《メニュー／決定》を押します。手順2に戻るので、プロバイダを選択し直してください。

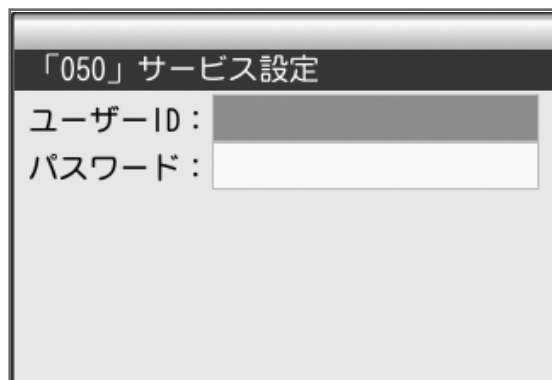


5

《メニュー／決定》を押す。

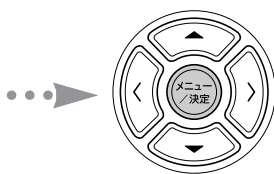
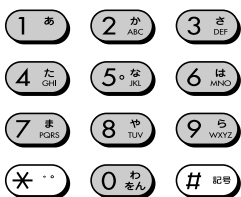


お客様のご利用環境によっては、手順5の画面が表示されない場合があります。この場合は、手順11へ進みます。



6

IDを入力し、《メニュー／決定》を押す。

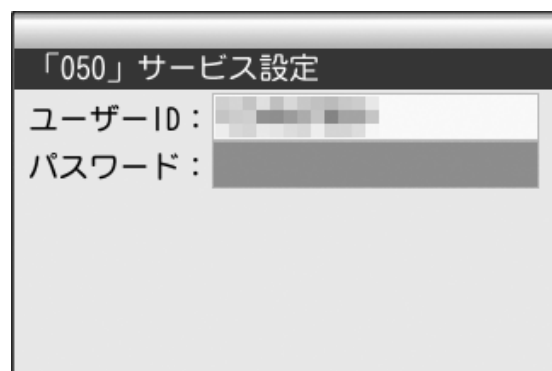
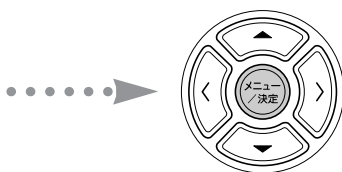
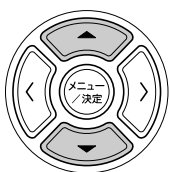


参照 「文字入力のしかた」(P1-25)



7

上下ボタンで「パスワード」を選び、《メニュー／決定》を押す。

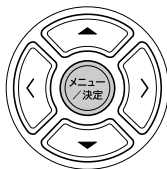
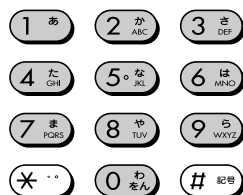




8

パスワードを入力し、《メニュー／決定》

メニュー／決定を押す。

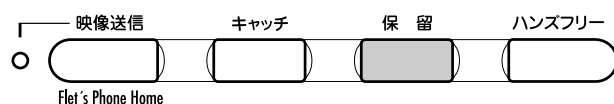


参照「文字入力のしかた」(P1-25)

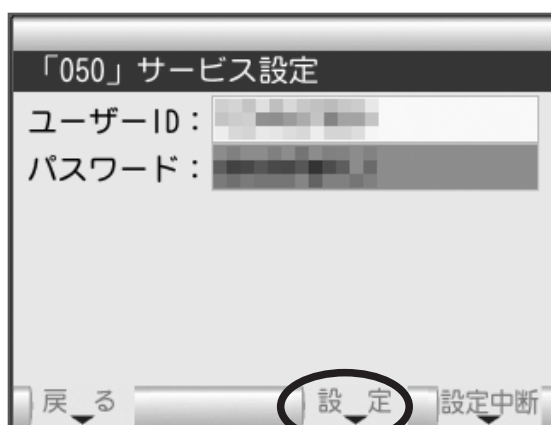


9

保留ボタン（設定）を押す。



プロバイダの提供するIPテレビ電話サービス申し込み・登録画面が表示されます。

3 準備・
設定編

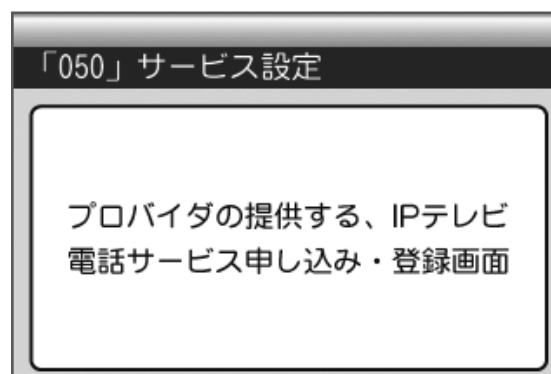
初期設定をします

10

プロバイダのIPテレビ電話サービス申し込み・登録を行う。

表示される画面はプロバイダによって異なります。画面の指示に従って、サービスを設定してください。

プロバイダへの申し込み、登録の作業が完了すると、手順11の画面が表示されます。



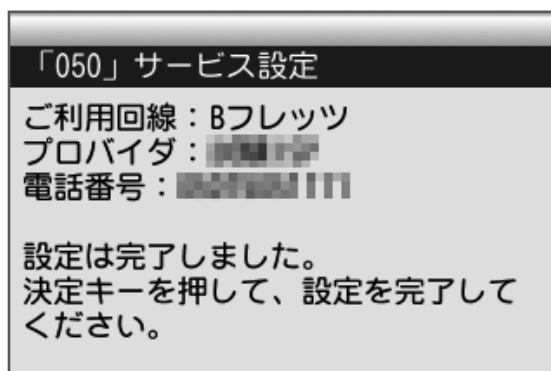
11

《メニュー／決定》メニュー／決定を押す。



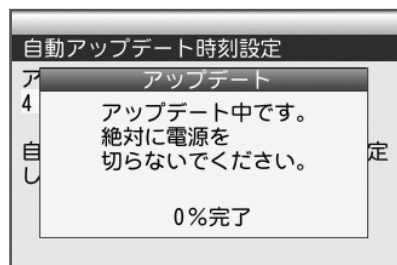
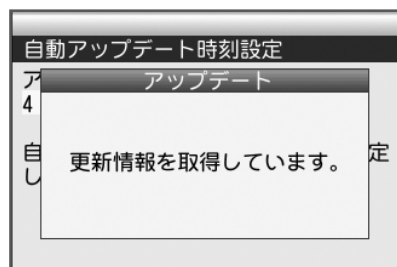
「初期ソフトウェアアップデートを実行する」へ進みます。

参照「初期ソフトウェアアップデートを実行する」(P3-32)

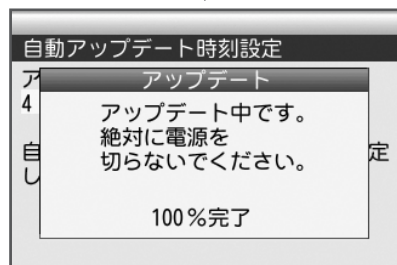


初期ソフトウェアアップデートを実行する

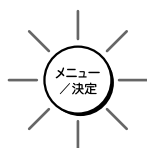
本商品を初めて起動したときに、アップデートサーバーに問い合わせを行い、新しいソフトウェアがあった場合、ソフトウェアの更新を行います。



100%完了になるまでお待ちください。

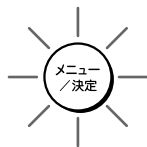


ソフトウェア更新後、再起動します。再起動中は、状態ランプが橙色に点灯します。



(橙色)

再起動後、電話画面が表示され、状態ランプが緑色に点灯します。



(緑色)



再起動後の電話画面のステータスバーに「IP電話使用状態」のアイコンが表示されていない場合は、正しく設定ができています。

参照 「画面について」(P1-21)

電話画面が起動したら、日付、時刻を確認してください。ネットワークから時刻情報が取得できなかった場合は、自動的に「1970年1月1日 9時00分」と設定されます。日付、時刻を設定し直してください。

参照 「時刻を設定するには」(P4-9)

以上で初期設定は終了です。

「無線LANのかんたん設定」を行うお客様は「メニューからネットワーク情報を設定する」(→P3-36)をご覧ください。

STOP お願い

●アップデート中や再起動中は、絶対に電源を切らないでください。回復不能な故障の原因になることがあります。



お知らせ

- サービスによっては対応しない場合があります。詳しくは当社のお問い合わせ先窓口へお問い合わせください。
- メニュー画面から設定ガイドを開始した場合は、初期ソフトウェアアップデートを実行せずに再起動します。

- ソフトウェア更新にかかる時間はおよそ10分です。ご利用の回線の通信速度、ネットワークの状況、サーバーの混雑状況によっては、それ以上の時間がかかる場合もあります。

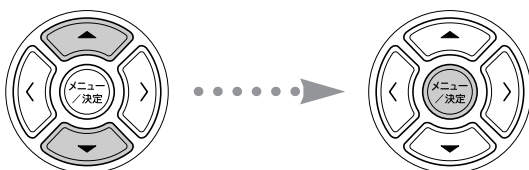
無線LANを設定する

設定ガイド開始後、無線接続の画面が表示された場合は、次の手順で無線LAN関連の情報を設定します。

無線LANのアクセスポイントに設定した内容と同じ内容を設定し、アクセスポイントと接続します。事前にアクセスポイントの設定情報を確認してください。

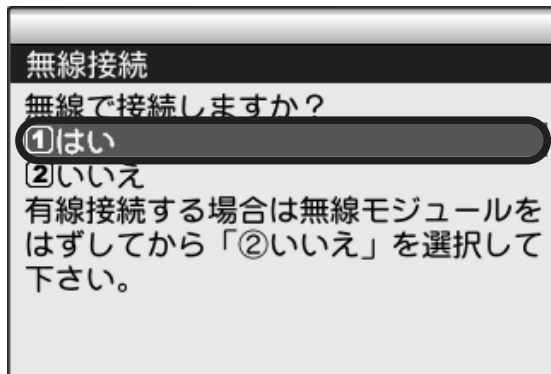
1

上下ボタンで「はい」を選び、《メニュー／決定》を押す。



アクセスポイントを探します。

本商品から無線LANカードを外すときや取り付けるときは、必ず本商品の電源を切ってから外してください。



2

各項目を設定する。

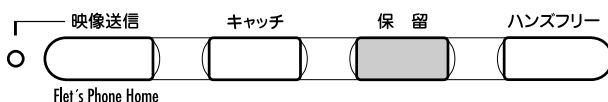


参照 → 「無線LAN詳細設定の設定項目」(P3-34)



3

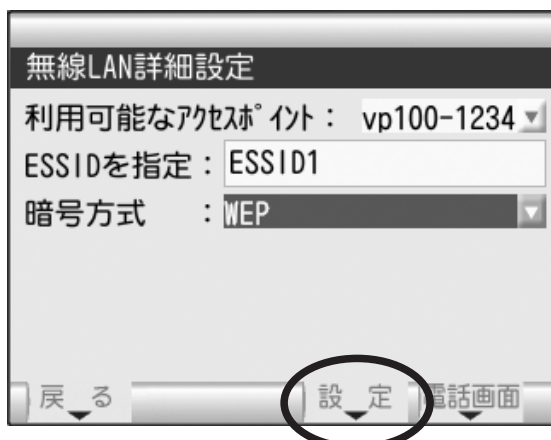
保留ボタン（設定／次へ）を押す。



暗号方式を「OFF」に設定した場合は、「設定ガイドを開始する」の手順1の「●有線LANが接続できる場合／無線LANが設定できた場合」へ進みます。

参照 → 「設定ガイドを開始する」(P3-15)

それ以外の場合は、設定した暗号方式ごとに異なる設定画面が表示されます。手順4へ進みます。



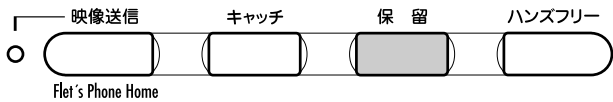
3 準備・
設定編

初期設定をします

(次ページへ続く)

4

各項目を設定し、保留ボタン(設定)を押す。



「設定ガイドを開始する」の手順1「●無線LANの設定ができた場合／無線LANが設定できた場合」へ進みます。

参照 → 「設定ガイドを開始する」(P3-15)

無線LAN詳細設定の設定項目

項 目	説 明	設定値
利用可能なアクセスポイント	検出したアクセスポイントが表示されます。アクセスポイントがステルス機能を有効にしている場合は、「***」と表示されます。	
ESSIDを指定	アクセスポイントを設定すると、ネットワーク名（ESSID名）が自動的に入力されます。 ネットワーク名が確認できなかった場合は、アクセスポイント側で設定したESSIDを入力します。	
暗号方式	暗号方式を選択します。	WEP WPA-PSK (TKIP) WPA-PSK (AES) OFF
Bit数	暗号方式で「WEP」を選んだ場合に設定します。	64bit、128bit、152bit
WEPキー	アクセスポイント側で設定したWEPキーを設定します。	半角英数字、記号 「"」と「;」は不可
デフォルト送信キー	WEPキー1～4のどれを使用するかを選択します。	1～4
事前共有キー	暗号方式で「WPA-PSK (TKIP)」または「WPA-PSK (AES)」を選んだ場合に設定します。 アクセスポイント側で設定した事前共通キーを設定します。	半角英数字、記号 「"」と「;」は不可

ネットワーク関連の設定を変更したい場合は、メニュー画面からネットワークを手動で設定することができます。

■確認すること

ルータやCTUなどの設定を確認してください。

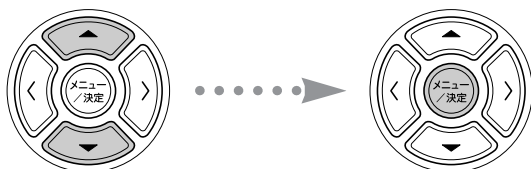
テレビ電話サービス		IPアドレス設定	UPnP-CP
ひかり電話の「テレビ電話接続」	ひかり電話の「テレビ電話」	自動（DHCP）または直接	OFF
FLET'S Net		自動（DHCP）または直接	OFF
「フレッツ・光プレミアム」および「フレッツ・v6アプリ」のテレビ電話機能		自動（DHCP）または直接	OFF
プロバイダのIPテレビ電話サービス	ルータUPnP	自動（DHCP）または直接	ON
	ルータPPPoEブリッジ	PPPoE	OFF
IP電話サービス（050番号）対応	ルータなし	PPPoE	OFF

設定ガイドからネットワーク情報を設定する

設定ガイドで本商品のネットワーク情報を自動設定ができなかった場合は、以下の手順でネットワーク情報を設定します。

- 1 マニュアル設定画面で、上下ボタンで「PPPoEで接続する」または「IPアドレスを設定する」を選び、《メニュー／決定》

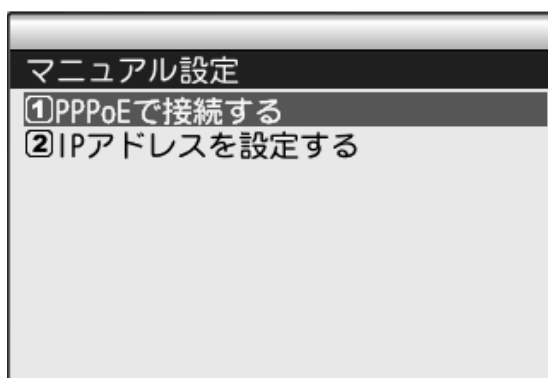
 を押す。



それぞれのページへ進みます。

PPPoEで接続する  「IPアドレスを設定する（PPPoE接続）」（P3-40）

IPアドレスを設定する  「IPアドレスを設定する（手動設定）」（P3-41）

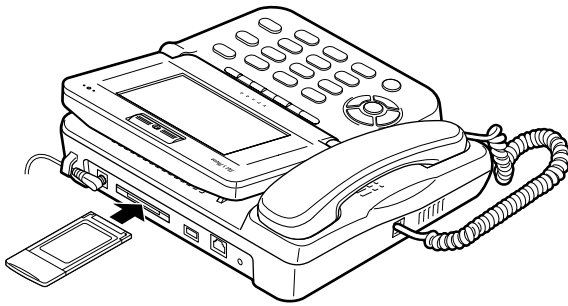


メニューからネットワーク情報を設定する

メニュー画面からネットワーク接続設定画面を表示します。「無線LAN設定」を行うお客様は手順1～4を行ってください。

1 「本商品の電源を切るには」(→P4-7) にしたがひ、本商品の電源を切る。

2 無線LANカードカバーを取り外し、無線LANカード挿入口に無線LANカードを挿入する。



3 ACアダプタのプラグを電源コンセントに接続して、本商品の電源を入れる。

●本商品から無線LANカードを外すときには、必ず本商品の電源を切ってから外してください。

参照 → 「本商品の電源を切るには」(P4-7)

●接続可能なルータや無線LANカードについては以下のURLでご確認ください。

〈NTT東日本〉 <http://www.ntt-east.co.jp/ced/>

〈NTT西日本〉 <http://www.ntt-west.co.jp/kiki/>

STOP お願い

4

電話画面から、《メニュー／決定》を押す。

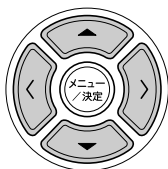


メニュー画面が表示されます。



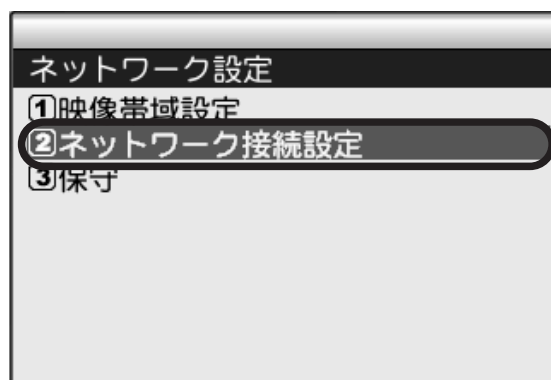
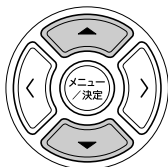
5

上下左右ボタンで【ネットワーク】を選び、《メニュー／決定》を押す。



6

上下ボタンで「ネットワーク接続設定」を選び、《メニュー／決定》を押す。



3 準備・
設定編

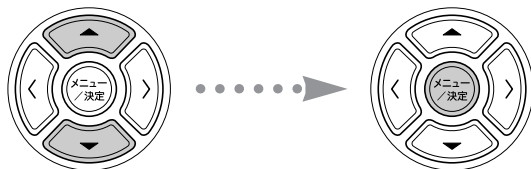
ネットワークの設定をするには

(次ページへ続く)

7

上下ボタンで「有線」、「無線」または「無線かんたん設定」を選び、《メニュー／決定》

を押す。



「有線」を選んだ場合は、手順8へ進みます。

「無線」を選んだ場合は、無線LANの設定を行います。

参照 「無線LANを設定する」(P3-33)

「無線かんたん設定」を選んだ場合は、アクセスポイントとパスワードの設定を行います。

無線LANの詳細な設定を行わずに、有線から無線への切り換えを行えます。

参照 「無線LANのかんたん設定を行う」(P3-42)



8

上下ボタンで設定する項目を選び、《メニュー／決定》

を押す。

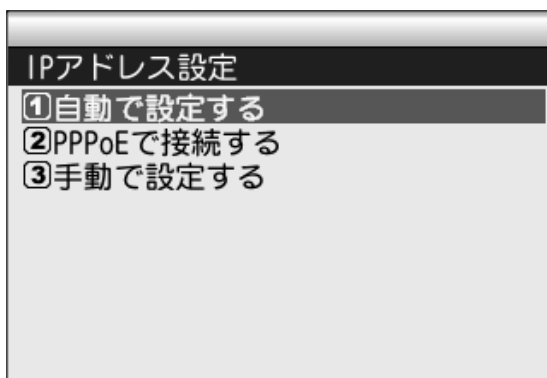


それぞれのページへ進みます。

自動で設定する 参照 「自動で設定する」(P3-39)

PPPoEで接続する 参照 「IPアドレスを設定する (PPPoE接続)」(P3-40)

手動で設定する 参照 「IPアドレスを設定する (手動設定)」(P3-41)



ワンポイント

●設定画面の基本操作

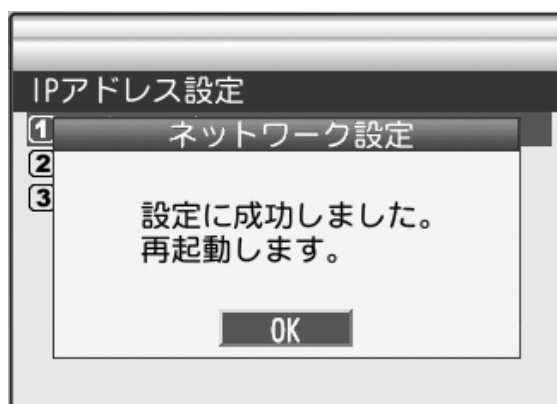
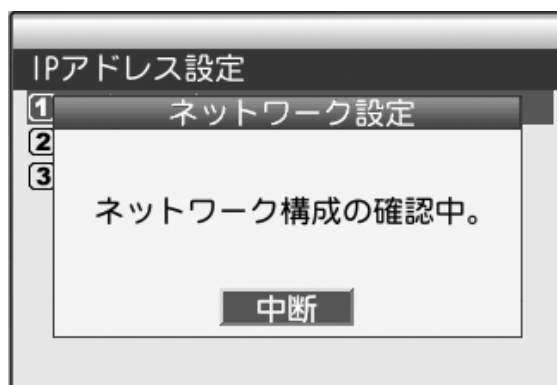
各設定画面では、上下ボタンで項目を選択し、《メニュー／決定》を押します。次に、各項目の値を入力するか、上下ボタンで値を選択します。

自動で設定する

IPアドレスを自動設定します。

1 ネットワーク構成の確認後、再起動するのでしばらく待つ。

再起動中は、状態ランプが橙色に点灯し、再起動後、電話画面が表示されます。



3 準備・
設定編

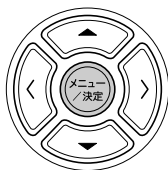
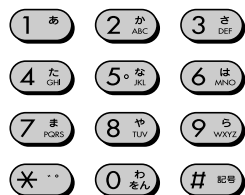
ネットワークの設定をするには

IPアドレスを設定する (PPPoE接続)

「PPPoEで接続する」を選んだ場合は、以下の手順でIPアドレスを設定します。
 プロバイダから送られてくるIDやパスワードなどが記載された書類を、お手もとにご用意ください。

1

ユーザーID、パスワードを入力し、《メニュー／決定》を押す。



プロバイダの書類に記載されている情報を半角で入力します。

また、プロバイダより指示があった場合、チェックボックスにチェックを入れ、DNSアドレスを入力します。

PPPoE接続設定

ユーザーID : @

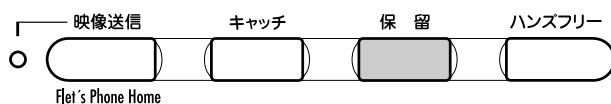
パスワード :

プロバイダより指示があった場合のみ
DNSアドレスを入力してください。

☐ DNSアドレス :

2

保留ボタン（設定/次へ）を押す。



設定ガイドから開始した場合は、再起動しますのでしばらくお待ちください。再起動中は、状態ランプが橙色に点灯します。再起動後、引き続き設定を行います。

参照▶「設定ガイドを開始する」手順4 (P3-17)

メニューから開始した場合は、「自動で設定する」の手順1 (→P3-39) へ進みます。

PPPoE接続設定

ユーザーID : @

パスワード :

プロバイダより指示があった場合のみ
DNSアドレスを入力してください。

☐ DNSアドレス :

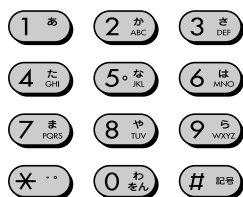
戻る **設定** 電話画面

IPアドレスを設定する（手動設定）

設定ガイドから開始して、「IPアドレスを設定する」を選んだ場合、またはメニューから開始して「手動で設定する」を選んだ場合は、以下の手順で設定します。

1

各項目を設定し、《メニュー／決定》を押す。



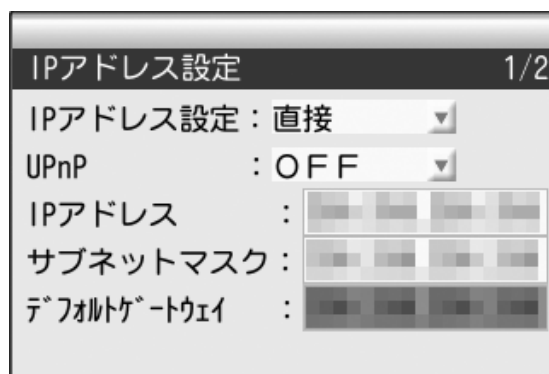
左右ボタンで画面を切り替えることができます。



：前画面へ

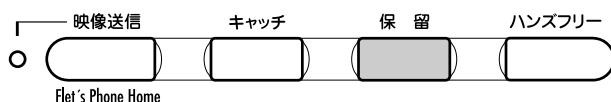


：次画面へ



2

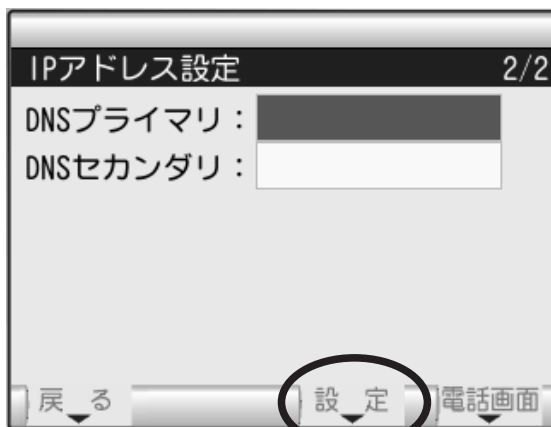
保留ボタン（設定/次へ）を押す。



設定ガイドから開始した場合は、再起動しますのでしばらくお待ちください。再起動中は、状態ランプが橙色に点灯します。再起動後、引き続き設定を行います。

参照「設定ガイドを開始する」手順4（P3-17）

メニューから開始した場合は、「自動で設定する」の手順1（→P3-39）へ進みます。



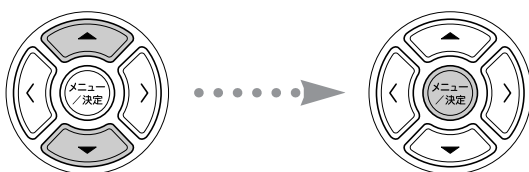
3
準備・
設定編

ネットワークの設定をするには

無線LANのかんたん設定を行う

ESSIDや暗号化方式の選択など無線の詳細な設定を行わずに、有線から無線への切替を容易に行えます。

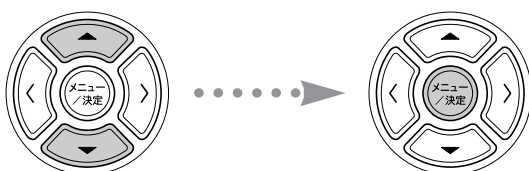
- 1** 上下ボタンで「無線かんたん設定」を選び、
《メニュー／決定》を押す。



- 2** 「接続先」が選ばれていることを確認し、
《メニュー／決定》を押す。

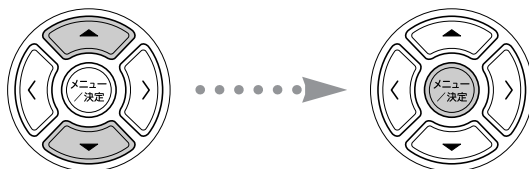


- 3** 上下ボタンで接続するアクセスポイントを選び、
《メニュー／決定》を押す。



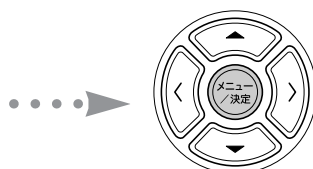
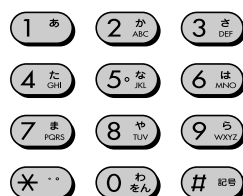
4

上下ボタンでパスワードを選び、《メニュー／決定》を押す。



5

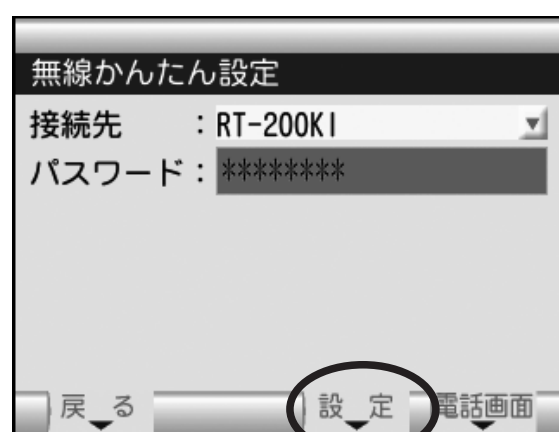
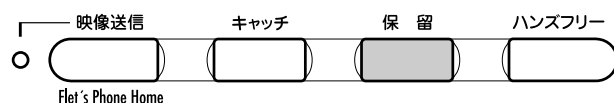
パスワードを入力し、《メニュー／決定》を押す。



※接続するアクセスポイントの保守画面を起動するときに使用するパスワードを入力してください。

6

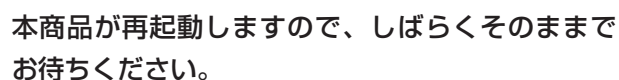
保留ボタン（設定）を押す。



しばらくお待ちください。

(次ページへ続く)

アクセスポイントと接続しているケーブルを
外して、《メニュー／決定》を押す。



再起動中は、状態ランプが橙色に点灯します。

再起動後、電話画面が表示され、状態ランプが緑色に点灯します。

※「電話が利用できません。」と表示される場合があります。これは無線を使った接続確認を行っているためです。しばらくそのままお待ちください。



お知らせ

- 無線LANかんたん設定は、有線から無線への切り替えを行う際の詳細な処理を省くための機能ですので、有線LANの設定が完了していることが前提となります。

4

付 録

本商品をご使用になるうえで役立つ情報などを記載しています。

本商品を再起動するには	4-2
本商品をお買い求めのときの状態に戻すには（初期化）	4-5
本商品の電源を切るには	4-7
時刻を設定するには	4-9
映像のサイズを設定するには（映像帯域設定）	4-12
ご利用サービスを廃止／変更するには	4-14
ネットワーク診断機能を利用するには	4-24
Q&A	4-31
故障かな？と思ったら	4-32
エラーメッセージ一覧	4-35
設定データ一覧	4-38
索引	4-40
仕様	4-42
操作早見表	4-43
保守サービスのご案内	4-45

ルータのデータを変更した場合や、電話ができないなどのトラブルがあった場合は、再起動する必要があります。

再起動には、以下の2通りの方法があります。どちらを行うかは本書の指示に従ってください。

- ・メニュー画面から再起動を行う
- ・リセットボタンを押して再起動を行う

メニュー画面から再起動を行う

ルータのデータを変更した場合など、通常の再起動はこちらから行ってください。

1

電話画面から、《メニュー／決定》を押す。

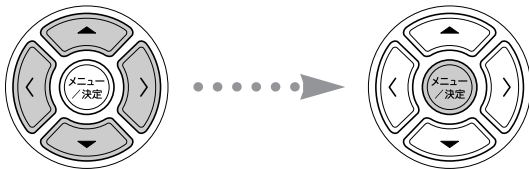


メニュー画面が表示されます。



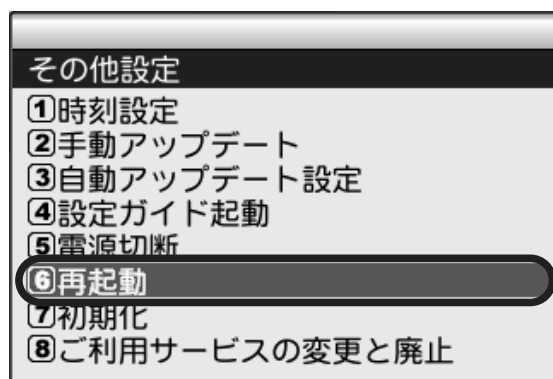
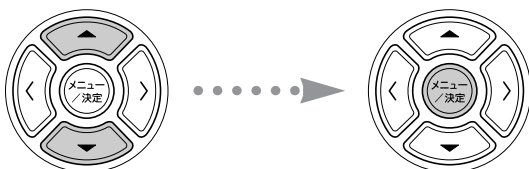
2

上下左右ボタンで【その他】を選び、
《メニュー／決定》を押す。



3

上下ボタンで「再起動」を選び、《メニュー／決定》を押す。

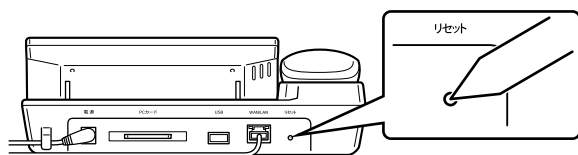


リセットボタンを押して再起動を行う

本商品のボタンで操作ができなくなった場合や、画面が動かなくなった場合は、リセットボタンを押して再起動してください。

1

先のとがったものでリセットボタンを押す。



再起動中は状態ランプが橙色に点灯します。



再起動後は電話画面が表示され、状態ランプが緑色に点灯します。



お願い

- アップデート中やデータ書き込み中は、リセットボタンを押さないでください。回復不能な故障の原因になることがあります。



お知らせ

- PPPoE接続などの切断処理を行わずに再起動するので、電話を利用できる状態になるまでに10分ほどかかることがあります。
- 正常に再起動ができない場合は、「故障かな?」と思ったら「を参照してください。(→P4-32)

本商品をお買い求めのときの状態に 戻すには (初期化)

本商品に保存されている全情報（メニューの中から設定した各情報、履歴情報、ログ等）を削除し、お買い求め時の状態に戻すことができます。初期化したあとで、電源を切断するか、再起動を行うかを選択できます。

必要な情報は、初期化を行う前にメモしておいてください。

1

電話画面から、《メニュー／決定》を押す。

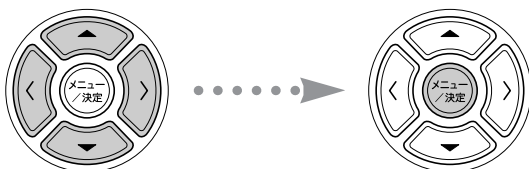


メニュー画面が表示されます。



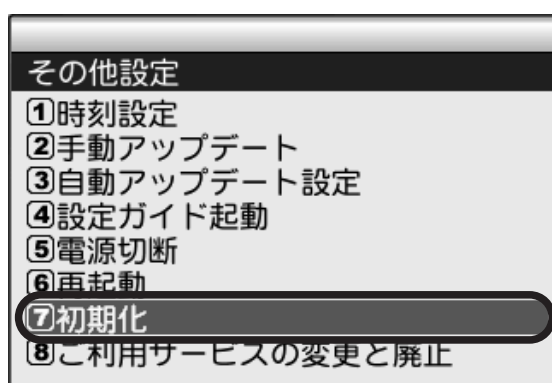
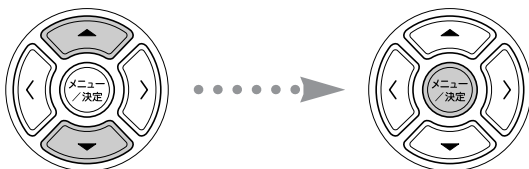
2

上下左右ボタンで【その他】を選び、
《メニュー／決定》を押す。



3

上下ボタンで「初期化」を選び、《メニュー／決定》を押す。

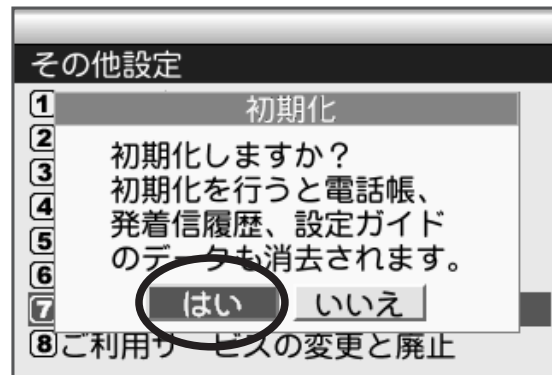
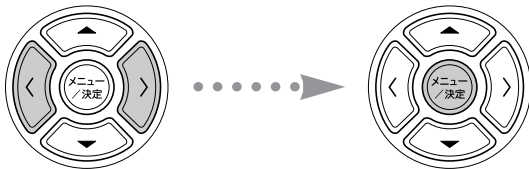


(次ページへ続く)

本商品をお買い求めのときの状態に 戻すには (初期化)

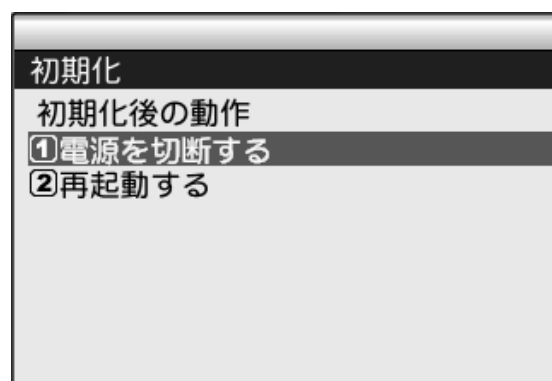
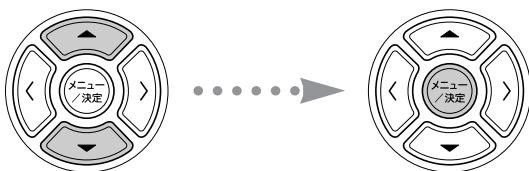
4

左右ボタンで「はい」を選び、《メニュー／決定》を押す。



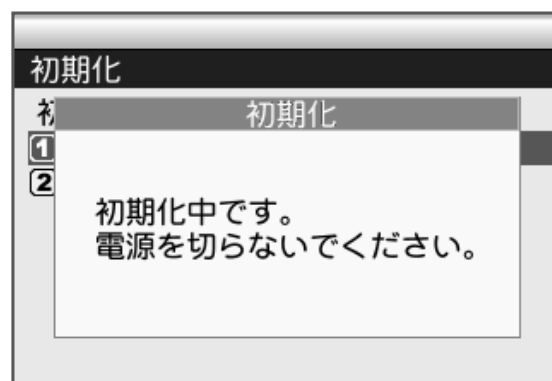
5

上下ボタンで「電源を切断する」または「再起動する」を選び、《メニュー／決定》を押す。



電源を切断する： 初期化後、電源を切ります。画面が暗くなり、何も表示されなくなります。状態ランプが橙色に点灯したら、ACアダプタを電源コンセントから抜いてください。

再起動する： 初期化後、再起動します。



 **お願い**

●初期化中は絶対に電源を切らないでください。回復不能な故障の原因になることがあります。



お知らせ

●手順5で「再起動する」を選択した場合は、初期化後に設定ガイドが起動します。(→P3-15) 再起動中は状態ランプが橙色に点灯し、本商品が再起動すると緑色に点灯します。

●通話中の場合は、初期化はできません。

●USBメモリを接続しているときに初期化した場合は、USBメモリに保存している用件すべてが削除されます。

本商品を移動するときなど、電源を切る場合は、必ず次の手順を行ってください。

1 電話画面から、《メニュー／決定》を押す。



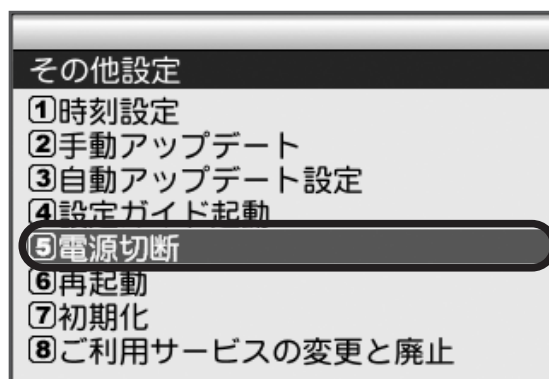
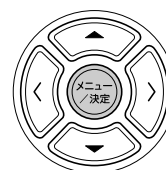
メニュー画面が表示されます。



2 上下左右ボタンで【その他】を選び、
《メニュー／決定》を押す。

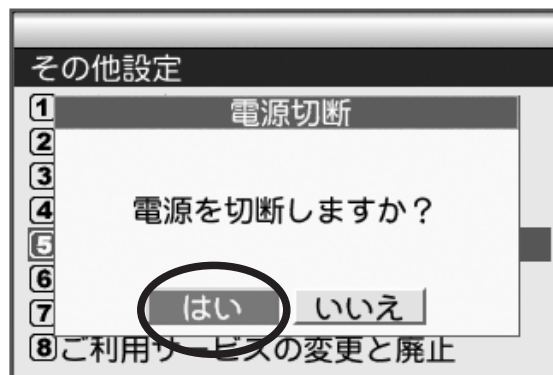
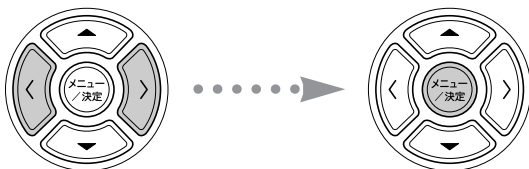


3 上下ボタンで「電源切断」を選び、《メニュー／決定》を押す。



4

左右ボタンで「はい」を選び、《メニュー／決定》を押す。



5

状態ランプが橙色に点灯する。「電源切断中」の画面が消え何も表示されなくなったらACアダプタを電源コンセントから抜く。



STOP

お願い

本商品の電源を切る際には、必ず上記の手順を守ってください。手順を守らず電源コードを抜くと、回復不能な故障の原因になることがあります。

ネットワークから時刻情報が取得できなかった場合、時刻は「1970年1月1日9時00分」に設定されます。この場合は、手動で現在の時刻に設定し直してください。

<例> 2006年3月4日5時47分に設定する

1

電話画面から、《メニュー／決定》を押す。



メニュー画面が表示されます。



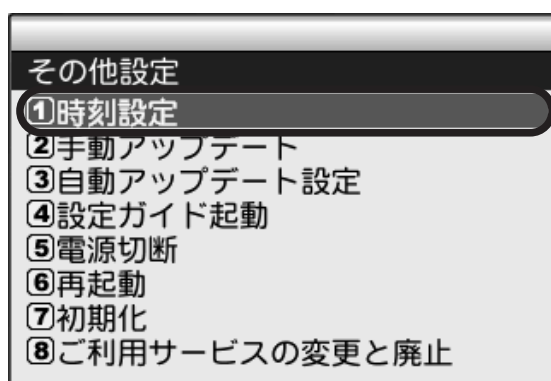
2

上下左右ボタンで【その他】を選び、
《メニュー／決定》を押す。



3

「時刻設定」が選ばれていることを確認し、
《メニュー／決定》を押す。



(次ページへ続く)

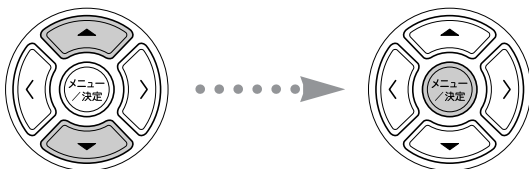
4

「年」が選ばれていることを確認し、《メニュー／決定》を押す。



5

上下ボタンで現在の年を選び、《メニュー／決定》を押す。



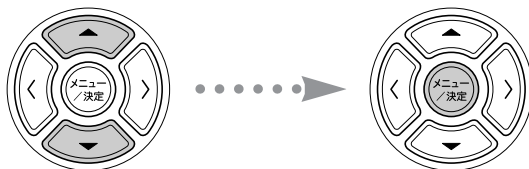
6

右ボタンで「月」を選び、《メニュー／決定》を押す。



7

上下ボタンで現在の月を選び、《メニュー／決定》を押す。



8

手順6、7と同様の手順で日、時、分を設定する。

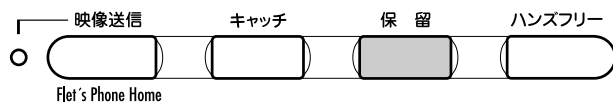
時刻設定

2006 ▼ 年 3 ▼ 月 4 ▼ 日

5 ▼ 時 4 ▼ 7 ▼ 分

9

設定が終わったら、保留ボタン（設定）を押す。



時刻設定

2006 ▼ 年 3 ▼ 月 4 ▼ 日

5 ▼ 時 4 ▼ 7 ▼ 分

戻る 設定 電話画面



お知らせ

- 手動で時刻設定をした場合、本商品が再起動すると、□
グ上の時刻が「1970年1月1日9時00分」に戻ります。

テレビ電話通話中に相手に送る自分の映像のサイズ（帯域）を設定することができます。通常は、設定ガイドにより自動で最適値に設定されますので、基本的にお客様が変更する必要はありません。

1

電話画面から、《メニュー／決定》を押す。

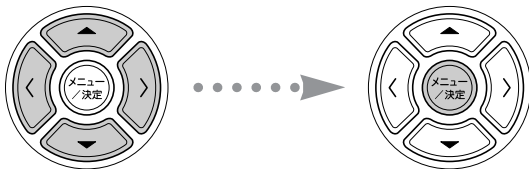


メニュー画面が表示されます。



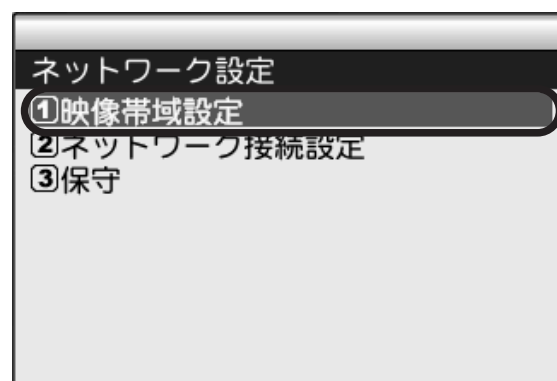
2

上下左右ボタンで【ネットワーク】を選び、《メニュー／決定》を押す。



3

「映像帯域設定」が選ばれていることを確認し、《メニュー／決定》を押す。



上下ボタンで映像帯域を選び、《メニュー／決定》を押す。



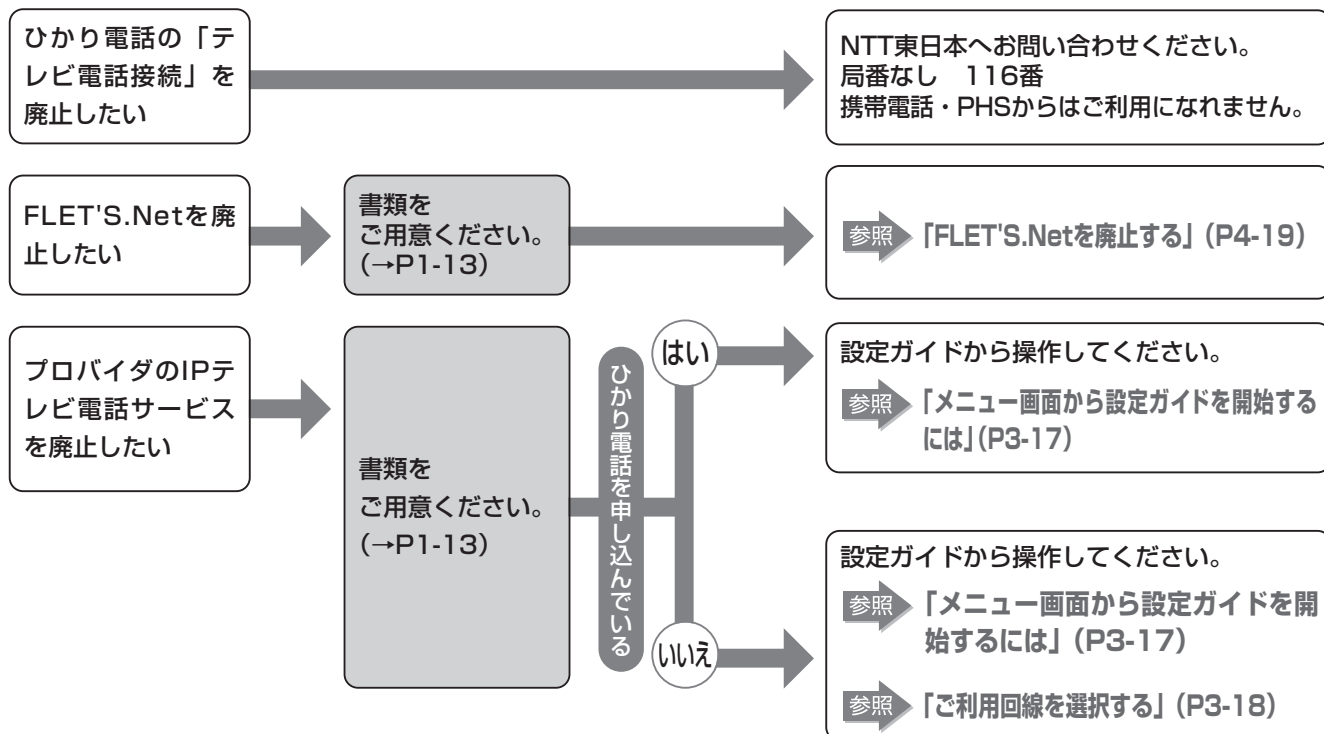
お知らせ

- 通話中に映像帯域の変更はできません。

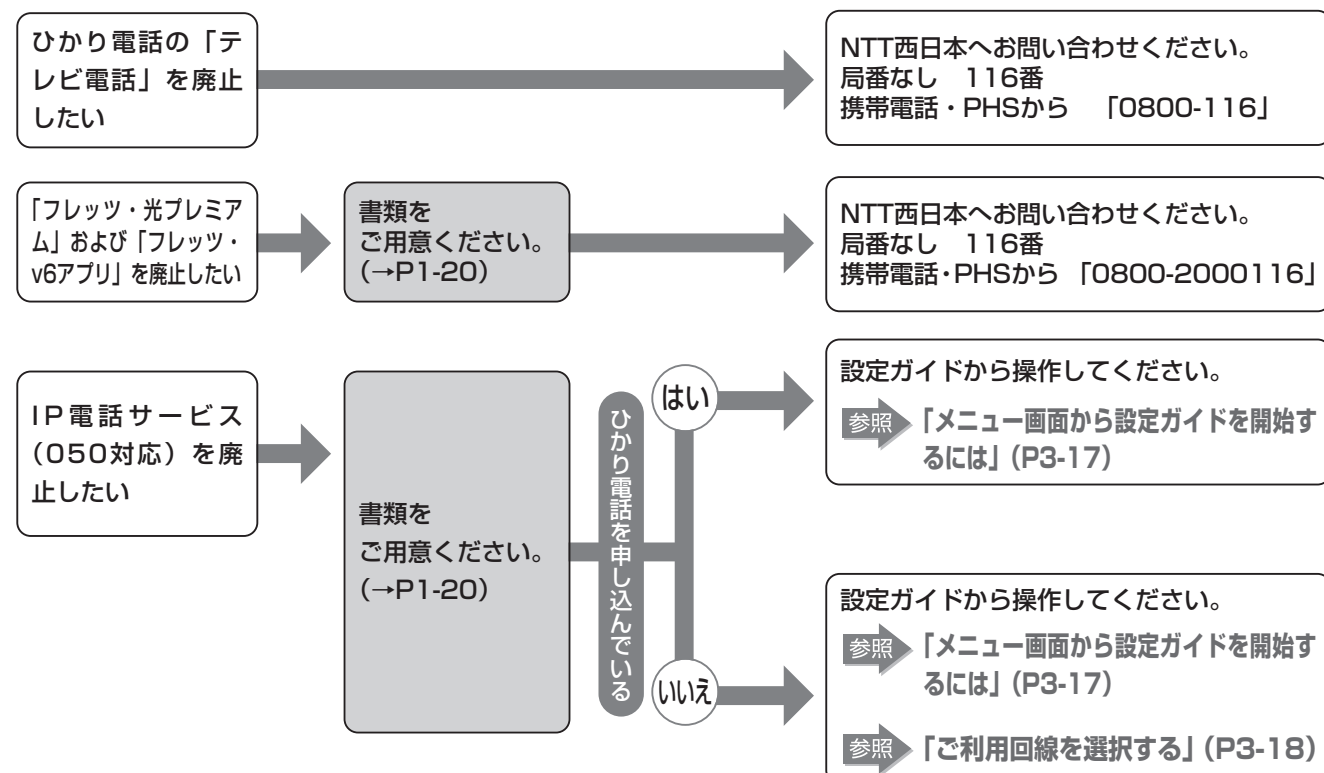
ご利用中のテレビ電話サービスを廃止／変更する場合は、サービスによって手順が異なります。お客様が行うパターンを以下から選び、指定のページへお進みください。

テレビ電話サービスを廃止するには

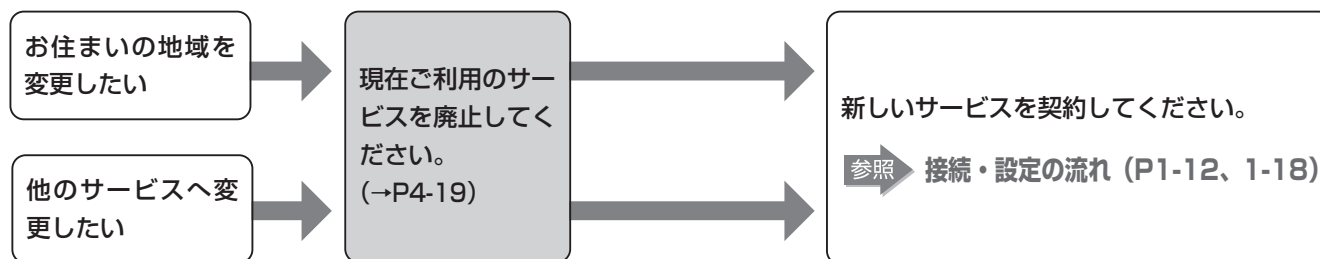
NTT東日本エリアでご利用のお客様



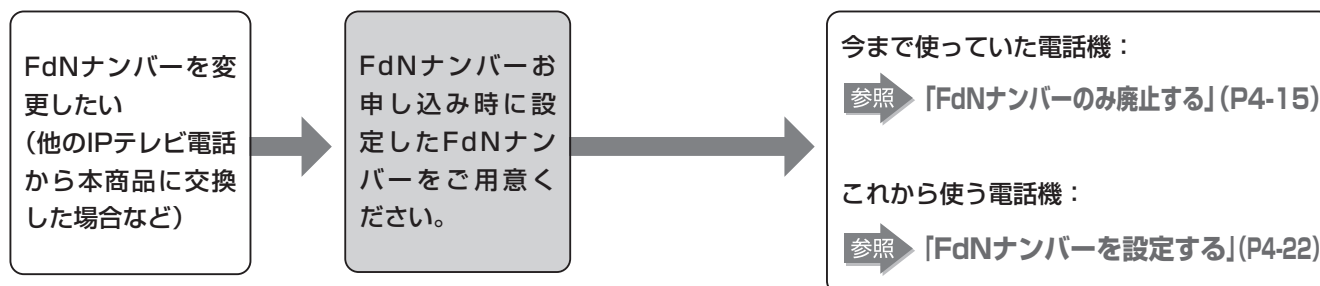
NTT西日本エリアでご利用のお客様



テレビ電話サービスを変更するには



NTT東日本エリアでご利用のお客様



FdNナンバーのみ廃止する

FdNナンバーのみの廃止は、以下の手順で行います。画面上の案内や注意事項をご確認のうえ、廃止してください。

1

電話画面から、《メニュー／決定》を押す。

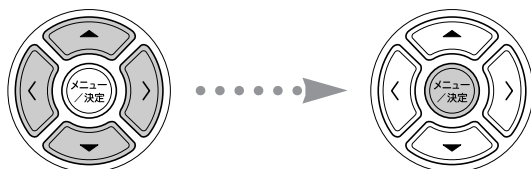


メニュー画面が表示されます。



2

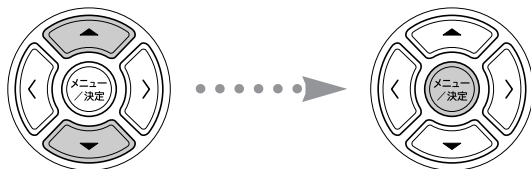
上下左右ボタンで【その他】を選び、
《メニュー／決定》を押す。



(次ページへ続く)

3

上下ボタンで「ご利用サービスの変更と廃止」を選び、《メニュー／決定》を押す。



その他設定

- ①時刻設定
- ②手動アップデート
- ③自動アップデート設定
- ④設定ガイド起動
- ⑤電源切断
- ⑥再起動
- ⑦初期化
- ⑧ご利用サービスの変更と廃止

4

「FLET'S.Net」が選ばれていることを確認し、《メニュー／決定》を押す。



サービスの選択

- ①FLET'S.Net

5

上下ボタンで「FdNナンバーのみ廃止する」を選び、《メニュー／決定》を押す。



しばらくお待ちください。

FLET'S.Netの変更と廃止

- ①FdNナンバーのみ廃止する
- ②FLET'S.Netを廃止する
- ③FdNナンバーを設定する

6

《メニュー／決定》を押す。



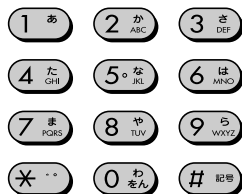
お客さまID設定

Bフレッツおよびフレッツ・ADSLご契約時にNTT東日本より送付されている「開通のご案内」等に記載されている「お客さまID」（英字3＋数字8）を入力してください。

お客さまID：

7

お客さまIDを入力し、《メニュー／決定》を押す。

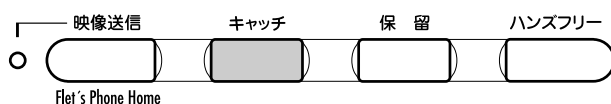


参照▶「文字入力のしかた」(P1-25)

お客さまID [半角英字]

8

キャッチボタン（次へ）を押す。



しばらくお待ちください。

お客さまID設定

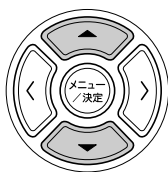
Bフレッツおよびフレッツ・ADSLご契約時にNTT東日本より送付されている「開通のご案内」等に記載されている「お客さまID」（英字3＋数字8）を入力してください。

お客さまID： _____

戻る 次へ 設定中断

9

上下ボタンで「FdNナンバーを廃止する」を選び、《メニュー／決定》を押す。



FdNナンバーサービス選択

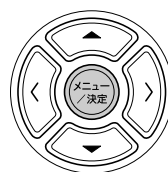
① FdNナンバーを申込む

② FdNナンバーを廃止する

③ FdNナンバーを表示する

10

《メニュー／決定》を押す。



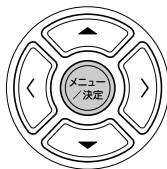
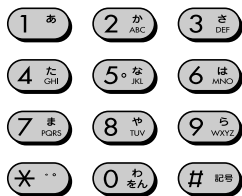
FdNナンバー廃止

廃止するFdNナンバーを入力してください。

FdNナンバー： _____

(次ページへ続く)

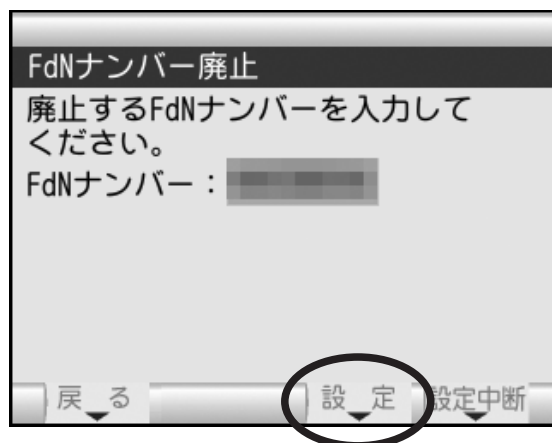
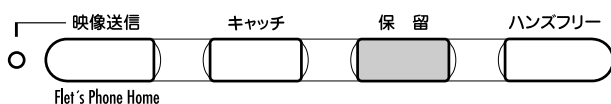
11 廃止するFdNナンバーを入力し、《メニュー／決定》を押す。



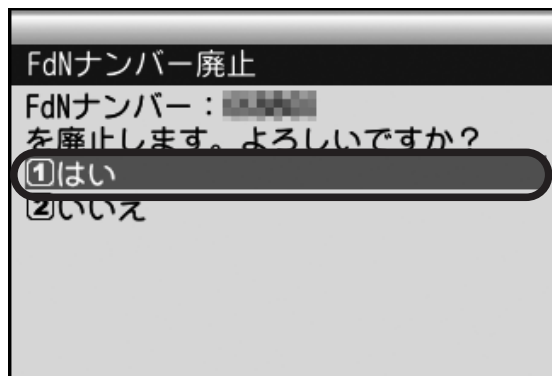
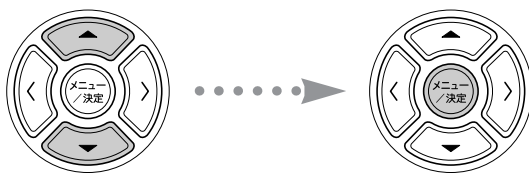
参照 「文字入力のしかた」(P1-25)



12 保留ボタン（設定）を押す。



13 上下ボタンで「はい」を選び、《メニュー／決定》を押す。



しばらくお待ちください。

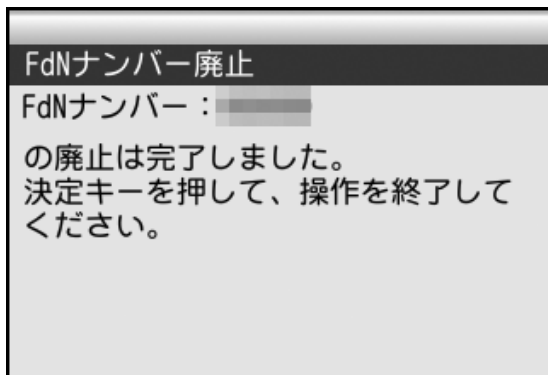
14

廃止は完了したので、《メニュー／決定》を押す。



再起動をしますので
しばらくお待ちください。

再起動中は状態ランプが橙色に点灯し、再起動後、
電話画面が表示されます。



FLET'S.Netを廃止する

FLET'S.Netの廃止は、以下の手順で行います。FLET'S.Netを廃止した場合、FdNナンバーも同時に廃止されます。画面上の案内や注意事項をご確認のうえ、廃止してください。

1

電話画面から、《メニュー／決定》を押す。



メニュー画面が表示されます。



2

上下左右ボタンで【その他】を選び、
《メニュー／決定》を押す。



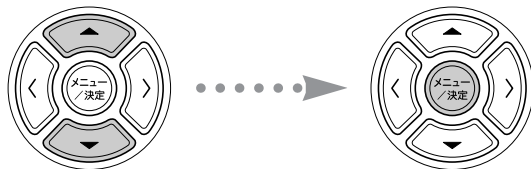
(次ページへ続く)

4 付録

ご利用サービスを廃止／変更するには

3

上下ボタンで「ご利用サービスの変更と廃止」を選び、《メニュー／決定》を押す。



その他設定

- ①時刻設定
- ②手動アップデート
- ③自動アップデート設定
- ④設定ガイド起動
- ⑤電源切断
- ⑥再起動
- ⑦初期化
- ⑧ご利用サービスの変更と廃止

4

「FLET'S.Net」が選ばれていることを確認し、《メニュー／決定》を押す。

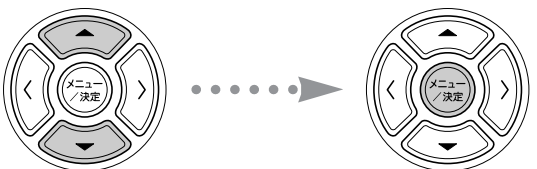


サービスの選択

- ①FLET'S.Net

5

上下ボタンで「FLET'S.Netを廃止する」を選び、《メニュー／決定》を押す。



しばらくお待ちください。

FLET'S.Netの変更と廃止

- ①EdNナンバーのみ廃止する
- ②FLET'S.Netを廃止する
- ③FdNナンバーを設定する

6

《メニュー／決定》を押す。



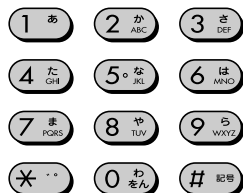
お客さまID設定

Bフレッツおよびフレッツ・ADSLご契約時にNTT東日本より送付されている「開通のご案内」等に記載されている「お客さまID」（英字3＋数字8）を入力してください。

お客さまID：

7

お客さまIDを入力し、《メニュー／決定》を押す。

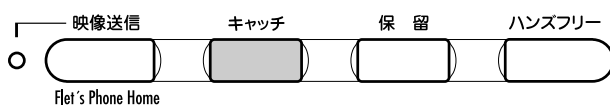


参照 → 「文字入力のしかた」(P1-25)

お客さまID [半角英字]

8

キャッチボタン（次へ）を押す。



しばらくお待ちください。

お客さまID設定

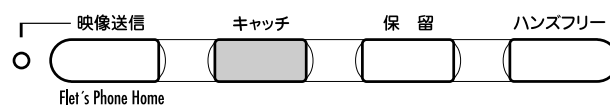
Bフレッツおよびフレッツ・ADSLご契約時にNTT東日本より送付されている「開通のご案内」等に記載されている「お客さまID」（英字3＋数字8）を入力してください。

お客さまID: _____

戻る 次へ 設定中断

9

キャッチボタン（次へ）を押す。



しばらくお待ちください。

FLET S.Netの廃止

FLET S.Netの廃止をおこないます。よろしければ「次へ」を選択してください。

戻る 次へ 設定中断

- 10** 廃止は完了したので、《メニュー／決定》 を押す。



再起動をしますので
しばらくお待ちください。

再起動中は状態ランプが橙色に点灯し、再起動後、
電話画面が表示されます。

FLETTM S.Netの廃止

FLETTM S.Netの廃止が完了しました。
決定キーを押して、操作を終了して
ください。

FdNナンバーを設定する

他のIPテレビ電話から本商品に交換する場合など、FdNナンバーの契約は終了しており、交換した電話機で「FdNナンバー」を使用できるようにするための設定です。

- 1** 電話画面から、《メニュー／決定》 を押す。



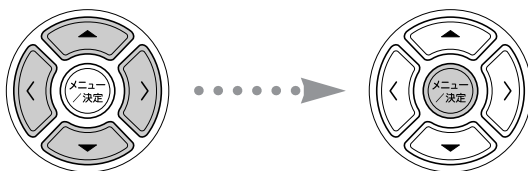
メニュー画面が表示されます。

3月 5日 (日)

10 : 00

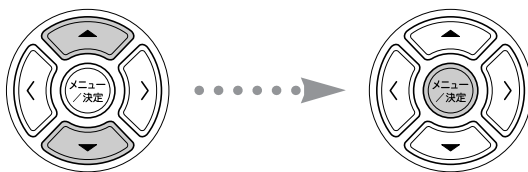
留守録 0件

- 2** 上下左右ボタンで【その他】 を選び、
《メニュー／決定》 を押す。



3

上下ボタンで「ご利用サービスの変更と廃止」を選び、《メニュー／決定》を押す。



その他設定

- ①時刻設定
- ②手動アップデート
- ③自動アップデート設定
- ④設定ガイド起動
- ⑤電源切断
- ⑥再起動
- ⑦初期化
- ⑧ご利用サービスの変更と廃止

4

「FLET'S.Net」が選ばれていることを確認し、《メニュー／決定》を押す。

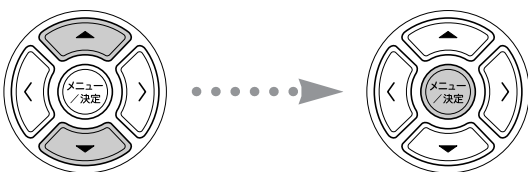


サービスの選択

- ①FLET'S.Net

5

「FdNナンバーを設定する」を選び、《メニュー／決定》を押す。



FLET'S.Netの変更と廃止

- ①FdNナンバーのみ廃止する
- ②FLET'S.Netを廃止する
- ③FdNナンバーを設定する

6

「FdNナンバーを設定する」(→P3-25)の手順2～6を行う。

電話がつかないときや、本商品を使用できないときは、ネットワーク診断機能を利用してネットワークの状態を確認することができます。診断方法は、以下の各ページを参照してください。

- ・本商品に設定している情報を確認する
- ・ネットワークに接続しているか確認する（→P4-26）
- ・フレッツ網への接続状態を確認する（→P4-29）
- ・ログを表示する（→P4-30）

本商品に設定している情報を確認する

お客様の電話番号、ご利用のIPテレビ電話サービスなどの設定情報を確認します。

1

電話画面から、《メニュー／決定》を押す。

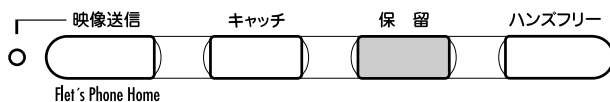


メニュー画面が表示されます。



2

保留ボタン（設定情報）を押す。



3

設定情報を確認する。

左右ボタンで画面を切り替えることができます。



：前画面へ



：次画面へ





設定情報

5/6

<ソフトウェア情報>

プログラムバージョン : 01.00. 

ソフトウェア更新日 : 2006.07.28

自動アップデート時刻 : 01:00

4 付録

ネットワーク診断機能を利用するには

ネットワークに接続しているか確認する

接続されているIPアドレス、または調べたい送信先のIPアドレスを入力して、ネットワークに接続しているかどうかを確認します。

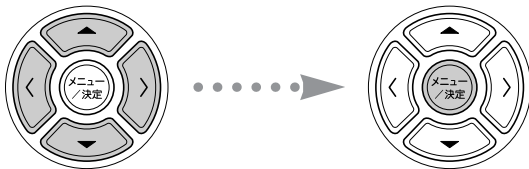
1 電話画面から、《メニュー／決定》を押す。



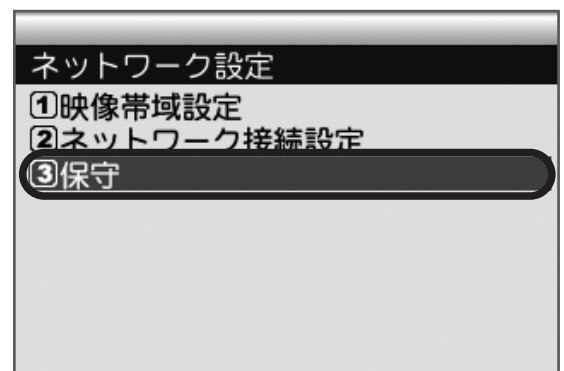
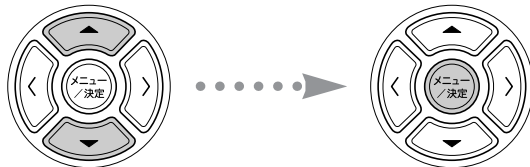
メニュー画面が表示されます。



2 上下左右ボタンで【ネットワーク】を選び、《メニュー／決定》を押す。

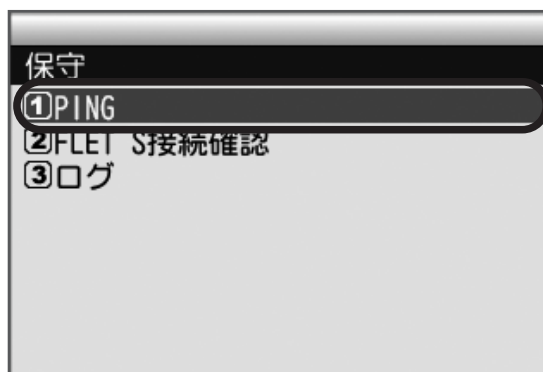


3 上下ボタンで「保守」を選び、《メニュー／決定》を押す。



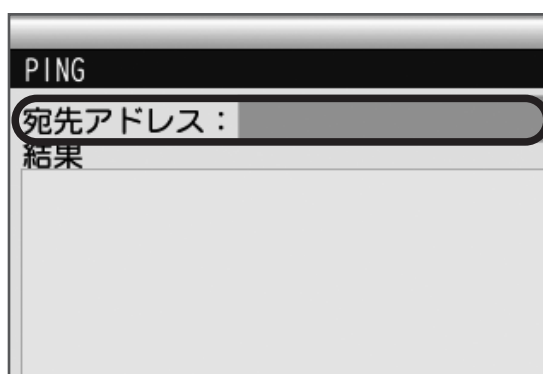
4

「PING」が選ばれていることを確認し、
《メニュー／決定》^{メニュー／決定}を押す。



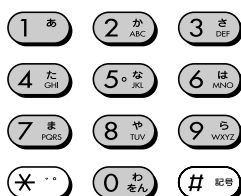
5

「宛先アドレス」が選ばれていることを確認し、
《メニュー／決定》^{メニュー／決定}を押す。



6

調べたい宛先のIPアドレスを入力し、《メ
ニュー／決定》^{メニュー／決定}を押す。



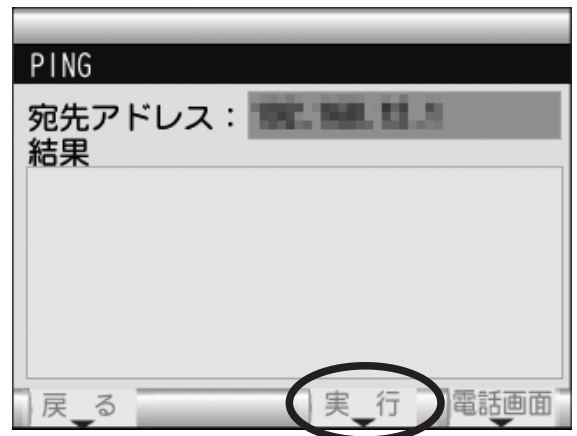
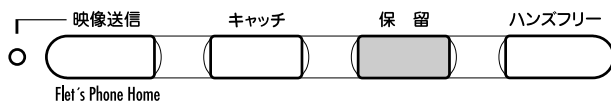
4 付録

ネットワーク診断機能を利用するには

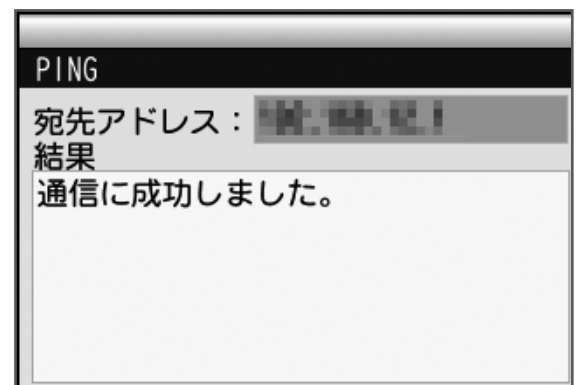
(次ページへ続く)

7

保留ボタン（実行）を押す。



ネットワークに接続できている場合は、右のように表示されます。



ワンポイント

- **PING (ピング : Packet INternet Groper)** とはインターネットなどのIPネットワークを診断する機能です。調べたい相手先のIPアドレスを指定すると、相手先から返信があるかどうかなどの情報を調べることができます。



お知らせ

- サービスによっては対応していない場合があります。詳しくは当社のお問い合わせ先窓口へお問い合わせください。

フレッツ網への接続状態を確認する

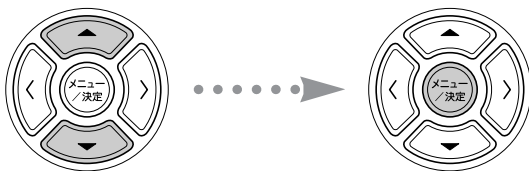
NTT東日本およびNTT西日本が提供するフレッツ・スクウェアへの接続ができるかどうかを確認します。

1 「ネットワークに接続しているか確認する」

(→P4-26) の手順1～3を行う。

2 上下ボタンで「FLET'S接続確認」を選び、

《メニュー／決定》を押す。



3 《メニュー／決定》を押す。



接続できなかった場合の確認事項は、「エラーメッセージ一覧」に記載されています。(→P4-35)



ログを表示する

本商品で障害が発生した場合は、障害ログが記録されます。障害ログの内容を確認して、問題点を見つけることができます。

障害ログは最大100件まで保存できます。100件を超えると、古いものから削除されます。

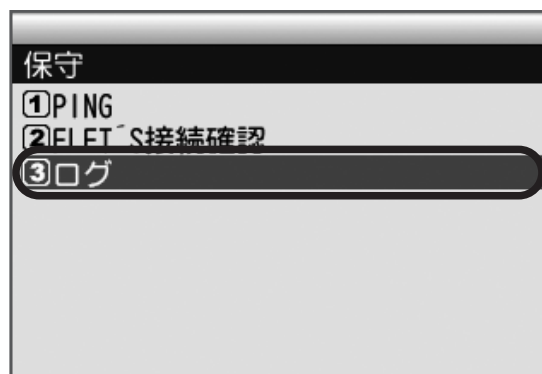
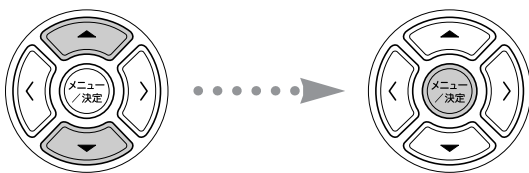
1 「ネットワークに接続しているか確認する」

(→P4-26) の手順1～3を行う。

2

上下ボタンで「ログ」を選び、《メニュー／決定》

を押す。



3

画面をスクロールするとき、上下ボタンでカーソルを移動させる。



Q 設定を最初からやり直したい

A 初期化を実行して本商品をお買い求め時の状態に戻し、再起動してください。設定ガイドが起動し、最初から設定をやり直すことができます。(→P4-5)

Q 1台のルータに本商品を複数台接続して、その電話どうしで電話したい

A 「ひかり電話」をご契約の場合、1台のルータに本商品を複数台接続することにより、内線通話をすることができます。

Q NTT東日本フレッツ・コネクト／NTT西日本フレッツ・コミュニケーションのパソコン用電話ソフトウェアを使っている相手と通信したい

A NTT西日本エリアにお住まいのお客様は、NTT西日本フレッツ・コミュニケーションをご利用のお客様と通信できます。本商品ではNTT東日本フレッツ・コネクトをご利用のお客様とは通信できません。

Q 映像を本商品に保存したい

A 通話中や留守番電話応答では、映像は保存できません。

Q 本商品に保存した留守メッセージをUSBに保存して、別の機器（VP1000やパソコンなど）で聞きたい

A 本商品に保存した留守メッセージをUSBメモリへ保存することはできません。

故障かな？と思ったらときは、修理に出す前に次の点を確認してください。

■音声関連

こんなときは	原因	確認してください	参照ページ
自分側の声が相手側に聞こえない、聞こえにくい	<ハンズフリー通話の場合> マイクがふさがれている	マイクが何かでふさがれていないか確認してください。	1-4
	<ハンズフリー通話の場合> ディスプレイが適度な角度に調節されていないため、マイクが離れている	ディスプレイの角度を調節して、もう少し近づいてください。	1-5
	回線品質が一時的に低下している	いったん電話を切り、しばらくしてからおかけ直してください。	—
相手側の声が大きすぎる、小さい	回線品質が一時的に低下している	いったん電話を切り、しばらくしてからおかけ直してください。	—
	<ハンドセット通話の場合> 受話音量が適切に設定されていない	受話音量を聞きとりやすい大きさに調節してください。	2-3、2-71
	<ハンドセット通話の場合> ハンドセットが正しく接続されていない	ハンドセットカールコード差込口にハンドセットのカールコードを接続してください。	3-4 ~ 3-13
	<ハンズフリー通話の場合> スピーカーがふさがれている	スピーカーが何かでふさがれていないか確認してください。	1-4
	<ハンズフリー通話の場合> スピーカー音量調節が適切に設定されていない	スピーカー音量を聞きとりやすい大きさに調節してください。	2-5、2-73
ノイズが入る、ブツブツ途切れる	回線品質が一時的に低下している	いったん電話を切り、しばらくしてからおかけ直してください。	—
	<無線 LAN でご利用の場合> 他の電子機器と電波干渉が発生している	本商品やアクセスポイントの場所を移動してみてください。それでも改善されない場合は、ルータ側の設定を確認してください。	—
声が反響する	声が反響しやすい環境で通話している	ハンドセットでの通話をお試しください。	2-2

■画面表示、映像関連

こんなときは	原因	確認してください	参照ページ
画面が急に暗くなる	ディスプレイ表示時間設定で設定された時間になった	各種ボタンを押すか、ハンドセットを取りあげ、画面が表示されることを確認してください。	2-80
画面に何も表示されない	電源が正しく入っていない	AC アダプタおよび電源コードが正しく接続されているか確認してください。	3-4 ~ 3-13
	ディスプレイ表示時間設定で設定された時間になった	各種ボタンを押すか、ハンドセットを取りあげ、画面が表示されることを確認してください。	2-80
	電源を切っている	AC アダプタのプラグを 1 度抜いて、再び電源コンセントに入れ直してください。	4-7
子画面の映像がぼやけて見える	自分とカメラの位置が合っていない	自分とカメラの位置を調整してください。	1-4
自分側に表示される相手側の画像がぼやけて見える	相手の方のカメラとの位置が合っていない	相手の方にカメラとの位置を調整していただいてください。	1-4
映像の色合いがおかしい	明るさ調節が適切に設定されていない	見やすい明るさに設定してください。	2-79
	色合いの調節が適切に設定されていない	見やすい色合いに設定してください。	2-77
	ディスプレイの角度が低いまたは高い	ディスプレイの角度を見やすい角度に変更してください。	1-5
映像が正常に表示されない	回線速度と映像帯域の設定が合っていない	映像帯域の設定を使用回線ごとの適切な値に変更してください。また通話相手の回線速度や映像帯域を確認してください。 B フレッツ：1 Mbps フレッツ・光プレミアム：1 Mbps フレッツ・ADSL（1.5 M 以外）：384 kbps フレッツ・ADSL（1.5 M）：128 kbps	4-12
画面の動きが著しく遅くなったり、電話中の映像の動きがぎこちなくなる	本商品やネットワークに何らかの負荷がかかっている	しばらくお待ちいただくか、本商品を再起動してください。	4-2
	ルータや CTU に接続されたパソコンなどで、ストリーミング映像や、大きなファイルをダウンロードしている	通話とパソコンの操作を両方とも中止して、再度おかけ直してください。	—
映像が表示されない	相手側がテレビ電話対応機器でない	テレビ電話対応機器でない場合、テレビ電話はできません。	—
	相手側が映像を送信していない	相手側が映像を送信しているか確認してください。	—
子画面が表示されない	相手側がテレビ電話対応機器でない	テレビ電話対応機器でない場合、子画面表示はできません。	2-8
	子画面表示の操作を行っていない	通話中に左右ボタンを押してください。	2-8
	通話開始時子画面表示 ON/OFF の設定を行っていない	通話開始時子画面表示を ON に設定してください。	2-11

■発信、着信中関連

こんなときは	原因	確認してください	参照ページ
ハンドセットを取りあげても「ツー」という発信音が聞こえない	ハンドセットが正しく接続されていない	本商品のハンドセットカールコード差込口にハンドセットのカールコードを正しく接続してください。	3-4 ~ 3-13
	アップデート中や設定ガイド起動中に電話をかけようとした	状態ランプが緑色に点灯するまで、電源を切らずにお待ちください。ハンドセットを取りあげて「ツー」という発信音が聞こえることを確認のうえ、おかけ直してください。	—
ダイヤルしたがつながらない	本商品やルータの電源が落ちている	ステータスバーのアイコンを確認するとともに、周辺機器の電源を確認してください。	1-21、1-22
	ご契約の IP テレビ電話サービスが対応していない	ご契約の IP テレビ電話サービスによりつながらない場合があります。	1-10 ~ 1-11 1-16 ~ 1-17
	相手先が非通知着信拒否を設定している可能性がある	発信番号通知設定を「ON」にするか、相手先の電話番号の前に「186」を付けて電話をかけてください。	2-57
	相手先が着信拒否を設定している可能性がある	相手の方に着信拒否を解除してもらってください。	2-62
ひかり電話が利用できない	ひかり電話サービスでご利用できない電話番号をダイヤルしている	ひかり電話がご利用できる番号でおかけ直してください。ご利用できる番号をご確認の場合は、当社お問い合わせ先窓口までご連絡ください。	—
着信音が鳴らない	呼出音量調節で「音量：0」に設定している	呼出音量を「音量：1～8」の範囲で設定してください。	2-70

■各サービスについて

こんなときは	原因	確認してください	参照ページ
留守番電話のメッセージが録音できない	留守番電話を設定していない	留守番電話ランプが赤く点灯、または点滅していることを確認してください。	2-49
	本商品のメモリまたは USB メモリの容量がいっぱい	不要な用件を削除してください。	2-51
	最大保存件数が録音されている	不要な用件を削除してください。	2-51
自動応答ができない	自動応答設定していない	「登録した電話番号に自動応答する」に設定してください。	2-68
	電話番号が正しく設定されていない	自動応答したい電話番号が正しく設定されていることを確認してください。	2-65
	相手先の電話番号が着信拒否リストに登録されている	着信拒否リストから削除してください。	2-62
	自動応答リストに登録している相手が、発信者番号非通知でかけている	発信者番号を通知して発信していただけてください。	—
	ナンバー・ディスプレイ契約していない	ナンバー・ディスプレイを契約したうえで、自動応答を設定してください。	2-68
内線転送ができない	転送先がお話し中	＜ハンドセットで通話していた場合＞ ハンドセットを戻してください。 ＜ハンズフリーで通話していた場合＞ ハンズフリーボタンを押してください。 着信音になりますので、応答してください。転送操作前の通話に戻ります。 しばらくお待ちいただき、再度行ってください。	—
	ひかり電話に契約していない	ひかり電話に契約している場合のみ内線転送が行えます。ひかり電話対応 VoIP ルータによっては、内線転送が行えない場合があります。	—
	音声＋映像の通話から転送しようとしている	音声＋映像の通話から内線への転送はできません。	2-16
キャッチホンができない	ひかり電話に契約していない	ひかり電話を契約したうえで、キャッチホンを契約してください。	—
	ひかり電話のテレビ電話サービスを契約している	キャッチホンとの同時契約はできません。	—

■無線関連

こんなときは	原因	確認してください	参照ページ
無線 LAN を使用した通話ができない	設定情報が誤っている	無線 LAN の設定（暗号方式、ESSID など）を確認してください。	3-33
	ルータの電源が入っていない	ルータの電源をいれてください。	—
無線 LAN を使用した映像の動きがぎこちなくなる	ルータや CTU に接続されたパソコンなどで、ストリーミング映像や、大きなファイルをダウンロードしている	通話とパソコンの操作を両方とも中止して、再度おかけ直してください。	—

■バージョンアップ関連

こんなときは	原因	確認してください	参照ページ
「手動アップデート」を選択しても、ダウンロードが始まらない	新しい更新情報がない	現在使用しているソフトウェアが最新版です。アップデートは必要ありません。	—
自動アップデート設定の実行時間になってもダウンロードが始まらない	通話中、設定中、手動アップデート中、留守番電話再生中、または緊急度が低い場合	自動アップデートは行われません。手動によるアップデートを行ってください。	2-89
	自動アップデート設定が「OFF」になっている	自動アップデート設定を「ON」にしてください。	2-85
	自動アップデート時刻に電源が切れている	本商品の電源を切らずにご利用ください。電源が切れているとソフトウェアの更新ができません。	—

■その他

こんなときは	原因	確認してください	参照ページ
状態ランプが橙色に点灯している	本商品が故障している	お問い合わせ先窓口にご連絡ください。	裏表紙
状態ランプが点灯しない	電源が正しくつながっていない	AC アダプタが電源コンセントに正しく差し込まれているか、AC アダプタのコネクタが本商品の電源コネクタに接続されているか確認してください。	3-4 ~ 3-13
	AC アダプタの電源コードが破損している	破損している場合は、すぐに AC アダプタのプラグを電源コンセントから抜き、当社のお問い合わせ先窓口までご連絡ください。	—
	停電している	ダイヤル中に停電などで本商品の電源が切れたときには正しい相手先につながりません。停電が復旧して電話画面が表示されてから、再度ダイヤルしてください。	—
状態ランプが橙色と緑色で交互に点滅をしている	アップデート中	遅い点滅をしている場合は、ソフトウェアのアップデート中です。故障ではありません。	—
	故障している	早い点滅をしている場合は、当社お問い合わせ先窓口までご連絡ください。	—
テレビ電話通話中に映像が動かなくなった、ボタンを押しても表示画面が変わらない	一時的な不具合が発生した	リセットボタンを押して、本商品を再起動してください。それでも再起動できない場合は、本商品の AC アダプタを電源コンセントから抜いて、再び電源を入れ直してください。	4-4
USB メモリが認識されない	動作保証されていない USB メモリを使用している	フレッツフォンホームでご確認後、動作保証をしている USB メモリをご使用ください。	2-91
	USB メモリが正しくセットされていない	本商品の USB ポートに USB メモリをしっかりと挿してください。または本商品を再起動してください。	2-55
	USB メモリが故障している	新しい USB メモリをご用意ください。本商品を再起動後、新しい USB メモリを接続してください。	—
ワンタッチダイヤルボタンを押すと音は出るが発信できない	登録されていないワンタッチダイヤルボタンを押した	番号が登録されていないワンタッチダイヤルボタンを押すと、エラー音は鳴りますが故障ではありません。ワンタッチダイヤルに番号を登録してご使用ください。	2-19
着信履歴 / 発信履歴 / ワンタッチダイヤルの設定が消えた	初期化を実行した	初期化を実行すると、お買い求め時の状態になり、個人データはすべて消去されます。	—
フレッツフォンホームや FLET'S.Net 登録などホームページが正しく表示されない	正しく読み込めていない	キャッチボタン（リロード）をお試しください。	2-91
日時が合っていない	ネットワークから時刻情報を取得できていない	時刻設定で時刻を設定し直してください。	4-9
ログや発信 / 着信履歴の時刻が正しくない	時刻が正しく設定されていない	時刻設定で時刻を設定し直してください。	4-9
電源を入れたがお話ができない	電源を切る手順に従っていない	お話しができるようになるまでに 10 分ほどかかることがあります。これ以上待ってもお話しができない場合は、当社のお問い合わせ先窓口までご連絡ください。	裏表紙

ご使用中にエラーメッセージが表示された場合は、次の表でご確認ください。一覧に記載されていないエラーメッセージが表示された場合は、本商品を再起動し、もう一度操作してください。

エラーメッセージ	確認してください
登録がいっぱいです。削除してから登録してください。	登録可能な最大件数（電話帳250件、着信拒否リスト20件、自動応答リスト20件）まで登録済みのため、登録できません。削除してから再度登録をしてください。（→P2-38、→P2-62、→P2-67）
不正な文字が使用されています。または、文字数等を確認してください。	正しく入力しているか確認してください。
電話番号が未入力のため登録できません。	電話番号を入力せずに電話帳またはワンタッチダイヤルに登録しようとしています。電話番号を入力してください。
登録がありません。	電話帳またはワンタッチダイヤルの登録がありません。
履歴がありません。	着信履歴または発信履歴がありません。（→P2-39）
登録できません。	非通知、公衆電話、表示圏外と表示されている着信履歴や、電話番号が表示されていない着信履歴は、着信拒否リスト、自動応答リスト、電話帳に登録できません。
電話帳の登録がありません。	電話帳に登録後、操作してください。（→P2-26）
2桁以下の番号は登録できません。	2桁以下の電話番号は着信拒否リストに登録できません。3桁以上の電話番号を登録してください。
登録済みです。	既に着信拒否リストまたは自動応答リストに登録しているため、登録する必要はありません。
DHCPサーバからアドレス取得に失敗しました。ルータのDHCP設定を確認してください。	ルータのDHCP設定が有効になっていることを確認し、もう一度実行してください。 以下の場合は、正しく動作しません。 ・本商品とルータを接続するLANケーブルが外れている ・ルータの電源が入っていない ・ルータが再起動中
UPnPがルータで正しく動作していません。ルータのUPnP設定を確認してください。	ルータのUPnP設定が有効になっていることを確認し、もう一度実行してください。 以下の場合は、正しく動作しません。 ・本商品とルータを接続するLANケーブルが外れている ・ルータの電源が入っていない ・ルータが再起動中
接続エラーです。ID・パスワードを確認してください。	プロバイダの案内用紙にあるユーザーIDとパスワードを確認してください。
LANケーブルが正しく接続されていません。	LANケーブルが本商品に接続されていることを確認してください。
アクセスポイントが見つかりませんでした。ネットワーク構成を確認してください。	アクセスポイントの電源が入っているか確認してください。 無線LANでご利用の場合は、以下のようにしてください。 ・何も操作せずにしばらく待ってみてください。 ・無線LANカード挿入口の奥まで正しく無線LANカードをしっかりと挿しているか確認してください。 ・アクセスポイントを再起動してください。 ・電波が届いていない可能性がありますので、本商品の設置場所を変更してください。 ・本商品とアクセスポイントとの設定位置が離れすぎている場合や、間に障害物がある場合は、設置場所を変更してください。
ネットワークへの接続に成功しましたが、フレッツ・スクウェアへのアクセスに失敗しました。	フレッツ・スクウェアにアクセスが集中し、大変混雑している場合につながりにくいことがあります。申し訳ありませんが、しばらく時間をあけて再度接続を行ってください。
ネットワークへの接続に失敗しました。	ステータスバーのアイコンを確認してください。 ●「有線」のアイコンが表示されている場合 ・本商品に接続しているLANケーブルをしっかりと挿してください。 ●「無線」のアイコンが表示されている場合 ・何も操作せずにしばらく待ってみてください。 ・無線LANカード挿入口の奥まで正しく無線LANカードをしっかりと挿しているか確認してください。 ・アクセスポイントを再起動してください。 ・電波が届いていない可能性がありますので、本商品の設置場所を変更してください。 回線との接続が切断している可能性があります。 ・本商品とモデムやルータの接続が正しくできているか確認してください。 ・回線への接続が正しくできているか確認してください。 ・ネットワーク設定が正しくできているか確認してください。

エラーメッセージ	確認してください
更新情報の取得に失敗しました。	回線との接続が切断している可能性があります。 ・本商品とモデムやルータの接続が正しくできているか確認してください。 ・回線への接続が正しくできているか確認してください。 ・ネットワーク設定が正しくできているか確認してください。 ステータスバーのアイコンを確認してください。 ●「有線」のアイコンが表示されている場合 本商品に接続しているLANケーブルをしっかりと挿してください。 ●「無線」のアイコンが表示されている場合 ・何も操作せずにしばらく待ってみてください。 ・無線LANカード挿入口の奥まで正しく無線LANカードをしっかりと挿しているか確認してください。 ・アクセスポイントを再起動してください。 ・電波が届いていない可能性がありますので、本商品の設置場所を変更してください。
新しい更新情報はありません。	現在使用しているソフトウェアが最新版です。アップデートの必要はありません。
ソフトウェアのダウンロードに失敗しました。	回線との接続が切断している可能性があります。 ・本商品とモデムやルータの接続が正しくできているか確認してください。 ・回線への接続が正しくできているか確認してください。 ・ネットワーク設定が正しくできているか確認してください。 ステータスバーのアイコンを確認してください。 ●「有線」のアイコンが表示されている場合 本商品に接続しているLANケーブルをしっかりと挿してください。 ●「無線」のアイコンが表示されている場合 ・何も操作せずにしばらく待ってみてください。 ・無線LANカード挿入口の奥まで正しく無線LANカードをしっかりと挿しているか確認してください。 ・アクセスポイントを再起動してください。 ・電波が届いていない可能性がありますので、本商品の設置場所を変更してください。
現在「050」番号を利用したテレビ電話サービスはご利用いただけません。ネットワーク構成を確認し、設定ガイドを初めからやり直してください。	「本商品に設定している情報を確認する」(→P4-24)を参照し、PPPoE接続が有効になっているか、またはUPnP接続がONになっているか、どちらか片方だけが有効あるいはONになっていることを確認してください。 ルータに設定している情報が、PPPoE接続、UPnP接続のどちらかが有効になっていることを確認してください。
認証エラーです。「戻る」ボタンで「ID・パスワードの入力」画面に戻ります。 再度ID・パスワードをご確認ください。	ID・パスワードが正しく入力されているか確認してください。
接続エラーです。「戻る」ボタンで「ID・パスワードの入力」画面に戻ります。 再度ID・パスワードをご確認ください。	ID・パスワードが正しく入力されているか確認してください。
現在「フレッツ・光プレミアム」および「フレッツ・v6アプリ」のテレビ電話サービスはご利用いただけません。ネットワーク構成を確認し、設定ガイドを初めからやり直してください。	回線との接続が切断している可能性があります。 ・本商品とモデムやルータの接続が正しくできているか確認してください。 ・回線への接続が正しくできているか確認してください。 ・ネットワーク設定が正しくできているか確認してください。 契約はお済みでしょうか。 ・「フレッツ・光プレミアム」または「フレッツ・v6アプリ」の契約がお済みでない場合は、契約後に再度操作してください。
留守番電話の登録がありません。	留守録リストを削除したので、登録はありません。
削除に失敗しました。	USBメモリを接続して再度実施してください。
電話が利用できません。	ステータスバーのアイコンを確認してください。 ●「有線」のアイコンが表示されている場合、 本商品に接続しているLANケーブルをしっかりと挿してください。 ●「無線」のアイコンが表示されている場合、 ・何も操作せずにしばらく待ってみてください。 ・無線LANカード挿入口の奥まで正しく無線LANカードをしっかりと挿しているか確認してください。 ・アクセスポイントを再起動してください。 ・電波が届いていない可能性がありますので、本商品の設置場所を変更してください。 ●「IP電話使用状態」が「電話設定中」、「電話設定失敗」になっている場合 本商品を再起動するか(→P4-2)、または設定ガイドを起動し(→P3-15)、設定し直してください。

エラーメッセージ	確認してください
接続先を認証できませんでした。 続けますか？	ブラウザのバージョンが古い可能性があります。 ソフトウェアを最新の状態にしてください。(→P2-84) それでも解決しない場合は、当社のお問い合わせ先窓口までご連絡ください。
接続先の認証に失敗しました。 暗号化通信を終了します。	ブラウザのバージョンが古い可能性があります。 ソフトウェアを最新の状態にしてください。(→P2-84) それでも解決しない場合は、当社のお問い合わせ先窓口までご連絡ください。 ネットワーク上に問題が発生している可能性があります。 ・何も操作せずにしばらく待ってみてください。 ・本商品に接続しているLANケーブルをしっかりと挿してください。
接続エラーです。 ネットワーク構成または設定値を確認して下さい。	DNSプライマリ、またはDNSセカンダリに設定しているIPアドレスの値を確認してください。 (→P3-40、→P3-41) ネットワーク上に問題が発生している可能性があります。 ・何も操作せずにしばらく待ってみてください。 ・本商品に接続しているLANケーブルをしっかりと挿してください。 IDまたはパスワードが間違っている可能性があります。 ご覧になるページに指定するIDまたはパスワードが正しく入力されているか確認してください。
パスワードが違います。	本商品の状態が不安定になっている可能性があります。 本商品を再起動してみてください。(→P4-2)
接続を拒否されました。	サーバーまたはブラウザの処理に問題がある可能性があります。 当社のお問い合わせ先窓口までご連絡ください。 ブラウザの処理に問題がある可能性があります。 当社のお問い合わせ先窓口「表示しようとしたページ」の情報をご連絡してください。
ページがありません。	サーバーまたはブラウザの処理に問題がある可能性があります。 当社のお問い合わせ先窓口「表示しようとしたページ」の情報をご連絡してください。
ページが表示できません。	ブラウザが動作していない可能性があります。 いったん電話画面に戻ってから再度ブラウザを起動してください。 サーバーが混み合っている可能性があります。 しばらくお待ちの上、再読み込みを行ってください。
メモリが不足しています。	いったん電話画面に戻ってから操作してください。 それでも解決しない場合は、再起動してください。(→P4-2)
未入力の項目があります。	未入力の項目があります。入力してください。
接続先が話中です。(17)	接続先がお話中です。しばらくたってからおかけ直してください。
発信に失敗しました。(XX)	・接続先がお話中以外の要因(XX)で発信に失敗しました。電話番号をご確認の上おかけ直してください。 ・しばらくたってからおかけ直してください。 ・本商品を再起動するか(→P4-2)、または設定ガイドを起動し(→P3-15)、設定し直してください。
接続に失敗しました。 ケーブルが接続されているか確認してください。	ケーブルが接続されているか確認してください。
接続に失敗しました。 接続先、またはパスワードを確認してください。	接続先、またはパスワードを確認してください。
設定に失敗しました。 ルータの設定情報を確認してください。	ルータの設定情報を確認してください。

メニュー		データ名	設定範囲	初期値	備考
音設定	呼出音選択	呼出音	ベル音1～4	ベル音1	—
		外線	ベル音1～4	ベル音1	—
		内線	ベル音1～4	ベル音1	—
	呼出音量調節	呼出音量	9段階（音量：1～8）	音量：4	音量：0（音が聞こえません）
	受話音量調節	受話音量（ハンドセット）	8段階（音量：1～8） ミュート（音量：0 は通話時のみ一時的に変更可）	音量：4	—
	スピーカー音量調節	スピーカー音量（スピーカー）	8段階（音量：1～8） ミュート（音量：0 は通話時のみ一時的に変更可）	音量：4	—
	キータッチトーン設定	キータッチトーン	ON/OFF	ON	—
電話帳・ワンタッチ	電話帳登録	氏名	漢字、ひらがな、カタカナ、英字、数字、記号（全角32文字、半角64文字まで）	なし	250件×3電話番号で最大750電話番号登録可能
		フリガナ	半角カタカナ、半角英字、半角数字、半角記号（半角64文字まで）	なし	—
		グループ	指定なし、グループ1～グループ10	指定なし	—
		電話番号①～③	数字、*、#（半角32文字まで）	なし	—
		相手端末	①種別なし、②一般電話、③TV電話、④携帯電話	①種別なし	—
	ワンタッチダイヤル登録	氏名	漢字、ひらがな、カタカナ、英字、数字、記号（全角32文字、半角64文字まで）	なし	1つのワンタッチダイヤルボタンに電話番号1件のみ登録 最大3件登録可能
		電話番号	数字、*、#（半角32文字まで）	なし	—
		相手端末	①種別なし、②一般電話、③TV電話、④携帯電話	①種別なし	—
	グループ名変更	グループ1～10	漢字・ひらがな・カタカナ・英字・数字・記号（全角6文字、半角12文字まで）	グループ1	10種類登録可能
画面設定	明るさ調節	明るさ調節	8段階（1～8）	4	—
	ディスプレイ表示時間設定	ディスプレイ表示時間	1分、3分、5分、10分、20分	3分	—
	映像送信設定	映像送信設定	通話開始時ON/通話開始時OFF	通話開始時OFF	—
	画像調節設定	赤	8段階（1～8）	4	—
		緑	8段階（1～8）	4	—
		青	8段階（1～8）	4	—
	子画面表示設定	子画面表示設定	通話開始時ON/通話開始時OFF	通話開始時OFF	—
電話設定	発信番号通知設定	発信番号通知設定	ON/OFF	ON	—
	着信拒否設定	着信拒否設定	ON/OFF	OFF	—
		着信拒否リスト①～⑳	数字、*、#（半角3～32文字まで）	未登録	最大登録数：20件 内線番号（2桁以下）は登録できません。
	非通知着信拒否設定	非通知着信拒否設定	ON/OFF	OFF	—
	自動応答設定	自動応答設定	登録した電話番号に自動応答する/自動応答しない/すべての電話番号に自動応答する	自動応答しない	—
		自動応答リスト①～⑳	数字、*、#（半角32文字まで）	未登録	最大登録数：20件

	メニュー			データ名	設定範囲	初期値	備 考
電話設定	留守番電話設定			留守応答時間設定	5秒、10秒、20秒、30秒、40秒、50秒、60秒、70秒、80秒、90秒	10秒	—
ネットワーク設定	映像帯域設定			映像帯域設定	128 kbps、384 kbps、512 kbps、1 Mbps	1 Mbps	—
	有線	PPPoEで接続する	ユーザID	指定されたものを設定してください	なし	—	
			パスワード	指定されたものを設定してください	なし	—	
			DNSアドレス	指定されたIPアドレスを設定してください	なし	—	
		手動で設定する	IPアドレス設定	自動（DHCP） / 直接	自動（DHCP）	—	
			UPnP-CP	ON/OFF	ON	—	
			IPアドレス	指定されたIPアドレスを設定してください	なし	—	
			サブネットマスク	指定されたIPアドレスを設定してください	なし	—	
			デフォルトゲートウェイ	指定されたIPアドレスを設定してください	なし	—	
			DNSプライマリ	指定されたIPアドレスを設定してください	なし	—	
			DNSセカンダリ	指定されたIPアドレスを設定してください	なし	—	
	無線	詳細設定	利用可能なアクセスポイント	検出したアクセスポイントが設定される	なし	—	
			ESSIDを指定	アクセスポイント側で設定したESSIDを設定してください	なし	—	
			暗号方式	WEP/WPA-PSK（TKIP） WPA-PSK（AES） / OFF	OFF	—	
			事前共有キー	アクセスポイント側で設定した事前共通キーを設定してください	なし	—	
			Bit数	64 bit、128 bit、152 bit	64 bit	—	
			WEPキー 1～4	アクセスポイント側で設定したWEPキーを設定してください	なし	—	
			キータイプ	文字列/HEX	HEX	—	
			デフォルト送信キー	デフォルト送信キー：1～4	1	—	
			無線かんたん設定	接続先	RT-200KI、RT-200NE、AD-200SE、AD-200NE、Web Caster V110、Web Caster X400V、WBC V110M	RT-200KI	—
パスワード		半角英字、半角数字、半角記号（半角0～64文字まで）		なし	—		
その他設定	時刻設定			時刻設定	年 西暦4桁、月 1～12、日 1～31、時 0～23、分 0～59	—	
	自動アップデート設定			自動アップデート設定	ON/OFF	ON	—
				自動アップデート時刻設定	0時00分～23時59分	4時01分～5時00分	—

英数字

10BASE-T/100BASE-TXランプ 1-7
 ACアダプタ 1-3、3-4~3-13
 ADSLモデム 3-4~3-13
 CTU 3-6、3-8
 FLET'S接続確認 4-29
 FdNナンバー
 1-9~1-13、3-18~3-26、4-15~4-19
 IPテレビ電話 16
 LANケーブル 1-3、3-4~3-13
 LANポート 1-5、3-4~3-13
 LINK/DATAランプ 1-7
 ONU 3-4~3-13
 PING 4-27
 USBポート 1-5
 USBメモリ 2-55
 VDSLモデム 3-4~3-13

あ

明るさ調節 2-79
 アップデート 2-84
 映像送信 2-10
 映像送信ボタン 1-4
 映像送信ランプ 1-6
 映像帯域 4-12
 エラーメッセージ 4-35

か

回線終端装置 3-4~3-13
 加入者網終端装置 3-6、3-8
 画像調節 2-77
 カメラ 1-4
 キータッチトーン 2-82
 キャッチボタン 1-4
 キャッチホン 2-13
 行表示 2-33
 グループ表示 2-35
 グループ名 2-30
 子画面 2-11
 故障 4-32

さ

再起動 4-2
 時刻設定 4-9
 自動アップデート 2-84
 自動応答 2-65
 手動アップデート 2-89

受話音量 2-71
 受話口 1-4
 上下左右ボタン 1-4
 状態ランプ 1-6
 初期化 4-5
 ステータスバー 1-21
 スピーカー 1-4
 スピーカー音量 2-73
 接続形態 3-3
 設定ガイド 3-15
 設定情報 4-18
 全リスト表示 2-32
 送話口 1-4
 ソフトキー 1-21

た

ダイヤルボタン 1-4
 着信拒否 2-60
 着信履歴 2-40
 ディスプレイ 1-4
 ディスプレイ表示時間 2-80
 テレビ電話 2-8
 転送 2-16
 電源 4-7
 電源コネクタ 1-5
 電話帳 2-25
 電話を受ける 2-6
 電話をかける 2-2

な

内線通話 2-14
 ナンバー・ディスプレイ 2-58
 ネットワークの設定 3-35

は

発信番号通知 2-56
 発信履歴 2-39
 ハンズフリーボタン 1-4
 ハンドセット 1-4、3-4~3-13
 ハンドセットコールコード差込口 1-5、3-4~3-13
 フレッツ・光プレミアム 1-14~1-20、3-27
 フレッツ・v6アプリ 1-15~1-20
 フレッツフォンホーム 2-91
 ヘルプ 1-23
 保守サービス 4-45
 保証書 4-45
 保証について 4-45
 保留 2-18

保留ボタン.....1-4

ま

マイク.....1-4

無線LANカード.....1-3、3-10

無線LANカード挿入口.....1-5

メニュー／決定ボタン.....1-4

文字入力.....1-25

や

呼出音.....2-74、2-76

呼出音量.....2-70

ら

リセットボタン.....1-5

ルータ.....3-4、3-10

留守番電話.....2-48

留守番電話ボタン.....1-4

留守番電話ランプ.....1-6

ログ.....4-30

わ

ワンタッチダイヤル.....2-19

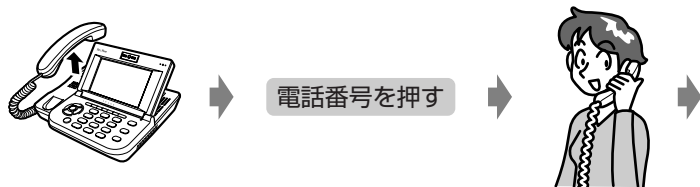
ワンタッチダイヤルボタン.....1-4

項 目	仕 様
LANインタフェース	10BASE-T/100BASE-TX (IEEE802.3/802.3u) × 1ポート (RJ45)
USBインタフェース	USB2.0×1ポート
無線LANインタフェース	PC Card Standard (Card Bus) TYPE II
カメラ	30万画素
ディスプレイ	TFT LCD (5.7インチ)
使用電源	AC100V 50/60 Hz
消費電力	最大18W
外形寸法	約248(W)×224(D)×67(H) (ゴム足および突起部を除く、ディスプレイを倒した状態。ディスプレイを立てた状態では171(H) mm)
質量	1.4 kg (ハンドセット含む)
動作環境	温度：5～35℃ 湿度：35～85 %Rh 結露しないこと
情報処理装置等電波障害 自主規制協議会 (VCCI)	クラスB情報技術装置

(詳しくは、各操作ページをご覧ください)

電話をかける

■ハンドセットを取りあげてかける

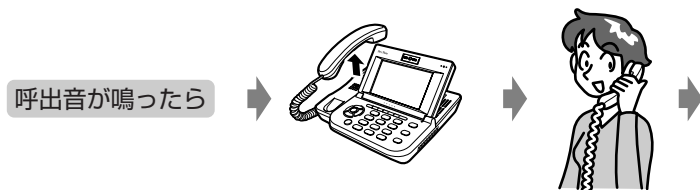


■ハンドセットを置いたままかける

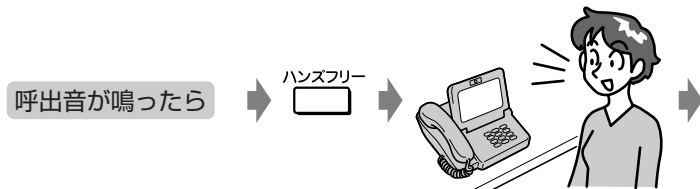


電話を受ける

■ハンドセットを取りあげて受ける

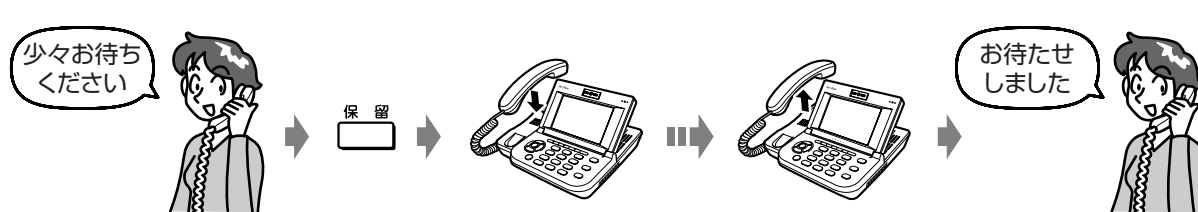


■ハンドセットを置いたまま受ける

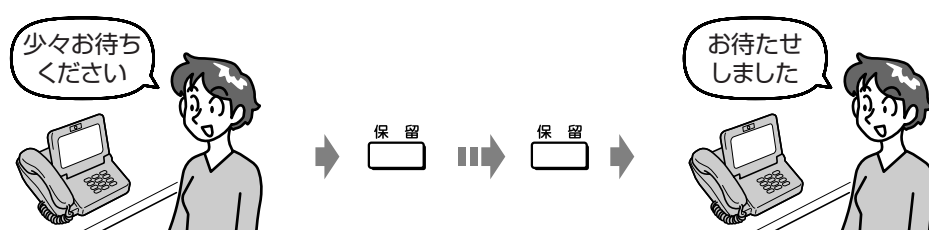


相手の方に待っていただく（保留）

■ハンドセットでお話ししているとき



■ハンズフリーでお話ししているとき



テレビ電話のときは

テレビ電話が利用できる相手となら、カメラ映像を見ながらお話しできます。

自分側の映像を送信するには ※1

自分側の映像を確認するときは ※2

映像送信
Flet's Phone Home

電話帳
履歴

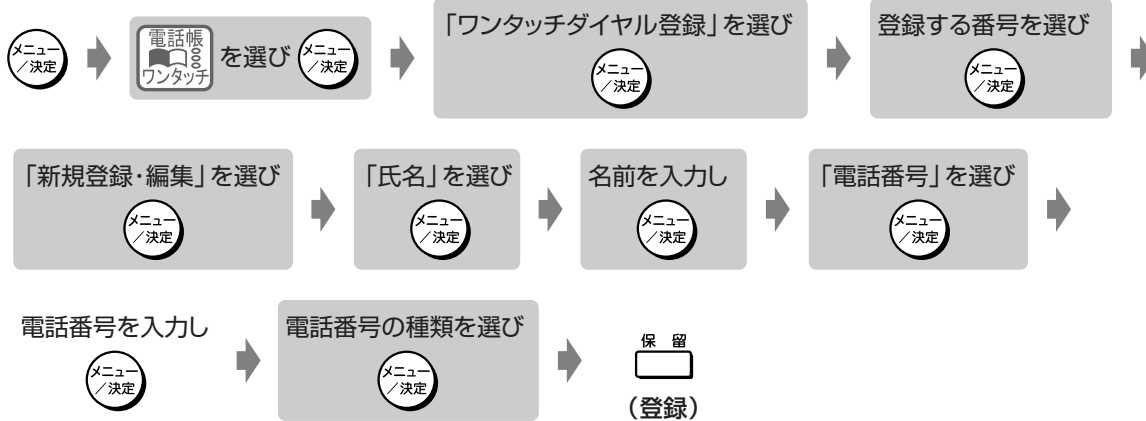


相手の方も映像を送信しているときは、相手の方の映像が表示されます。

※1:「映像送信設定」を「通話開始時ON」にしている場合、この操作は不要です。

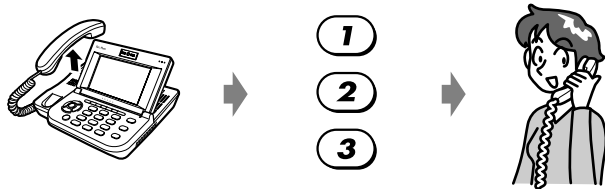
※2:「子画面表示設定」を「通話開始時ON」にしている場合、この操作は不要です。

ワンタッチダイヤルを登録する



ワンタッチダイヤルで電話をかける

あらかじめ上記「ワンタッチダイヤルを登録する」またはP2-19をご覧くださいのうえ、電話番号をワンタッチダイヤルに登録してください。



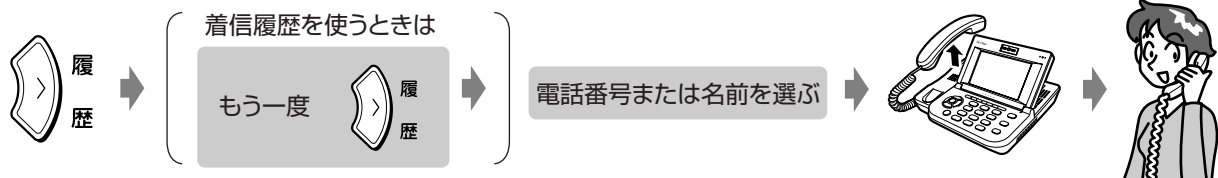
電話帳を使ってかける

あらかじめP2-26をご覧くださいのうえ、電話番号を電話帳に登録してください。

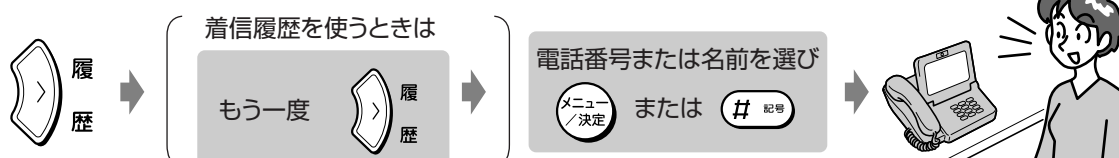


履歴を使ってかける

■ハンドセットでお話するとき



■ハンズフリーでお話するとき



●保証について

保証期間（1年間）中の故障につきましては、「保証書」の記載にもとづき当社が無償で修理しますので、「保証書」は大切に保管してください。（詳しくは、「保証書」の無料修理規定をご覧ください。）

●保守サービスについて

保証期間後においても、引き続き安心してご利用いただける「定額保守サービス」と、故障修理のつど料金をいただく「実費保守サービス」があります。

当社では、安心して商品をご利用いただける定額保守サービスをお勧めしています。

保守サービスの種類は

定額保守サービス	● 毎月一定の料金をお支払いいただき、故障時には当社が無料で修理を行うサービスです。
実費保守サービス	● 修理に要した費用をいただきます。 （修理費として、お客様宅へお伺いするための費用及び修理に要する技術的費用・部品代をいただきます。） （故障内容によっては高額になる場合もありますのでご了承ください。） ● 当社のサービス取扱所まで商品をお持ちいただいた場合は、お客様宅へお伺いするための費用が不要となります。

この取扱説明書は、森林資源保護のため、再生紙を使用しています。

当社ホームページでは、各種商品の最新情報やバージョンアップサービスなどを提供しています。
本商品を最適にご利用いただくために、定期的にご覧いただくことをお勧めします。

当社ホームページ **〈NTT東日本〉** <http://www.ntt-east.co.jp/ced/>
〈NTT西日本〉 <http://www.ntt-west.co.jp/kiki/>

本商品の機器の接続、設定、お取り扱い方法等に関する相談は下記へお気軽にご相談ください。

■NTT東日本エリア（北海道、東北、関東、甲信越地区）でご利用のお客様

NTT東日本 光サポートセンタ

 **0120-970492** (9:00～21:00)

携帯電話・PHS・050IP電話からご利用の場合（通話料金がかかります）

03-5667-7035 (9:00～21:00)

※年末年始12月29日～1月3日は休業とさせていただきます。

■NTT西日本エリア（東海、北陸、近畿、中国、四国、九州地区）でご利用のお客様

NTT西日本 ビジュアルサポートデスク (VSD)

 **0120-710494** (9:00～21:00)

携帯電話・PHS・050IP電話からご利用の場合（通話料金がかかります）

06-6310-3739 (9:00～21:00)

※年末年始12月29日～1月3日は休業とさせていただきます。

故障の場合は

故障した場合は下記へお問い合わせください。

■NTT東日本エリア（北海道、東北、関東、甲信越地区）でご利用のお客様

 **0120-242751** (24時間 年中無休※) (通話料無料)

※故障修理等の対応時間は9:00～17:00です。

■NTT西日本エリア（東海、北陸、近畿、中国、四国、九州地区）でご利用のお客様

 **0120-248995** (24時間 年中無休※) (通話料無料)

電話番号をお間違えにならないように、ご注意願います。